

2022 年度(令和 4 年度)文化庁 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

浜松市における地域日本語教育の
総合的な体制づくり推進事業

日本語能力調査及び日本語使用状況調査
【調査結果報告書】

浜松市

2023 年(令和 5 年)3 月

事業受託者 公益財団法人浜松国際交流協会(HICE)

目次

はじめに	3
序章 調査実施の概要	
1 調査の背景と目的	5
2 文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の概要	6
3 浜松市在住の外国人について	7
4 報告書内のデータ記述について	10
第1章 日本語能力調査の分析	
1 調査の概要	11
2 J-CAT 合計得点と JLPT (日本語能力試験)との互換グラフ	14
3 J-CAT 合計得点と CEFR との互換グラフ	19
第2章 日本語使用状況調査の分析	
1 調査の概要	25
2 アンケート結果(問 1~問 25)	27
第3章 日本語能力調査及び日本語使用状況調査の統計分析	79
終章 浜松市における地域日本語教育の課題と今後の展望	101
参考資料	
1 「日本語使用状況調査」調査票	121
2 関係者名簿	185
3 検討経過	186

はじめに

浜松市は、人口79万3千人¹の静岡県最大の政令指定都市です。東京、名古屋、大阪を結ぶ日本の大動脈上に位置し、気候も温暖なため、人や物が行き来しやすい地理的条件が整った開かれた都市でもあります。また、東に1級河川である天竜川があり、その豊富な水資源と地形にも恵まれているため、農業や工業が発展しています。特に、工業の中では、繊維、楽器、輸送用機器等の製造業が多く、世界市場を舞台に活躍する大企業も少なくありません。こうした背景から外国人の就労機会も多く、多様な文化的背景を持つ市民が在住しています。

浜松市に外国人が多く住むようになったのは、1990年代にさかのぼります。1990年、出入国管理及び難民認定法が改正施行され、就労制限のない「定住者」という在留資格が日系人二世及び三世とその家族にまで付与されるようになりました。これを機に、多くの日系ブラジル人が仕事を求めて浜松を訪れるようになったほか、1993年からは国際協力に寄与するための「外国人技能実習制度」も始まり、多くの外国人が浜松市で生活することとなりました。

それ以来、浜松市では多文化共生社会の実現を目指し、様々な取組を積極的に進めてきました。2001年には、外国人集住都市会議を提唱し、外国人住民に対する行政サービスにおいて、地方自治体が抱える法律や制度に起因する壁を取り払うべく、外国人が多く住む他の市町とともに国へ政策提言を繰り返してきました。また、外国人住民への課題解決にとどまらず、文化的多様性を都市の活力の源泉と捉え、浜松市多文化共生都市ビジョンを策定しています。

近年、外国人住民の定住化傾向は顕著であり、永住者の割合は半数を超え、持ち家率も2021年度の調査では3割以上に増加しています²。また、日本生まれ日本育ちの外国人住民も第2世代、第3世代に移行しており、外国人住民は地域社会の構成員となっています。

これまで、公益財団法人浜松国際交流協会（以下、「HICE」と表記）は、浜松市が多文化共生施策を進める拠点施設である浜松市多文化共生センターと浜松市外国人学習支援センターの運営委託を受け、様々な事業を行ってきました。2019年度より、市では文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の採択を受け、HICEが当事業を受託しています。本報告書は、同事業の一環として、浜松市多文化共生都市ビジョン（第3次計画期間：2023～2027年度）に併せて策定される「浜松市地域日本語教育推進アクションプラン（2023～2027年度）」の参考資料とするために実施された、日本語能力調査及び日本語使用状況調査をまとめたものです。本報告が浜松市地域日本語教育推進の基礎データとして活用されることを願うとともに、本事業にご協力くださった多くの方々に心より御礼申し上げます。

2023年3月

公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）

¹ 2022年10月1日時点 浜松市ウェブサイトより

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/150340/r04_gaiyou.pdf

² 2021年度浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態調査報告書（浜松市ウェブサイトより）

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/97308/2021houkokusyo.pdf>

序章 調査実施の概要

Ⅰ 調査の背景と目的

2018年12月に「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が成立し、在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」が創設されるとともに、出入国在留管理庁が設置され、新たな外国人材の受入れが始まった。その後、政府は関係閣僚会議において「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」（2018年12月25日決定、以降毎年改訂）を取りまとめた。これは、在留資格を有する全ての外国人を社会の一員として受入れ、外国人との共生社会を実現するために必要な施策を示したものであり、2022年6月14日には、国が目指すべき共生社会のビジョン、その実現に向けて取り組むべき中長期的な課題及び具体的施策等を示すための「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」（計画期間は2026年度まで）が決定された。

日本語教育に目を転じると、2019年6月に「日本語教育の推進に関する法律」が公布・施行され、翌2020年6月には「日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針」が策定された。本方針には、外国人を日本社会の一員として受入れ、外国人が社会から孤立しないようにするためには、日本語を習得できるようにすることが極めて重要であると述べられている。

日本語教育の推進に関する法律において、地方公共団体は、地域の状況に応じて日本語教育の推進に関する施策を策定、実施する責務を有することと記されている。浜松市でも、地域における日本語教育をより推進するため、2019年度より、文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、地域日本語教育の体制づくりを着実に進めている。2019年度の初年度には同事業を活用し、地域日本語教育実態調査を行い、その結果を踏まえ、2020年2月に「地域日本語教育推進方針」を策定した。その後、2020年度～2022年度の3年間を第一フェーズとして、同方針に基づいた体制づくりに取り組んできた³。

本調査は、2022年度の本体制づくり事業において、翌2023年度からの第2フェーズにつなげるために日本語能力及び日本語使用状況調査を実施したものである。同時期より浜松市多文化共生都市ビジョンの第3次計画期間が施行されるのに併せて、「地域日本語教育推進方針」を踏まえ、今後5年間のロードマップを盛り込んだ「浜松市地域日本語教育推進アクションプラン」をとりまとめた。本報告書は、調査結果をより効果的に分析することで、浜松市における地域日本語教育の状況や日本語使用者の実態、またそれらを踏まえた課題を明らかにし、「浜松市地域日本語教育推進アクションプラン」の推進に資することを目的とする。

³ 具体的な事業内容は文化庁ウェブサイトの事例報告書（2019年度、令和2年度）を参照。
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/chiikinihongokyoiku/

2 文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の概要

文化庁は、外国人材の受入れ・共生のための地域日本語教育推進事業として、地域日本語教育の総合的な体制づくりを推進している。本事業は、対象を(1)都道府県、(2)政令指定都市、(3)都道府県又は政令指定都市が指定した、総務省が認定する地域国際化協会等としており、事業を実施する地方公共団体等に補助金を交付するものである。

この補助金は、外国人を日本社会の一員として受入れる社会包摂を念頭に置き、外国人が生活等に必要な日本語能力を身に付けられるよう、地方公共団体が日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり等を行う事業に対して、経費の一部を助成している。文化庁は、補助金を活用した地方公共団体が事業を行うことで、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図ることを目的としている。

補助対象事業は、司令塔となる総合調整会議及び総括コーディネーターの設置、地域日本語教育コーディネーターの配置や育成、日本語教室の運営等である。事業は単年度で実施され、2022年度は、第一次募集段階で48団体が採択された。浜松市は、本補助事業が創設された2019年度より、4年連続で採択を受けている。

図表序-1 文化庁「外国人材の受入れ・共生のための地域日本語教育推進事業」

外国人材の受入れ・共生のための 地域日本語教育推進事業

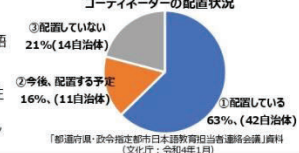
令和5年度予算額 600百万円
前年度予算額 500百万円



背景・課題

- 令和元年に「日本語教育の推進に関する法律」が公布・施行、令和2年にはそれに基づく国の基本方針が閣議決定された。また、「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」では、日本語教育が重点事項として位置付けられている。さらに、「経済財政運営と改革の基本方針2022」及び「成長戦略フォローアップ」においても、地域の日本語教育の体制づくりが位置付けられている。
 - 都道府県・政令指定都市対象の調査によるとコーディネーターの配置や日本語教育の機会提供が進む中、必要な専門人材（日本語教師、学習支援者）の不足や、学習者のニーズに対応した質の高い日本語教育の実施について対応が十分でないなどの課題がある。
 - 文化審議会国語分科会では、令和3年度に「日本語教育の参照枠」を策定し、令和4年度中に「生活Can do」を公開予定。「地域における日本語教育の在り方について（報告）」（令和4年11月）では、今後の地方公共団体等における日本語教育の方向性が示された。
- ※日本語教育の水準の維持向上を図るための日本語教育機関の認定制度等については、「生活」に関する教育を行う機関も対象として、法案の早期提出を視野に検討中。

都道府県・政令指定都市における コーディネーターの配置状況



事業内容

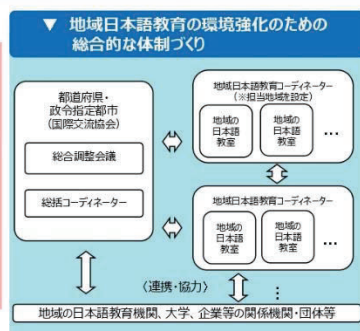
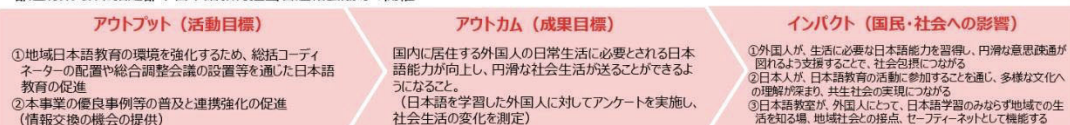
1. 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進【補助】

対象：都道府県・政令指定都市 補助率：1/2【最大2/3】 件数：55件（R4実績48件）

- 広域での総合的な体制づくり**
 - 日本語教育推進施策の協議を行う「総合調整会議」設置
 - 地域全体の日本語教育を総括する「総括コーディネーター」担い置 → 地域日本語教育 コーディネーターの人数増
 - 日本語教室への指導・助言を行う「地域日本語教育コーディネーター」配置
 - 地域の日本語教育水準の向上**
 - 域内へのノウハウ等の普及・啓発のための日本語教育の実施（ICTの活用、教材作成、研修等を含む）
 - 「生活」に関する教育課程を置く機関の設置または連携に向けた準備のため行う、以下のような日本語教育
 - 「日本語教育の参照枠」、「生活Can do」を参照した質の高い日本語教育
 - 「地域における日本語教育の在り方について（報告）」で示されたレベル・時間数に応じた体系的な日本語教育
 - 都道府県等を通じた市町村への支援【市町村向け間接補助分：特別交付税措置】**
市町村が都道府県等の関係機関と連携して行う日本語教育等の取組への支援
- ※(2)②を実施する団体に対する補助率加算【最大2/3】

2. 総合的な体制づくりの優良事例等の普及、連携強化【委託】

都道府県・政令指定都市日本語教育担当者連絡会議等の開催

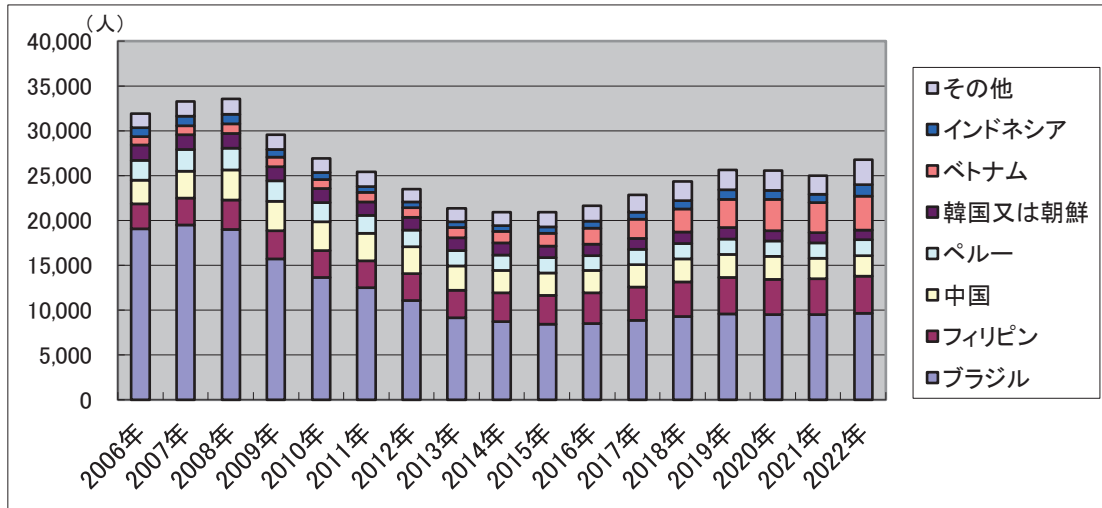


図は文化庁ウェブサイトより引用 2023年度事業募集のもの
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/chikinihongokyoiku/

3 浜松市在住の外国人について

(1) 在留外国人数の推移

図表序-2 浜松市における在留外国人数の推移(各年12月末時点)

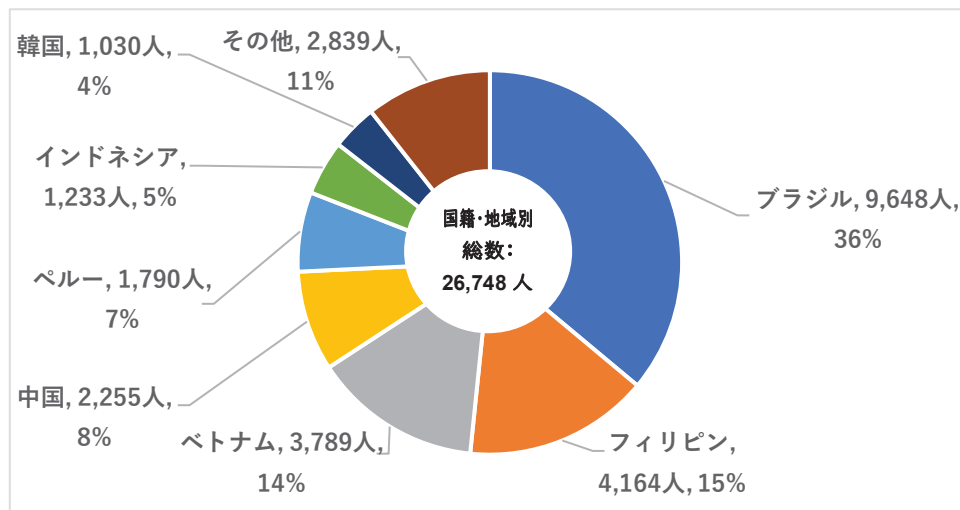


出典:浜松市国際課提供データより作成

浜松市在住の外国人は、1990年の出入国管理及び難民認定法の改正施行を機に急増し、ピーク時の2008年には3万人を超えていた。しかしながら、2008年のリーマンショックや、2011年の東日本大震災を経て、2015年には2万人をわずかに超える水準まで落ち込んでいる。その後、漸増に転じたものの、2020年～2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で一旦微減した。2022年には2万5千人を超え、再度増加傾向にある【図表序-2】。

(2) 外国人市民の国籍・地域別構成比

図表序-3 浜松市における国籍・地域別外国人住民の割合(2022年12月31日時点)

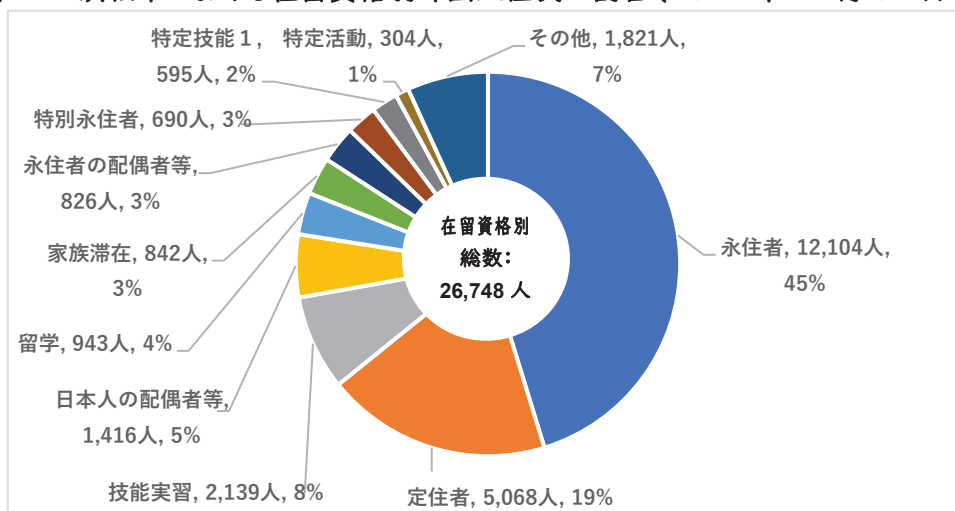


出典:浜松市国際課提供データより作成

浜松市の外国人住民の国籍・地域別を見ると、「ブラジル」が36%で最も多く、次いで「フィリピン」15%、「ベトナム」14%へと続く。1990年以降、浜松市に在留するブラジル人の人数は、日本全国の市町の中で最も多い⁴【図表序-3】。

(3) 外国人住民の在留資格別構成比

図表序-4 浜松市における在留資格別外国人住民の割合(2022年12月31日時点)



出典：浜松市国際課提供データより作成

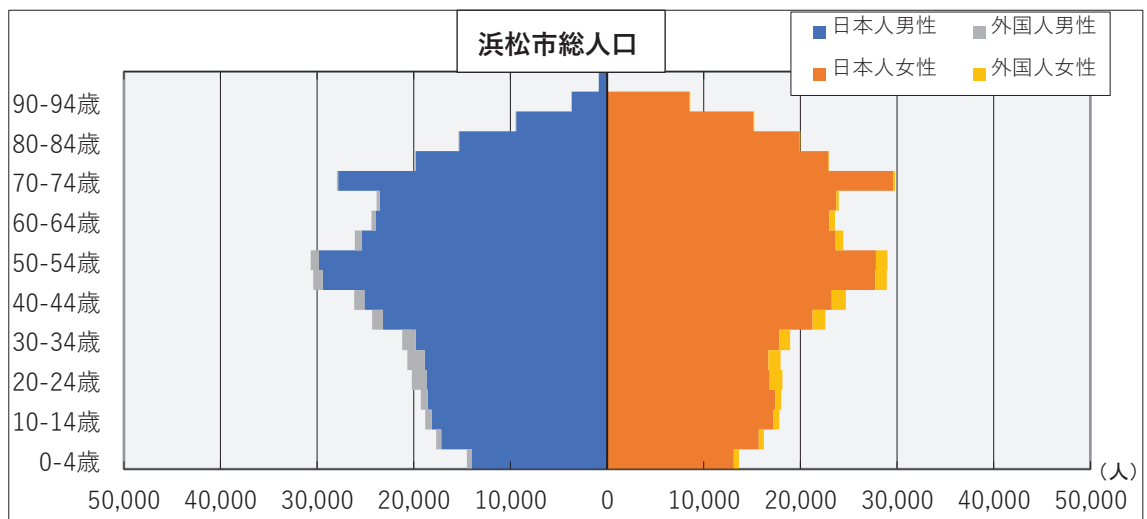
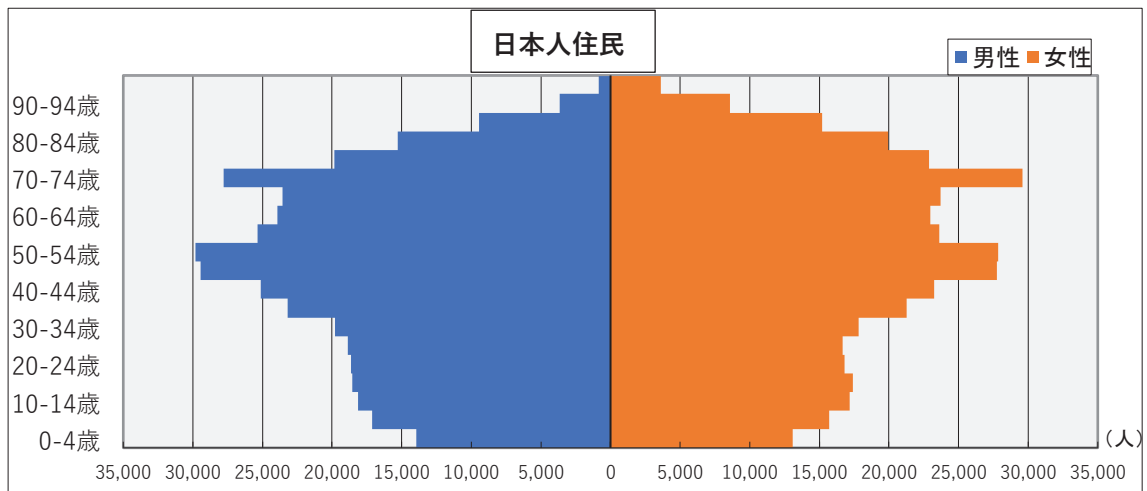
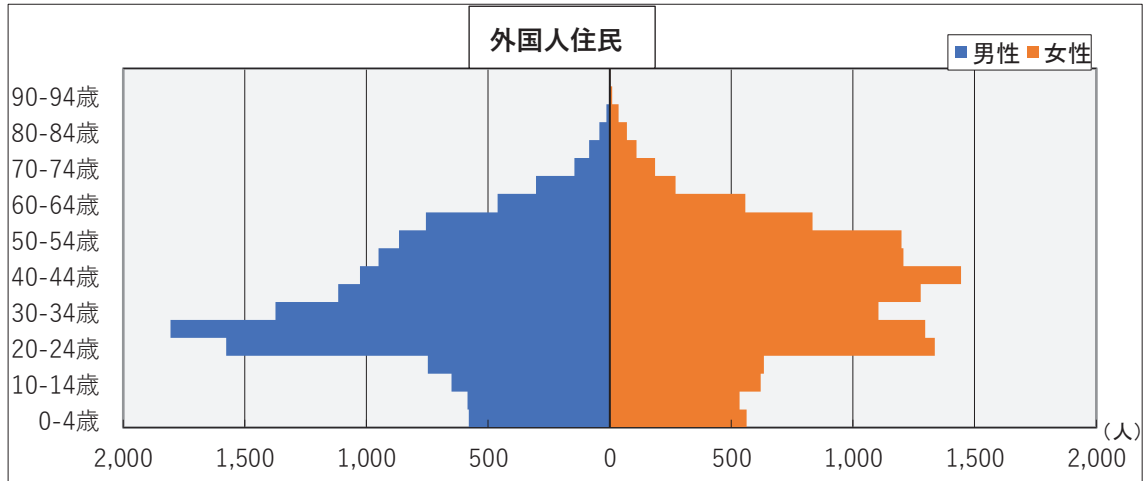
浜松市の外国人住民を在留資格別に見ると、「永住者」の割合が最も高く45%を占めている。全国における「永住者」の在留資格者は約28.6%⁵であることから、浜松市には永住の意向だけでなく、実態として既に「永住者」の在留資格を持つ人が多く住んでいることがわかる【図表序-4】。

⁴ 出入国在留管理庁ウェブサイト【在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表】よりHICE調べ。
https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html

⁵ 2022年6月1日時点。同上ウェブサイトよりHICE調べ。

(4) 外国人住民の年齢分布

図表序-5 浜松市における外国人住民の年齢別人口ピラミッド(2022年10月1日時点)
(外国人住民、日本人住民、浜松市総人口)



図表出典: 浜松市国際課提供データより作成

浜松市の外国人住民は、男女で年齢構成がやや異なっている。男性は20代の若者層が最も多い。女性も20代は多いが、40代も同様に多い。日本人住民と外国人住民を重ね合わせたのが「図表:浜松市総人口」である。これを見ると、外国人住民が浜松市の生産年齢(15~64歳)人口を支えている存在であることがわかる【図表序-5】。

4 報告書内のデータ記述について

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
- 基数とすべき実数は、図表中に「n」として記載した。比率はこの基数を100%として算出している。
- 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は100%を超えることがある。
- 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューター処理の都合上、省略している箇所がある。

第 1 章 日本語能力調査の分析

第 1 章 日本語能力調査の分析

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査の目的は、浜松市内に在住・在勤・在学する外国人の日本語能力を把握し、今後の日本語学習支援の充実に資することである。

(2) 調査の実施概要

- 調査地域：浜松市内
- 調査方法：J-CAT (Japanese Computerized Adaptive Test) により、客観的な日本語能力を測定する。J-CAT は一般社団法人日本語教育支援協会が運営している、インターネット上で受験できる日本語テストのことであり、聴解、文字・語彙、文法、読解の各 100 点、計 400 点満点である。テストは全て日本語で行われる。被験者は、会場に集まり、用意された iPad とイヤホンを用いてテストを受ける。会場には(公財)浜松国際交流協会職員が待機し、動作確認等の支援を行う。
- 実施方法：①被験者を一定期間募り、調査会場での集合形式で実施
②職員が対象集団(事業所や学校等)に出向き、協力を依頼して実施

図表 1-1 日本語能力調査被験者の内訳

被験者：

①	一般市民	38 人
②	建設業従事者	3 人
②	製造業従事者	37 人
②	介護業従事者	19 人
②	派遣社員	107 人
②	県立高等学校定時制の課程在籍生徒(高1~高4)	53 人
②	市立中学校在籍生徒(中3)	37 人
②	外国人学校在籍生徒(中3~高3)	206 人
		合計 500 人

- 調査期間：2022 年 4 月 26 日～2023 年 2 月 6 日
- 調査の実施体制
 - 調査受託者：公益財団法人浜松国際交流協会(HICE)
 - 分析協力者：静岡大学准教授 藤岡 伸明、静岡大学准教授 李 皓

図表 1-2 被験者による回答結果

回答結果：

被験者数	有効回答数	有効回答率
500	500	100%

■ 調査の様子





2 J-CAT 合計得点と JLPT (日本語能力試験) との互換グラフ

J-CAT は聴解、文字・語彙、文法、読解の4つのセクションから構成されており、それぞれ 100 点満点で、計 400 満点である。インターネット上で試験を受け、試験終了時点で各セクションの得点が見える。さらに、合計得点から、受験時のレベルが「初級前半、初級、初級後半、中級前半、中級、中級後半、上級前半、上級、超級(母語相当)」のどれに当たるのかも示される【図表 1-3】。また、J-CAT のウェブページには、日本語能力試験 (JLPT) とのスコア互換表が掲載されているため【図表 1-4】、受験時の日本語能力が JLPT (日本語能力試験) のどのレベル相当かもわかるようになっている。

図表 1-3 J-CAT スコアと運用能力の互換表

J-CAT	Proficiency Level	
0-	Beginner	初級前半
100-	Basic	初級
150-	Basic-High	初級後半
200-	Pre-Intermediate	中級前半
250-	Intermediate	中級
275-	Intermediate-High	中級後半
300-	Pre-Advanced	上級前半
325-	Advanced	上級
350-	Near Native	超級 (母語相当)

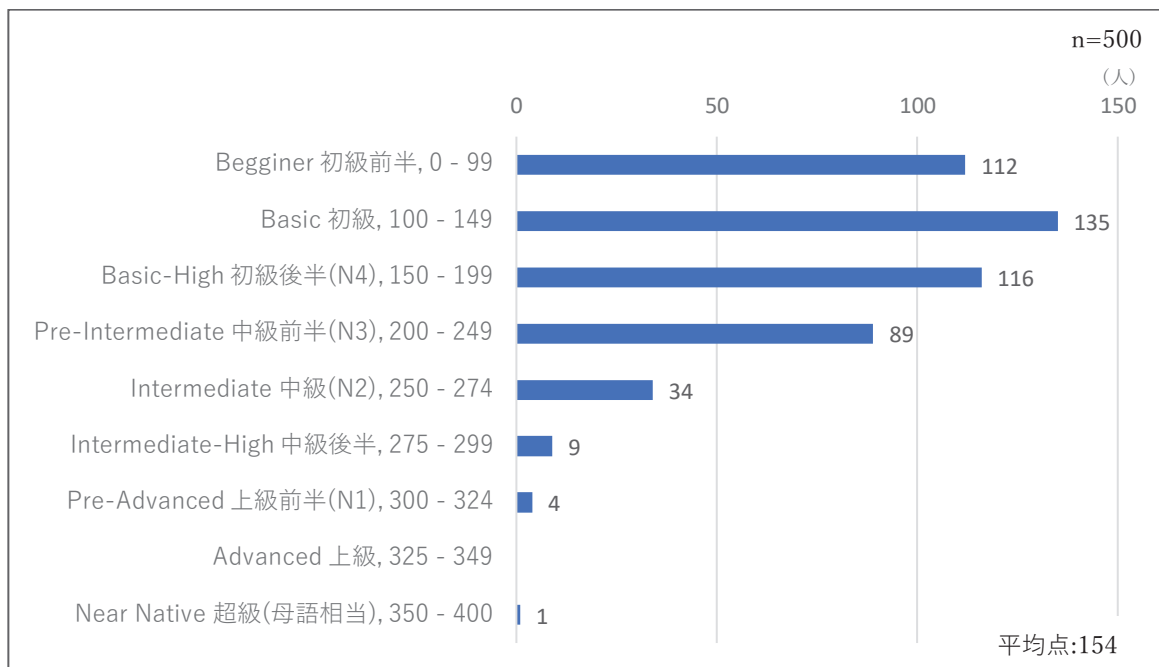
図表 1-4 スコア互換表 (JLPT 日本語能力試験)

J-CAT	JLPT 日本語能力試験
150-	N4
200-	N3
250-	N2
300-	N1

※図表 1-3 及び 1-4 は、J-CAT
(<https://www.j-cat2.org/html/ja/pages/interpret.html>)
から転載

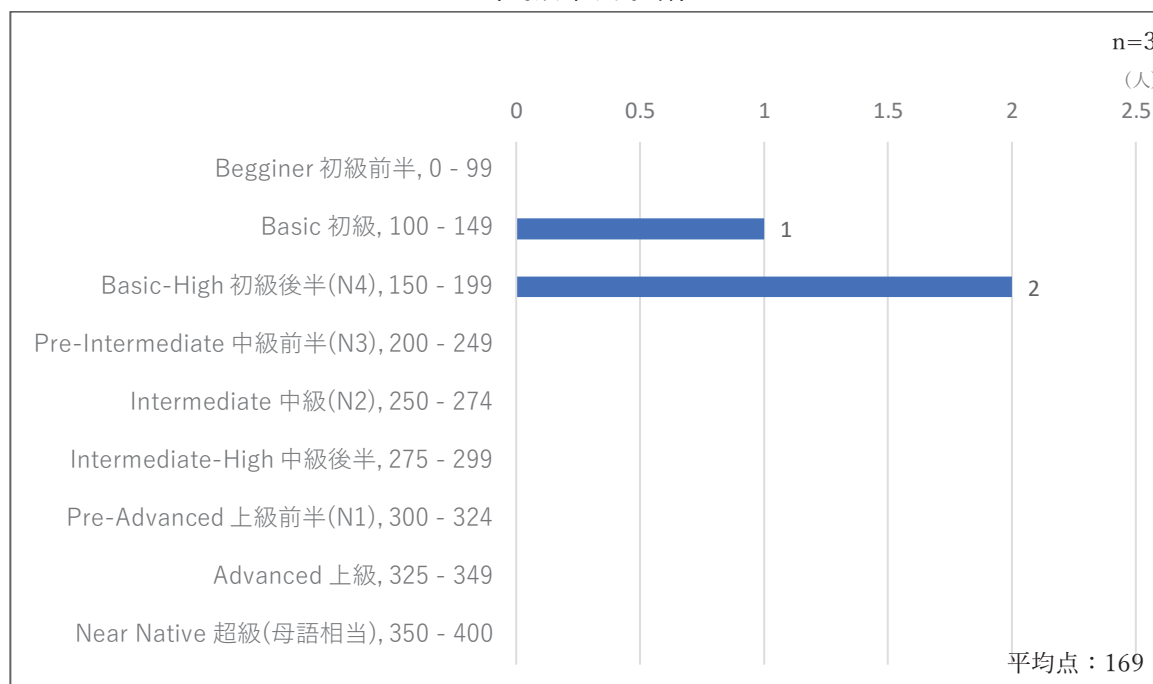
以下、図表 1-5~13 にて、J-CAT の合計得点と JLPT 日本語能力試験との互換グラフを掲載する。

図表 1-5 J-CAT 合計得点 (400 点満点) と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ (全被験者)



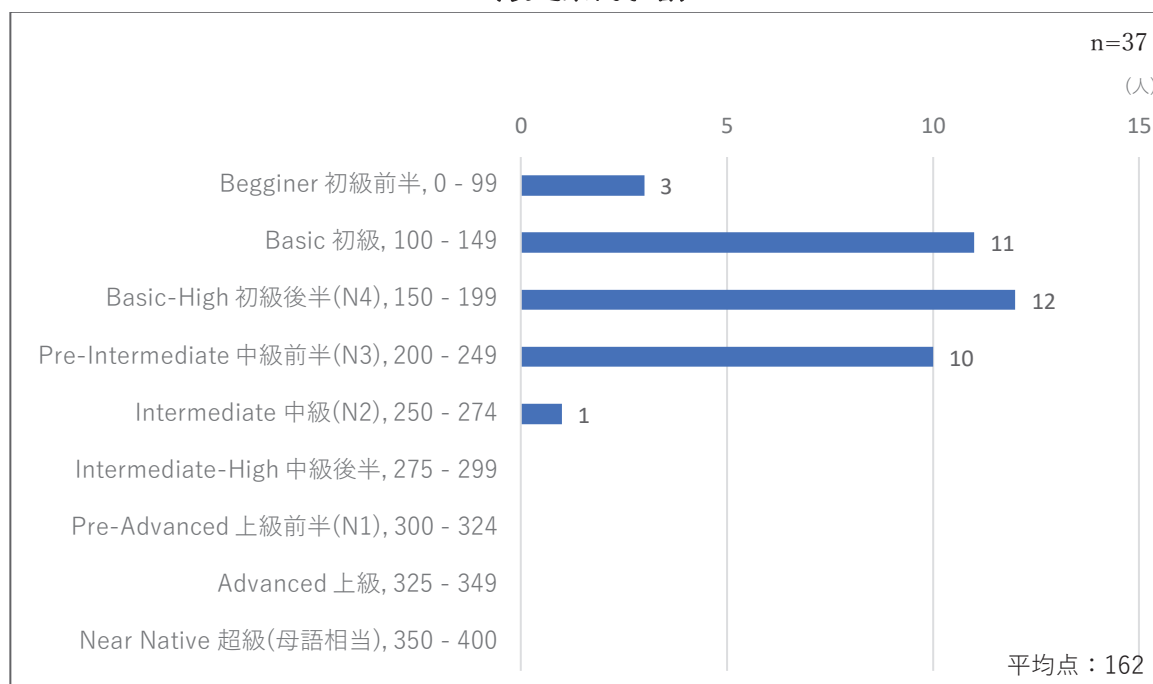
全被験者では、500 人のうち、初級 (100-149 点) が最も多く 135 人を占めている。次に初級後半 (N4・150-199 点) が 116 人、初級前半 (0-99 点) が 112 人を占めている。次いで中級前半 (N3・250-274 点) が 89 人である。

図表 1-6 J-CAT 合計得点 (400 点満点) と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(建設業従事者)



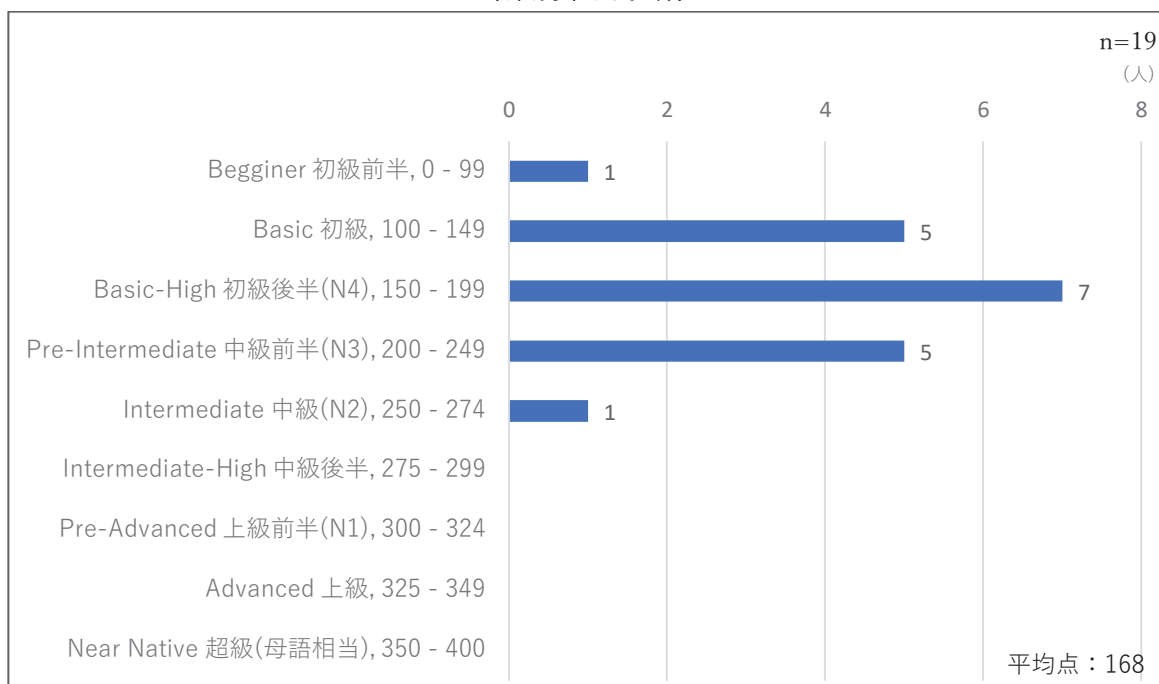
建設業従事者では 3 人のうち、初級後半 (N4・150-199 点) が 2 人、初級 (100-149 点) が 1 人である。

図表 1-7 J-CAT 合計得点 (400 点満点) と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(製造業従事者)



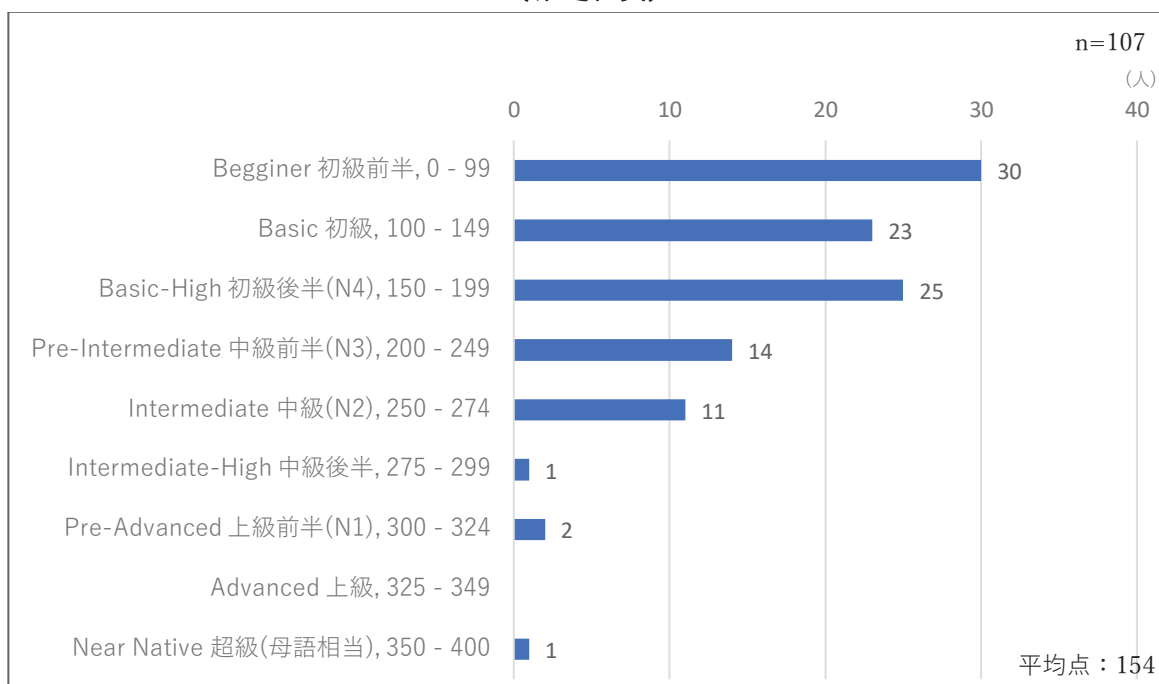
製造業従事者では 37 人のうち、初級後半 (N4・150-199 点) が 12 人、初級 (100-149 点) が 11 人、中級前半 (N3・200-249 点) が 10 人である。

図表 1-8 J-CAT 合計得点 (400 点満点) と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(介護業従事者)



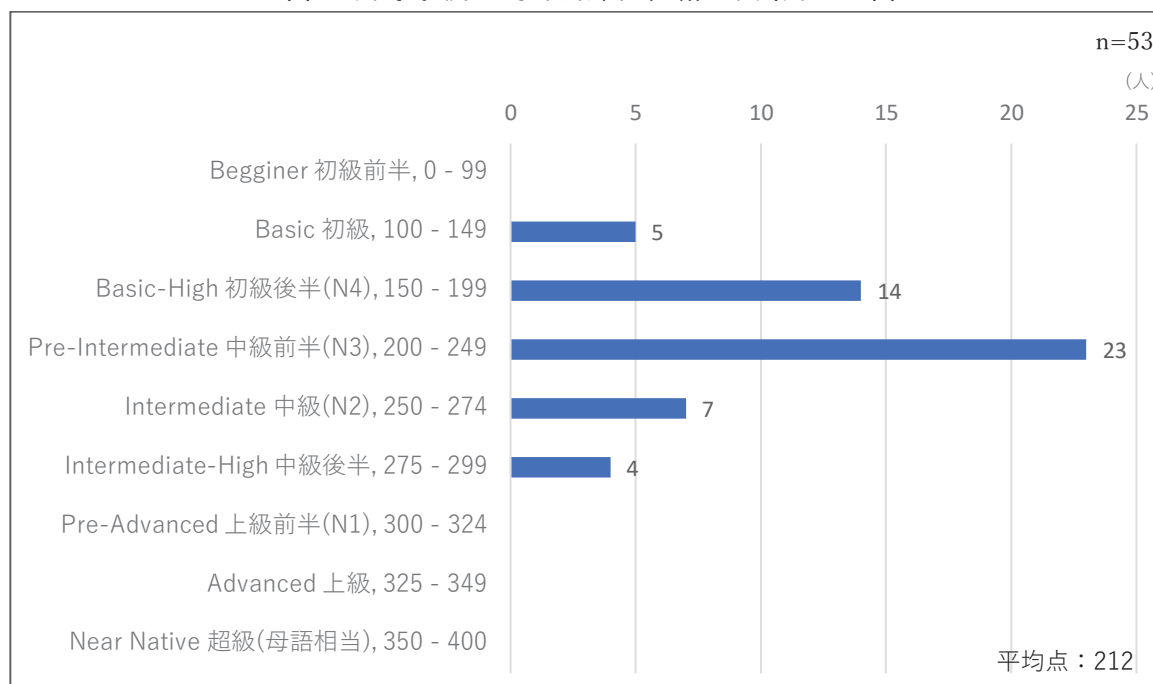
介護業従事者では 19 人のうち、初級後半 (N4・150-199 点) が 7 人、初級 (100-149 点) と中級前半 (N3・200-249 点) がそれぞれ 5 人である。

図表 1-9 J-CAT 合計得点 (400 点満点) と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(派遣社員)



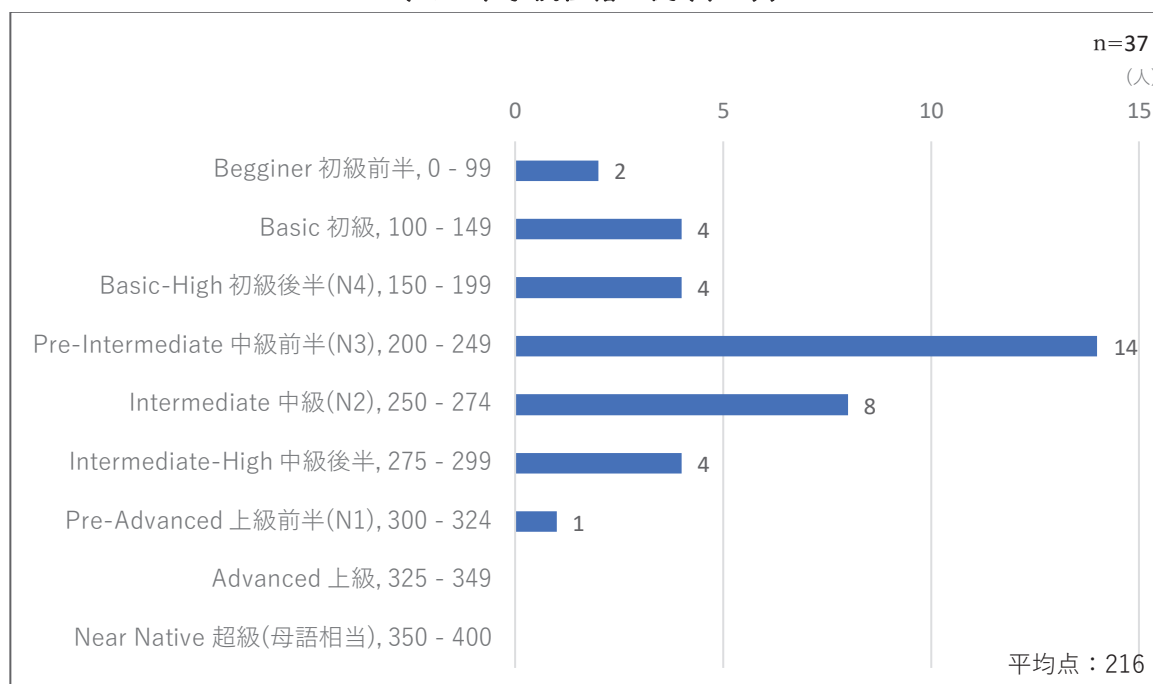
派遣社員では 107 人のうち、初級前半 (0-99 点) が最も多く 30 人を占めている。次に初級後半 (N4・150-199 点) が 25 人、初級 (100-149 点) が 23 人である。

図表 1-10 J-CAT 合計得点(400点満点)と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(県立高等学校の定時制課程在籍生徒(高1~4))



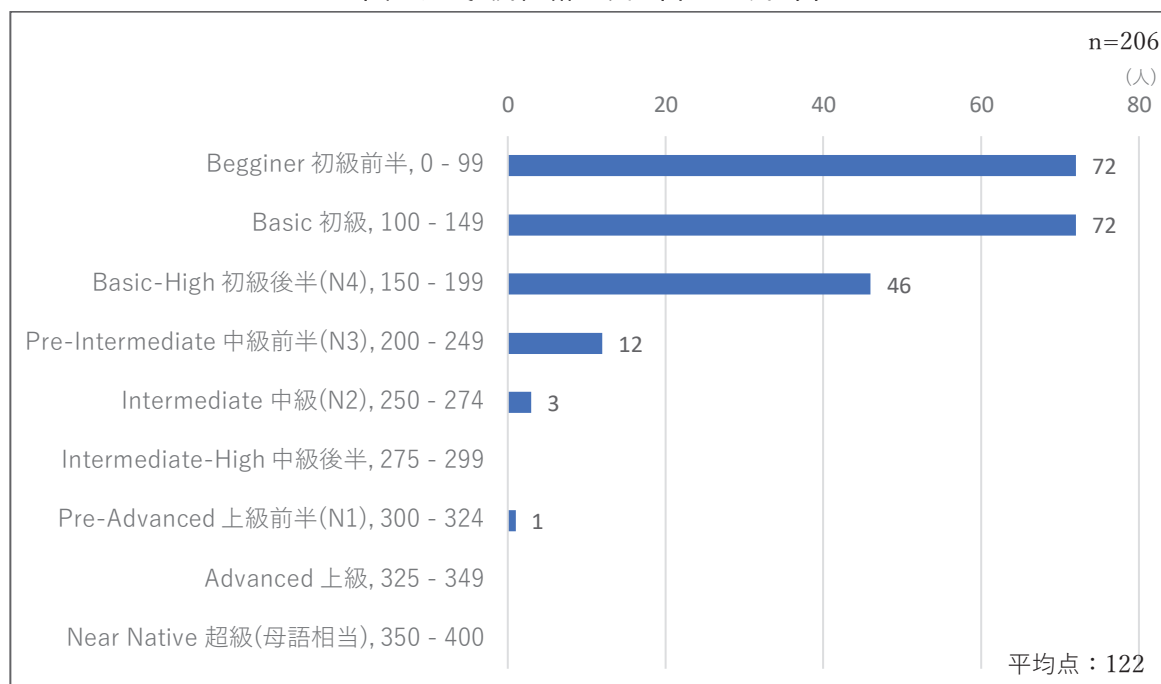
県立高等学校の定時制課程在籍生徒(高1~4)では53人のうち、中級前半(N3・200-249点)が最も多く23人を占めている。次に初級後半(N4・150-199点)が14人、中級(N2・250-274点)が7人である。

図表 1-11 J-CAT 合計得点(400点満点)と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(公立中学校在籍生徒(中3))



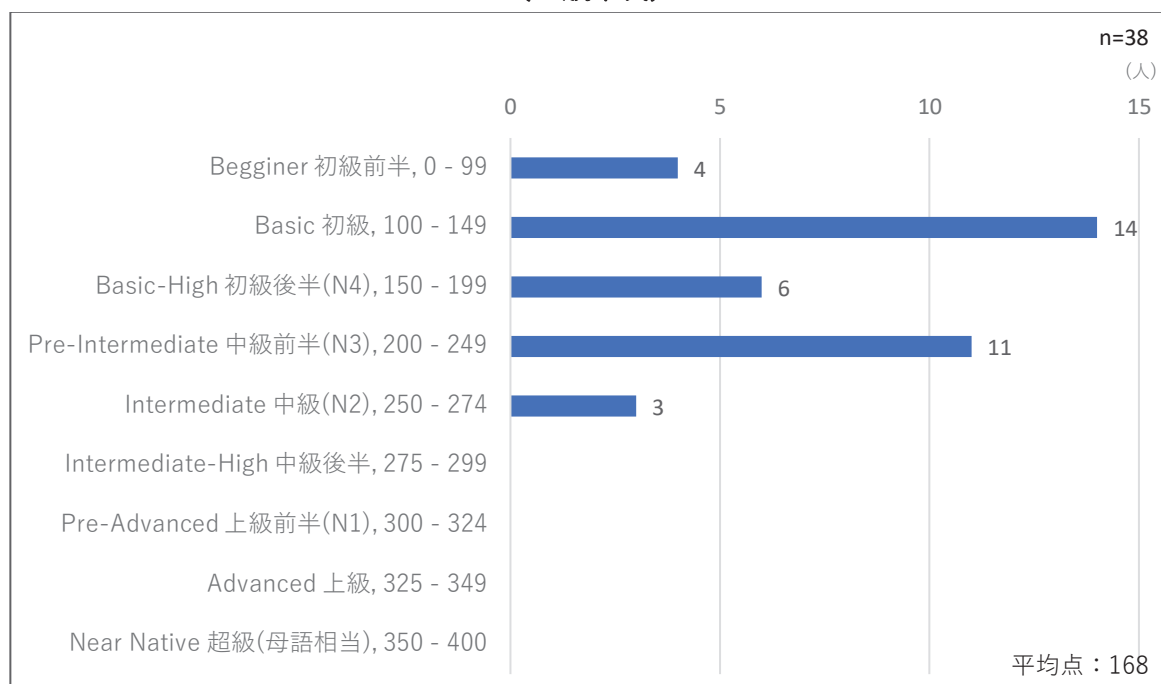
公立中学校在籍生徒(中3)では37人のうち、中級前半(N3・200-249点)が最も多く14人を占めている。次に中級(N2・250-274点)が8人である。初級(100-149点)・初級後半(N4・150-199点)・中級後半(275-299点)がそれぞれ4人である。

図表 1-12 J-CAT 合計得点(400 点満点)と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(外国人学校在籍生徒 (中 3~高 3))



外国人学校在籍生徒(中3~高3)では 206 人のうち、初級前半(0-99 点)と初級(100-149 点)が最も多くそれぞれ 72 人を占めている。次に初級後半(N4・150-199 点)が 46 人である。

図表 1-13 J-CAT 合計得点(400 点満点)と JLPT 日本語能力試験との互換グラフ
(一般市民)



一般市民では 38 人のうち、初級(100-149 点)が最も多く 14 人を占めている。次に中級前半(N3・200-249 点)が 11 人、初級後半(N4・150-199 点)が 6 人である。

3 J-CAT 合計得点と CEFR(ヨーロッパ共通言語参照枠)との互換グラフ

J-CAT は聴解、文字・語彙、文法、読解の4つのセクションから構成されており、それぞれ 100 点満点で、計 400 満点である。インターネット上で試験を受け、試験終了時点で各セクションの得点が見える。

J-CAT は、ウェブサイト内にてCEFRとの互換表を提示している【図表 1-14】。

図表 1-14 スコア互換表 (CEFR)

J-CAT	CEFR
175-	A2
225-	B1
275-	B2
325-	C1

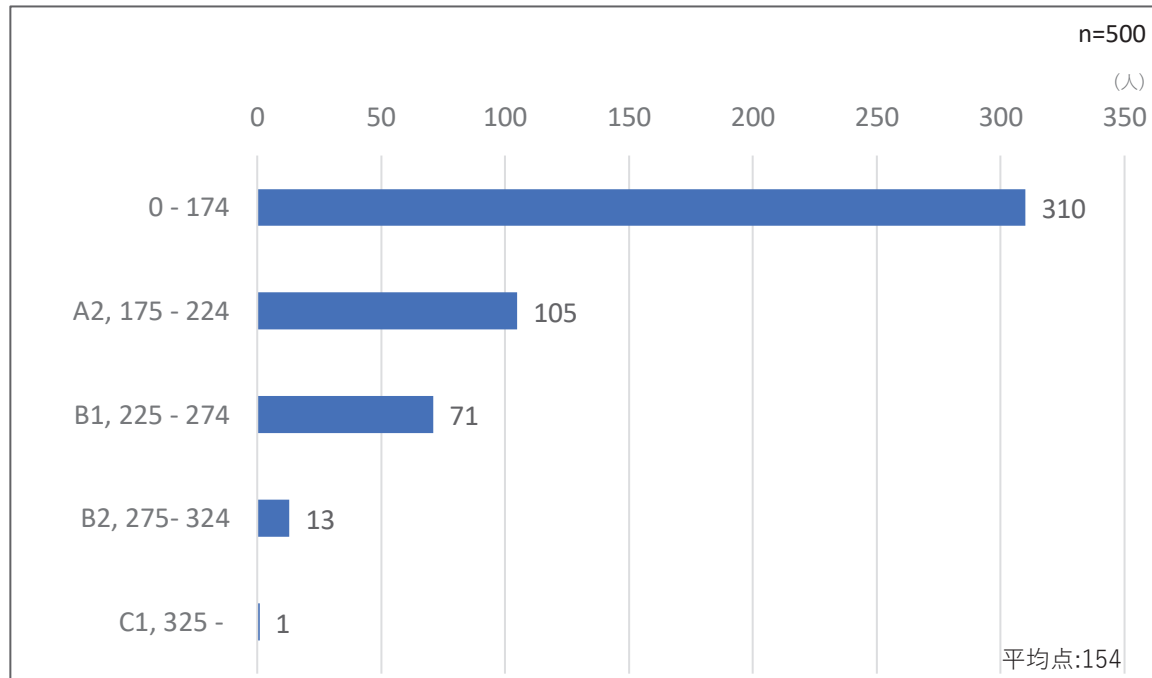
(当社の試験の専門家グループによるベンチマーク方式により判定)

J-CAT175点以上取得者はCEFRのA2以上に相当する。

※表と注釈は、J-CAT (<https://www.j-cat2.org/html/ja/pages/interpret.html>) から転載

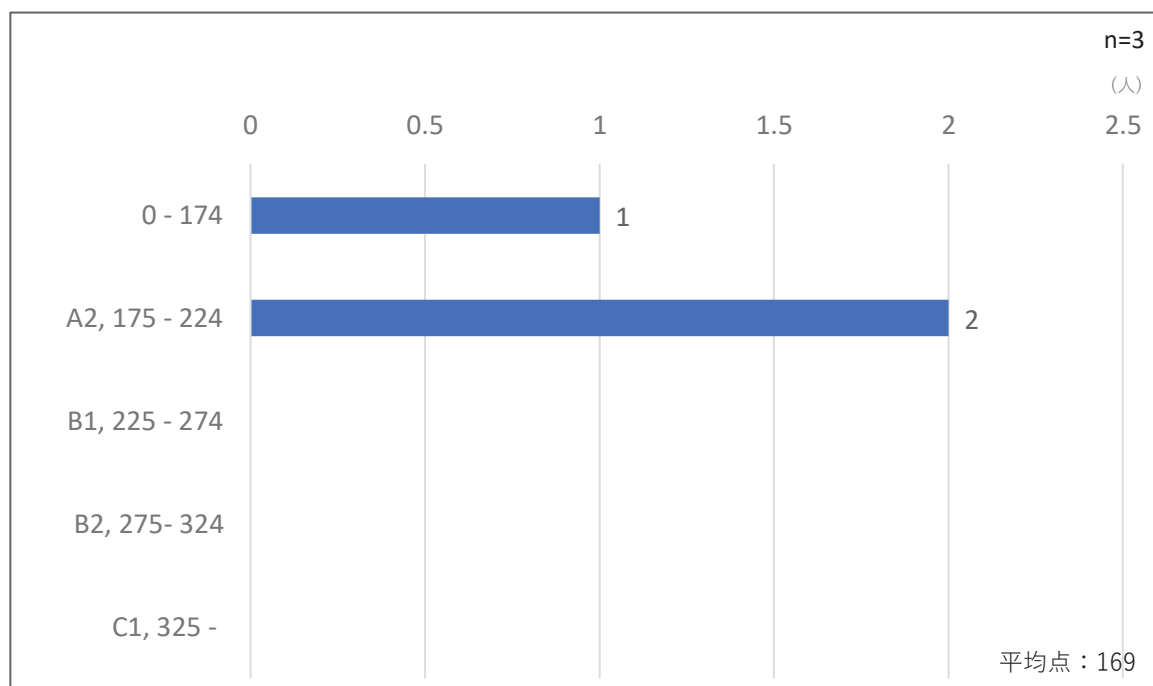
以下、図表 1-15~23 にて、J-CATの合計得点とCEFRとの互換グラフを掲載する。

図表 1-15 J-CAT 合計(400点満点)得点と CEFRとの互換グラフ(全被験者)



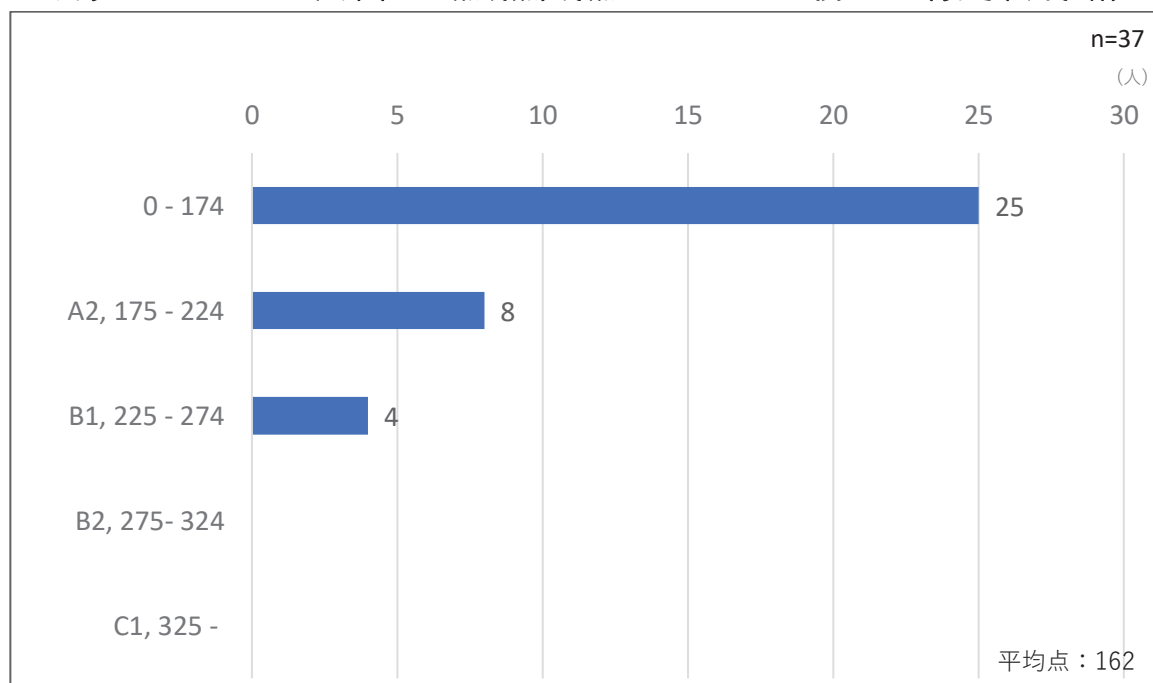
全被験者については(0-174点)が500人中310人と最多であり、次いで(A2,175-224点)が105人、(B1,225-274点)が71人である。

図表 I-16 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ(建設業従事者)



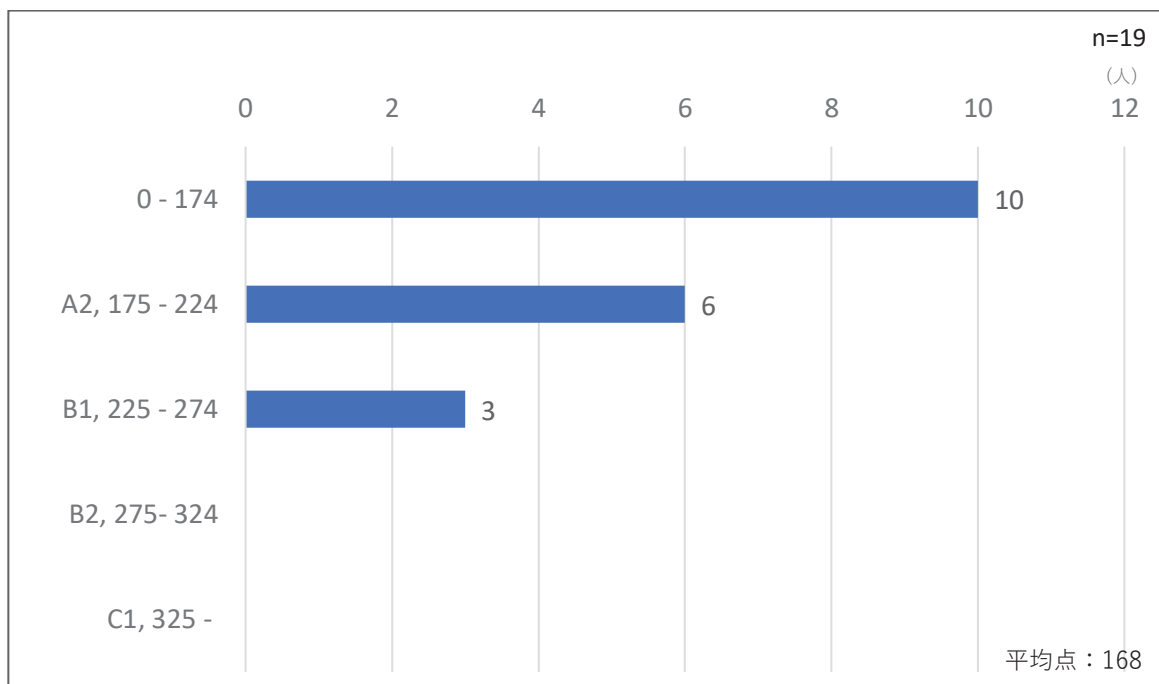
建設業従事者については(0-174 点)が1人、(A2,175-224 点)が2人であった。

図表 I-17 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ(製造業従事者)



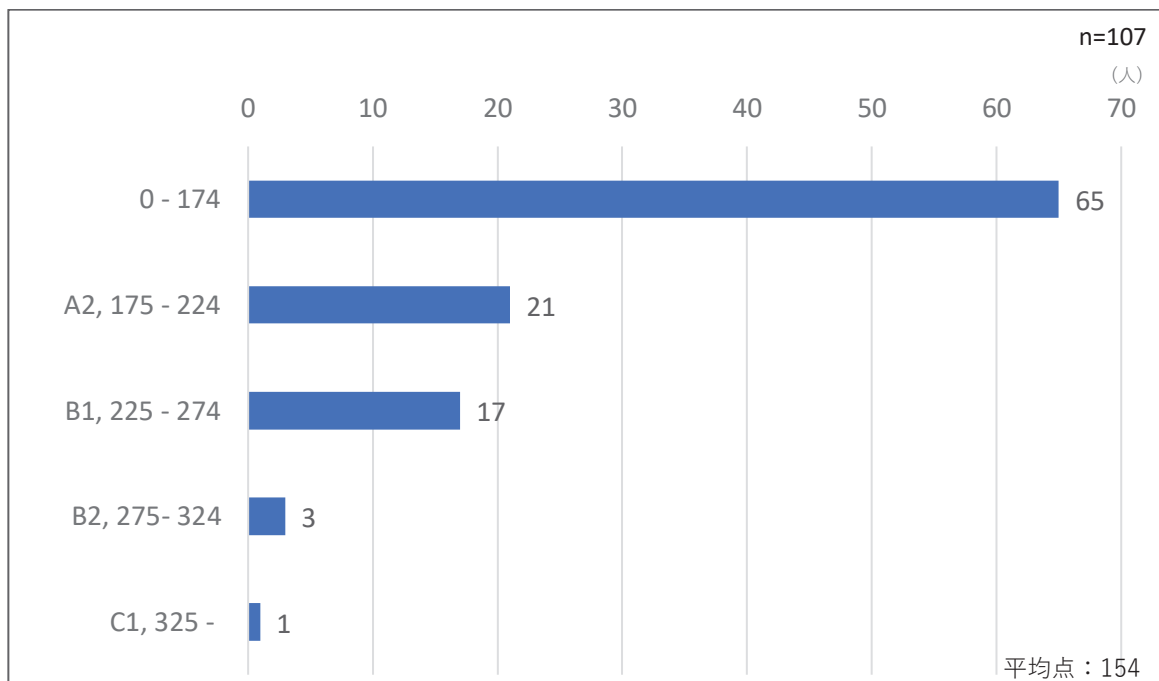
製造業従事者については(0-174 点)が 37 人中 25 人で最も多く、(A2,175-224 点)が 8 人、(B1,225-274 点)が 4 人である。

図表 I-18 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ(介護業従事者)



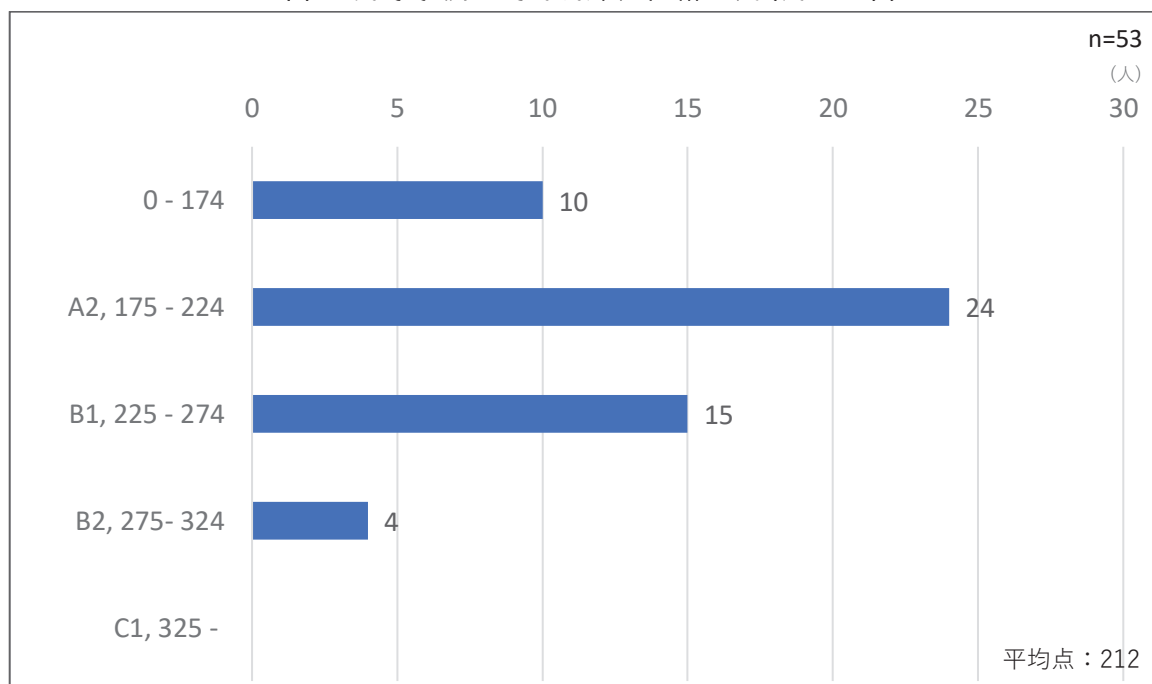
介護業従事者については(0-174 点)が 10 人、(A2,175-224 点)が 6 人、(B1,225-274 点)が 3 人である。

図表 I-19 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ(派遣社員)



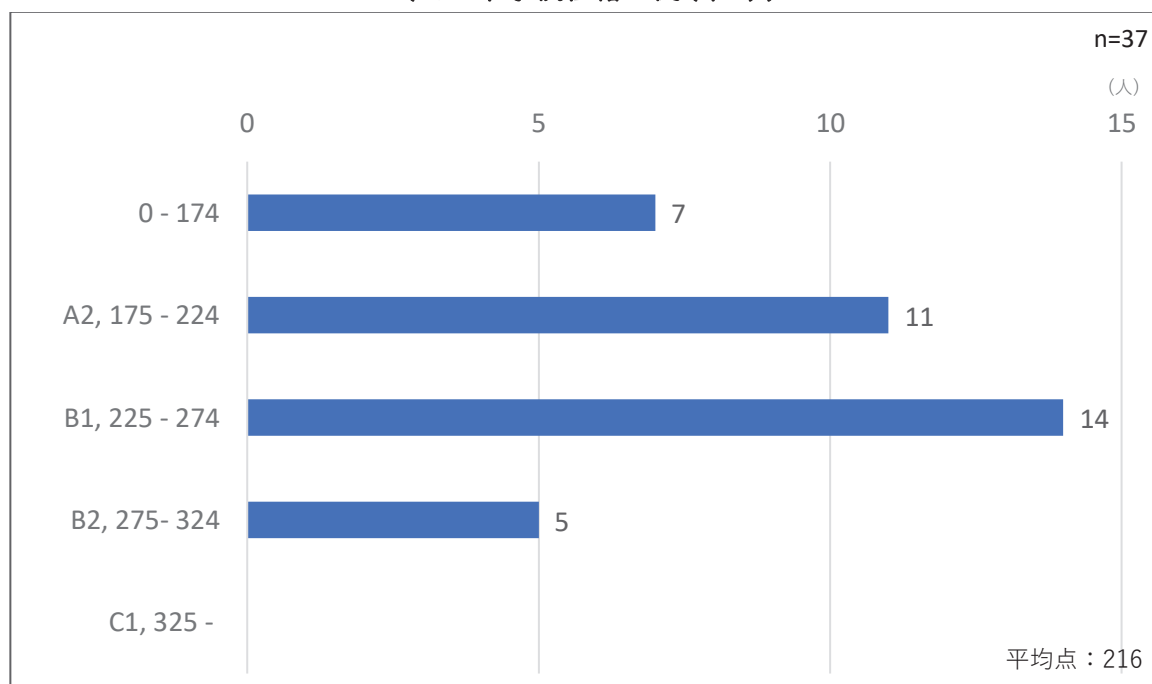
派遣社員については(0-174 点)が 65 人と最多であり、(A2,175-224 点)が 21 人、(B1,225-274 点)が 17 人である。

図表 1-20 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ
(県立高等学校の定時制課程在籍生徒(高1~4))



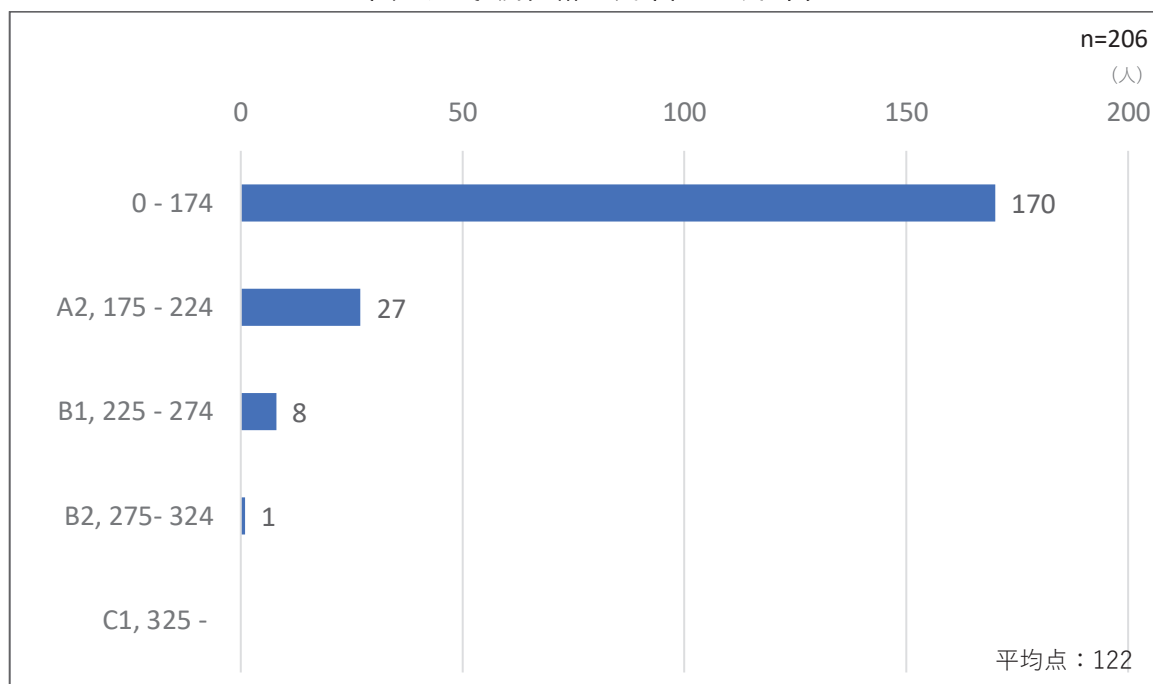
県立高等学校の定時制課程在籍生徒(高1~4)については、(A2,175-224 点)が 53 人中 24 人で最多となり、次いで(B1,225-274 点)が 15 人、(0-174 点)が 10 人である。

図表 1-21 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ
(公立中学校在籍生徒(中3))



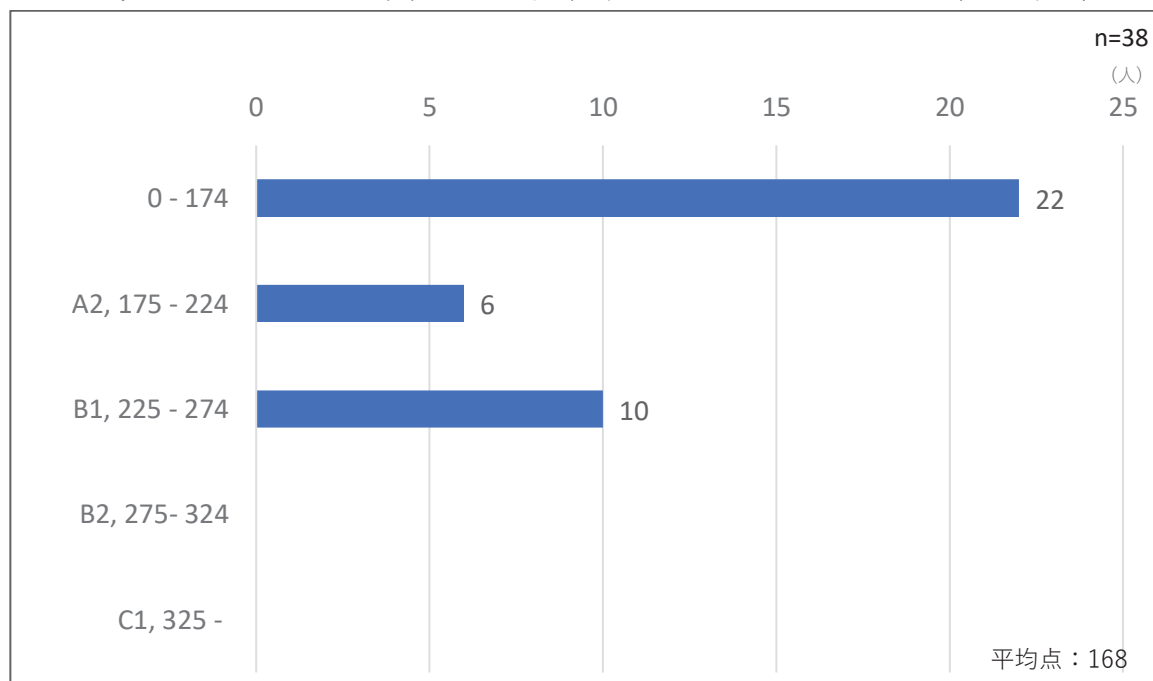
公立中学校在籍生徒(中3)については(0-174 点)が7人、(A2,175-224 点)が11人、(B1,225-274 点)が14人である。

図表 I-22 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ
(外国人学校在籍生徒(中 3~高3))



外国人学校在籍生徒(中3~高3)については、(0-174 点)が 200 人中 170 人を占め、(A2,175-224 点)は 27 人、(B1,225-274 点)は 8 人である。

図表 I-23 J-CAT 合計(400 点満点) 得点と CEFR との互換グラフ(一般市民)



一般市民については、(0-174 点)が 22 人であり、(A2,175-224 点)が 6 人、(B1,225-274 点)が 10 人であった。

第2章 日本語使用状況調査の分析

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査の目的は、浜松市内に在住・在勤・在学する外国人の日本語使用状況の実態を把握し、今後の日本語学習支援の充実に資することである。

(2) 調査の実施概要

- 調査地域：浜松市内
- 調査方法：J-CAT (Japanese Computerized Adaptive Test) を終えた被験者に、アンケート調査への協力を依頼。9言語の中から好きな言語の QR コードを読み取ってもらい、アンケートに答えてもらう。アンケートは Google フォームを利用したため、アンケート協力者は、テストで用いた iPad を引き続き使用した。会場には (公財) 浜松国際交流協会職員が待機し、動作確認等の支援を行った。
- 使用言語：9言語 (日本語、やさしい日本語、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語、中国語、スペイン語、インドネシア語、英語)

図表 2-1 日本語使用状況調査協力者の内訳

調査協力者：		
①	一般市民	36人
②	建設業従事者	3人
②	製造業従事者	37人
②	介護業従事者	19人
②	派遣社員	105人
②	県立高等学校定時制の課程在籍生徒 (高1~高4)	47人
②	市立中学校在籍生徒 (中3)	37人
②	外国人学校在籍生徒 (中3~高3)	205人
		合計 489人

- 調査期間：2022年4月26日~2023年2月6日
- 調査の実施体制：
 - 調査実施責任者：公益財団法人浜松国際交流協会 (HICE)
 - 集計・分析協力者：静岡大学准教授 藤岡 伸明、静岡大学准教授 李 皓

図表 2-2 日本語使用状況調査協力者による回答結果

調査票の回答結果：	依頼数	有効回答数	有効回答率
	500	489	97.8%

第 2 章 日本語使用状況調査の分析

■ 質問項目:

以下の先行調査で使用された質問項目を参考にアンケートを作成した。

- ・浜松市外国人学習支援センターでの予備調査質問項目
- ・文化庁日本語教育に関する調査の共通利用項目
- ・浜松市における外国人市民の意識実態調査質問項目
- ・「生活のための日本語:浜松調査」結果報告<速報版>2011年3月25日刊行(国立国語研究所「生活のための日本語」研究グループ)

➤ 基本属性

【受験番号】【性別】【年齢】【国籍】【在留資格】【雇用形態】【業種】

➤ 日本滞在について

【初来日の年】【日本での通算滞在期間】【今後の日本での滞在予定】【浜松市に住む理由】

➤ 日本語について

【来日時の日本語レベル】【日本語学習歴】【現在の日本語レベル】【将来なりたい日本語レベル】

【一週間の日本語学習時間】【日本語の位置づけとその理由】【日本語学習に関する悩みや不安】

【希望する日本語教室】【日本語が上手になったらしたいこと】

➤ 日本での生活や言語使用状況について

【日本人の友人の有無】【日本人の友人の割合】【日本語を使う場面】【家庭内の使用言語】

【第一言語】

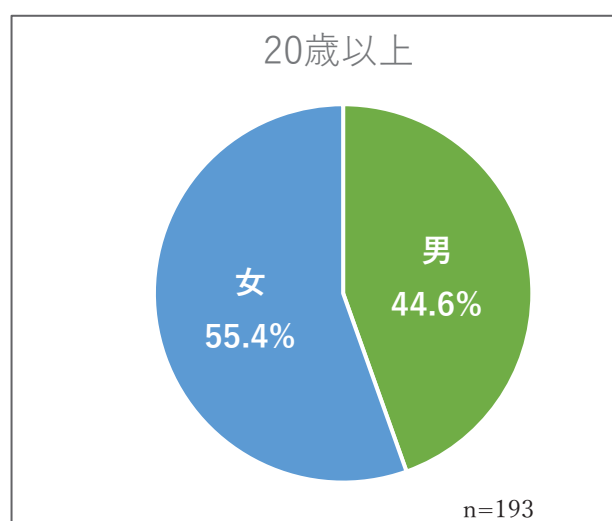
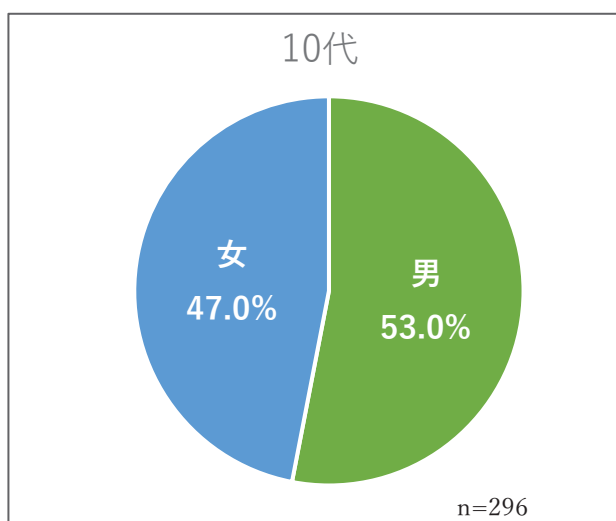
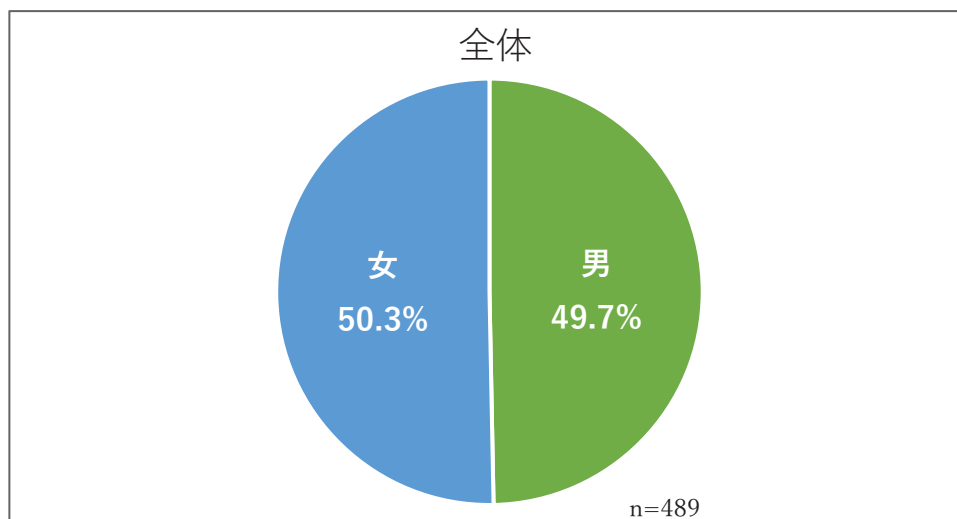
➤ その他

【自由コメント】

2 アンケートの結果(問1~25)

問1 性別(一つだけ選択)

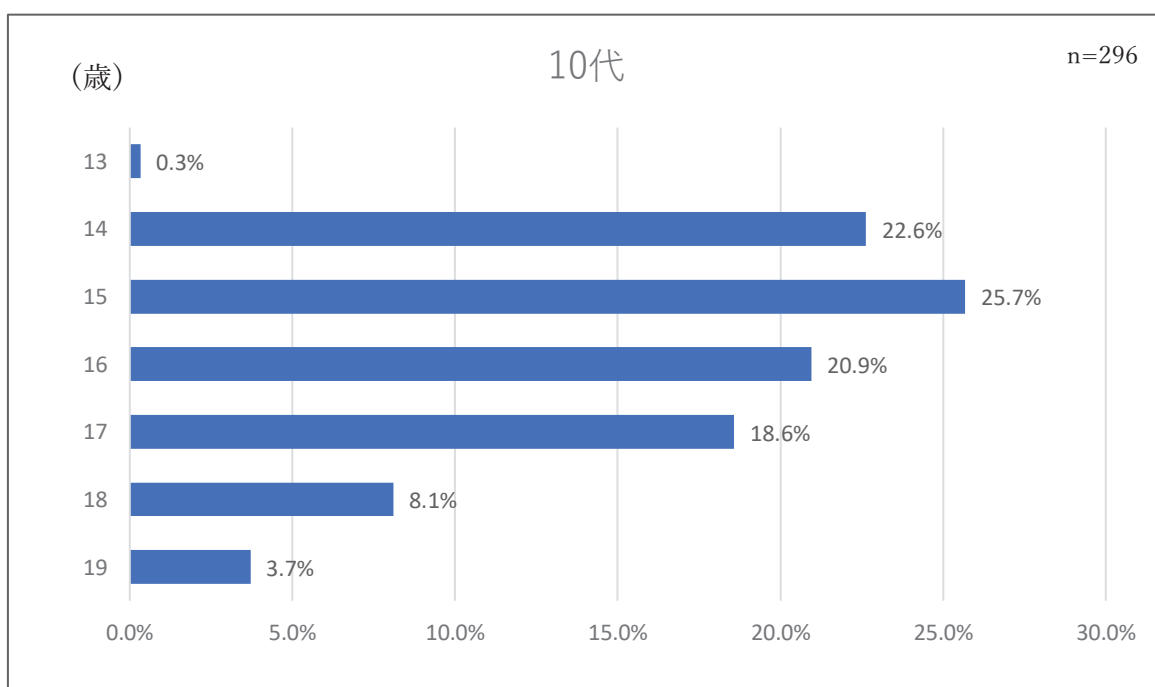
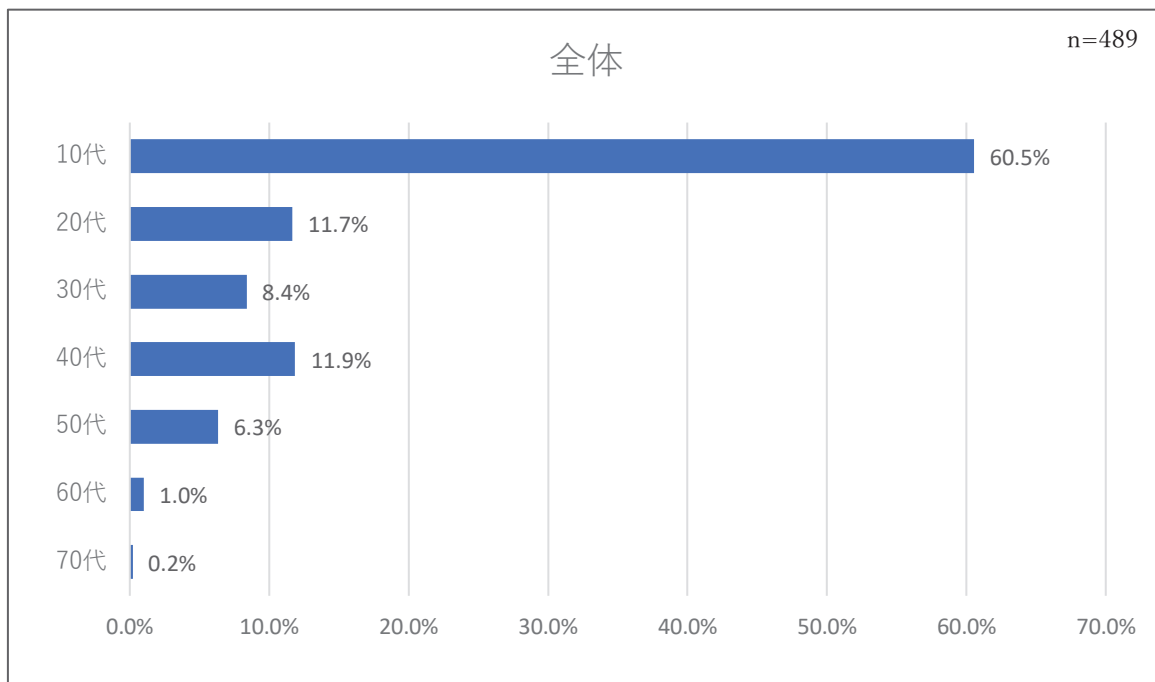
図表 2-3 性別(全体、10代、20歳以上)

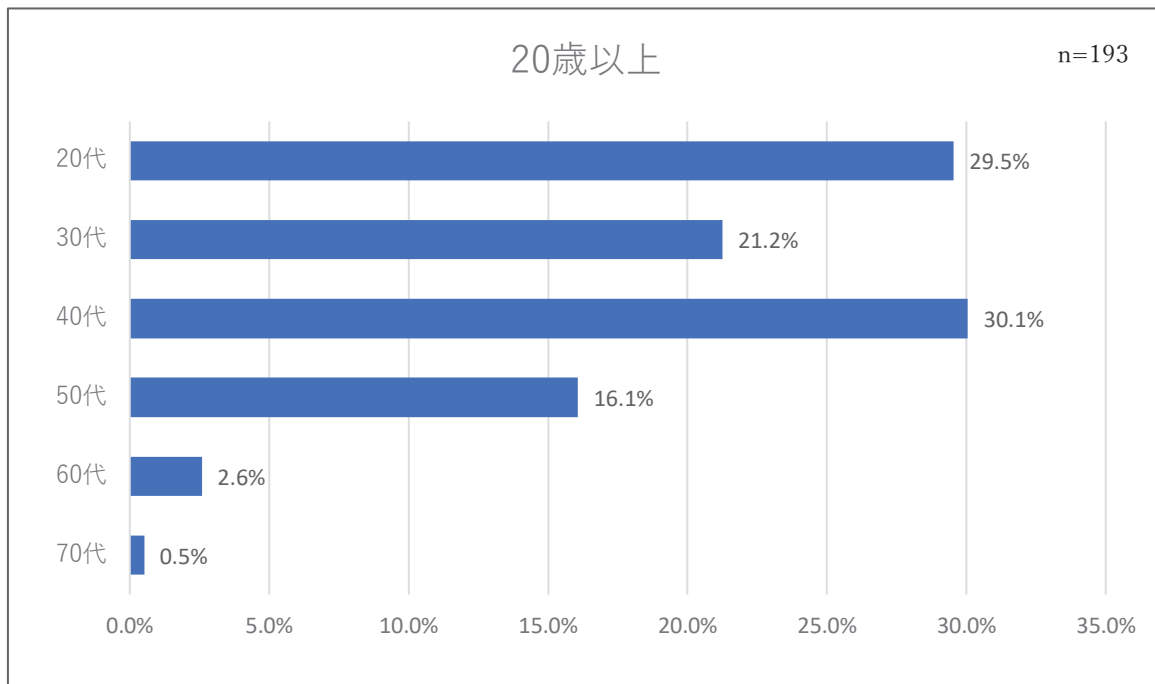


性別について、全体では、男性が49.7%、女性が50.3%であった。そのうち10代では、男性が53.0%、女性は47.0%であった。20歳以上では、男性が44.6%、女性が55.4%であった。

問 2 年齢(自由記述)

図表 2-4 年齢(全体、10代、20歳以上)



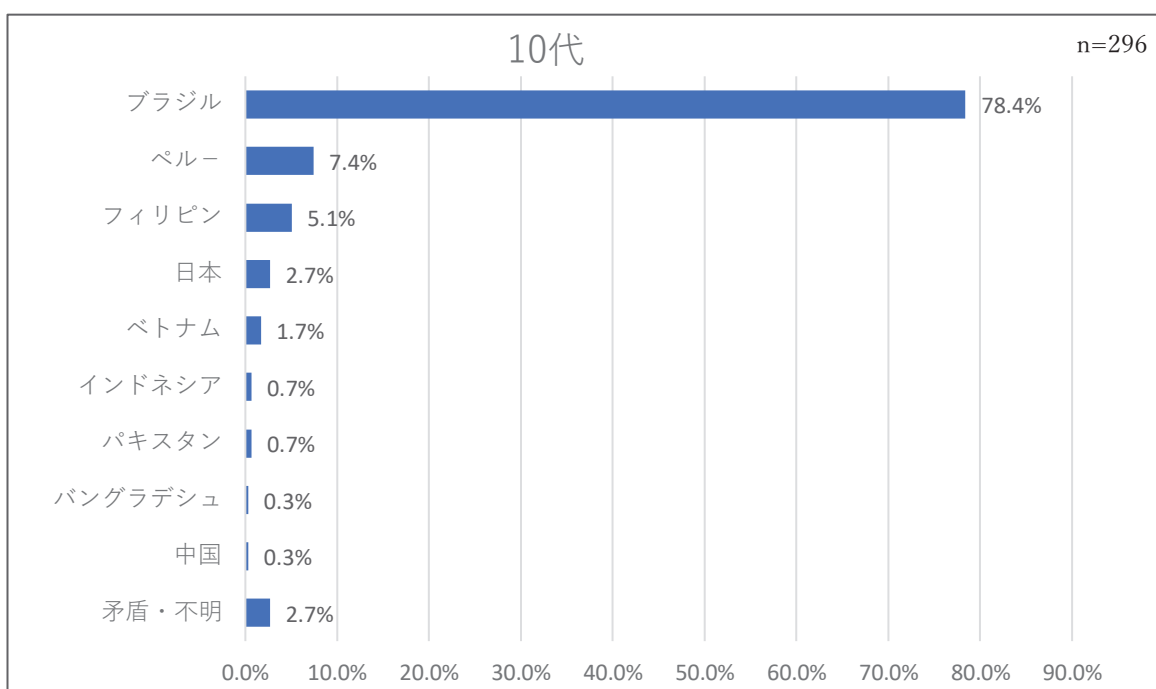
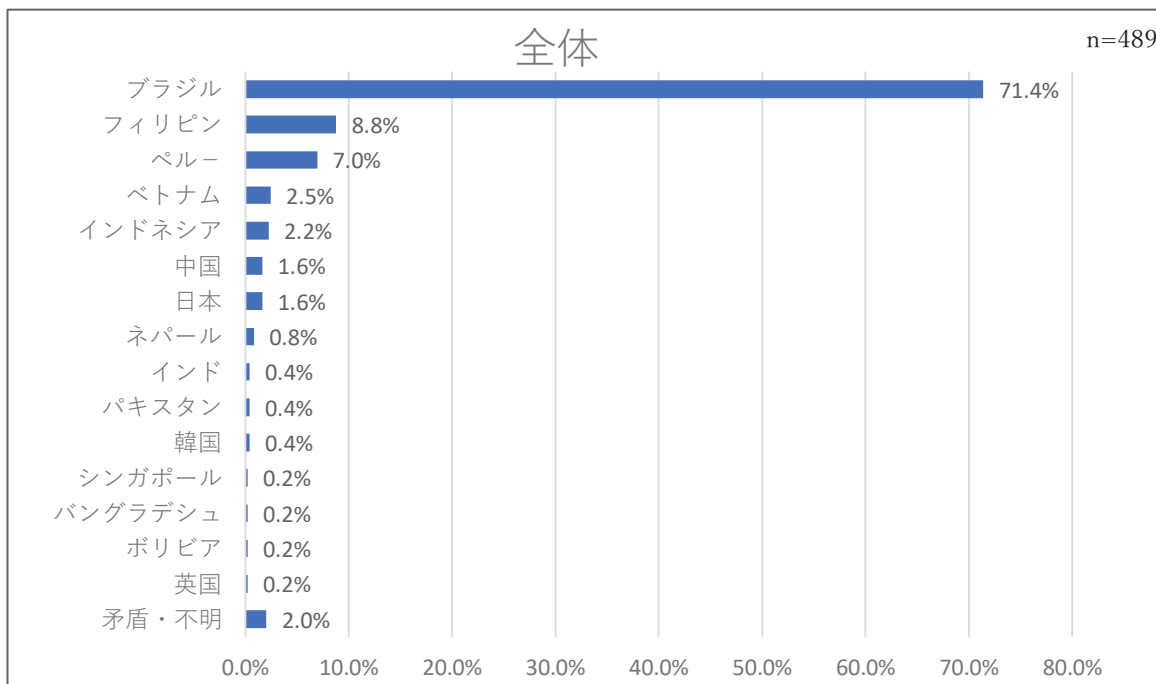


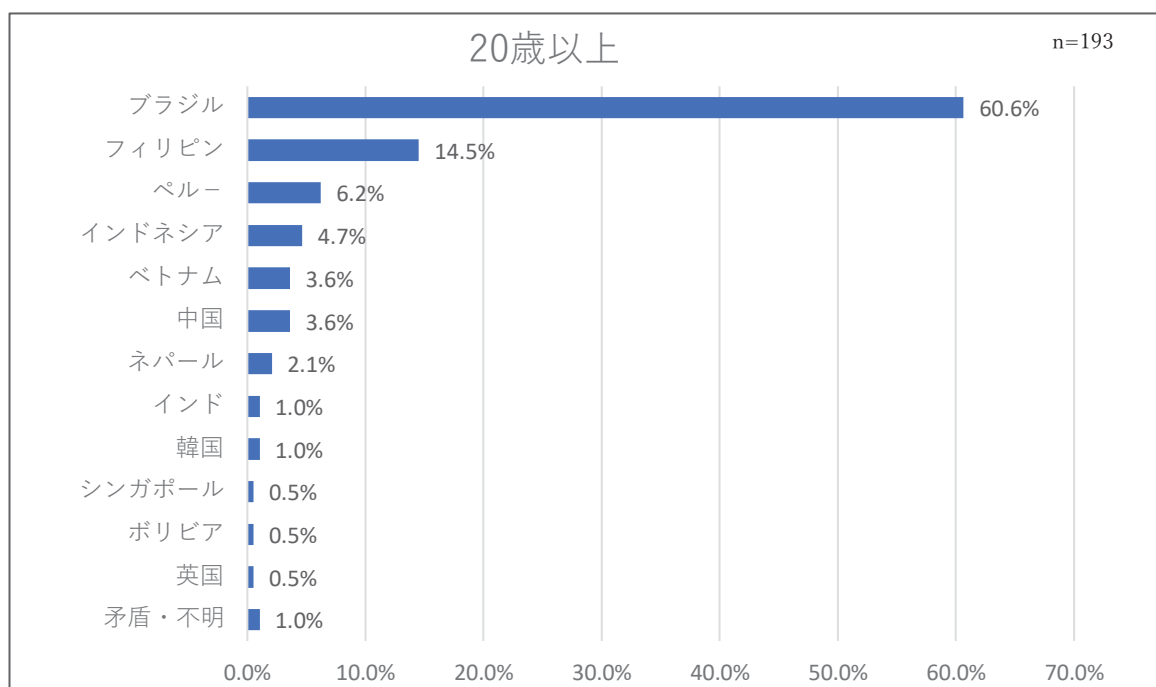
年齢は10代が最も多く全体の60.5%を占めている。次に40代が11.9%、20代が11.7%である。10代では、15歳が最も多く全体の25.7%を占めている。次に14歳が22.6%、16歳が20.9%、17歳が18.6%である。

20歳以上では、40代が最も多く全体の30.1%を占めている。次に20代が29.5%、30代が21.2%、50代が16.1%である。

問3 国籍(自由記述)

図表 2-5 国籍(全体、10代、20歳以上)





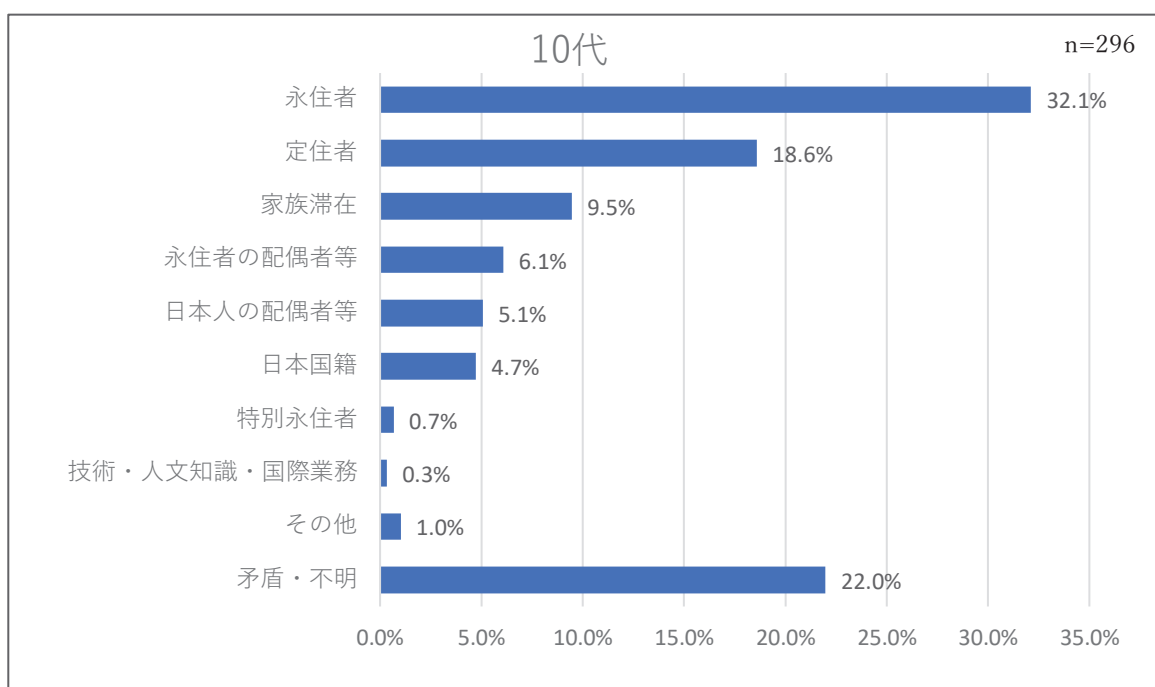
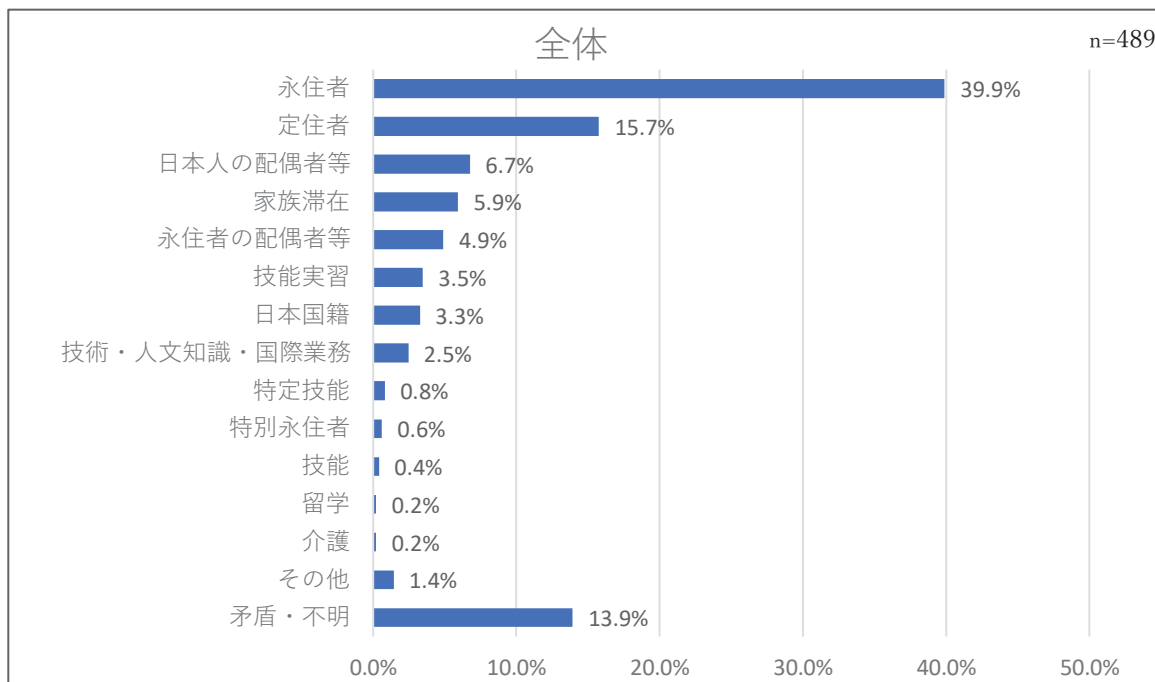
出身は、ブラジルが最も多く全体の71.4%を占めている。次にフィリピンが8.8%、ペルーが7.0%である。

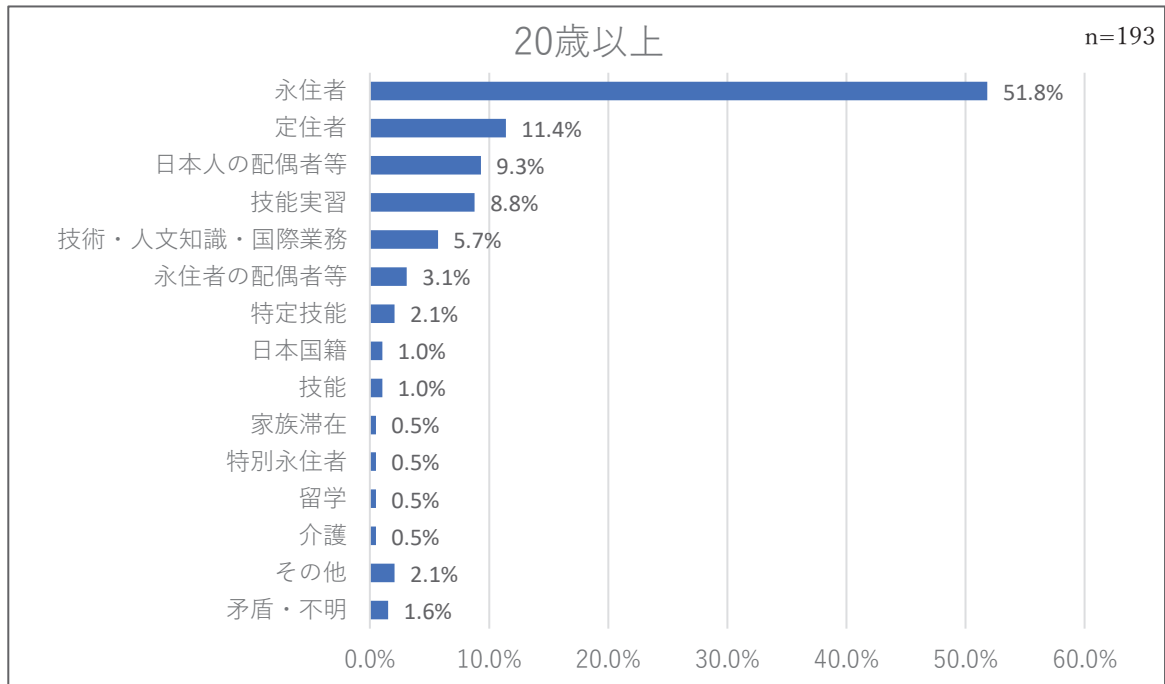
10代では、同様にブラジルが最も多く全体の78.4%を占めている。次にペルーが7.4%、フィリピンが5.1%である。日本は2.7%である。

20歳以上では、ブラジルが最も多く全体の60.6%を占めている。次にフィリピンが14.5%、ペルーが6.2%である。

問 4 在留資格(一つだけ選択)

図表 2-6 在留資格(全体、10代、20歳以上)





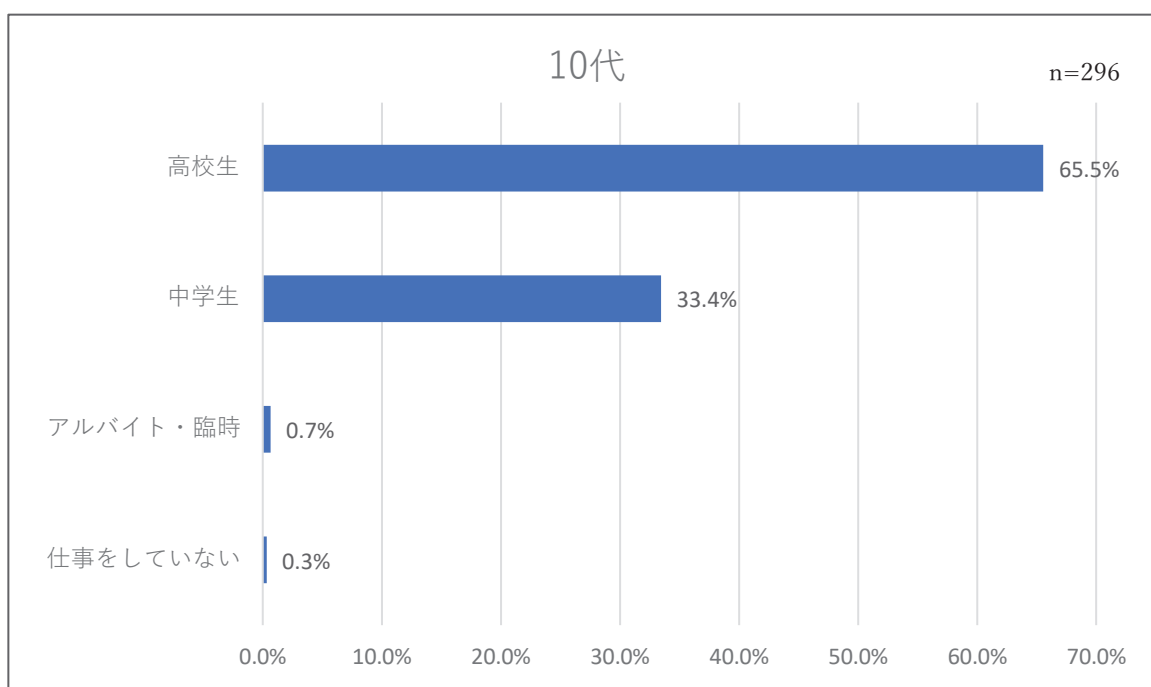
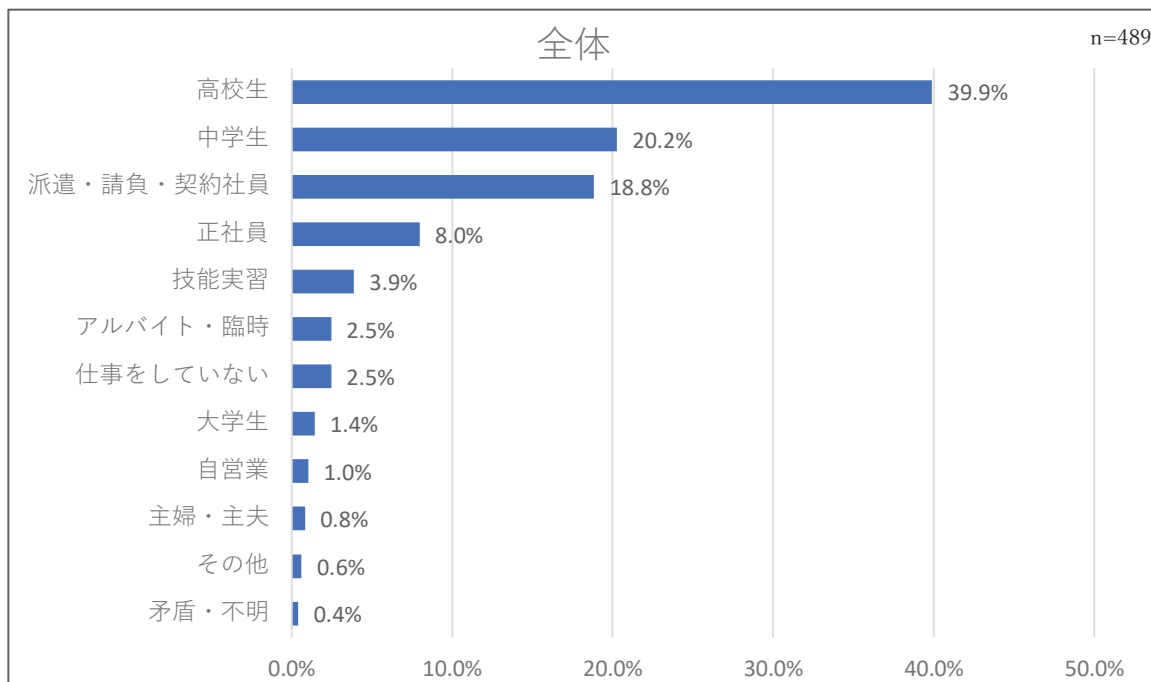
在留資格については、永住者が最も多く全体の39.9%を占めている。次に定住者が15.7%、日本人の配偶者等が6.7%である。

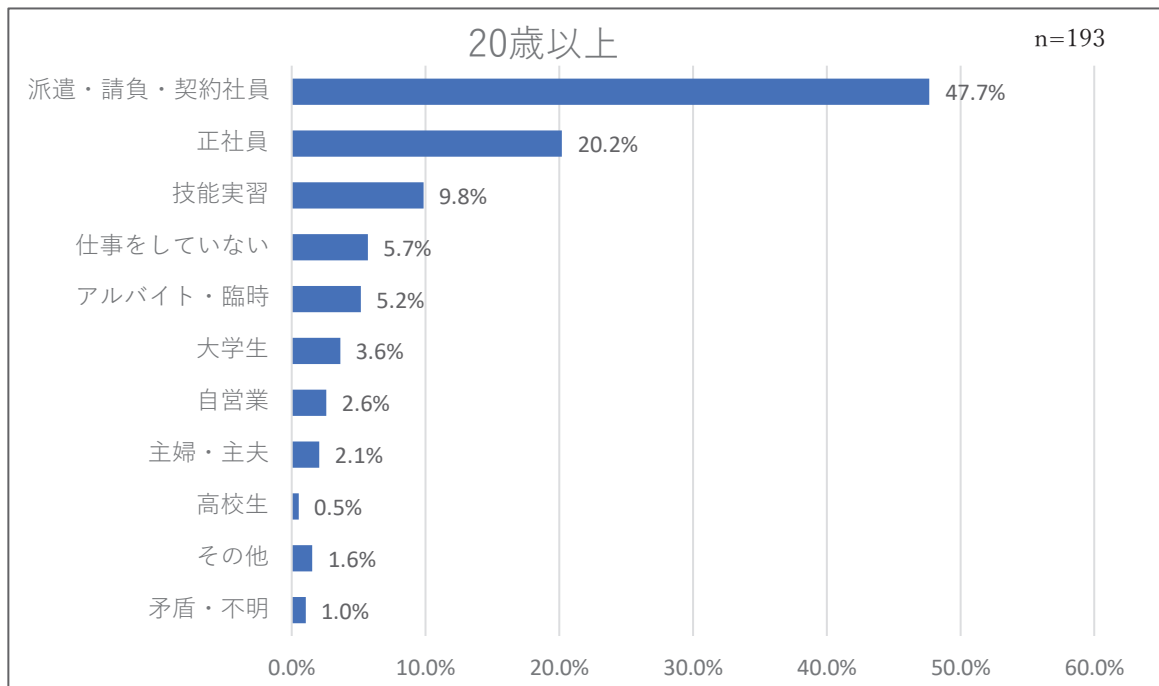
10代では、永住者が最も多く全体の32.1%を占めている。次に定住者が18.6%、家族滞在が9.5%である。

20歳以上では、永住者が最も多く全体の51.8%を占めている。次に定住者が11.4%、日本人の配偶者等が9.3%である。

問5 あなたの仕事は、次のどれにあたりますか。(一つだけ選択)

図表 2-7 雇用形態(全体、10代、20歳以上)





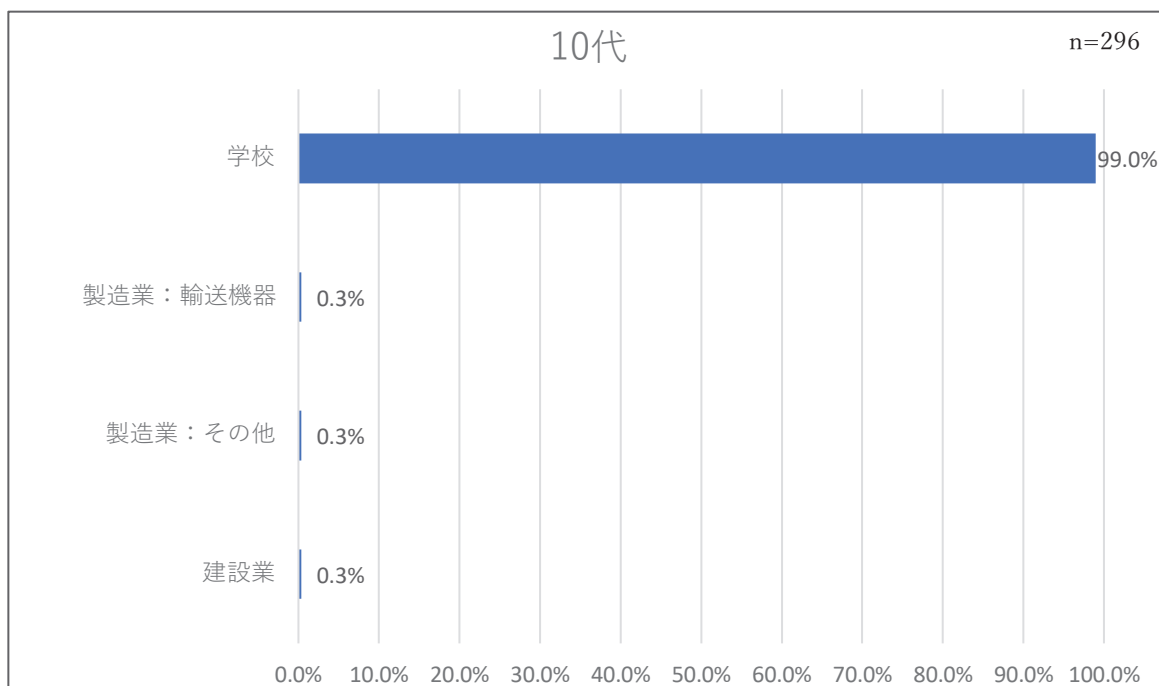
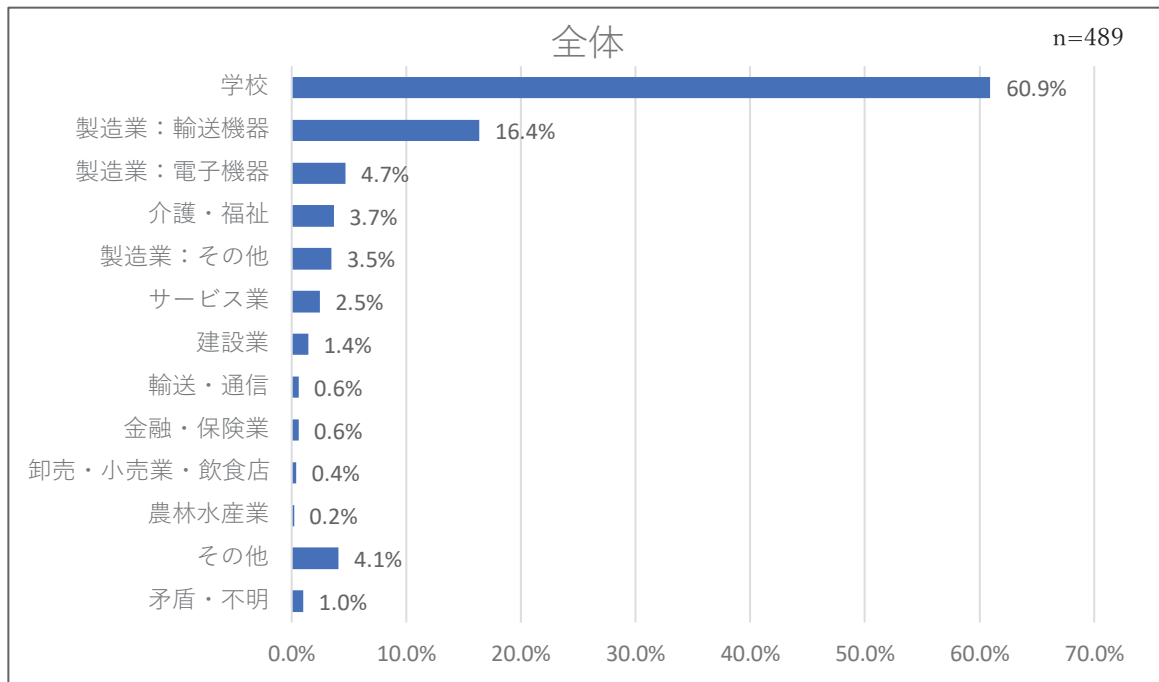
仕事について、全体では、高校生が最も多く全体の 39.9%を占めている。次に中学生が 20.2%、派遣・請負・契約社員が 18.8%である。

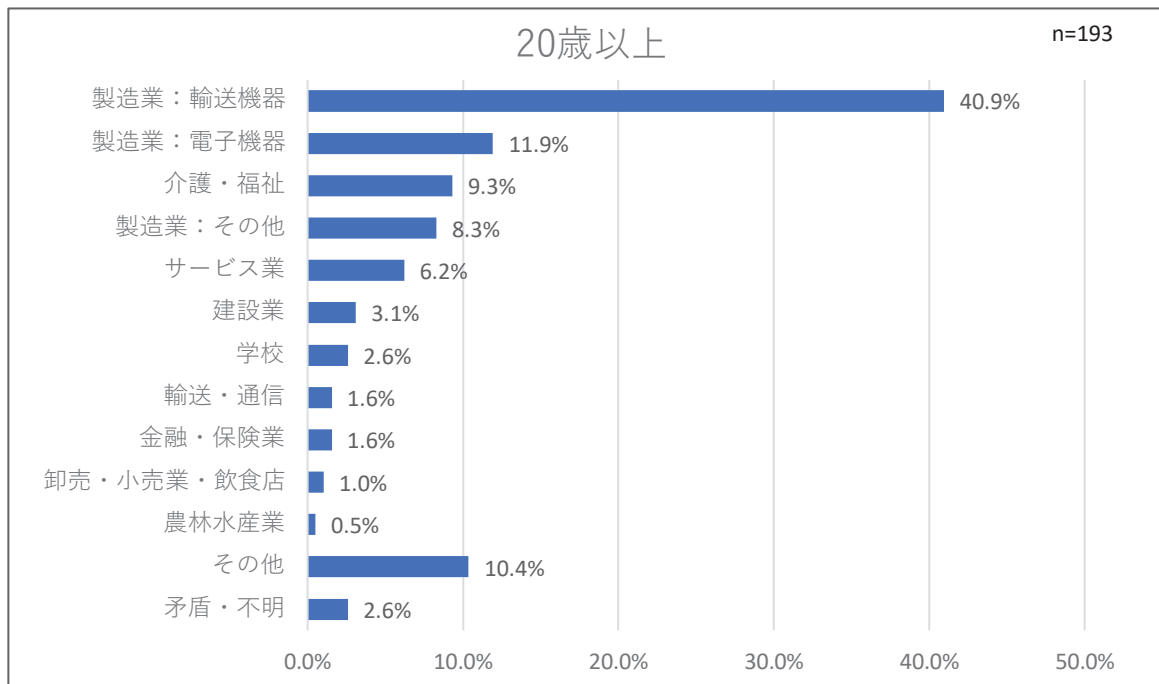
10代は、高校生が 65.5%、中学生が 33.4%である。

20歳以上では、派遣・請負・契約社員が最も多く全体の 47.7%を占めている。次に正社員が 20.2%、技能実習生が 9.8%である。

問6 働いている会社の種類は、次のどれにあたりますか。(一つだけ選択)

図表 2-8 業種(全体、10代、20歳以上)





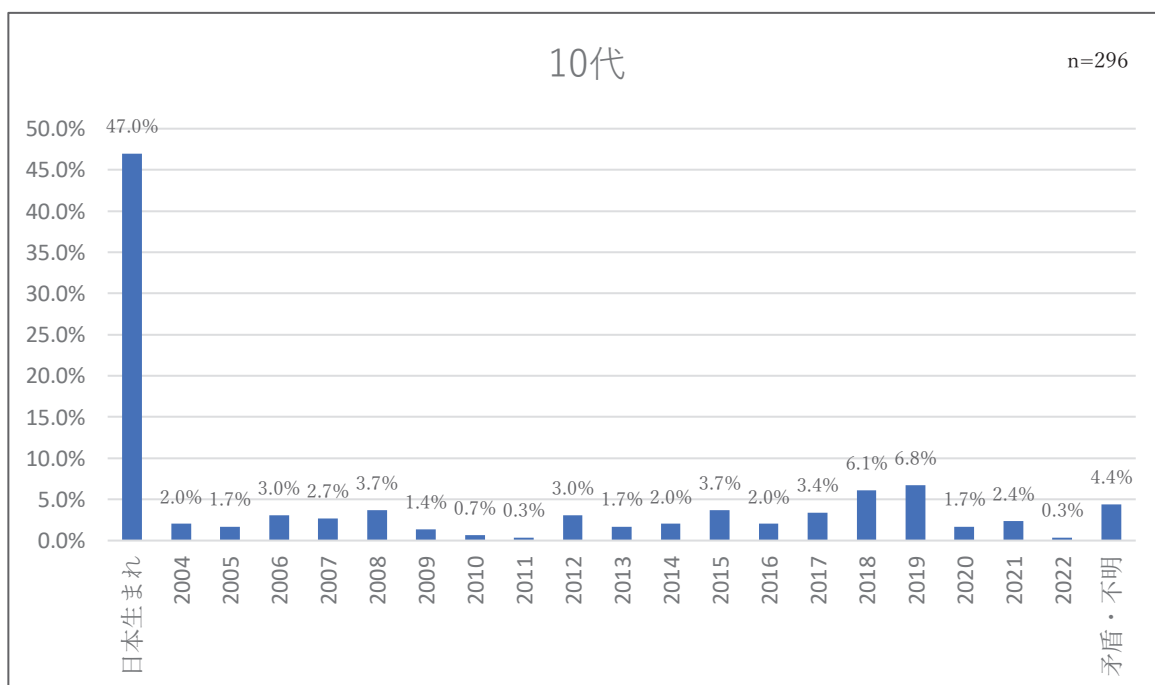
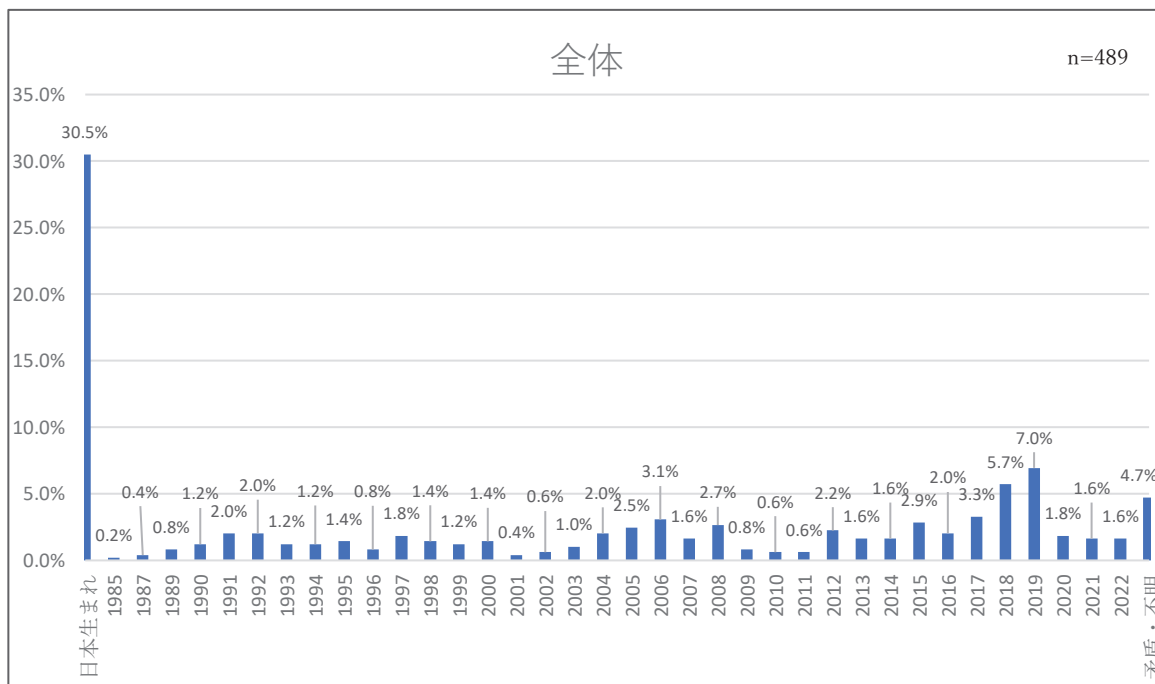
会社の種類は、全体では、学校が最も多く全体の 60.9%を占めている。次に製造業（輸送機器）が 16.4%、製造業（電子機器）が 4.7%である。

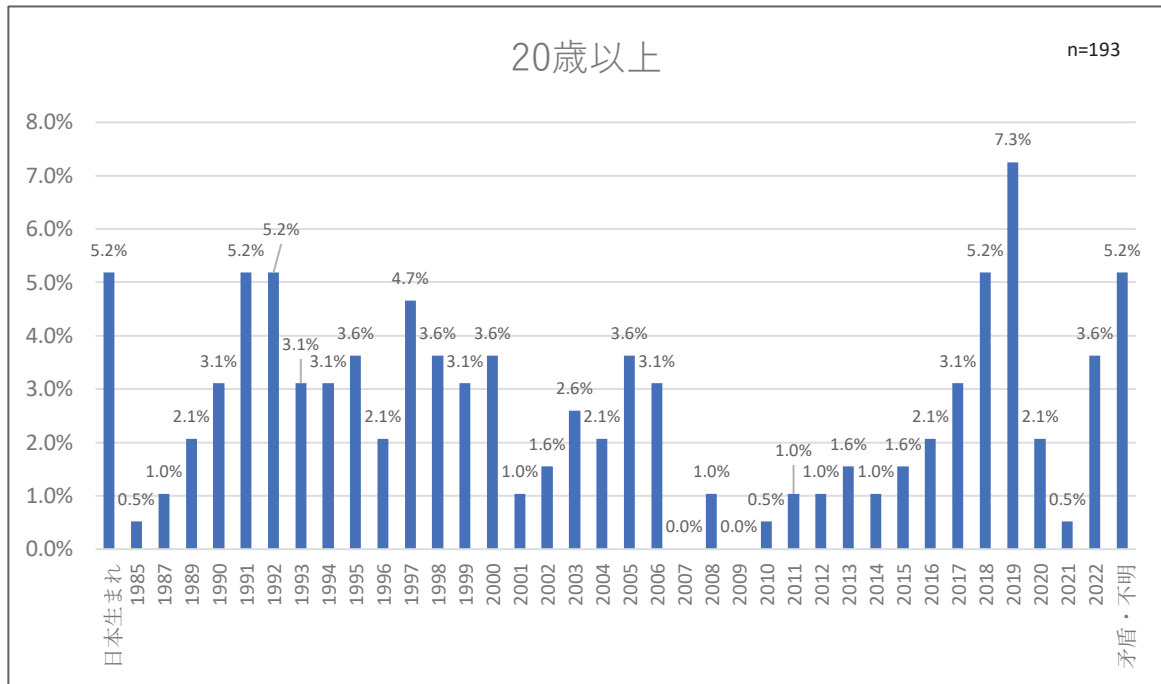
10代は、学校が 99.0%である。

20歳以上では、製造業（輸送機器）が最も多く全体の 40.9%を占めている。次に製造業（電子機器）が 11.9%、介護・福祉が 9.3%である。

問 7 あなたが初めて日本に来たのは何年ですか。日本生まれの人は、日本生まれと書いてください。
 (自由記述)

図表 2-9 初来日の年(全体、10代、20歳以上)





初来日の時期について、全体では、日本生まれが最も多く全体の 30.5%を占めている。次に 2019 年が 7.0%、2018 年が 5.7%である。

10 代では、日本生まれが最も多く全体の 47.0%を占めている。次に 2019 年が 6.8%、2018 年が 6.1%である。

20 歳以上では、2019 年が最も多く全体の 7.3%を占めている。次に日本生まれ、1991 年、1992 年、2018 年、その他(矛盾・不明)がそれぞれ 5.2%である。

問 7-1 来日時の推定年齢(参考資料)

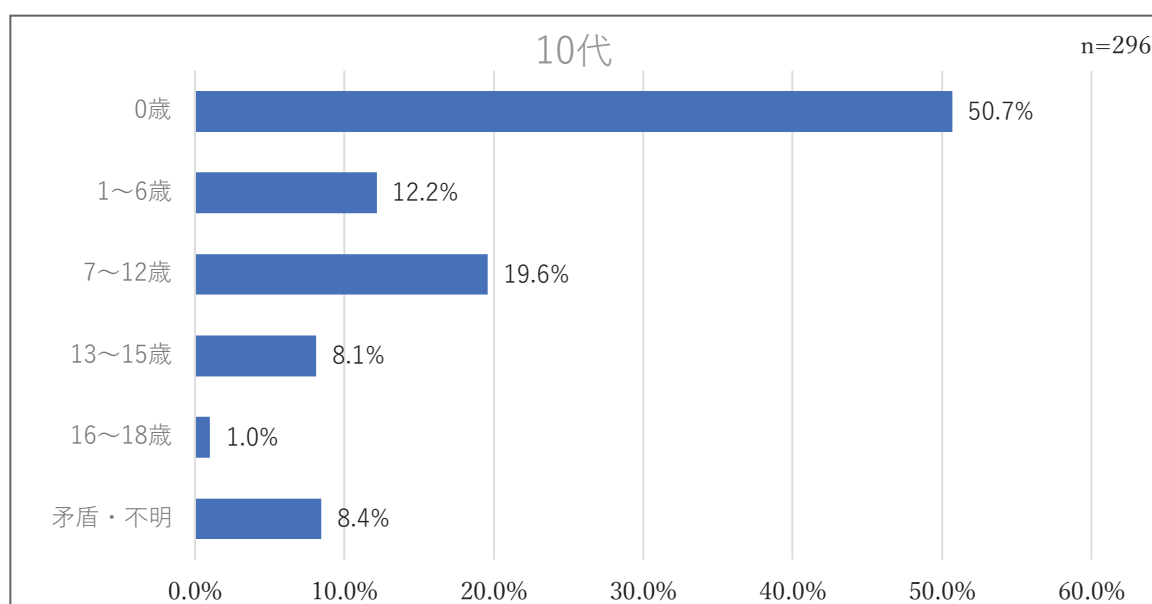
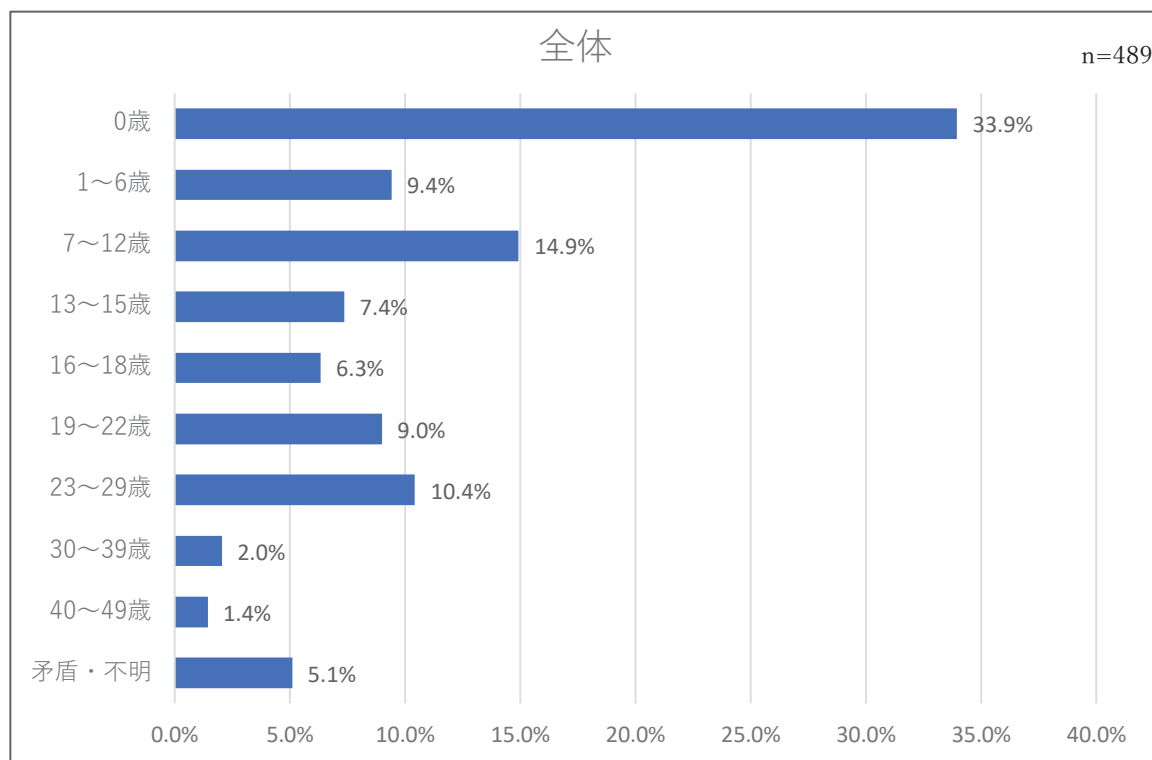
図表 2-10 来日時の推定年齢は、下記①～③の手順で来日時の年齢を推定し、集計したグラフである。

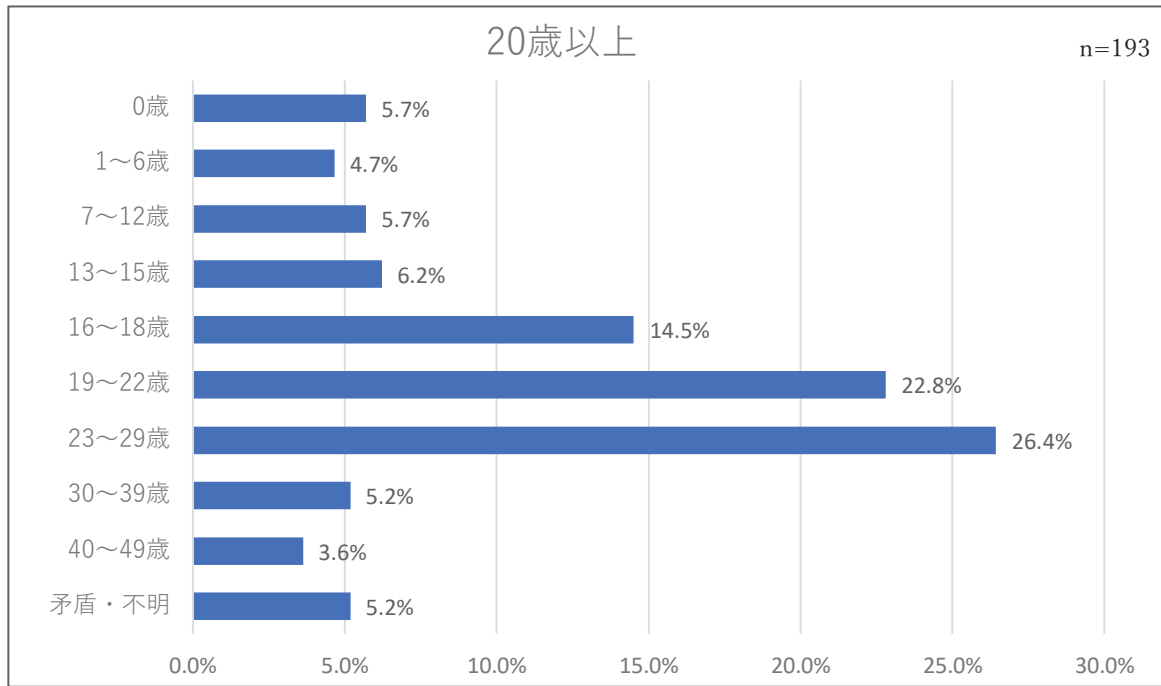
① 2022 年基準で初めて日本に来た時の年を引く。例)2022 年-2012 年=10 年

② 今の年齢から①を引く。例)15 歳-10 年=5 歳

③ 初めて来日した時の年齢は 5 歳である。

図表 2-10 来日時の推定年齢(全体、10代、20歳以上)





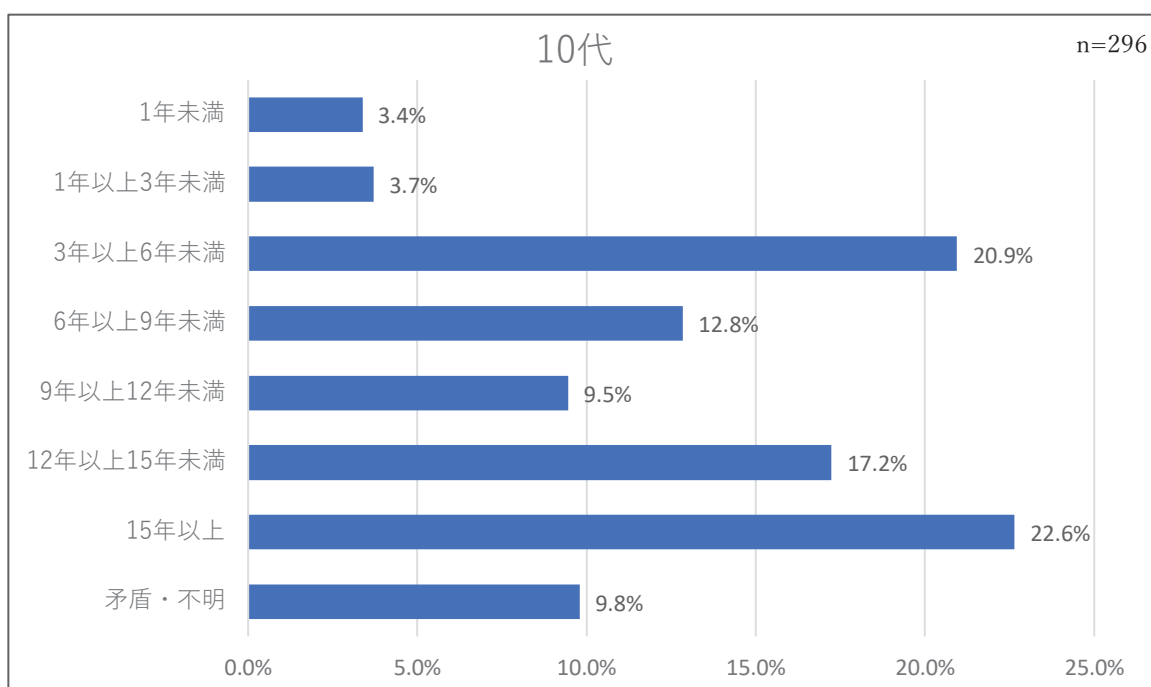
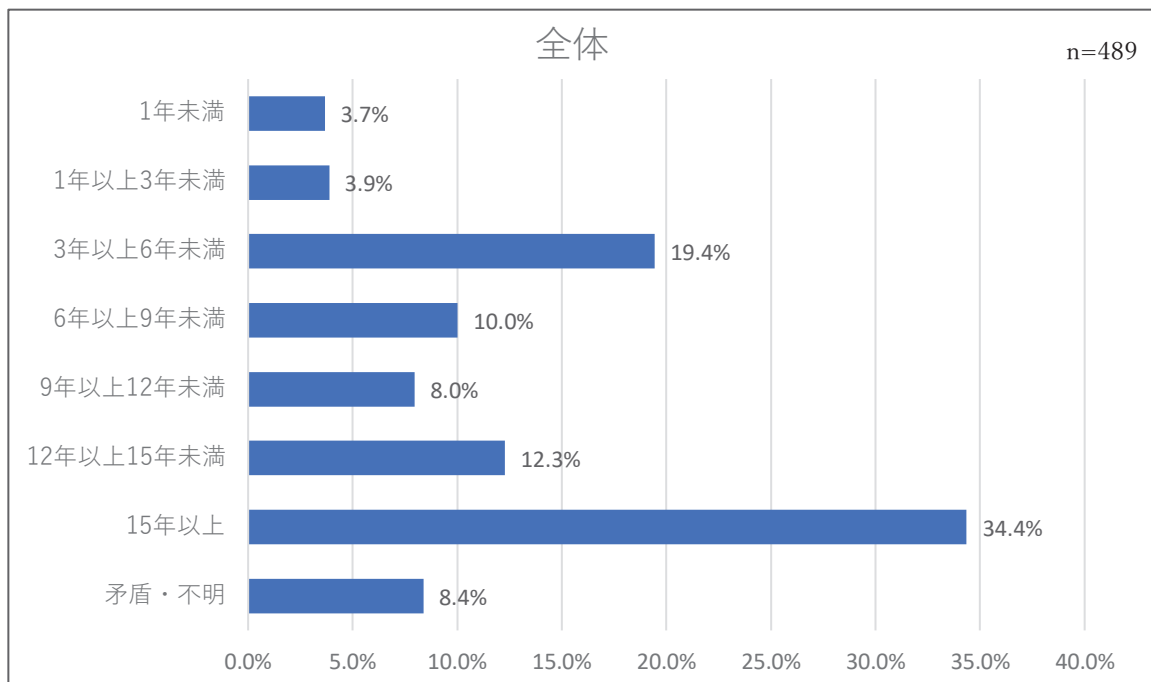
来日時の推定年齢は、全体では、0歳が最も多く全体の33.9%を占めている。次に7~12歳が14.9%、23~29歳が10.4%である。

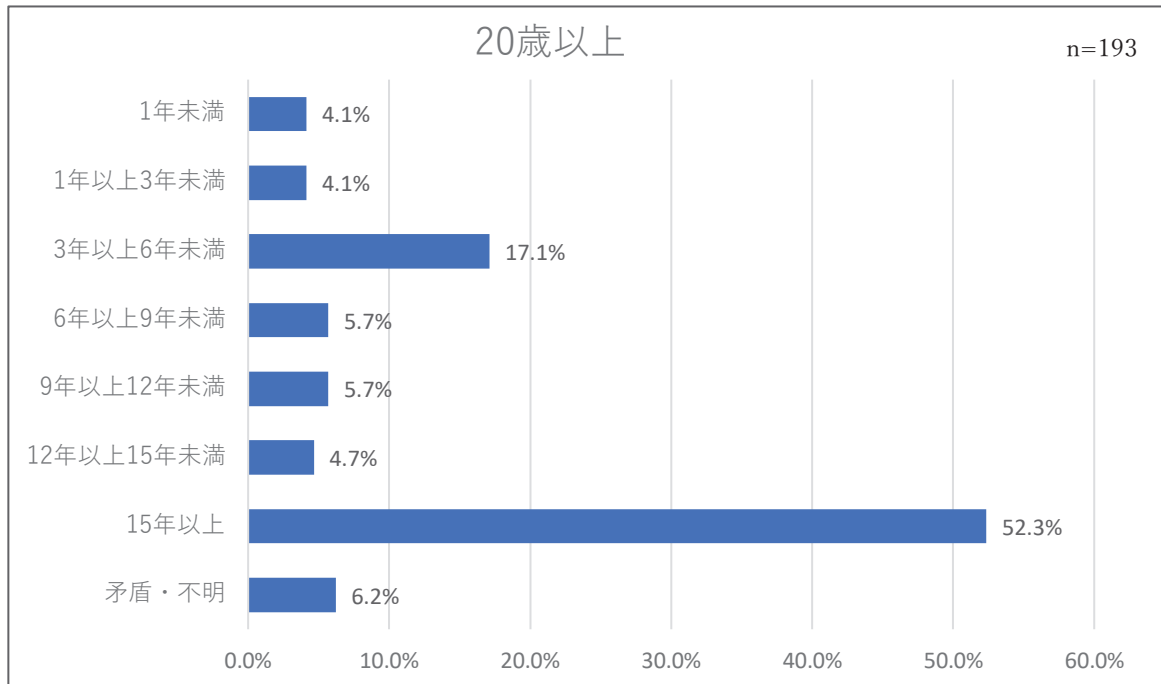
10代では、0歳が最も多く全体の50.7%を占めている。次に7~12歳が19.6%、1~6歳が12.2%である。

20歳以上では、23~29歳が最も多く全体の26.4%を占めている。次に19~22歳が22.8%、16~18歳が14.5%である。

問8 日本での通算滞在期間を教えてください。(自由記述)

図表 2-11 日本での通算滞在期間(全体、10代、20歳以上)





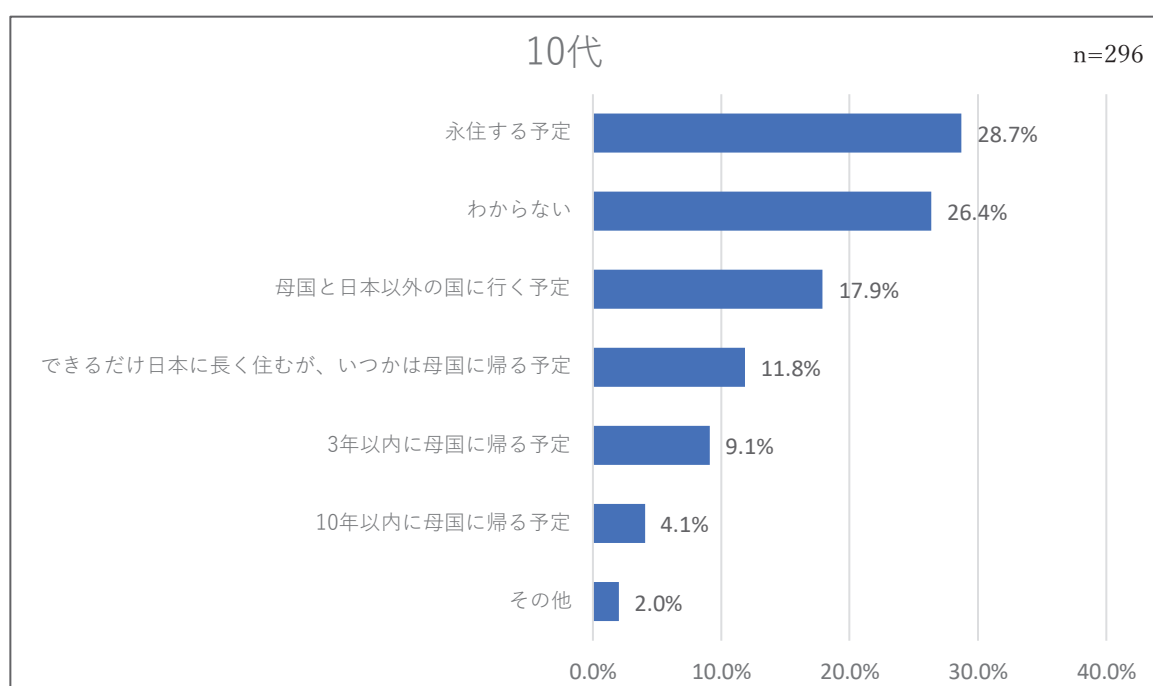
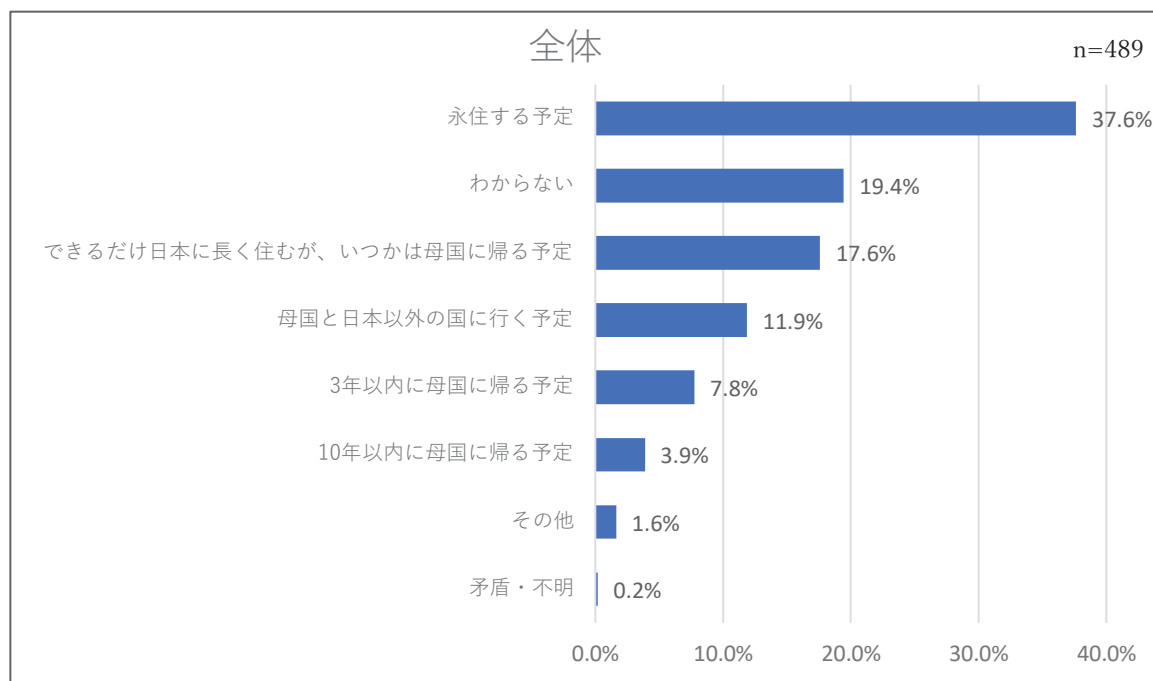
日本での通算滞在期間について、全体では、15年以上が最も多く全体の34.4%を占めている。次に3年以上6年未満が19.4%、12年以上15年未満が12.3%である。

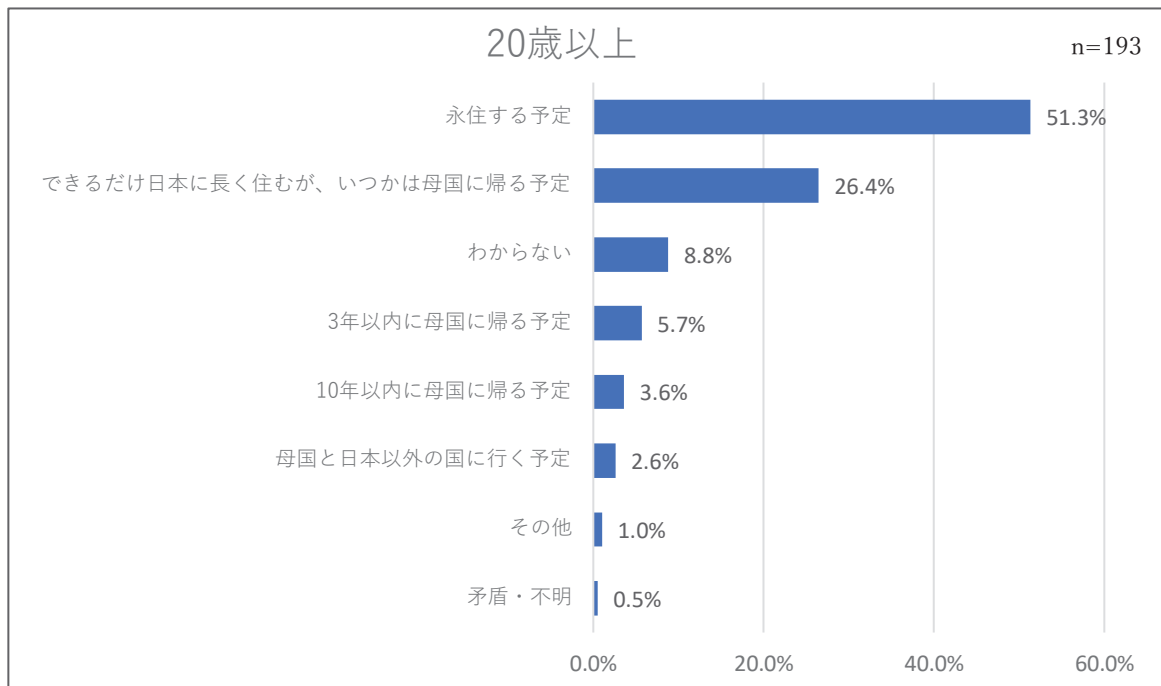
10代では、15年以上が最も多く全体の22.6%を占めている。次に3年以上6年未満が20.9%、12年以上15年未満が17.2%である。

20歳以上では、15年以上が最も多く全体の52.3%を占めている。次に3年以上6年未満が17.1%、6年以上9年未満と9年以上12年未満がそれぞれ5.7%である。

問9 これからの日本での滞在をどのように考えていますか。(一つだけ選択)

図表 2-12 今後の日本での滞在予定(全体、10代、20歳以上)





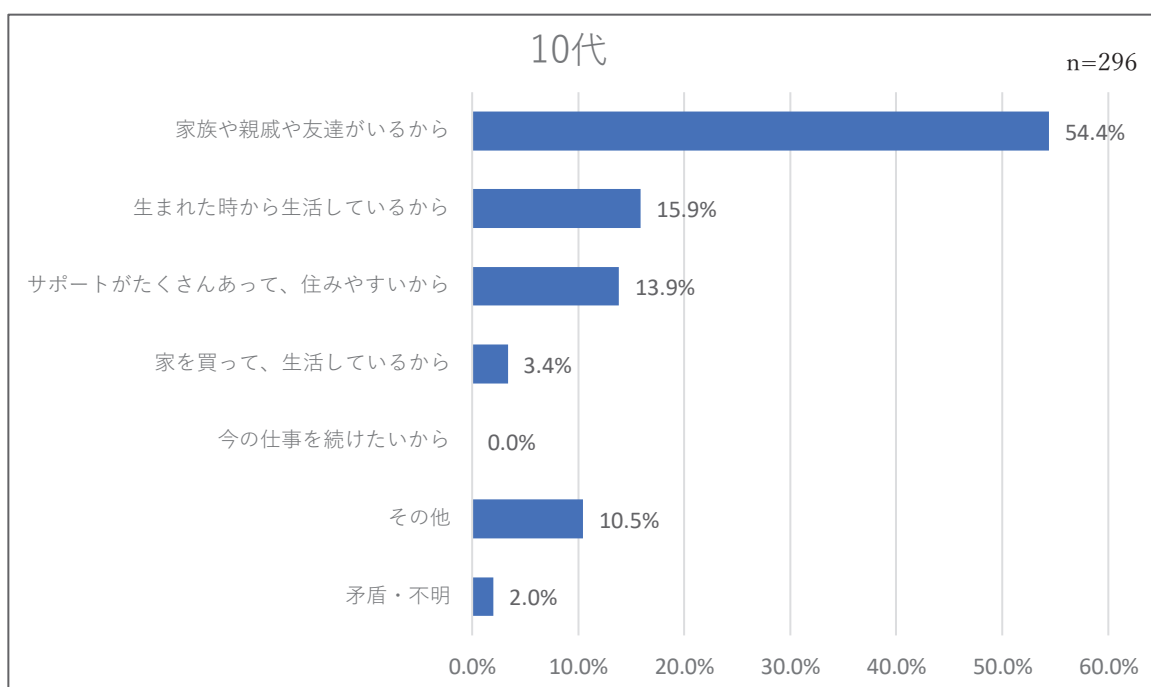
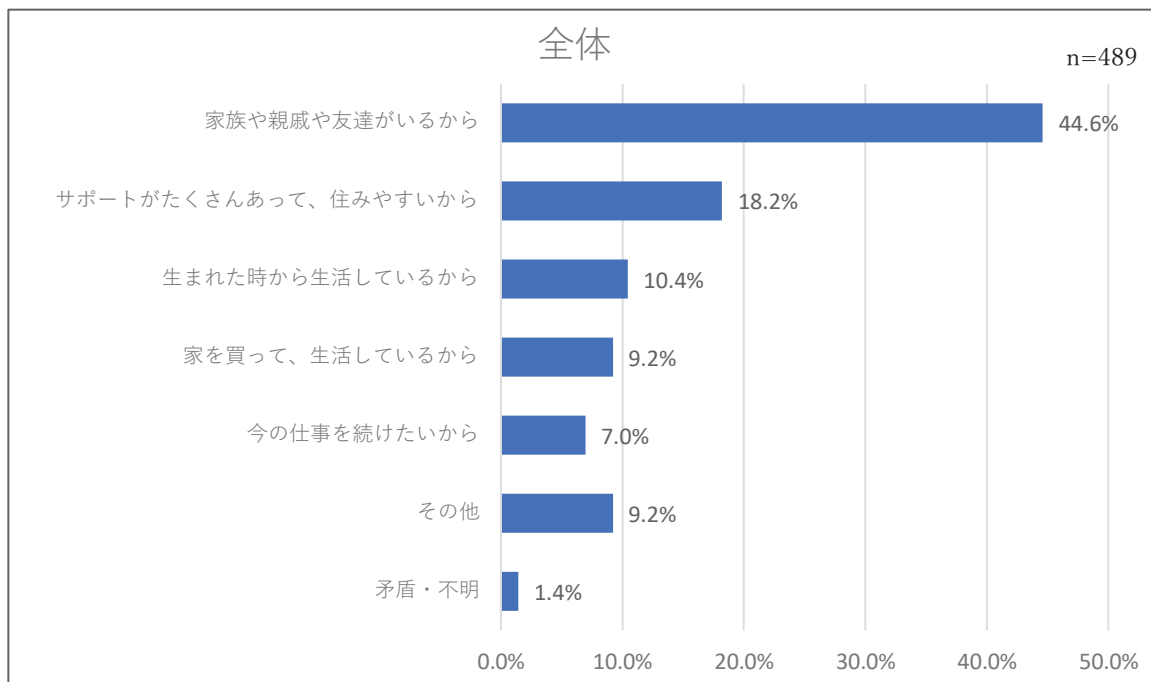
滞在予定は、全体では、「永住する予定」が最も多く全体の 37.6%を占めている。次に「わからない」が 19.4%、「できるだけ日本に長く住むが、いつかは母国に帰る予定」が 17.6%である。

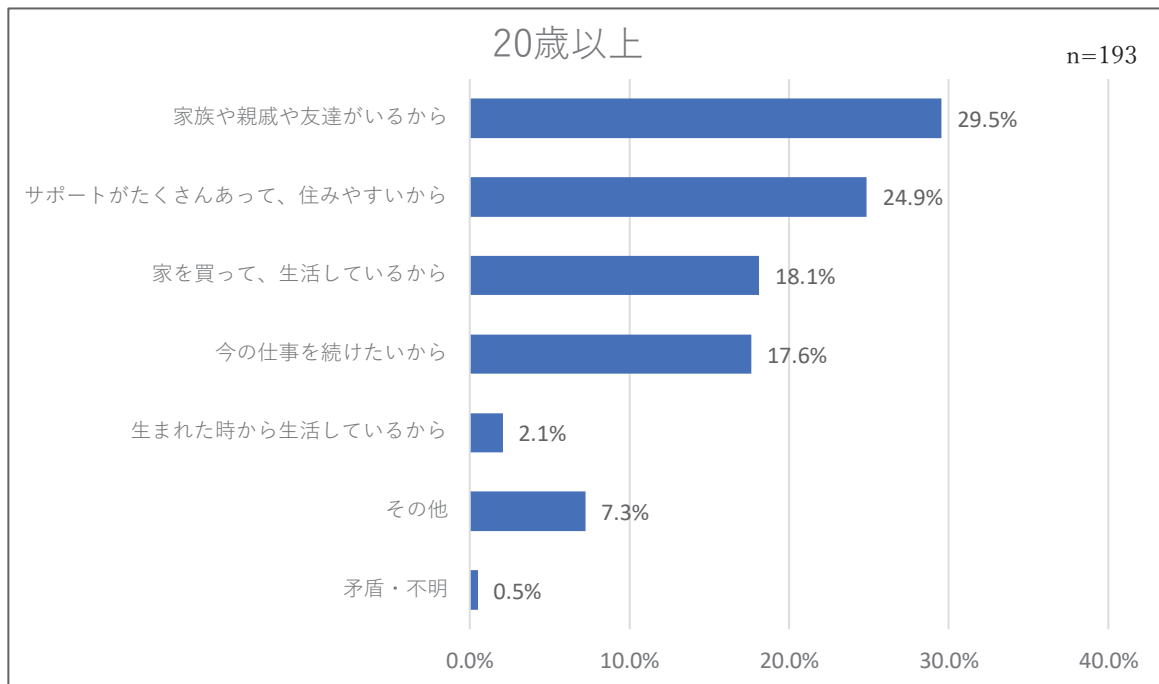
10代では、「永住する予定」が最も多く全体の 28.7%を占めている。次に「わからない」が 26.4%、「母国と日本以外の国に行く予定」が 17.9%である。

20歳以上では、「永住する予定」が最も多く全体の 51.3%を占めている。次に「できるだけ日本に長く住むが、いつかは母国に帰る予定」が 26.4%、「わからない」が 8.8%である。

問 10 浜松市に住んでいる理由を教えてください。(一つだけ選択)

図表 2-13 浜松市に住む理由(全体、10代、20歳以上)





浜松市に住む理由は、全体では、「家族や親戚や友達がいるから」が最も多く全体の44.6%を占めている。次に「サポートがたくさんあって、住みやすいから」が18.2%、「生まれた時から生活しているから」が10.4%である。

10代では、「家族や親戚や友達がいるから」が最も多く全体の54.4%を占めている。次に「生まれた時から生活しているから」が15.9%、「サポートがたくさんあって、住みやすいから」が13.9%である。

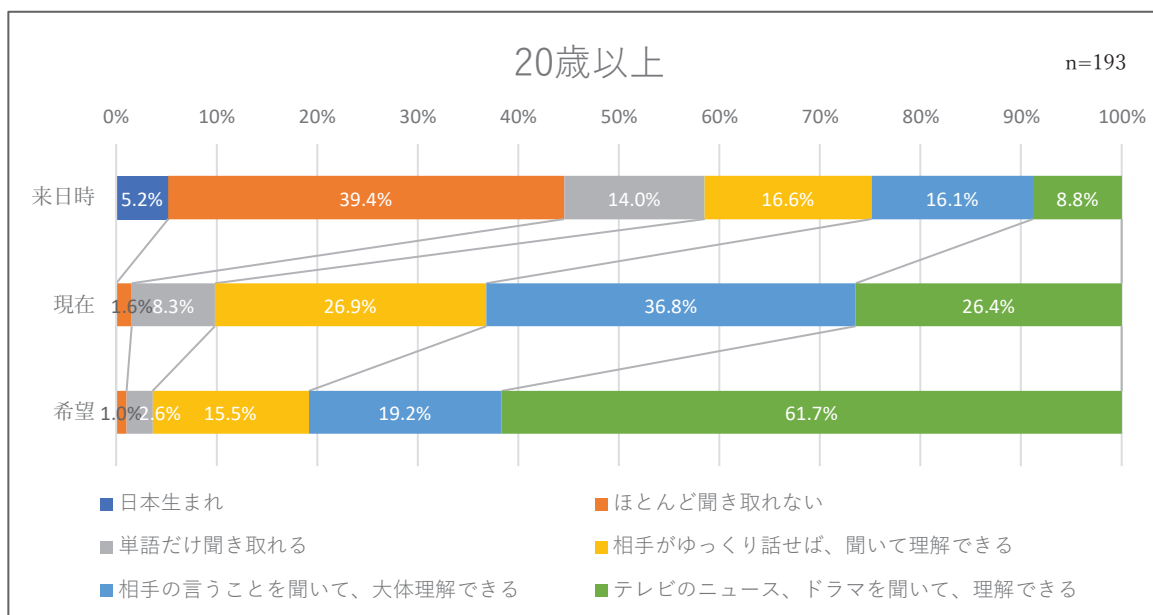
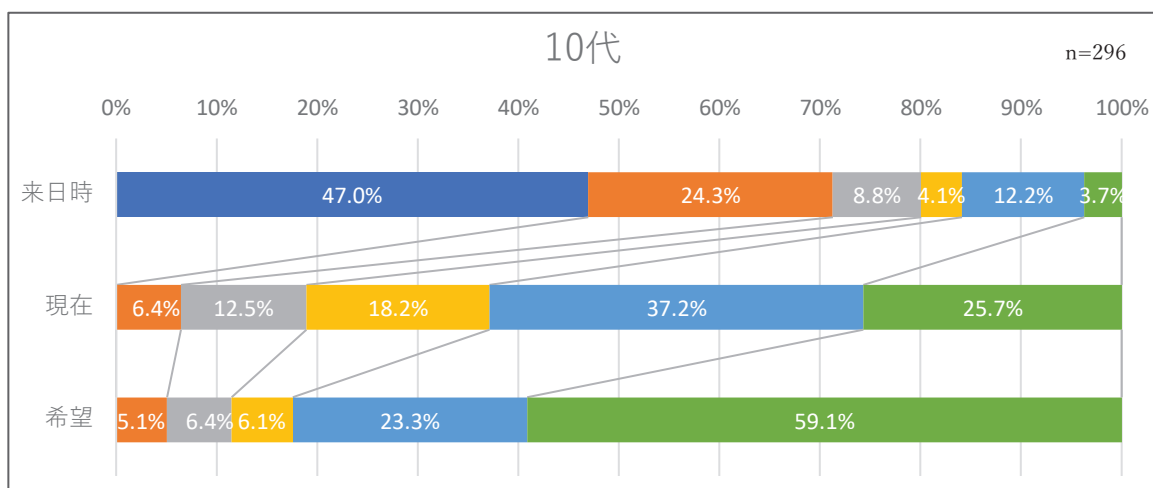
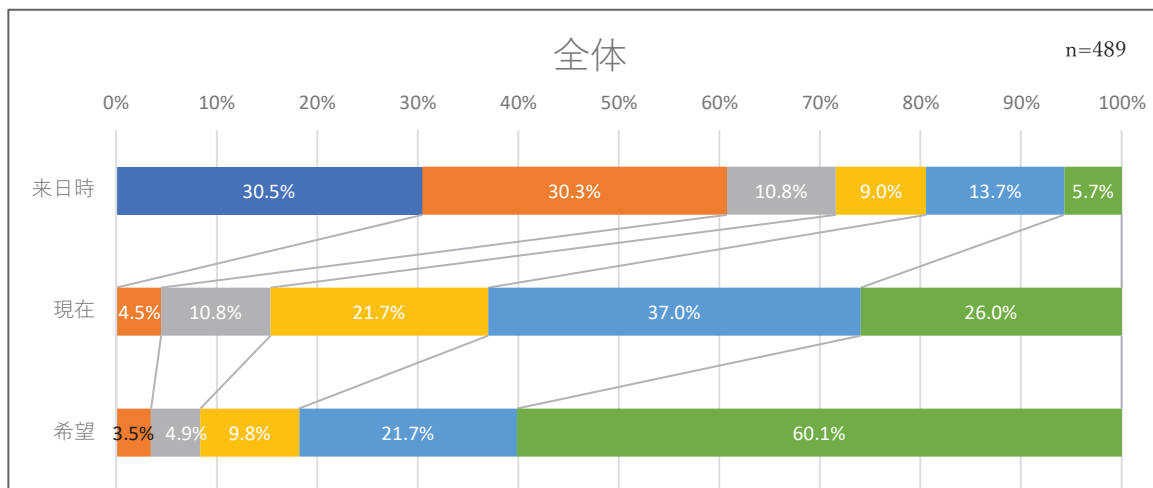
20歳以上では、「家族や親戚や友達がいるから」が最も多く全体の29.5%を占めている。次に「サポートがたくさんあって、住みやすいから」が24.9%、「家を買って、生活しているから」が18.1%である。

問 11 初めて来日した時の、あなたの日本語レベルを選んでください。(一つだけ選択)

問 13 今現在のあなたの日本語レベルを選んでください。(一つだけ選択)

問 14 日本語がどれくらいできるようになりたいですか。(一つだけ選択)

図表 2-14 来日時・現在・希望する日本語能力【聞く】(全体、10代、20歳以上)

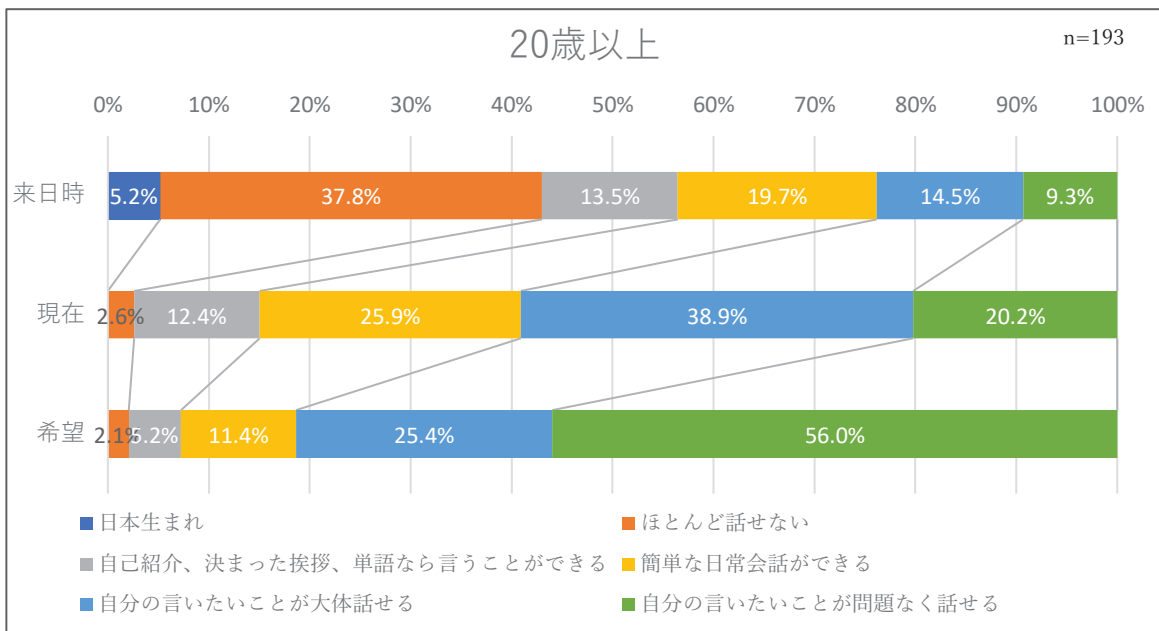
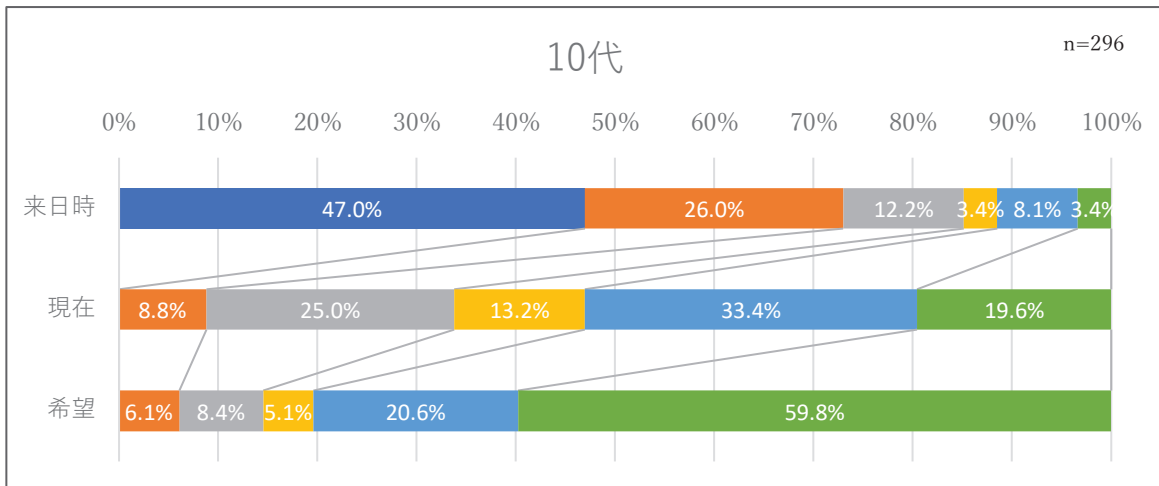
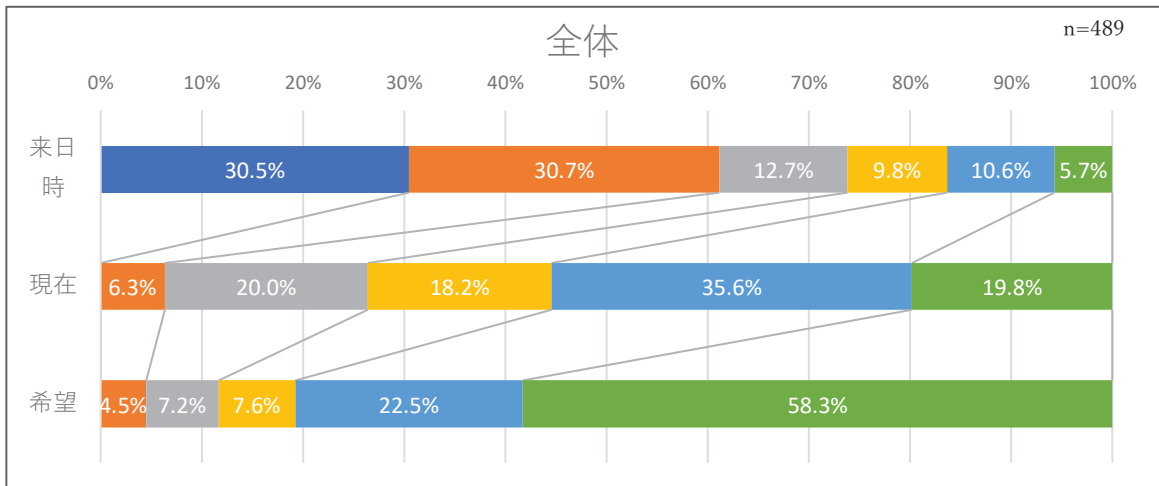


日本語を「聞く」能力は、全体では、「ほとんど聞き取れない」が来日時は30.3%だったのに対し、現在は4.5%まで減少している。一方で、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が来日時は5.7%だったのに対し、現在の自己評価では26.0%、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」希望は60.1%に増加しており、「聞く」能力が伸びていくことへの期待が見受けられる。

10代では、日本生まれが全体の47.0%を占めている。現在は、「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」が37.2%、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が25.7%で、60%以上が日本語を聞いて大体もしくはよく理解できていることがわかる。

20歳以上では、「ほとんど聞き取れない」が来日時は39.4%だったのに対し、現在の自己評価は1.6%まで減少しており、「聞く」能力が伸びていることがわかる。一方で、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が来日時は8.8%だったのに対し、現在の自己評価は26.4%、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」希望は61.7%に増加しており、「聞く」能力が伸びていくことへの期待が見受けられる。

図表 2-15 来日時・現在・希望する日本語能力【話す】（全体、10代、20歳以上）

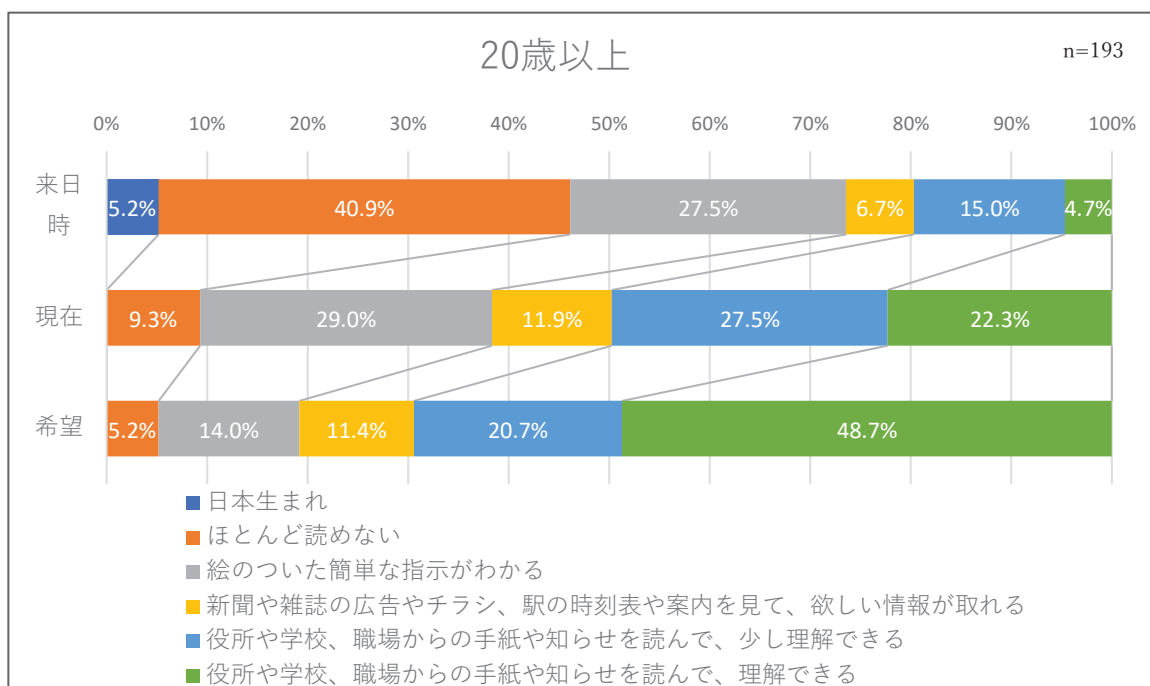
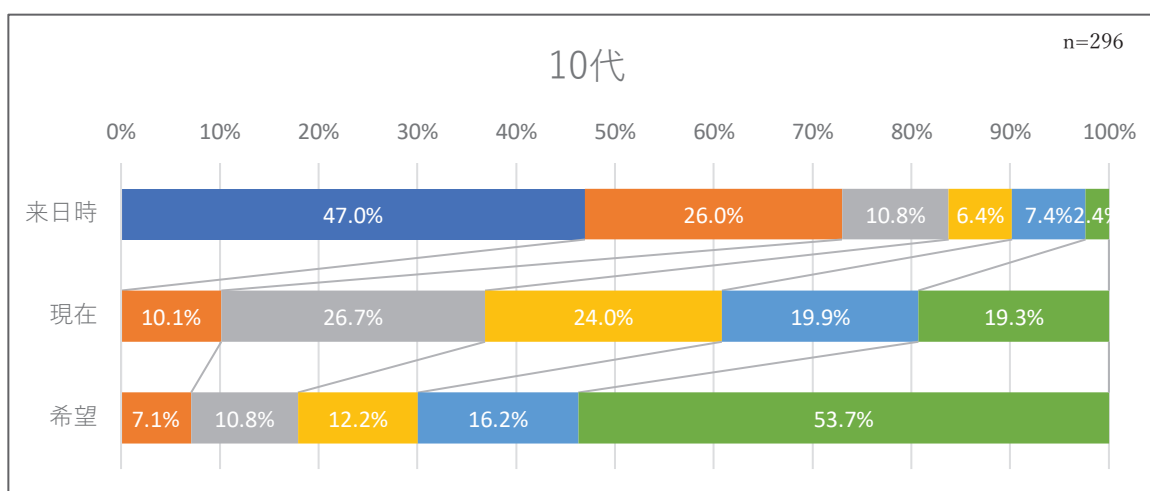
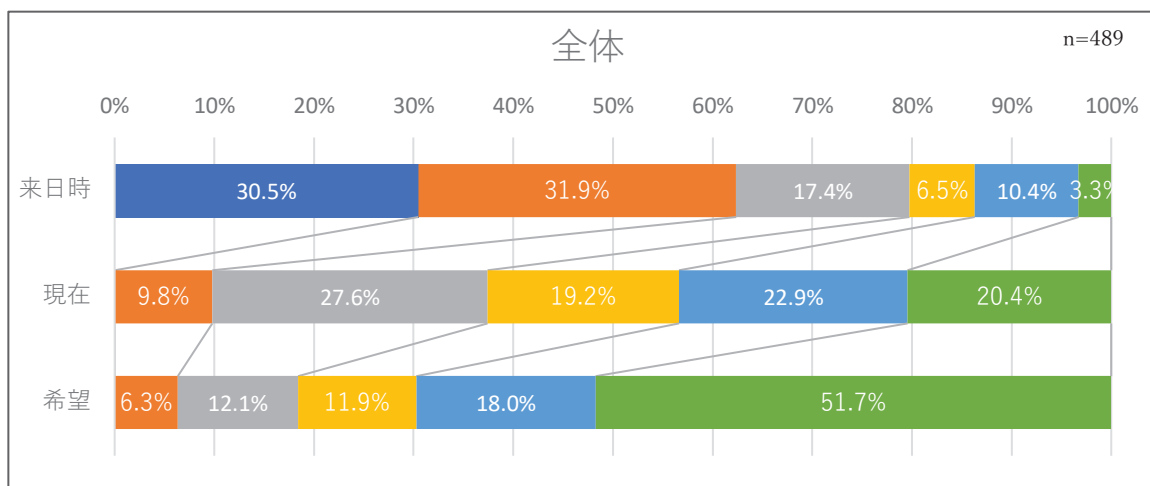


日本語を「話す」能力は、全体では、「ほとんど話せない」が来日時は 30.7%だったのに対し、現在の自己評価では 6.3%まで減少している。そして、「自分の言いたいことが大体話せる」が来日時は 10.6%だったのに対し、現在の自己評価では 35.6%まで増加しており、「話す」能力の伸びが見られる。また、「自分の言いたいことが問題なく話せる」が来日時は 5.7%だったのに対し、現在の自己評価では 19.8%、「自分の言いたいことが問題なく話せる」希望は 58.3%に増加しており、「話す」能力がさらに伸びていくことへの期待が見受けられる。

10代では、「日本生まれ」が全体の 47.0%を占めている。現在の自己評価は、「自分の言いたいことが大体話せる」が 33.4%で、次に多いのが「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」で 25.0%である。一方で、「自分の言いたいことが問題なく話せる」が現在の自己評価では 19.6%だが、「自分の言いたいことが問題なく話せる」希望は 59.8%まで増加しており、「話す」能力が伸びることへの期待が見受けられる。

20歳以上は、「ほとんど話せない」が来日時は 37.8%だったのに対し、現在の自己評価では 2.6%まで減少している。そして、「自分の言いたいことが大体話せる」が現在の自己評価で 38.9%と最も多く、「話す」能力に一定の伸びが見られる。

図表 2-16 来日時・現在・希望する日本語能力【読む】（全体、10代、20歳以上）

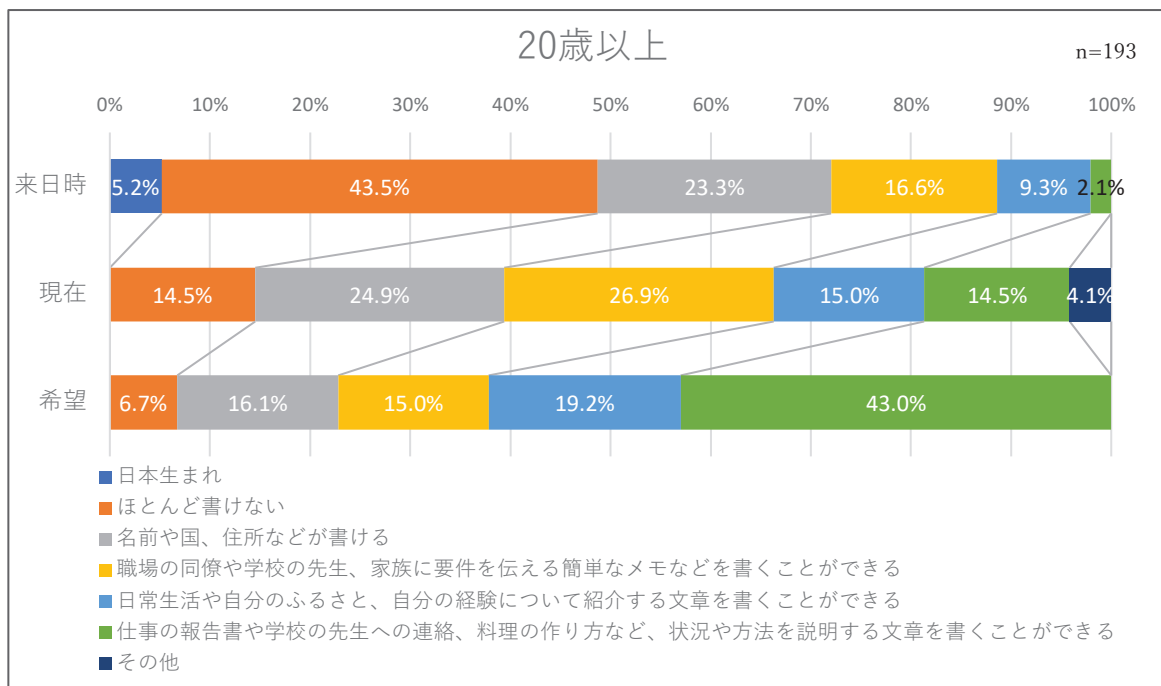
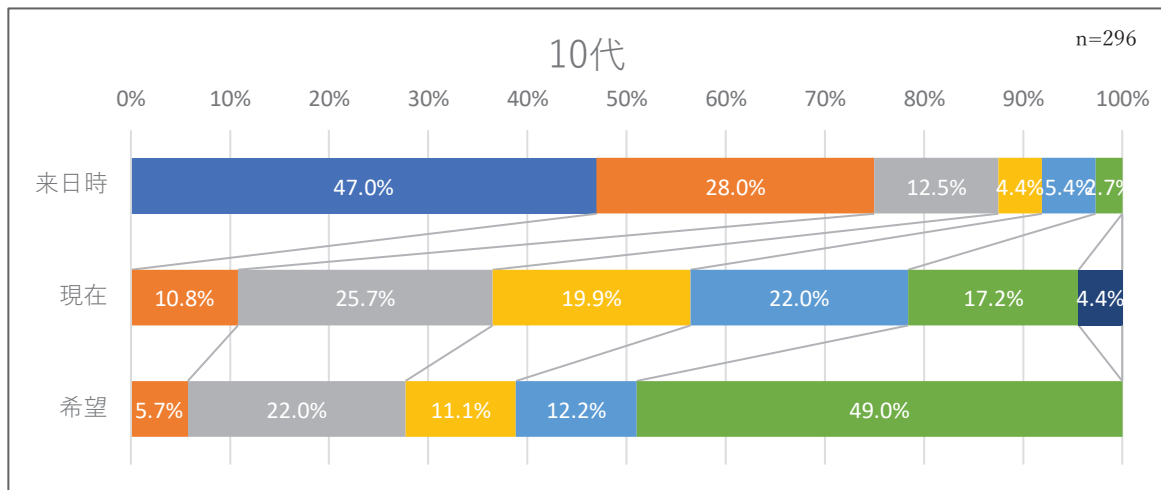
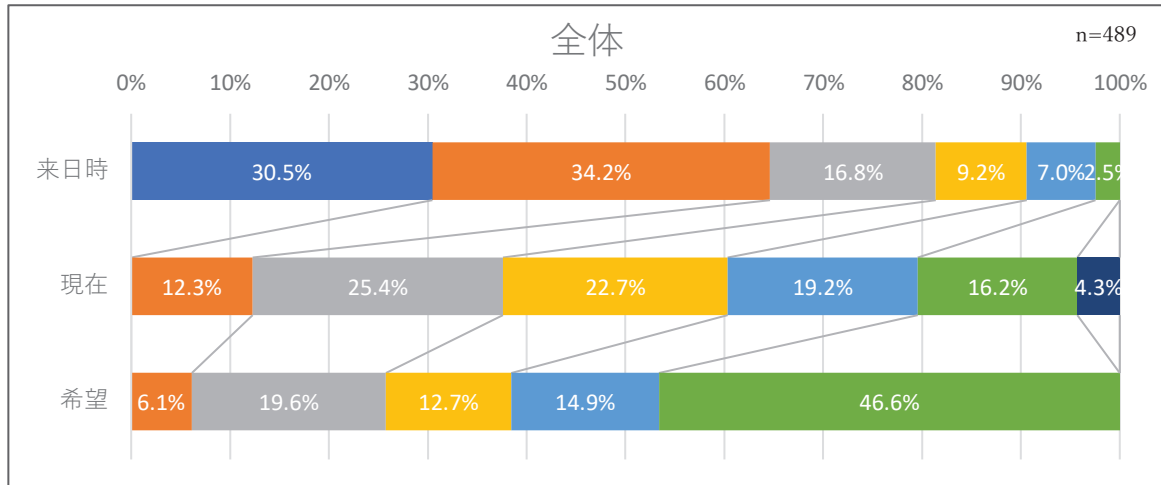


日本語を「読む」能力は、全体では、来日時は「日本生まれ」が30.5%、「ほとんど読めない」が31.9%である。現在の自己評価では「絵のついた簡単な指示がわかる」が27.6%、「役所や学校、職場からの手紙や知らせを読んで少し理解できる」が22.9%、「役所や学校、職場からの手紙や知らせを読んで理解できる」が20.4%であり、「読む」能力のレベルにばらつきがあることがわかる。一方で、将来できるようになりたいことは「役所や学校、職場からの手紙や知らせを読んで理解できる」が51.7%を占めており、「読む」能力が伸びることへの期待が見受けられる。

10代では、「日本生まれ」が全体の47.0%を占めている。現在の自己評価は、「絵のついた簡単な指示がわかる」が26.7%、「新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内を見て、欲しい情報が取れる」が24.0%、「役所や学校、職場からの手紙や知らせを読んで少し理解できる」が19.9%、「役所や学校、職場からの手紙や知らせを読んで理解できる」が19.3%であり、「読む」能力のレベルにばらつきがあることがわかる。

20歳以上は、来日時は「ほとんど読めない」が40.9%、「絵のついた簡単な指示がわかる」が27.5%で、「読む」ことに困難を抱えた人が多かったことがわかる。「役所や学校、職場からの手紙や知らせを読んで理解できる」が来日時は4.7%だったのに対し、現在の自己評価は22.3%まで増加している。一方で「絵のついた簡単な指示がわかる」が29.0%、「役所や学校、職場からの手紙や知らせを読んで少し理解できる」が22.3%を占め、一定の割合で「読む」ことに困難を抱える人が多いことがわかる。

図表 2-17 来日時・現在・希望する日本語能力【書く】（全体、10代、20歳以上）



※その他は、スペイン語の調査票を使った人の割合。スペイン語版の調査票に、問13「書く」についての質問項目が欠落していたため。

日本語を「書く」能力は、全体では、過去は「ほとんど書けない」が34.2%、「日本生まれ」が30.5%である。現在の自己評価は「名前や国、住所などが書ける」が25.4%、「職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」が22.7%、「日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる」が19.2%、「仕事の報告書や学校の先生への連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」16.2%で、「書く」ことのレベルにばらつきがあることがわかる。一方で、将来できるようにになりたいことは「仕事の報告書や学校の先生への連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」が46.6%を占め、「書く」能力が伸びることへの期待が見受けられる。

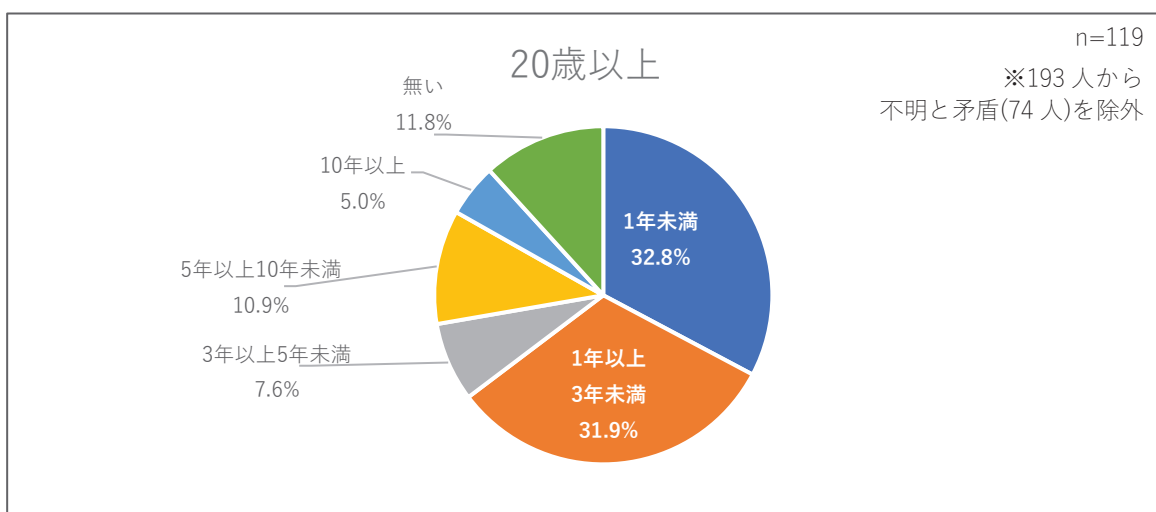
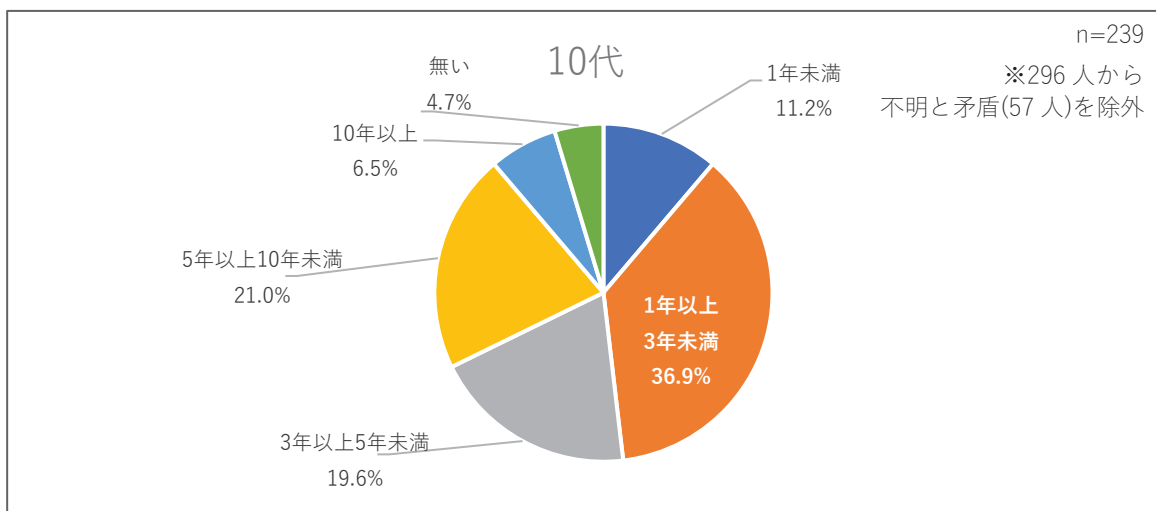
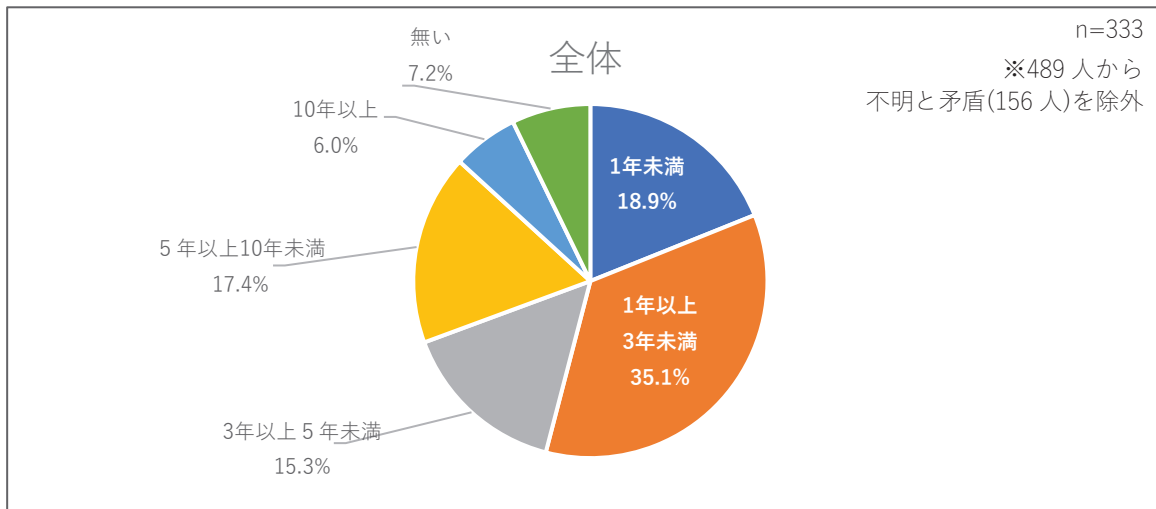
10代では、来日時に「ほとんど書けない」と答えた人が28.0%である。現在の自己評価は「ほとんど書けない」が10.8%に減少したものの、「名前や国、住所などが書ける」が25.7%、「日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる」が22.0%、「職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」が19.9%であり、報告や連絡などを「書く」ことに困難を抱える人が多いことがわかる。

20歳以上では、来日時は「ほとんど書けない」が43.5%、「名前や国、住所などが書ける」が23.3%で、「書く」ことに困難を抱えた人が多かったことがわかる。現在の自己評価は「職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」が26.9%、「名前や国、住所などが書ける」が24.9%であることから、半数以上の人が短い簡単なメモ程度しか書けないことがわかる。

問 12 日本語の学習歴を教えてください。(自由記述)

例:【いつ】(2010年)、【どこ】:(くもん)で、【どれくらい】:(1年)

図表 2-18 日本語を勉強した経験【期間】 (全体、10代、20歳以上)

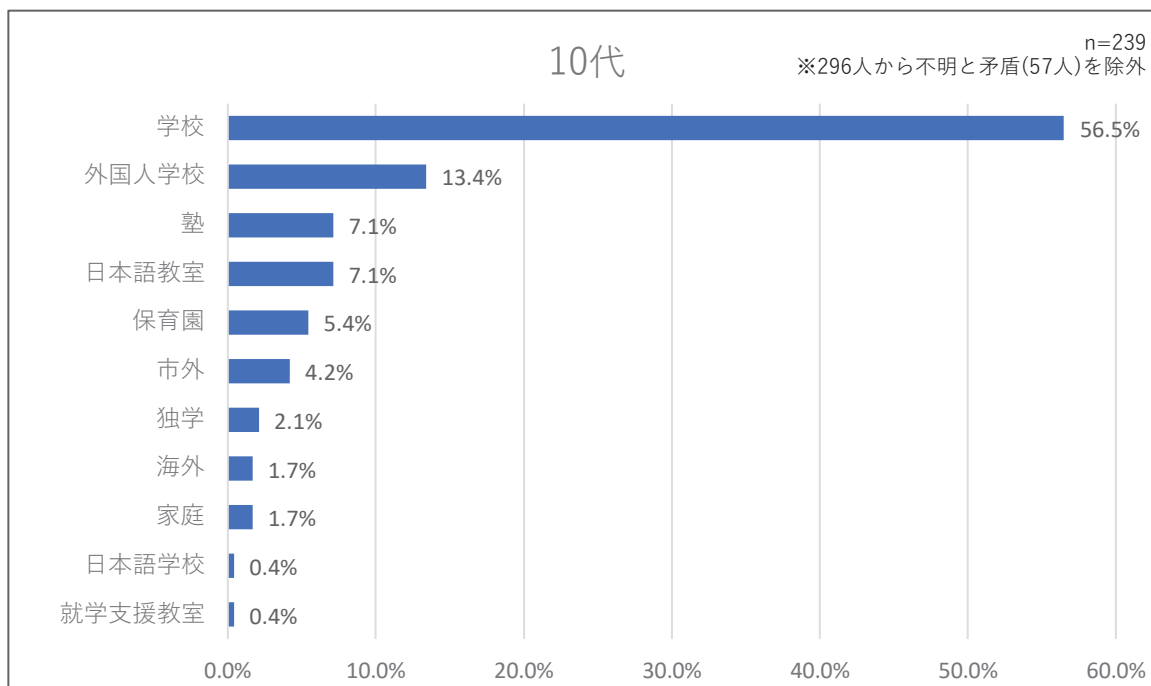
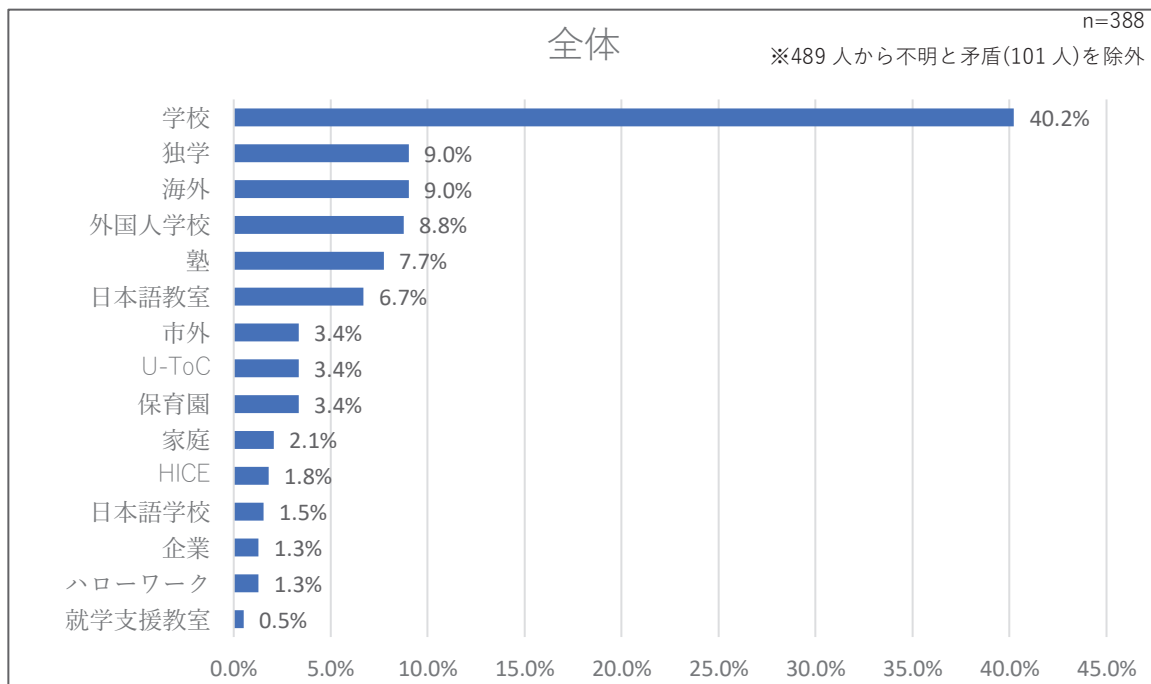


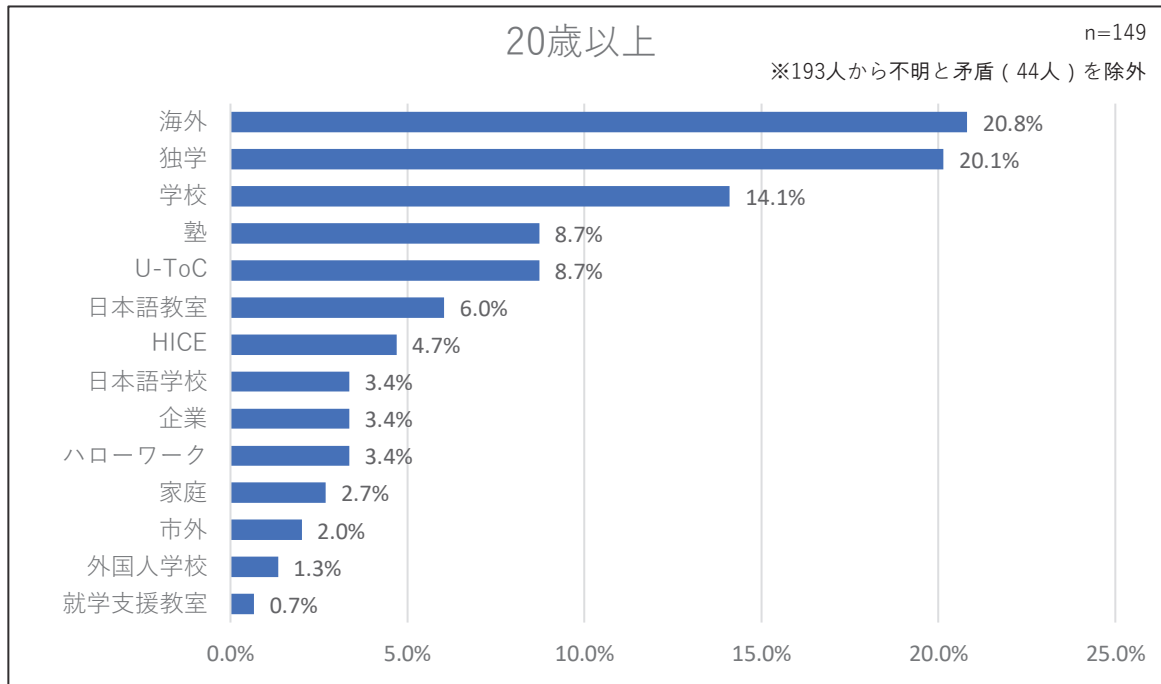
日本語の学習歴は、全体では、「1年以上3年未満」が最も多く全体の35.1%を占めている。次に「1年未満」が18.9%、「3年以上5年未満」が15.3%である。

10代では、「1年以上3年未満」が最も多く全体の36.9%を占めている。次に「5年以上10年未満」が21.0%、「3年以上5年未満」が19.6%である。

20歳以上では、「1年未満」が最も多く全体の32.8%を占めている。次に「1年以上3年未満」が31.9%である。

図表 2-19 日本語を勉強した経験【学習場所】（全体、10代、20歳以上）





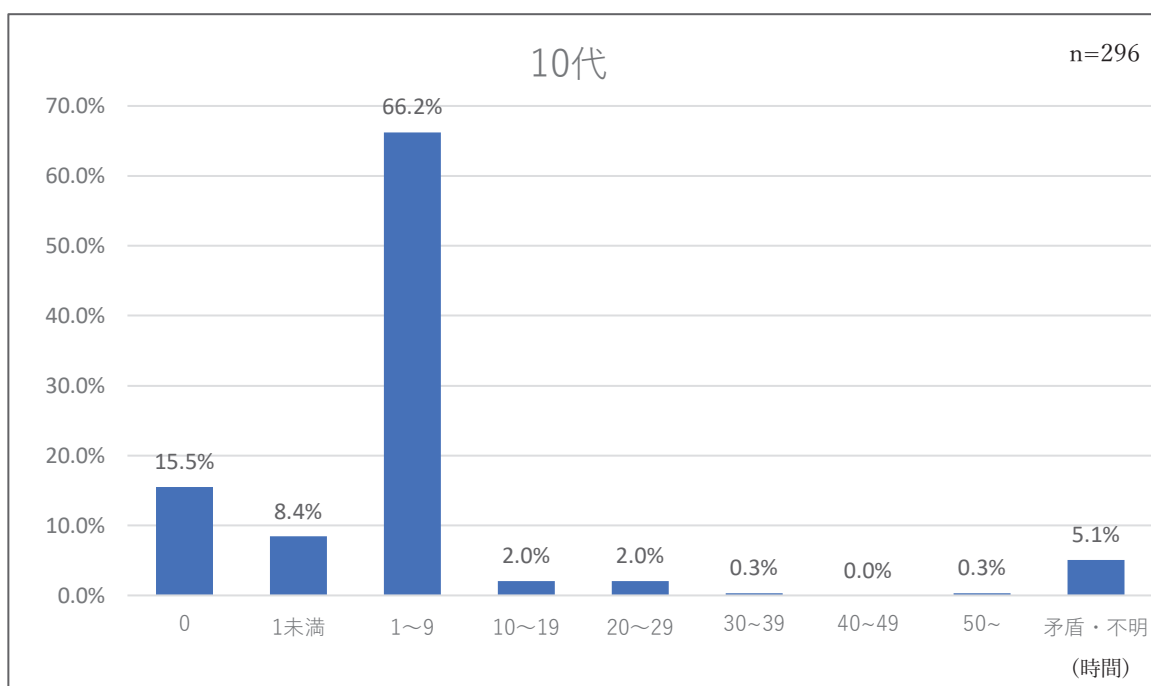
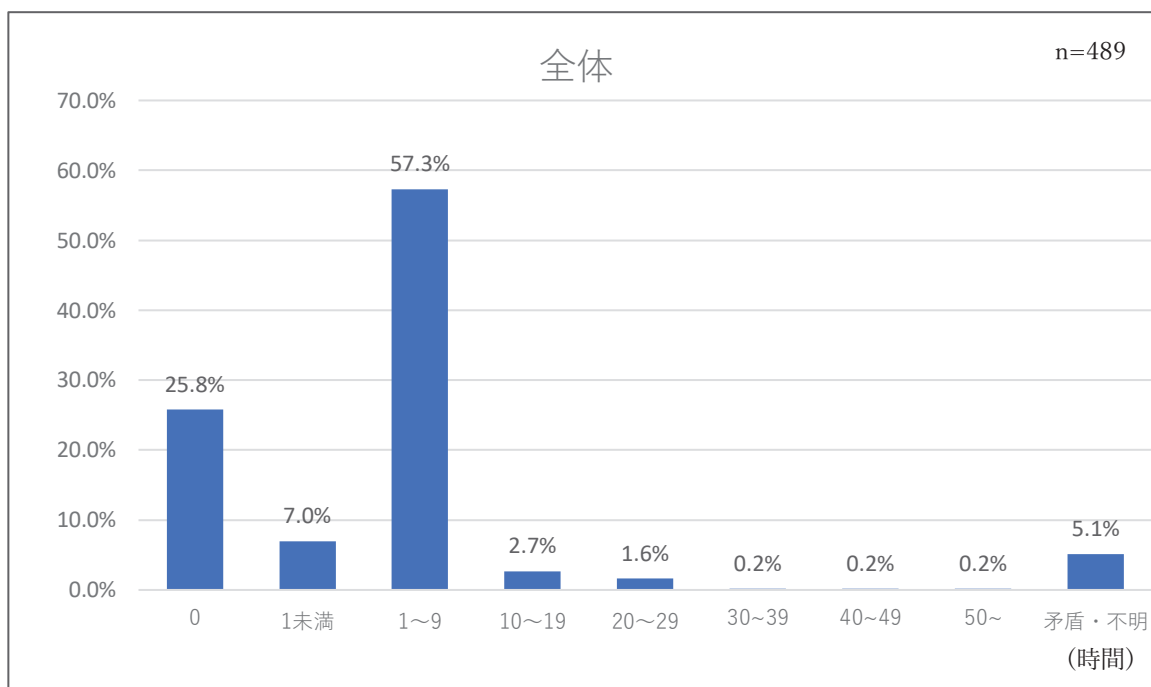
日本語学習の場は、全体では、「学校」が最も多く全体の 40.2%を占めている。次に「独学」「海外」がそれぞれ 9.0%である。

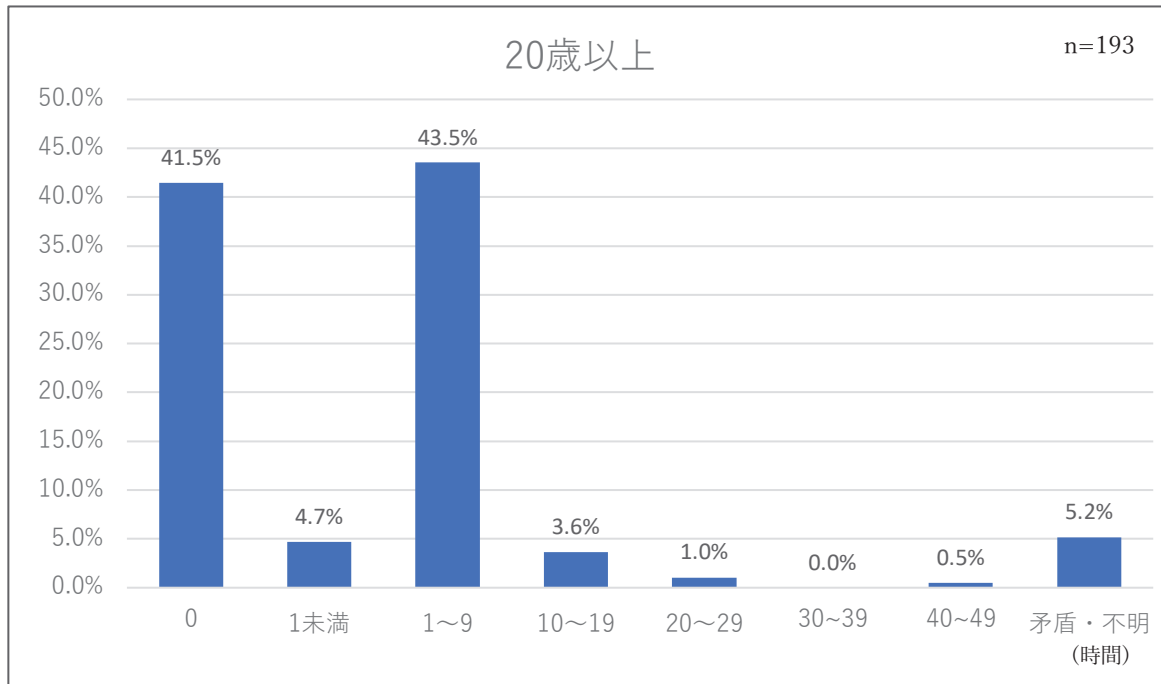
10代では、「学校」が最も多く全体の 56.5%を占めている。次に「外国人学校」が 13.4%である。

20歳以上では、「海外」が最も多く全体の 20.8%を占めている。次に「独学」が 20.1%である。

問 15. 一週間にどれくらい、日本語を勉強していますか。時間数(0~)で教えてください。
(自由記述)

図表 2-20 一週間の日本語勉強時間 (全体、10代、20歳以上)





一週間の日本語の学習時間は、全体では「1~9時間」が最も多く全体の57.3%を占めている。次に「0時間」が25.8%である。

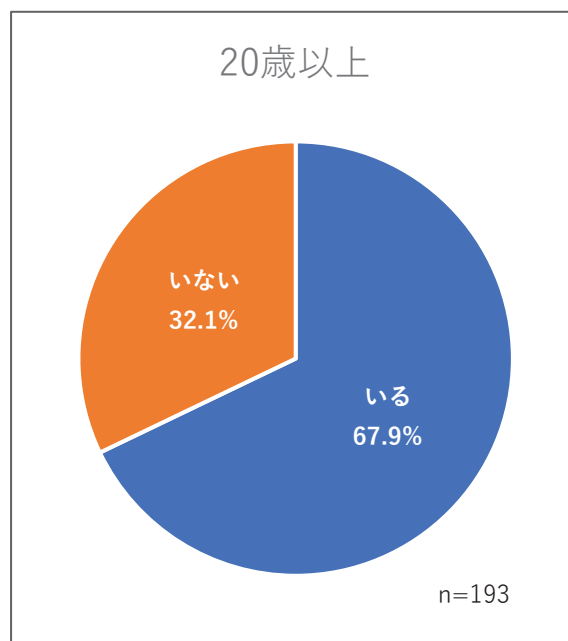
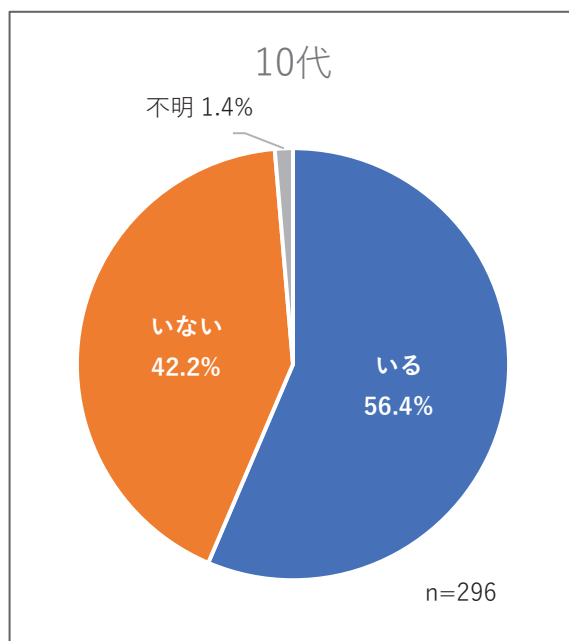
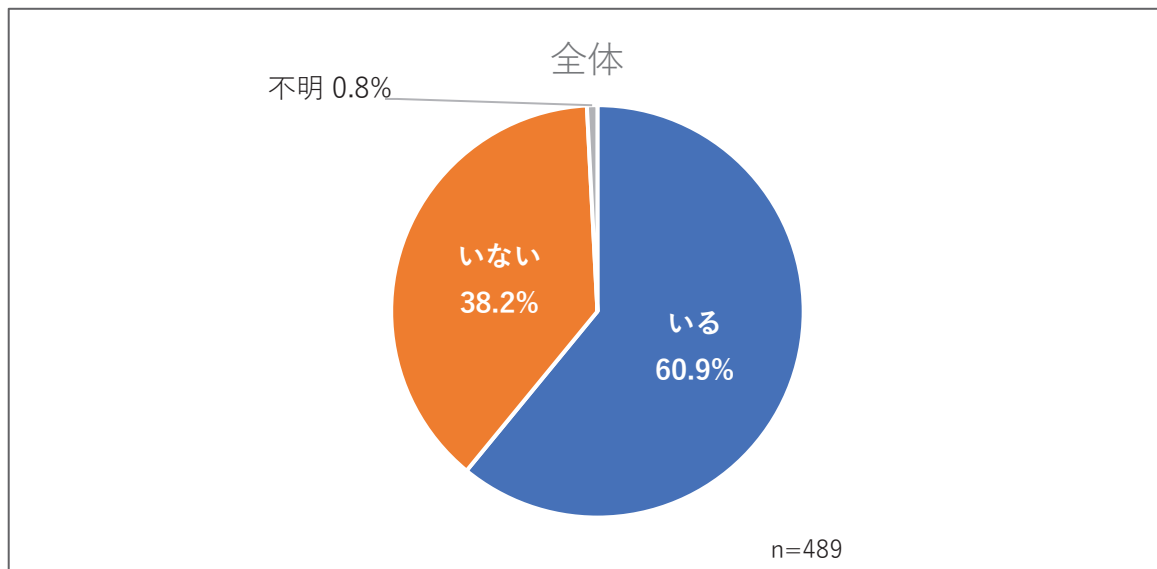
10代では、「1~9時間」が最も多く全体の66.2%を占めている。次に「0時間」が15.5%である。

20歳以上では、「1~9時間」が最も多く全体の43.5%を占めている。次に「0時間」が41.5%である。

問 16 日本人の友人は何人いますか。いないときは0としてください。(自由記述)

図表2-21は、回答結果から、「いる」が「いない」に再集計し、グラフ化したものである。

図表 2-21 日本人の友人の有無 (全体、10代、20歳以上、
10代[外国人学校生徒(中3~高3)]、10代[外国人学校生徒以外])

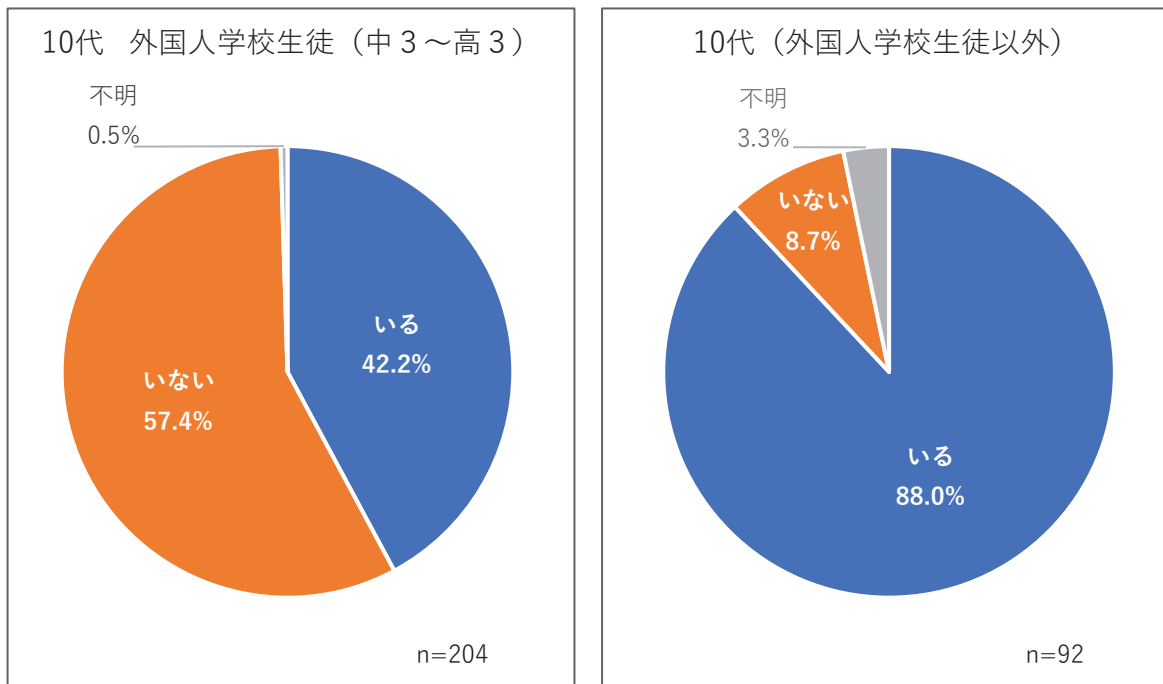


日本人の友人の有無は、全体では、「いる」が60.9%、「いない」が38.2%である。

10代では、「いる」が56.4%、「いない」が42.2%である。

20歳以上では、「いる」が67.9%、「いない」が32.1%である。

以下の円グラフは、問16に対し、10代の回答者(n=296)を、外国人学校生徒(中3~高3)とそれ以外でさらに分けたものである。



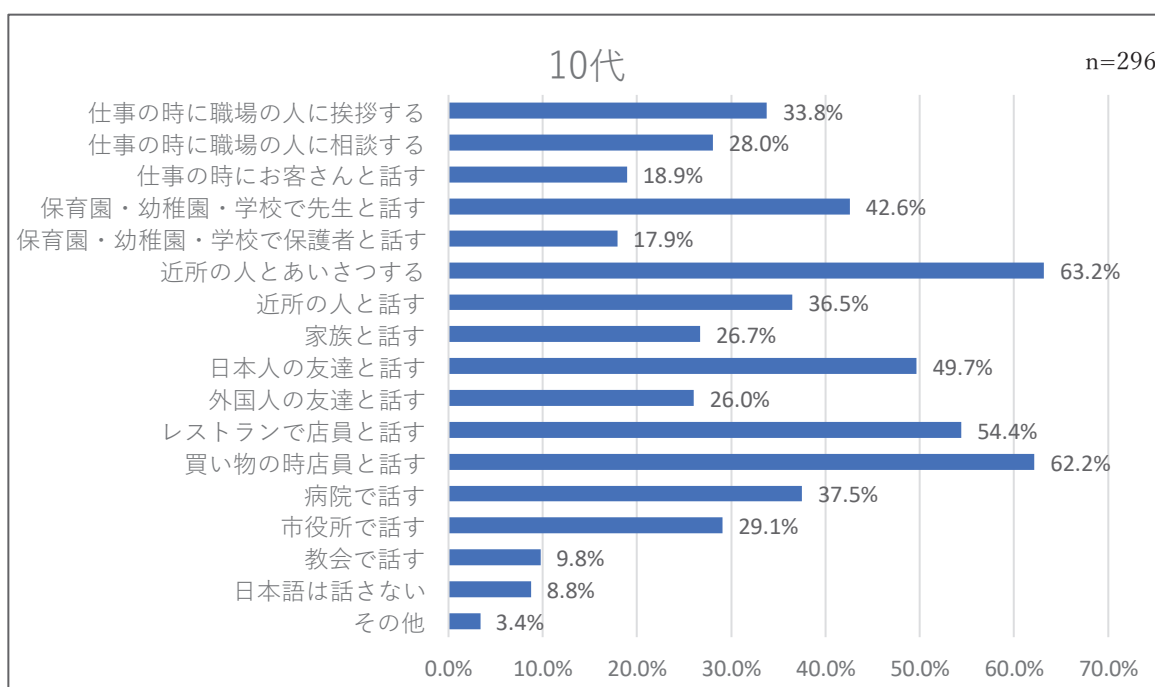
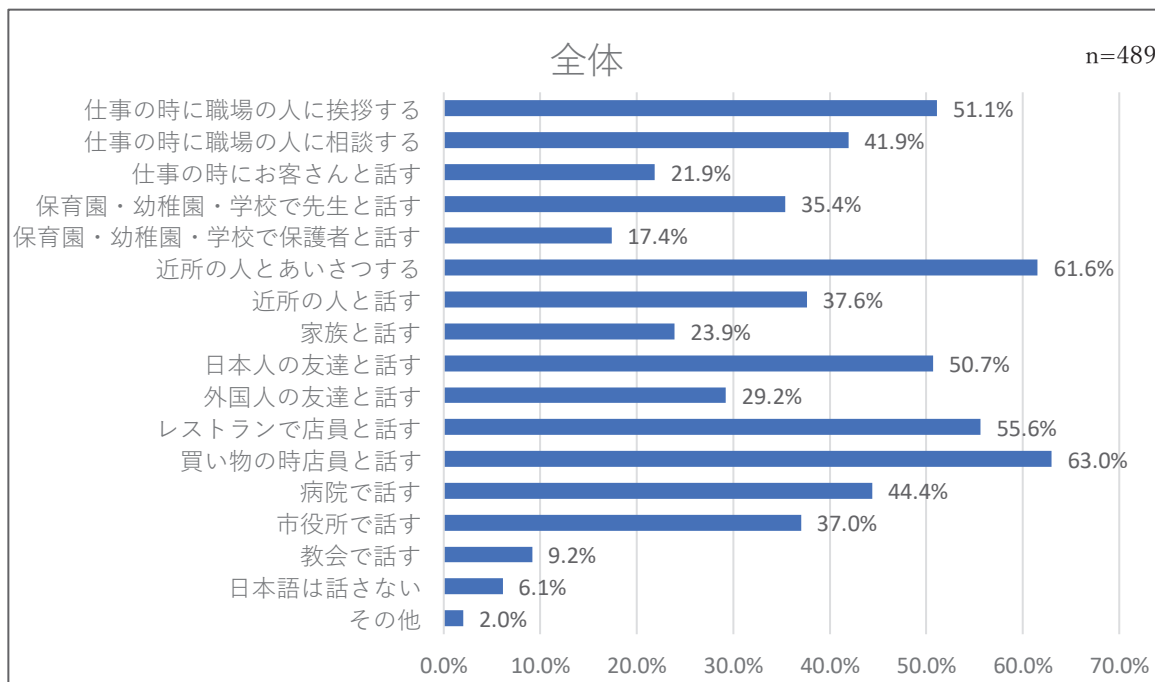
10代のうち外国人学校生徒(中3~高3)は、「いる」が42.2%、「いない」が57.4%である。
10代のうち外国人学校生徒以外では、「いる」が88.0%、「いない」が8.7%である。

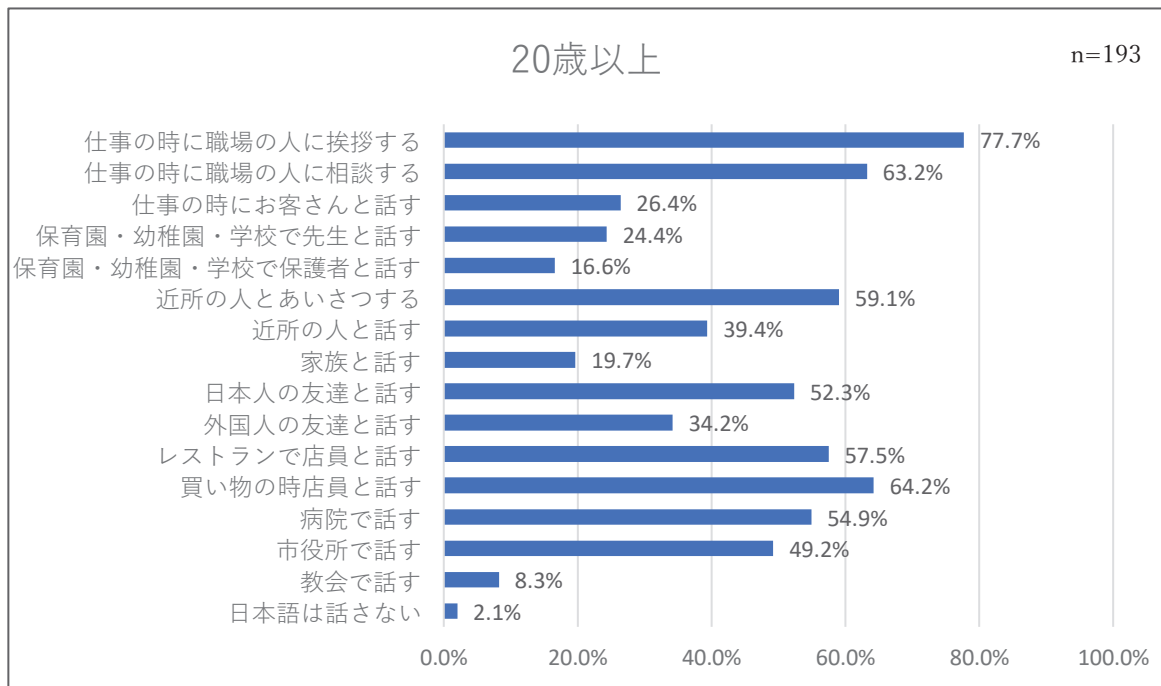
問17 友人の中で日本人の割合は何%ですか。(自由記述)

問17は自由記述で回答するものであったが、回答者の意図が不明な回答や、問16の回答と矛盾する回答が多く、集計不可能であった。

問 18 日常の中で、どんな時に(誰と)日本語を使いますか。(複数回答可)

図表 2-22 日本語を使う場面 (全体、10代、20歳以上)





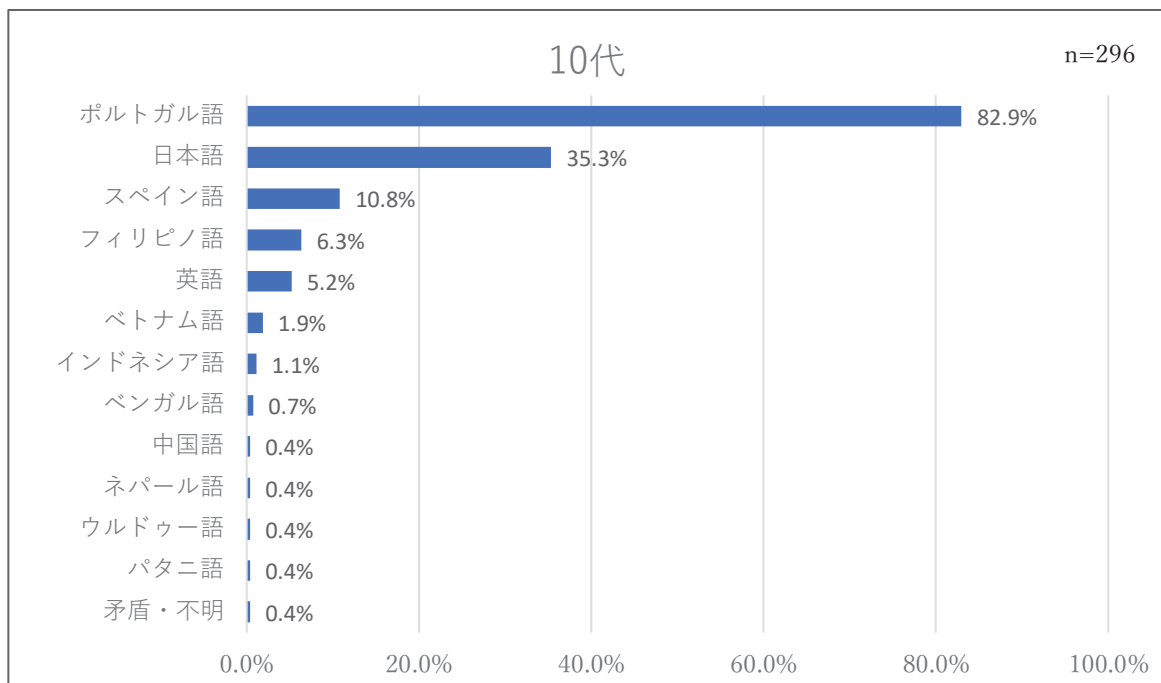
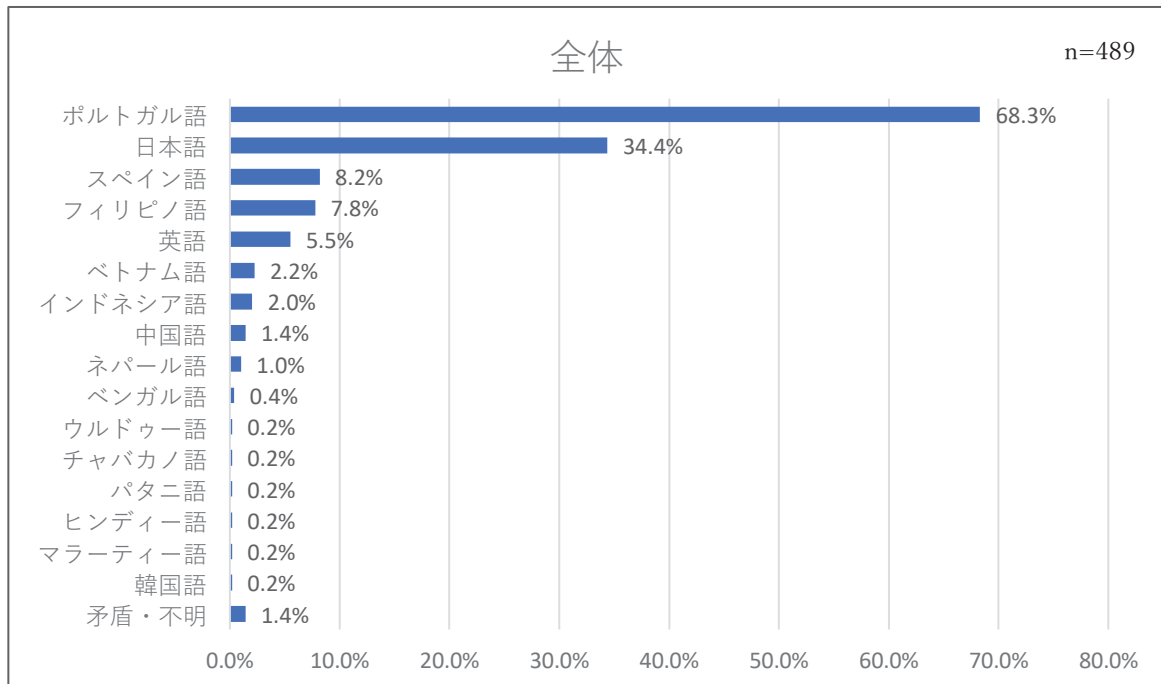
日常生活における日本語の使用場面は、全体では、「買い物の時店員と話す」が最も多く全体の 63.0% を占めている。次に「近所の人とあいさつする」が 61.6% である。

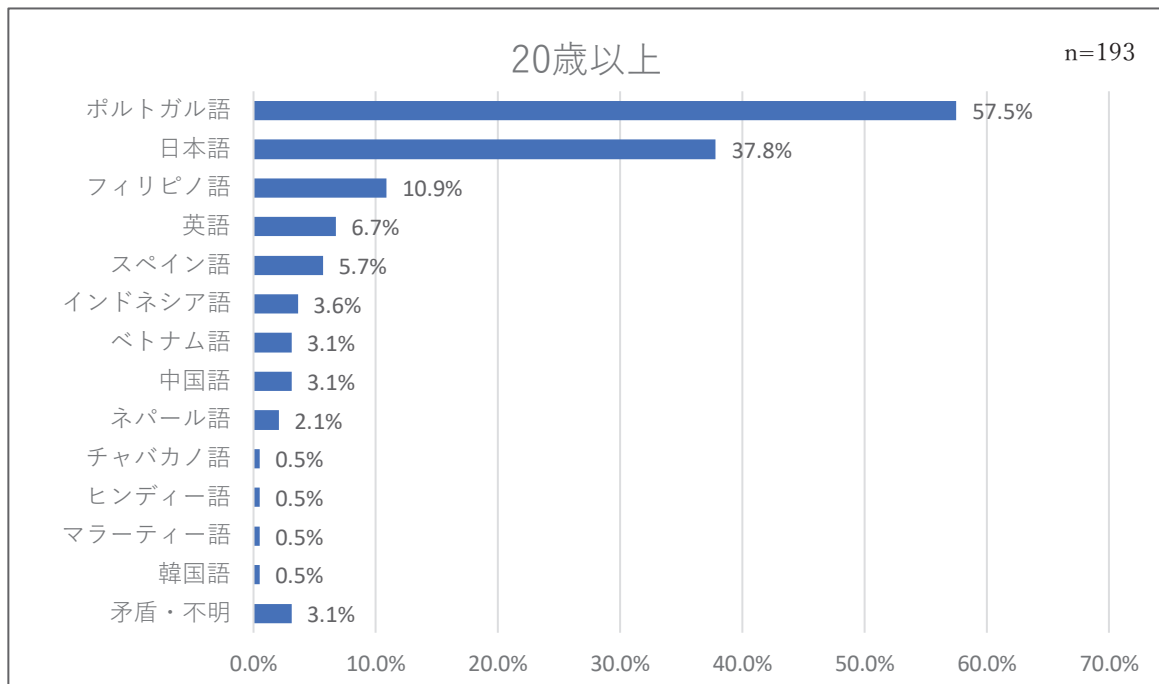
10代では、「近所の人とあいさつする」が最も多く全体の 63.2% を占めている。次に「買い物の時店員と話す」が 62.2% である。

20歳以上では、「仕事の時に職場の人に挨拶する」が最も多く全体の 77.7% を占めている。次に「買い物の時店員と話す」が 64.2% である。

問 19 あなたの家庭内ではどんな言語を使っていますか。割合も教えてください。(自由記述)
 例)夫とはベトナム語(100%)、子供とはベトナム語(70%)と日本語(30%)

図表 2-23 家庭内の使用言語 (全体、10代、20歳以上)





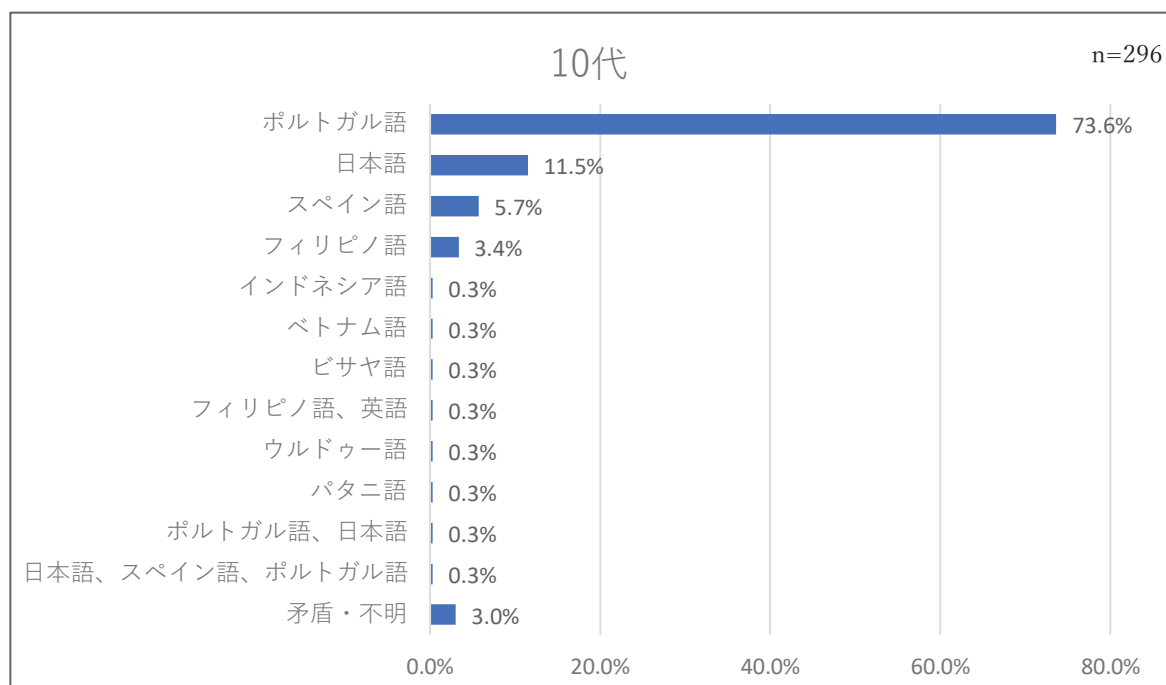
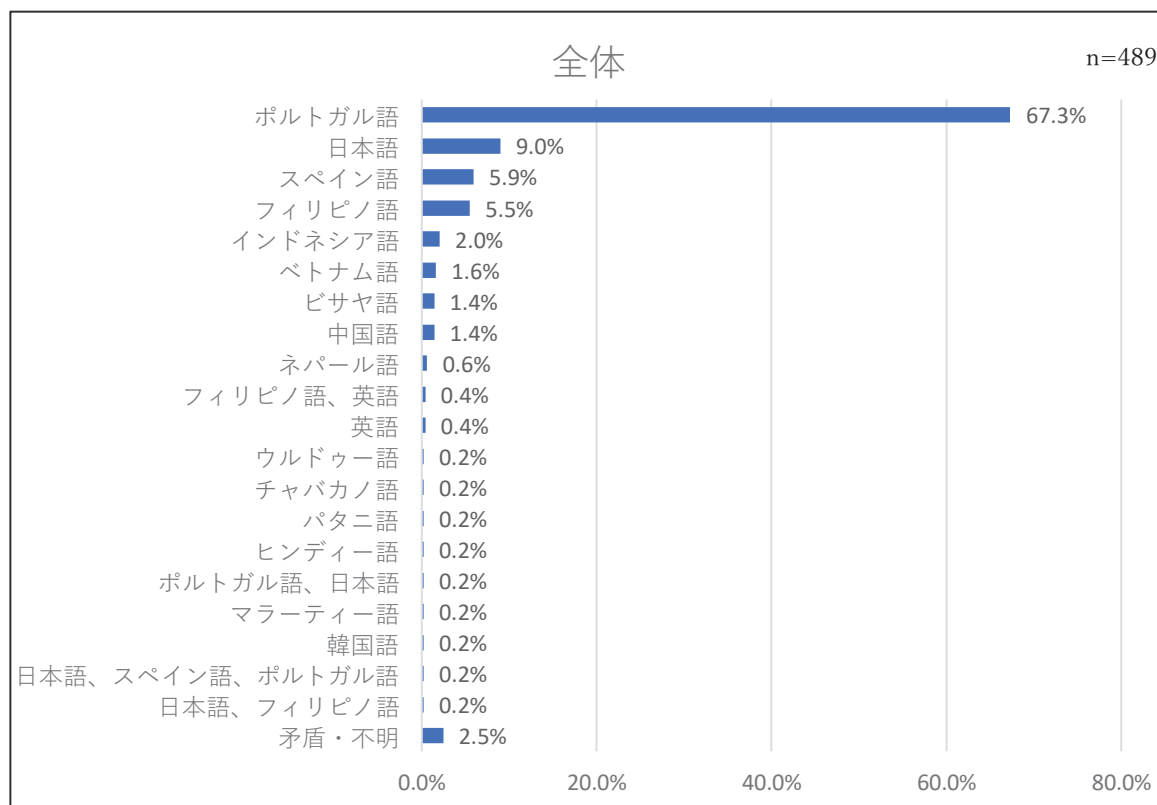
家庭内の使用言語は、全体では、「ポルトガル語」が最も多く全体の68.3%を占めている。次に「日本語」が34.4%である。

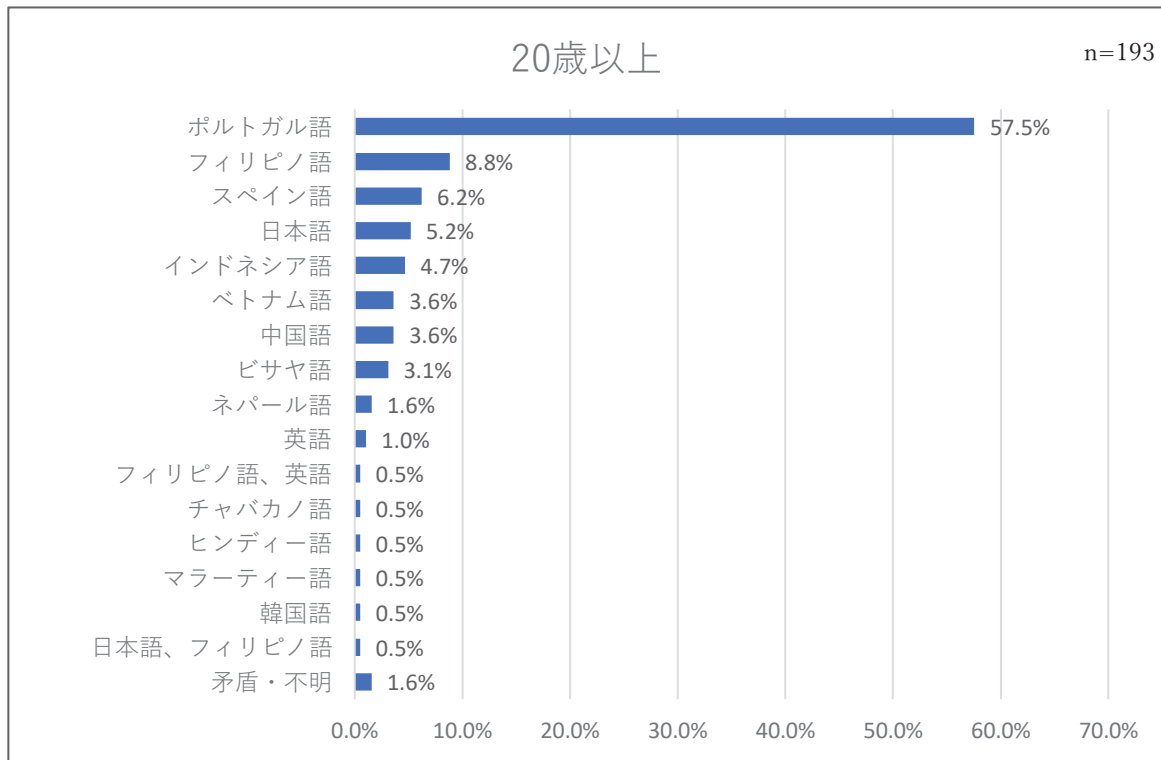
10代では、「ポルトガル語」が最も多く全体の82.9%を占めている。次に「日本語」が35.3%である。

20歳以上では、「ポルトガル語」が最も多く全体の57.5%を占めている。次に「日本語」が37.8%である。

問 20 あなたの第一言語は何ですか。(自由記述)

図表 2-24 第一言語 (全体、10代、20歳以上)





第一言語は、全体では、「ポルトガル語」が最も多く全体の 67.3%を占めている。次に「日本語」が 9.0%である。

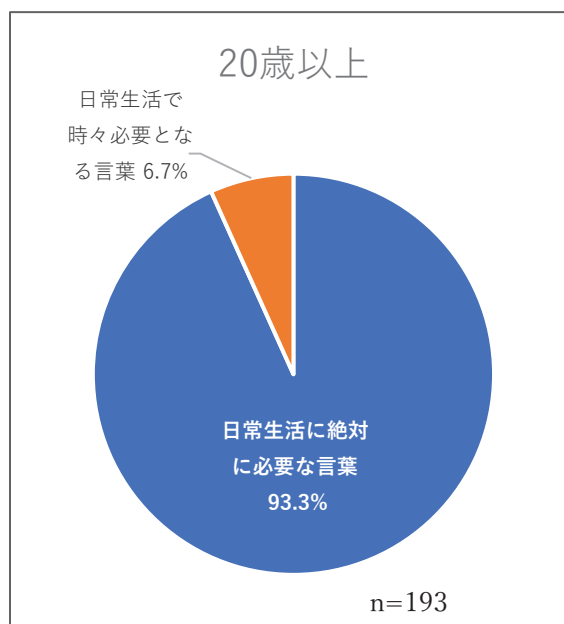
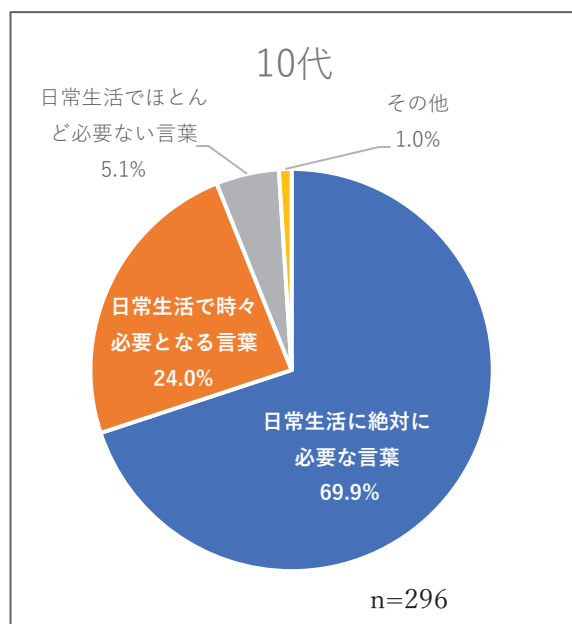
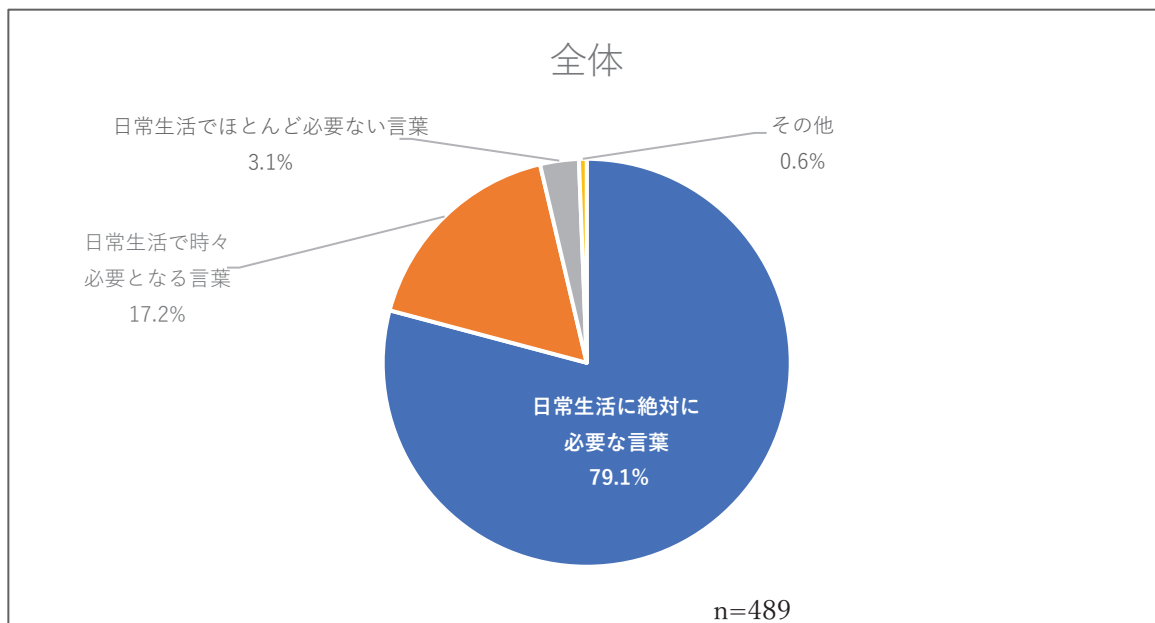
10代では、「ポルトガル語」が最も多く全体の 73.6%を占めている。次に「日本語」が 11.5%である。

20歳以上では、「ポルトガル語」が最も多く全体の 57.5%を占めている。次に「フィリピン語」が 8.8%である。

問 21 あなたにとって、日本語はどのような位置づけですか。(一つだけ選択)

図表 2-25 日本語の位置づけ

(全体、10代、20歳以上、10代[外国人学校生徒(中3~高3)]、10代[外国人学校生徒以外])

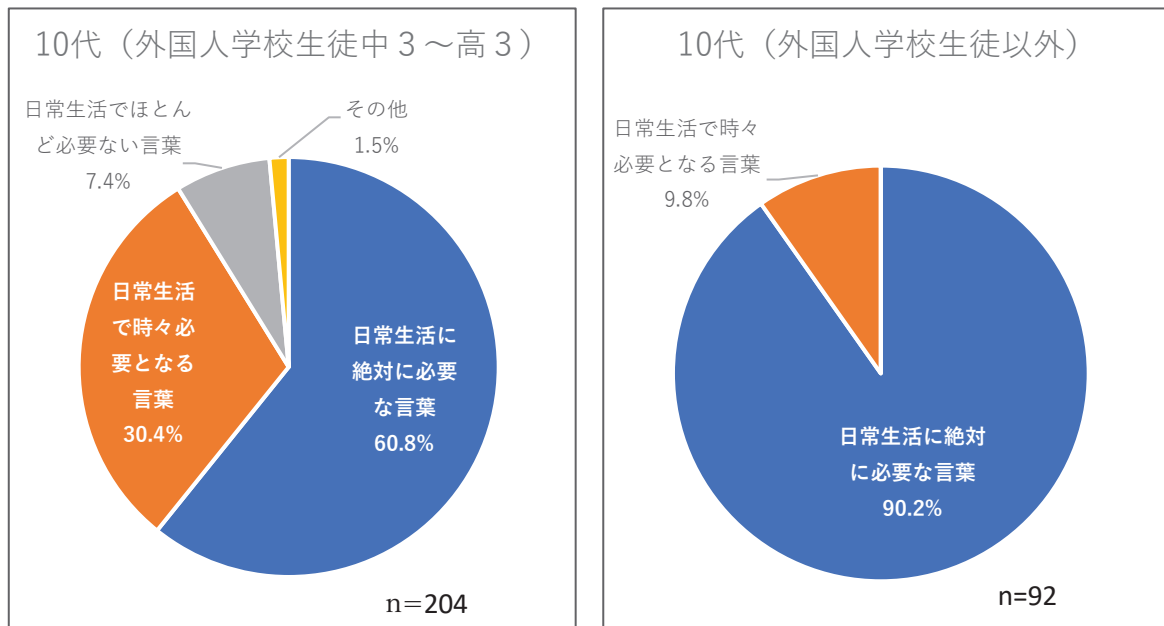


日本語の重要性は、全体では、「日常生活で絶対に必要な言葉」が最も多く全体の79.1%を占めている。次に「日常生活で時々必要となる言葉」が17.2%である。

10代では、「日常生活で絶対に必要な言葉」が最も多く全体の69.9%を占めている。次に「日常生活で時々必要となる言葉」が24.0%である。

20歳以上では、「日常生活で絶対に必要な言葉」が最も多く全体の93.3%を占めている。次に「日常生活で時々必要となる言葉」が6.7%である。

以下は、問 21 に対し、10 代の回答者 (n=296) を、外国人学校生徒 (中 3～高 3) とそれ以外でさらに分けたものである。



日本語の重要性は、外国人学校生徒は「日常生活で絶対に必要な言葉」が 60.8%で、次に「日常生活で時々必要となる言葉」が 30.4%である。

外国人学校生徒以外では、「日常生活で絶対に必要な言葉」が最も多く全体の 90.2%を占めている。次に「日常生活で時々必要となる言葉」が 9.8%である。「ほとんど必要ない」と答えた人はいなかった。

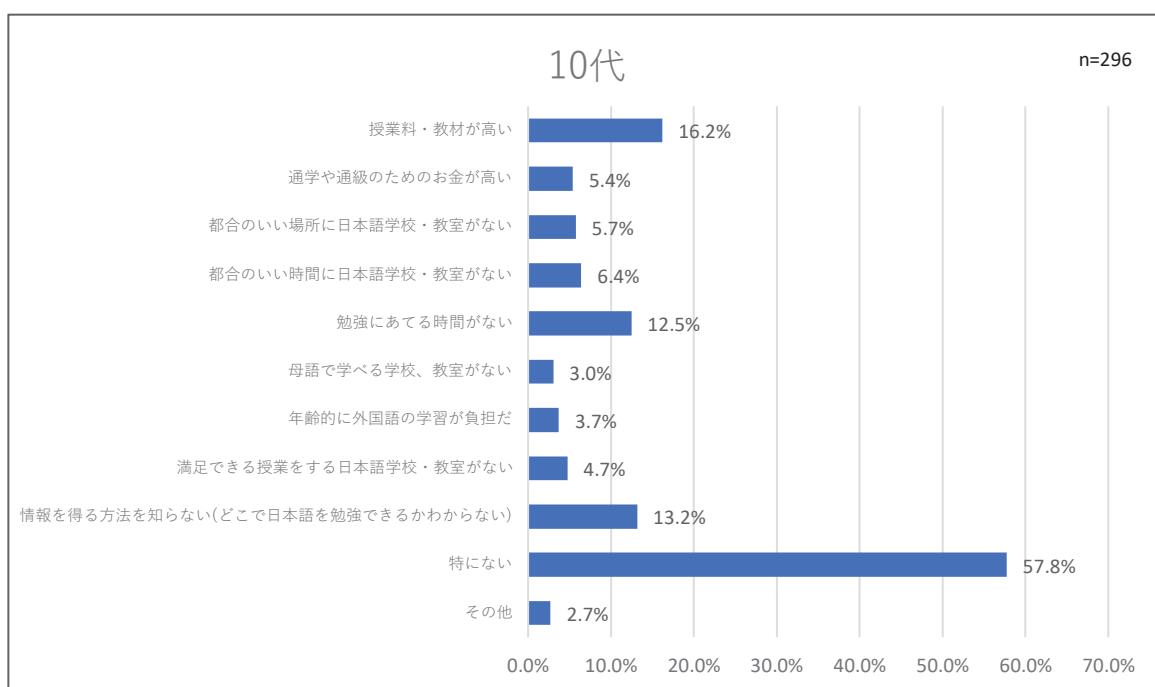
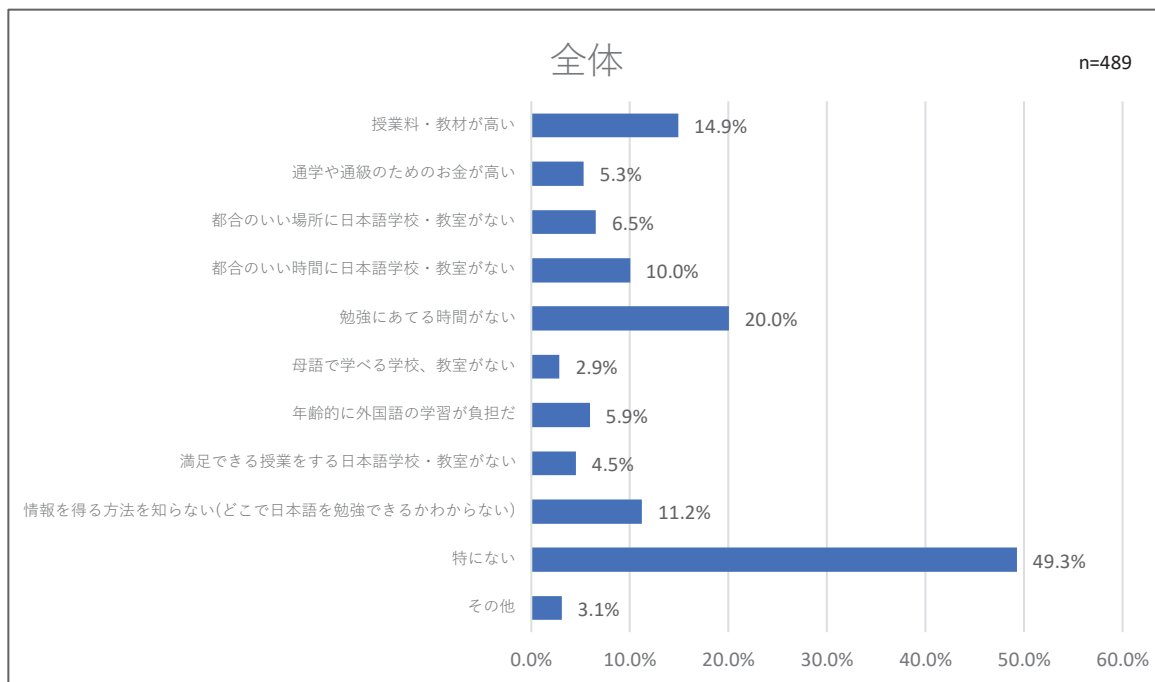
問 22 上記の理由を教えてください。(自由記述)

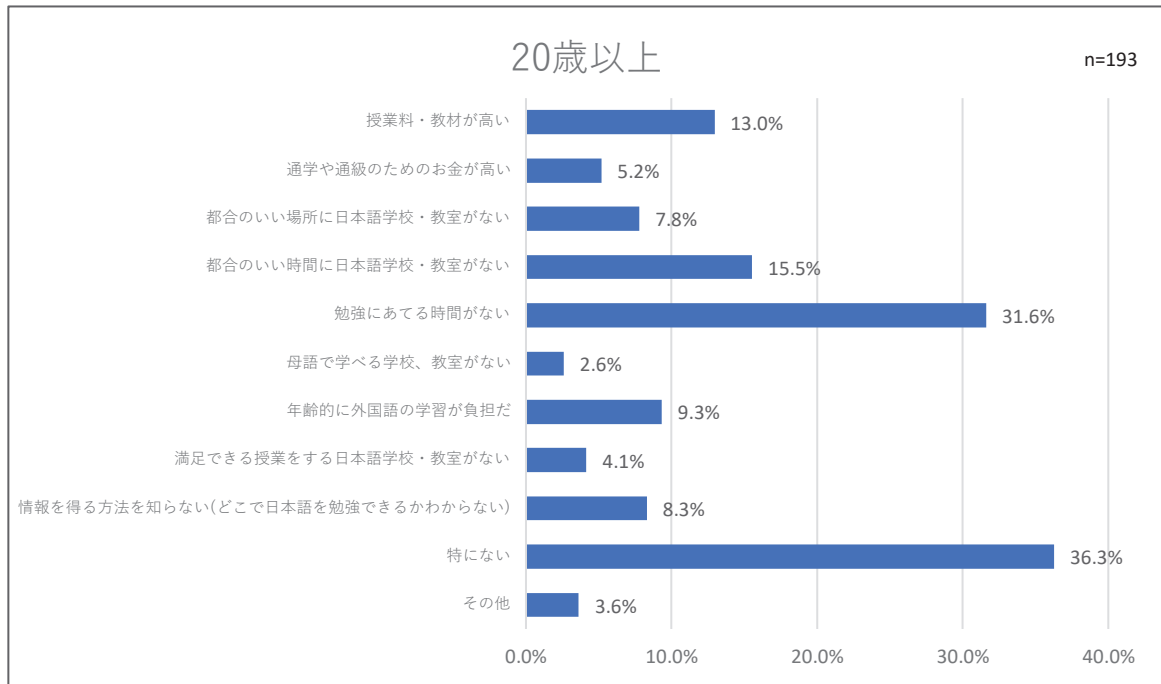
「絶対に必要な言葉」「時々必要となる言葉」と回答した人の理由としては、「日本に住んでいるから」「日本語が話せないと生きていけない」といった回答が多くを占めた。「仕事のため」という回答も多かった。

これに対して、「ほとんど必要ない言葉」と回答した人の理由としては、「使わないから」「家族や周囲の人とはポルトガル語で話すから」「日本にずっといるつもりがないので」といった回答が見られた。「日本人と話すときはスマートフォンの同時通訳を使うか、英語で話す」という回答もあった。

問23 日本語学習に関する悩みや不安がありますか。(複数回答可)

図表 2-26 日本語学習に関する悩み・不安 (全体、10代、20歳以上)





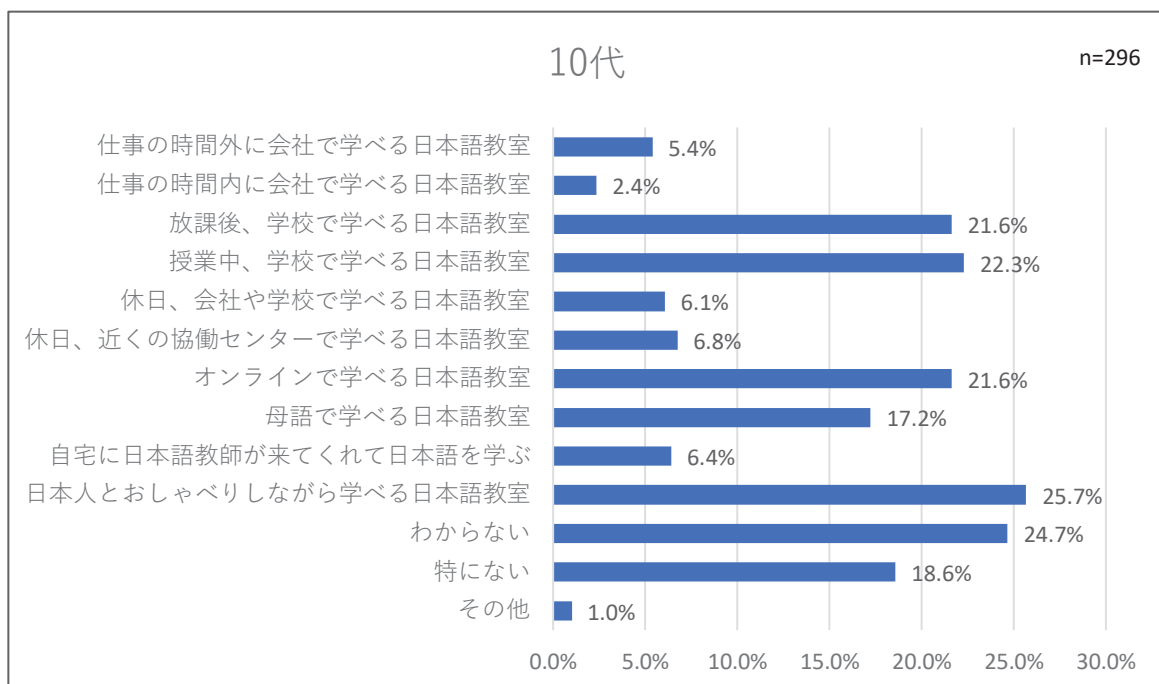
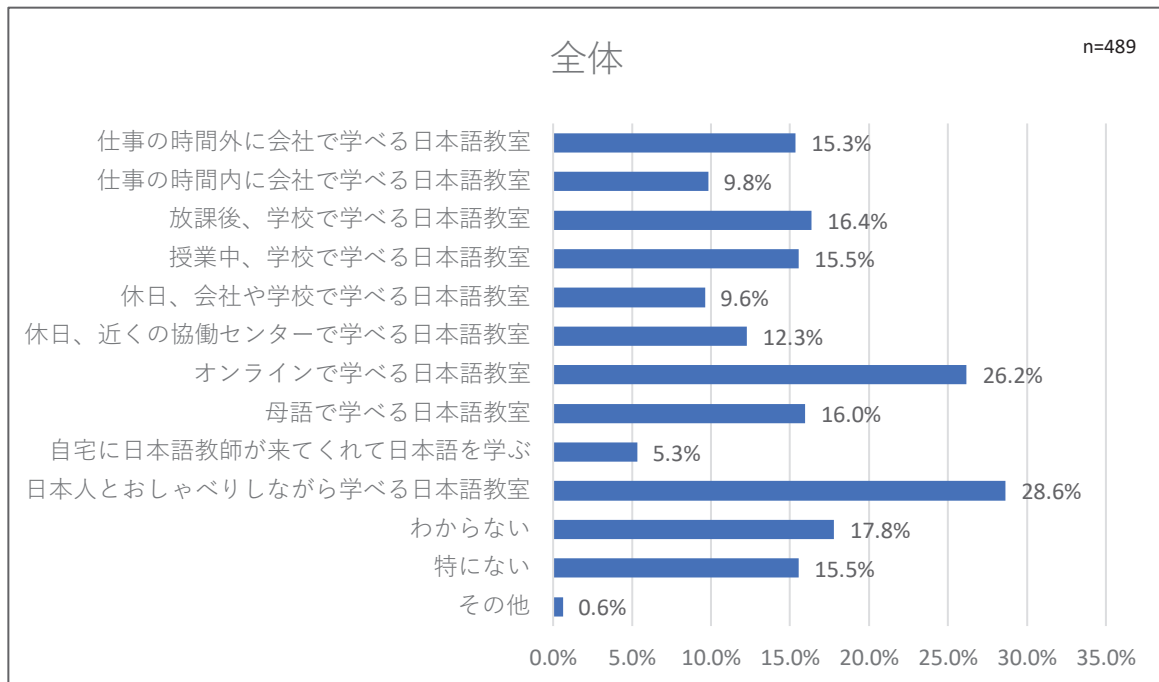
日本語学習の困りごと、不安なことは、全体では、「特にない」が最も多く全体の 49.3%を占めている。次に「授業料・教材が高い」が 14.9%である。

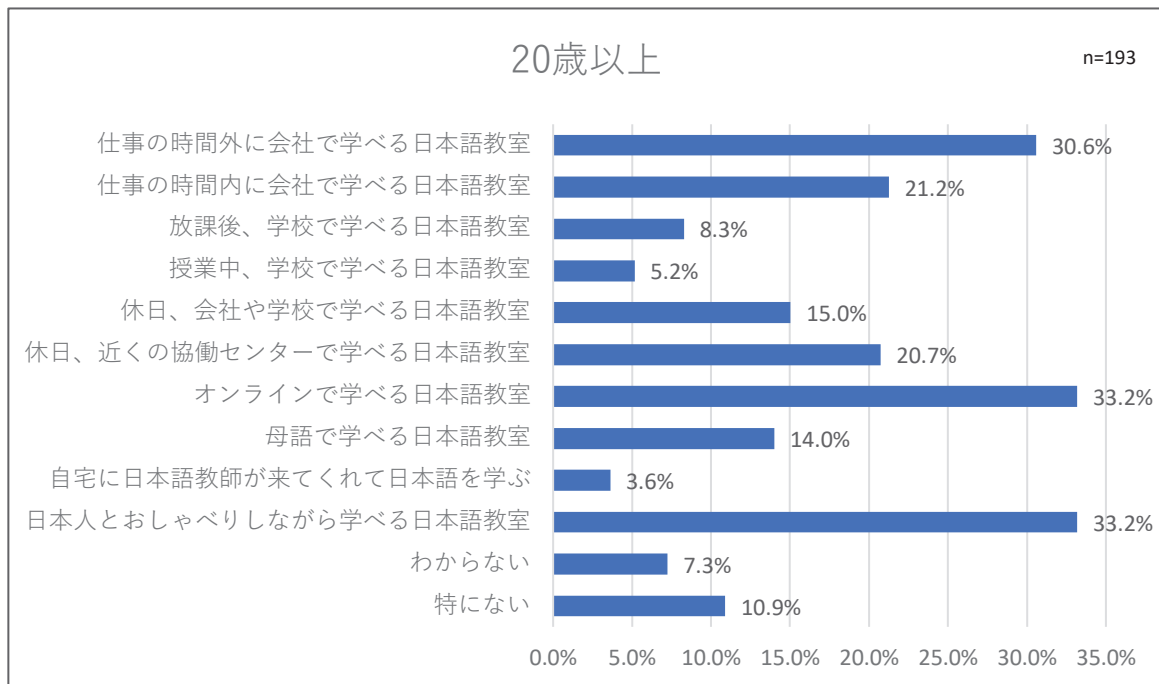
10代では、「特にない」が最も多く全体の 57.8%を占めている。次に「授業料・教材が高い」が 16.2%である。

20歳以上では、「特にない」が最も多く全体の 36.3%を占めている。次に「勉強にあてる時間がない」が 31.6%である。

問 24 どのような日本語教室があると良いと思いますか。(複数回答可)

図表 2-27 希望する日本語教室 (全体、10代、20歳以上)





求められる日本語教室では、全体では、「日本人とおしゃべりしながら学べる日本語教室」が最も多く、全体の28.6%を占めている。次に「オンラインで学べる日本語教室」が26.2%である。

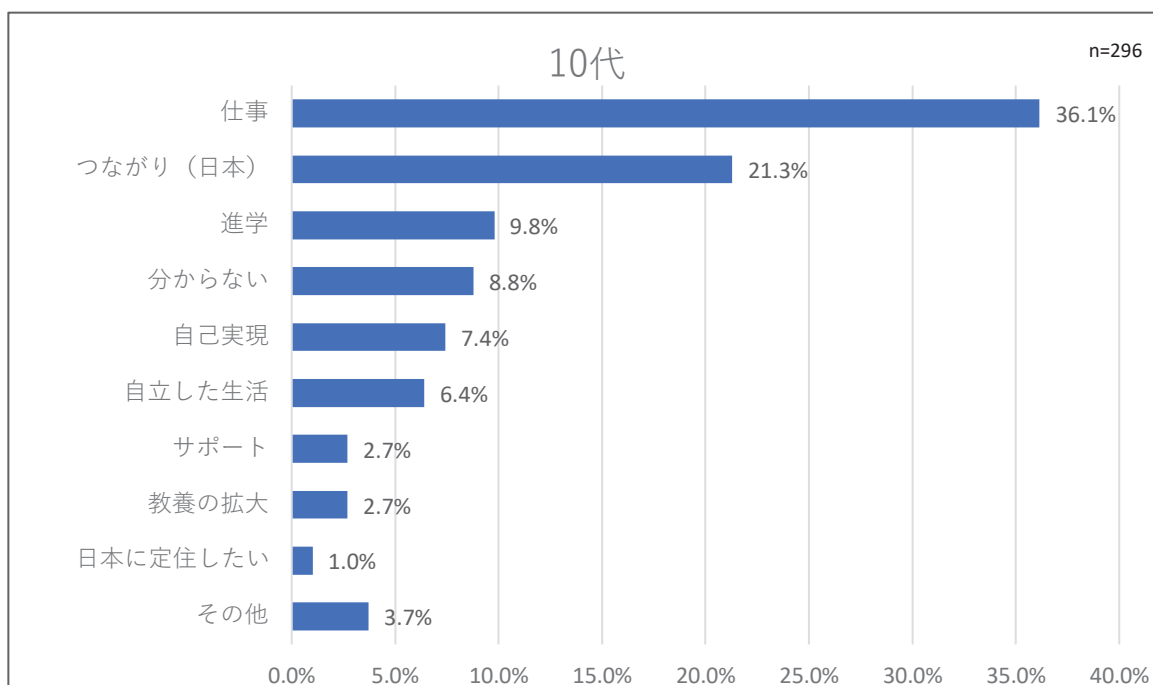
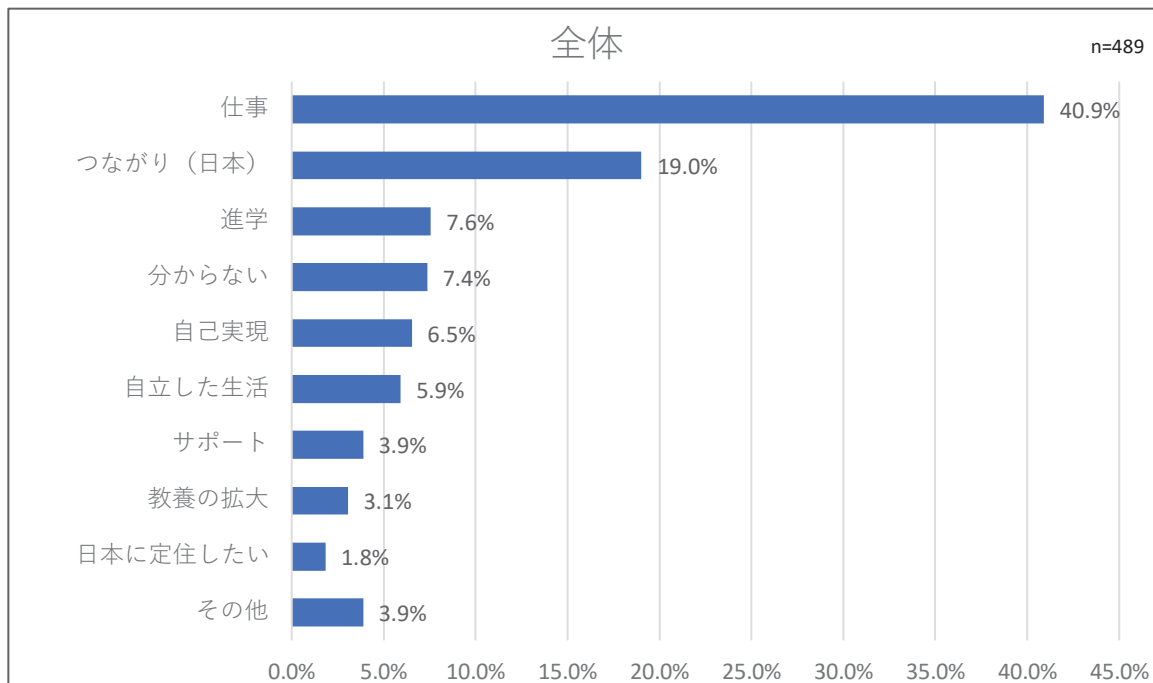
10代では、「日本人とおしゃべりしながら学べる日本語教室」が最も多く全体の25.7%を占めている。次に「わからない」が24.7%、「授業中、学校で学べる日本語教室」が22.3%、「放課後、学校で学べる日本語教室」と「オンラインで学べる日本語教室」がそれぞれ21.6%である。

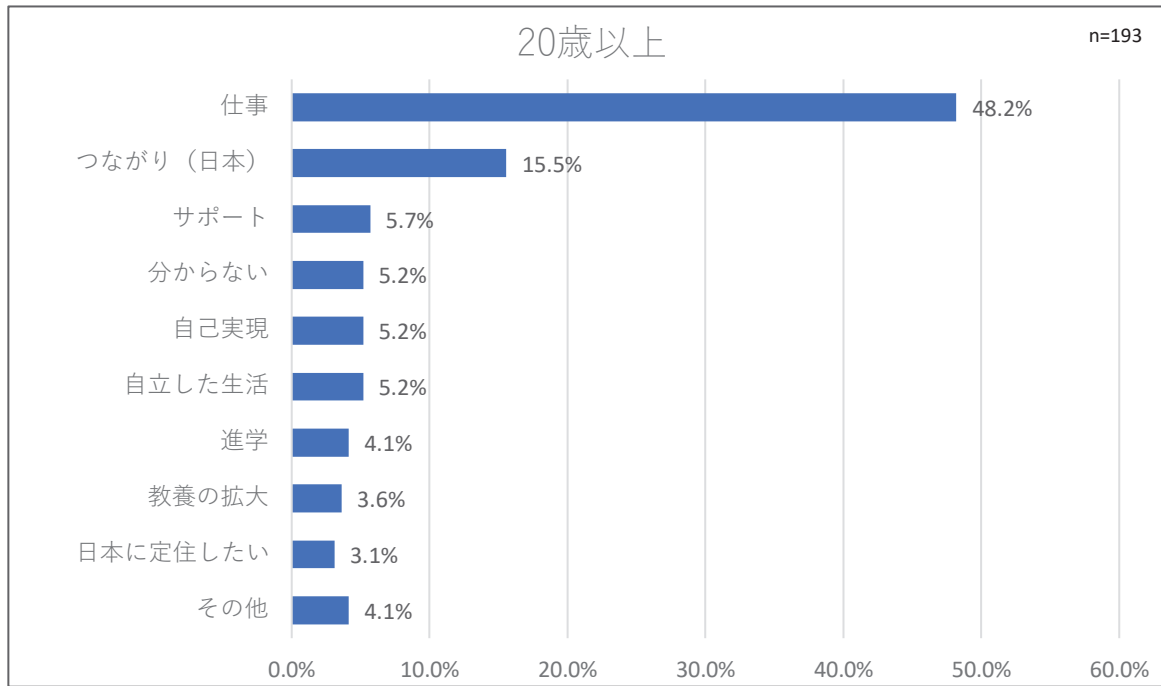
20歳以上では、「日本人とおしゃべりしながら学べる日本語教室」と「オンラインで学べる日本語教室」が最も多くそれぞれ全体の33.2%を占めている。次に「仕事の時間外に会社で学べる日本語教室」が30.6%である。

問 25 日本語が上手になったら何をしたいですか。(自由記述)

図表2-28 は、HICE 事務局で自由記述回答をグループ分けし、名称を付けてグラフ化したものである。

図表 2-28 日本語が上手になったらしたいこと (全体、10代、20歳以上)





日本語が上手になったらしたいことは、全体では、「仕事」が最も多く全体の 40.9%を占めている。次に「つながり（日本）」が 19.0%である。

10代では、「仕事」が最も多く全体の 36.1%を占めている。次に「つながり（日本）」が 21.3%である。

20歳以上では、「仕事」が最も多く全体の 48.2%を占めている。次に「つながり（日本）」が 15.5%である。

第3章 日本語能力調査及び日本語使用状況調査の 統計分析

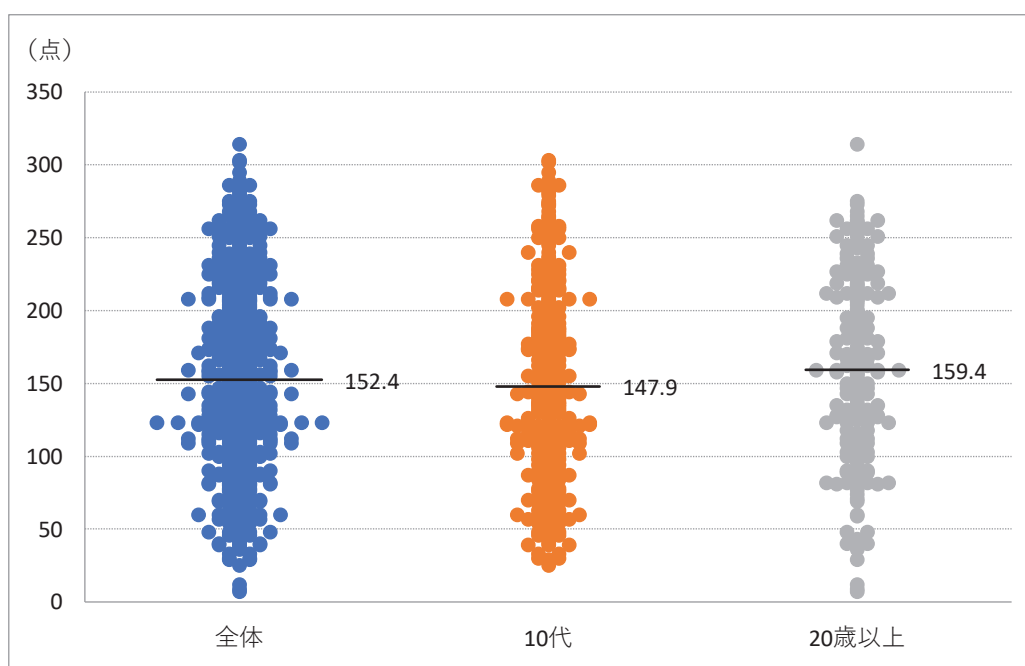
第3章 日本語能力調査及び日本語使用状況調査の統計分析

本章では、日本語能力調査と日本語使用状況調査の結果をもとに、回答者の属性や特徴によって日本語能力がどのように異なるかを明らかにする。具体的には、ドットプロットや散布図を用いて属性ごとの日本語能力の分布を分かりやすく示し、相関分析、T検定、分散分析といった基本的な統計分析手法を用いて、各属性・特徴と日本語能力との関係を分析する⁶。

なお、一部の属性・特徴については回答者全体と10代の回答者に分けて分析を行う。これにより、10代の回答者の日本語能力について理解を深めたい。

1 10代と20歳以上の日本語能力

図表3-1 全体、10代、20歳以上の日本語能力



図表3-1は、回答者全員（全体）、10代の回答者、20歳以上の回答者の日本語能力調査の得点をドットプロットで示したものである。ドットプロットとはデータを点で表現するグラフであり、図表3-1では1つ1つの点が各回答者の日本語能力調査の得点を示している。点が多数ある場所はその得点の回答者が多いことを示す。たとえば図表3-1の「全体」の100～200点の間には点が密集していることから、この得点圏に位置する回答者が多いことが分かる。他方、「全体」の300点以上にはほとんど点がないことから、300点以上の回答者がほとんどいないことが分かる。ドットプロット内の横線と数値は平均を示す。たとえば図表3-1の「全体」の平均は152.4点である。

図表3-1によると、10代の平均（147.9点）は20歳以上の平均（159.4点）より低いですが、T検定の結果、両者の平均点の差は統計的に有意ではなかった⁷。T検定とは、2グループの平均値の間に

⁶ ドットプロットとT検定については図表3-1の説明文を、散布図と相関分析については図表3-3の説明文を、分散分析については図表3-5の説明文を、それぞれ参照のこと。より詳しい解説については統計学の専門書を参照していただきたい。

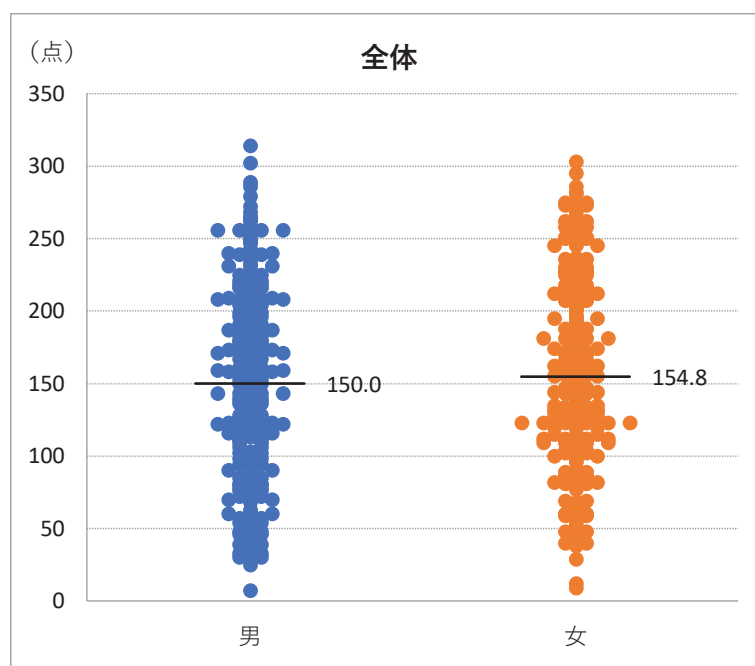
⁷ $t(429) = 1.916, p > 0.05$, 両側検定。T検定および後に見る無相関の検定、分散分析、多重比較の結果を表記する方法については、統計学の専門書を参照していただきたい。

統計的有意差があるかどうかを判断する検定手法である。統計的に有意な差とは、偶然によって生じたものとは考えにくい差のことである。これに対して、統計的に有意でない差とは、偶然によって生じたものである可能性を否定できない差のことである。

上述の通り、10代と20歳以上の平均点の差は、T検定により統計的に有意な差ではないと判定されたから、この差は偶然によって生じたものである可能性を否定できない。言い換えれば、今回は偶然このような結果が出ただけであって、何度か同様の調査を実施した場合、10代の平均点の方が高くなる可能性もある。したがって、10代と20歳以上の日本語能力に差があるとは言い切れない。

2 性別

図表3-2 男女別に見た日本語能力(全体)



図表3-2は日本語能力調査の得点を男女別に示したドットプロットである。女性の平均(154.8点)が男性の平均(150.0点)を少しだけ上回っているが、T検定の結果、両者の平均点の差は統計的に有意ではなかった⁸。したがって、男女の日本語能力に差があるとは言い切れない。

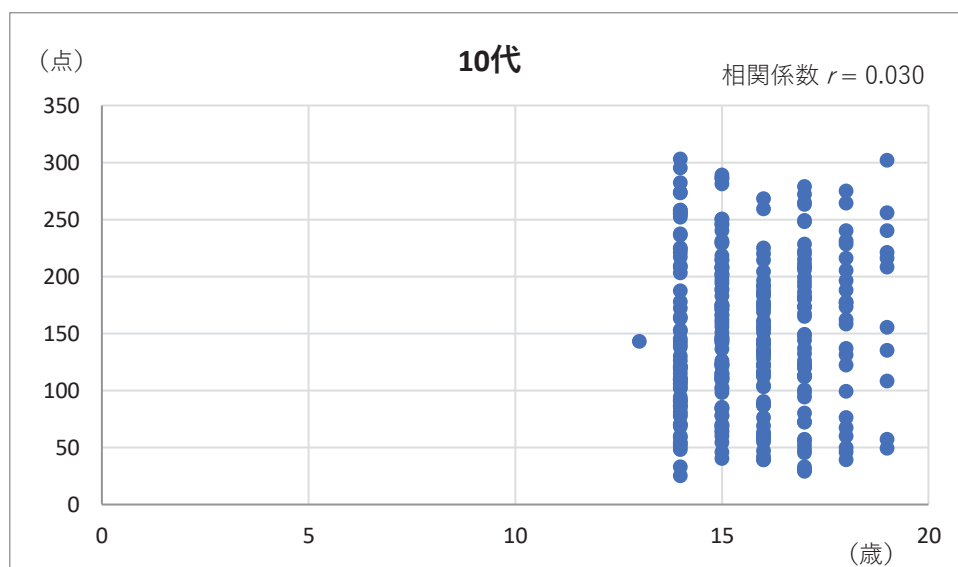
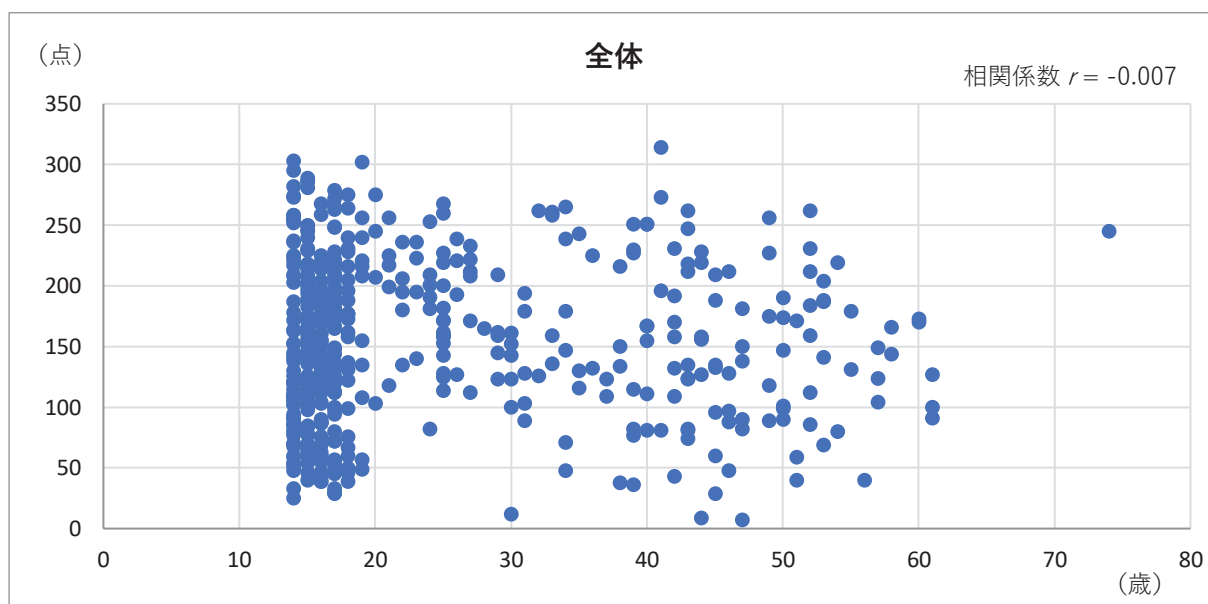
3 年齢

図表3-3は日本語能力調査の得点と年齢の分布を示す散布図である。散布図とは、横軸(X軸)と縦軸(Y軸)に2項目の数値を対応させて、数値が該当する場所に点を描くグラフである。散布図を見るとデータの分布を視覚的に捉えることができる。たとえば図表3-3の全体を見ると、10代(横軸)の回答者が40~230点(縦軸)の間に多数分布していることや、60代以上の回答者が非常に少ないことなどが分かる。また、散布図を見ることで2つの項目の間の関係を把握できることもある。たとえば、散布図に描かれた点の集合が、横軸の数値が大きくなると縦軸の数値も大きくなる直線を描くとき、その2項目は正の相関があるとみなせる。これに対して、横軸の数値が大きくなると縦軸の数値が小さくなる直線を描くとき、その2項目は負の相関があるとみなせる。

⁸ $t(485) = 0.86, p > 0.05$, 両側検定。

このような視点で図表3-3の2つの散布図(全体と10代)を見ると、一見ただけでは得点(縦軸)と年齢(横軸)の間に正の相関や負の相関を見出すことは困難である。そこで、得点と年齢の関係を検討するために相関分析を行う。相関分析とは2つの変数の関係性を検討するための統計手法であり、相関係数(r)によって相関の程度を検討し、無相関の検定によって相関の統計的有意性を判定する。相関係数の大きさや解釈の仕方は分野によって異なるが、本報告書では一般的に用いられる図表3-4の解釈を採用する。無相関の検定によって相関が統計的に有意であると判定された場合、2変数の関係は偶然によって生じたものとは考えにくい。逆に、無相関の検定によって相関が統計的に有意でないとは判定された場合、2変数の関係は偶然によって生じたものである可能性を否定できないため、相関係数そのものが信頼できない数値となる。

図表3-3 日本語能力と年齢の分布(全体、10代)



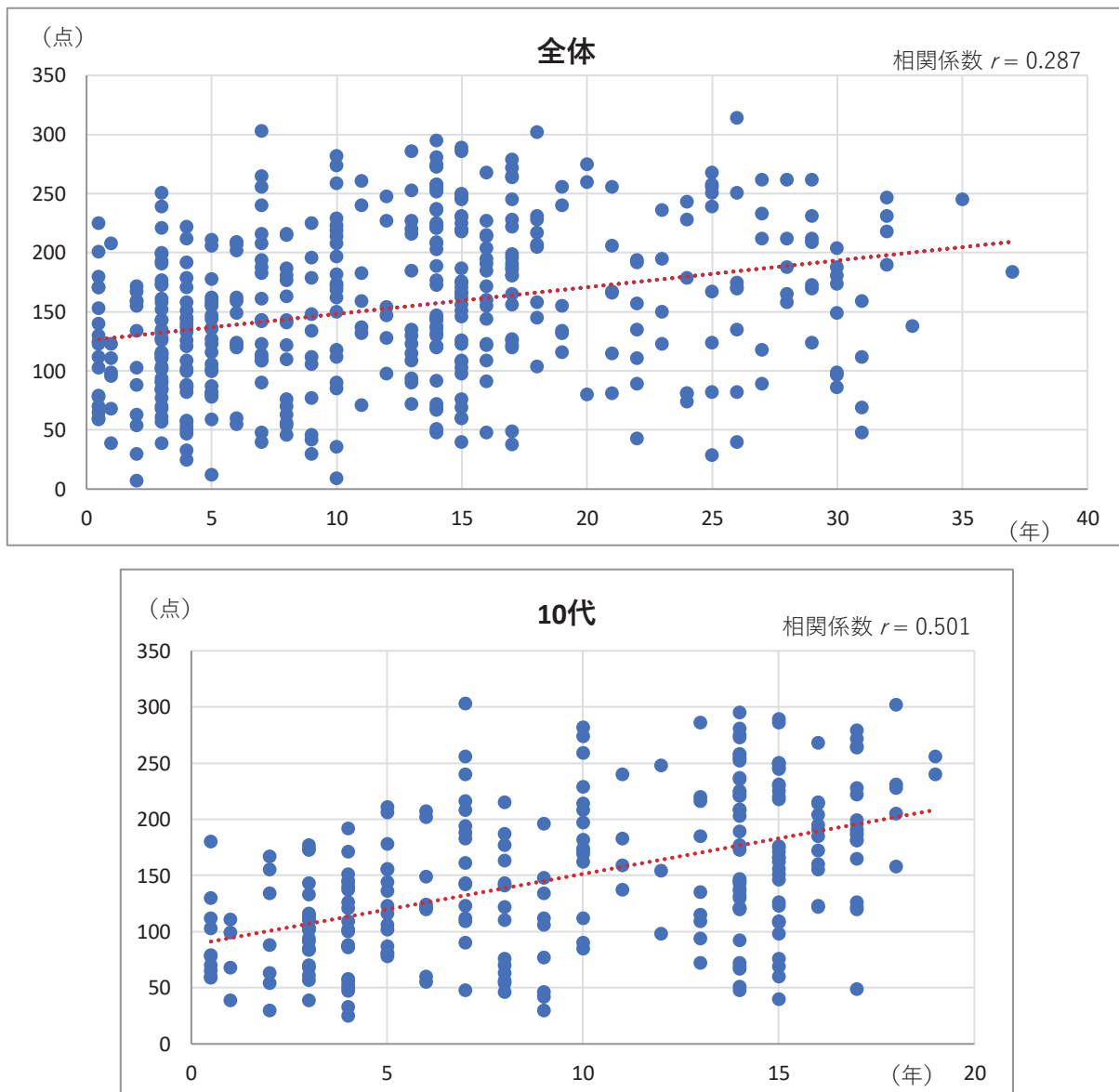
図表3-4 相関係数の大きさと解釈⁹

相関係数 (r) の絶対値	解釈
$0 < r \leq 0.2$	ほとんど相関なし
$0.2 < r \leq 0.4$	弱い相関あり
$0.4 < r \leq 0.7$	中程度の相関あり
$0.7 < r \leq 1.0$	強い相関あり

実際に得点と年齢の相関係数を計算すると、全体の相関係数は -0.007 、10代の相関係数は 0.030 であるから、全体・10代ともに得点と年齢に相関はほとんどないと判断できる。無相関の検定も、全体・10代ともに統計的に有意でないという結果であり($p > 0.05$)、年齢と得点に相関はないことが確認された。

4 滞在年数

図表3-5 日本語能力と滞在年数の分布 (全体、10代)



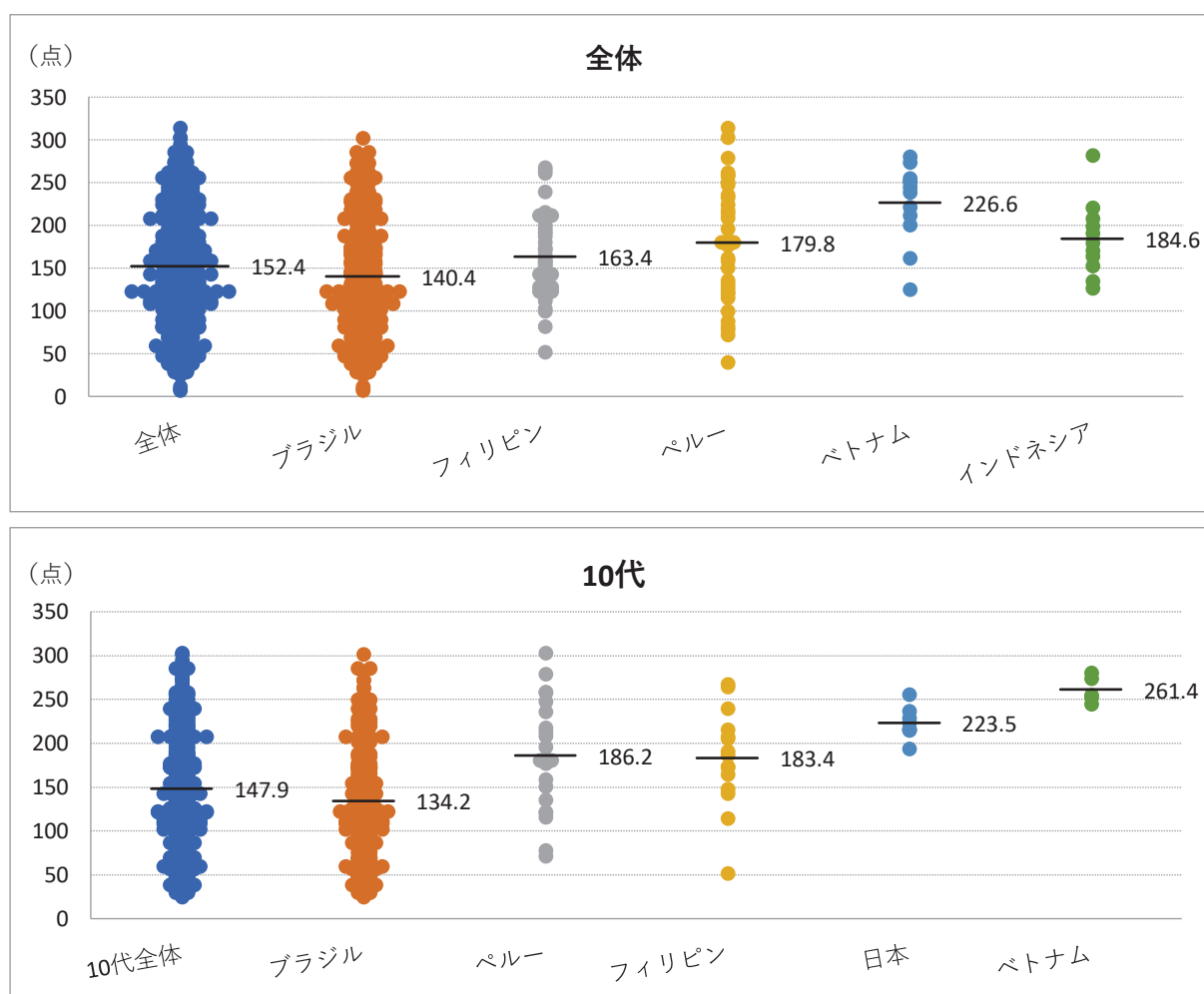
⁹ 出典:板口典弘・森数馬、2017、『心理学統計入門』、講談社、183 ページ。

図表3-5は、日本語能力調査の得点と滞在年数の分布を示す散布図である¹⁰。全体では得点と滞在年数の相関があまり明瞭ではないが、10代では得点と滞在年数に正の相関があることを示唆する分布となっている。実際に相関係数を求めると、全体の相関係数は0.287、10代の相関係数は0.501であった。無相関の検定は、全体・10代ともに統計的に有意という結果が得られた($p < 0.001$)。したがって、回答者全体は得点と滞在年数に弱い正の相関があり、10代は中程度の正の相関があると言える。

得点と滞在年数に正の相関があるということは、滞在期間が長くなると日本語能力が向上する、あるいは日本語能力が高い人ほど長期にわたって日本に滞在するといった傾向があることを意味する。全体と比べて10代の相関が強い理由は定かではないが、1つの仮説として、10代は語学の学習効果や吸収力が高いため、滞在期間の長期化による日本語能力の向上ペースが速いことが考えられる。この仮説が正しいとすれば、外国人の日本語能力向上を実現するためには、10代(をはじめとする若い層)に日本語学習のための機会や資源をより多く提供するという戦略が最適と言えるかもしれない。

5 国籍

図表3-6 国籍別に見た日本語能力(全体、10代)



注: 全体では回答者が10名以上いる国籍のみ、10代では5名以上いる国籍のみを分析対象とした。

¹⁰ 散布図内の赤の点線は回帰直線である。回帰直線とは、散布図内のデータに最もよく当てはまるように引いた直線である。本章では、X軸とY軸の項目に相関がある散布図には回帰直線を引くものとする。

図表3-6は、日本語能力調査の得点を国籍別に示したドットプロットである。これを見ると、国籍によって平均点が大きく異なっていることが分かる。しかしこのような平均点の差は、今回の調査における何らかの偶然によって生じた可能性があるため、分散分析を行って平均点の差が偶然によるものかそうでないかを検定したい。

分散分析とは、3つ以上のグループの平均値の差（ばらつき）が、特定の要因の効果によるものかどうかを調べる検定手法である。たとえば図表3-6のように、回答者を国籍によって3つ以上のグループに分けて各グループの平均点を比較した際、国籍という要因が平均点の差（ばらつき）を生み出しているのか、それとも国籍以外の要因が平均点の差を生み出しているのかを調べる場合に分散分析を用いることができる。そして所定の手順で検定を行った結果、国籍という要因が平均点の差を生み出していると判定された場合、有意な要因の効果がある、または国籍という要因の効果は有意である、などと表現する。これに対して、検定の結果、国籍という要因が平均点の差を生み出しているとは言い切れない（平均点の差が何らかの偶然や国籍以外の要因によって生じた可能を否定できない）場合、有意な要因の効果は認められない、または国籍という要因の効果は有意でない、などと表現する。

実際に図表3-6のデータで分散分析を行うと、全体・10代ともに、国籍という要因の効果は有意であるという結果が得られた¹¹。言い換えれば、全体・10代ともに、国籍によって平均点の差が生じていることが分かった。しかしながら、分散分析で判定できるのは国籍によって平均点の差が生じていることだけであって、具体的にどのグループとどのグループの平均点の差が有意である（国籍という要因によって平均点の差が生じている）のかは分からない。たとえば図表3-6の全体ではブラジル（140.4点）とベトナム（226.6点）の平均点に大きな差（86.2点）が見られるが、この差が国籍によるものかどうかは分散分析だけでは分からない。

そこで、具体的なグループ間の差が国籍という要因によって生じているかどうかを調べるために多重比較を行う。多重比較とは、分散分析により特定の要因の効果は有意であると判定された場合に、具体的にどのグループ間の差が有意である（その要因によって差が生じているとみなせる）のかを調べる検定手法である。たとえば図表3-6の全体において、ブラジルとベトナムの平均点の差は有意（国籍という要因によって差が生じたとみなせる）か、ブラジルとフィリピンはどうか、ブラジルとペルーはどうか、……という検定を繰り返し、全ての組み合わせについて検定するのが多重比較である。

実際に図表3-6について多重比較を行うと、全体においては、ブラジルとベトナム、ブラジルとペルー、フィリピンとベトナムの差は有意という結果であり、10代においては、ブラジルとペルー、ブラジルとフィリピン、ブラジルと日本、ブラジルとベトナムの差は有意という結果になった¹²。言い換えると、これらのグループ間の平均点の差は国籍という要因によって生じていると言える¹³が、他のグループ間の平均点の差はそうとは言い切れないということである。全体・10代ともに有意と判定されたグループの中にブラジルが多く含まれており、10代では他の4つの国籍との差が全て有意と判定されていることから、ブラジル国籍の人々は他の国籍の人々より日本語能力が低い傾向にあり、10代では特にその傾向が強いと言えるだろう。

¹¹ 全体： $F(4, 443) = 9.803, p < 0.001$ 、10代： $F(4, 276) = 13.998, p < 0.001$ 。

¹² 本章では全ての多重比較において Bonferroni の方法を採用し、検定全体の有意水準を 5%に設定する。煩雑になるため多重比較の結果は省略する。

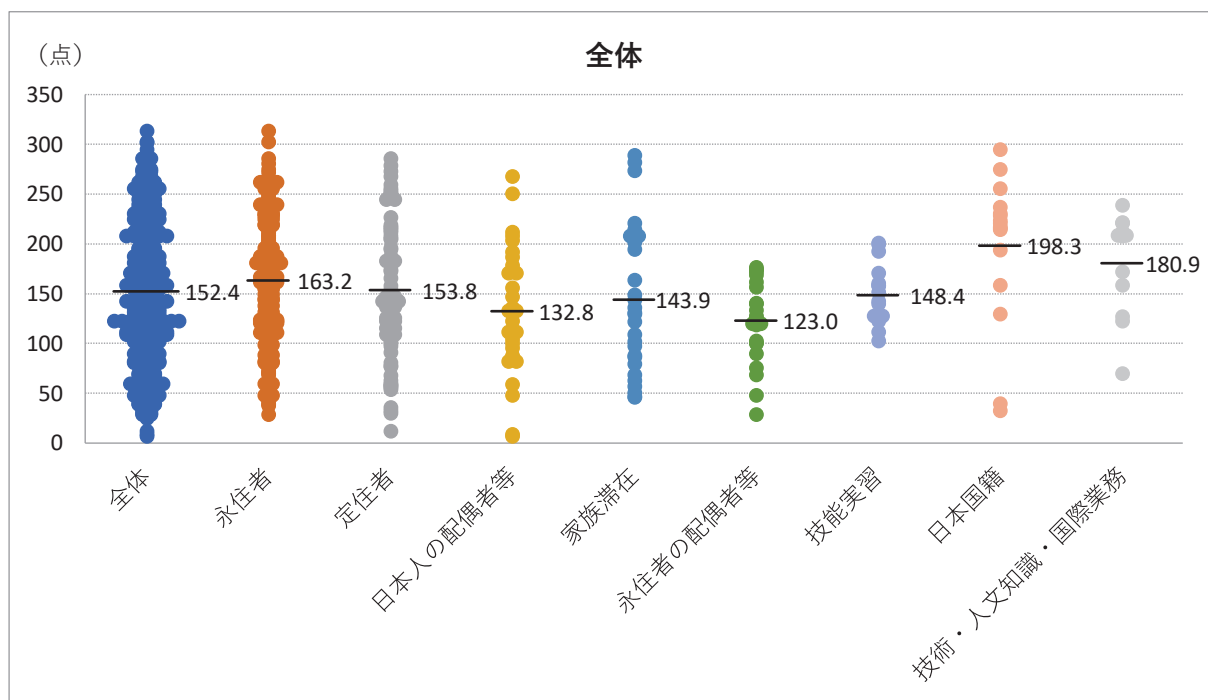
¹³ 国籍だけで平均点の差が生じているわけではなく、国籍が平均点の差を生じさせる要因の 1 つとして認められるという意味である点に注意していただきたい。

6 在留資格

図表3-7は、日本語能力調査の得点を在留資格別に示したドットプロットである。分散分析を行うと、在留資格という要因の効果は有意であるという結果が得られた¹⁴。したがって、在留資格により平均点の差が生じたと認められる。

多重比較を行うと、日本国籍と日本人の配偶者等、日本国籍と永住者の配偶者等という2組の差のみ有意という結果になった。このことから、日本国籍を取得して日本に住む人々は他の在留資格の人々より日本語能力が高い傾向にあると言えなくもない。しかし有意と判定された組み合わせが少ないため、個々の在留資格の差についてはあまり多くのことは言えない(分からないことが多い)というのが妥当な結論になりそうである。

図表3-7 在留資格別に見た日本語能力(全体)



注:回答者数が10人以上の在留資格のみ分析対象とした。

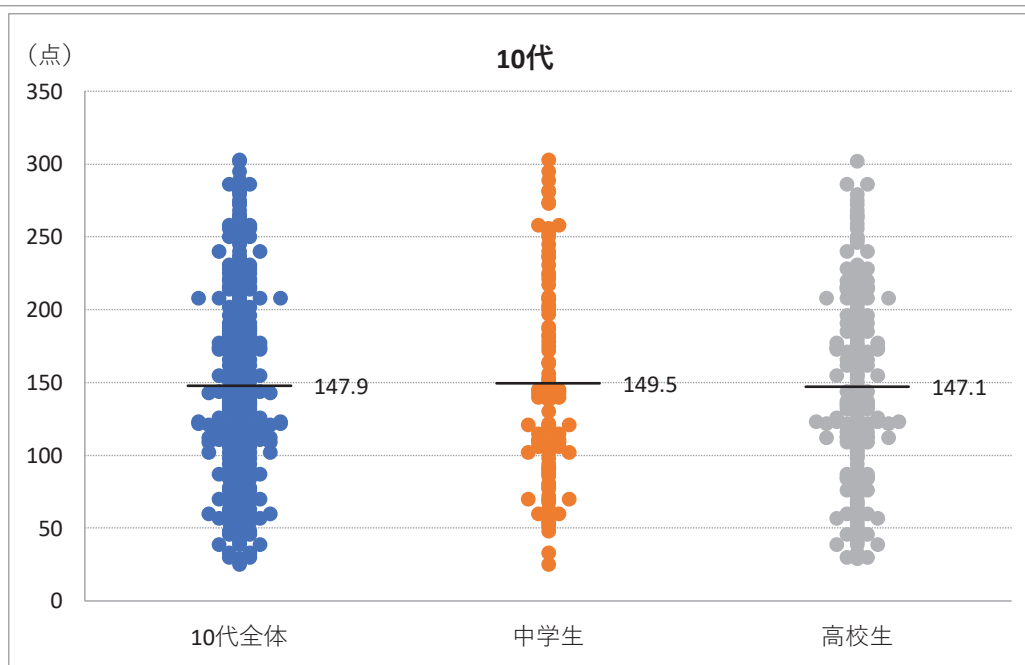
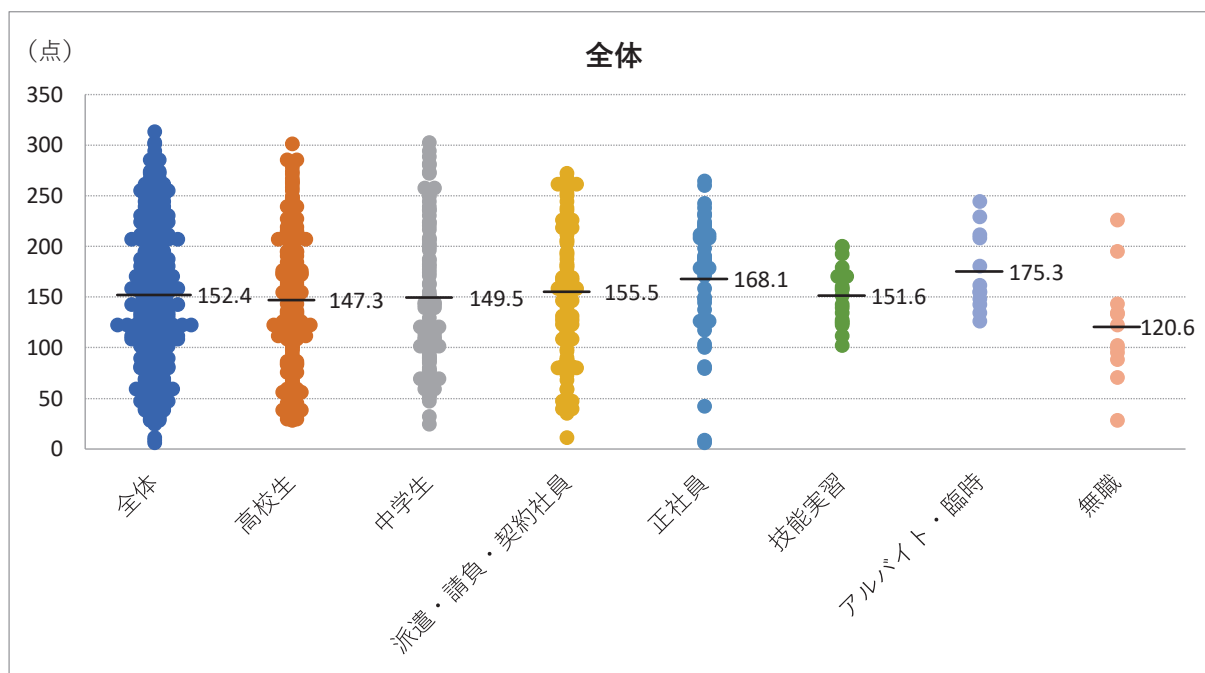
7 職業

図表3-8は、日本語能力調査の得点を職業(仕事)別に示したドットプロットである。全体に対して分散分析を、10代に対してT検定を行うと、全体・10代ともに職業という要因の効果は有意でないという結果が得られた¹⁵。したがって、全体・10代ともに職業によって平均点の差が生じたとは認められない。職業が日本語能力に及ぼす影響については、別途調査や分析が必要である。

¹⁴ $F(7, 395) = 3.316, p < 0.01$ 。

¹⁵ 全体: $F(6, 461) = 1.3568, p > 0.05$ 、10代: $t(180) = 0.274, p > 0.05$, 両側検定。

図表3-8 職業別に見た日本語能力(全体、10代)

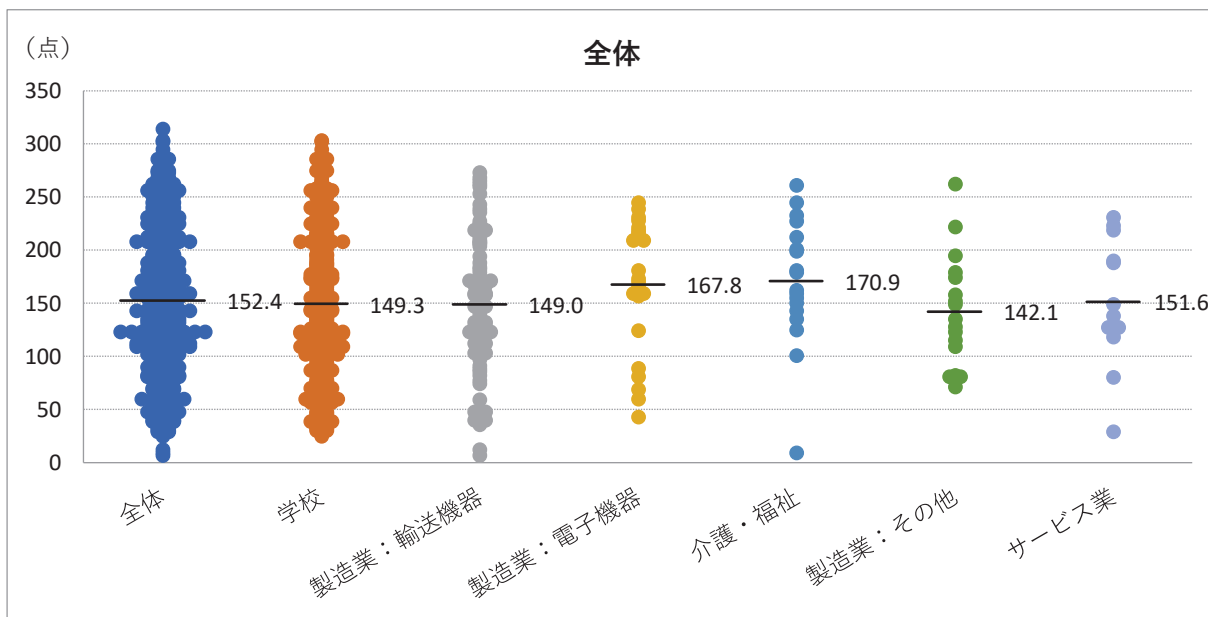


8 業種

図表3-9は、日本語能力調査の得点を業種別を示したドットプロットである。分散分析を行うと、業種という要因の効果は有意でないという結果が得られた¹⁶。したがって業種によって平均点の差が生じたとは認められない。業種が日本語能力に及ぼす影響については、別途調査や分析が必要である。

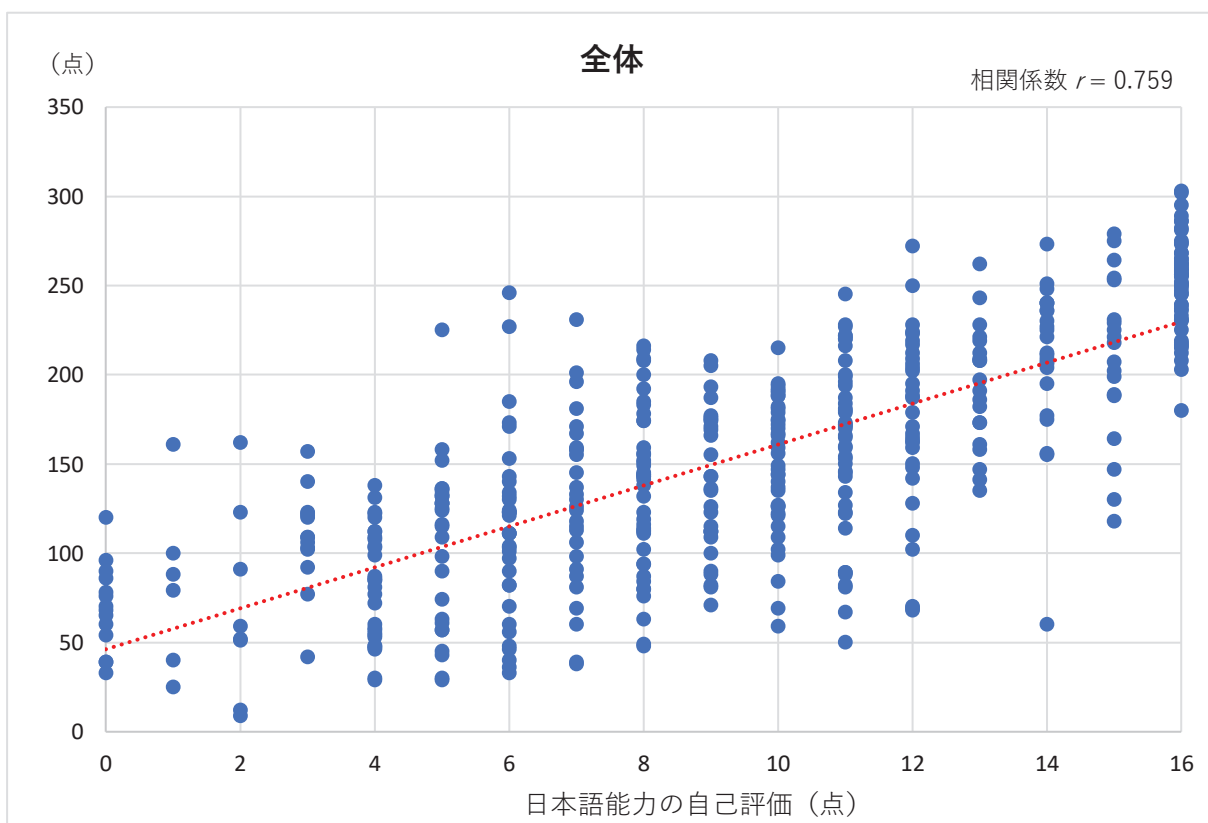
¹⁶ $F(6, 442) = 0.746, p > 0.05$.

図表3-9 業種別に見た日本語能力(全体)



9 日本語能力の自己評価

図表3-10 日本語能力の自己評価と実際の日本語能力(全体)



図表3-10は、日本語能力の自己評価と実際の日本語能力(日本語能力調査の得点)の分布を示す散布図である。一見して正の相関があると分かる分布を示している。実際に相関係数を求めると $r = 0.759$ であり、無相関の検定も統計的に有意という結果が得られた ($p < 0.001$)。したがって、日本語能力の自己評価と実際の日本語能力には強い正の相関があると言える。

社会調査において外国人の日本語能力を調べる際は、客観的な試験結果ではなく日本語能力の

自己評価を回答させることが多いため、自己評価が客観的な試験結果とどの程度合致しているかという疑問がしばしば投げかけられてきた。今回の分析結果は、日本語能力の自己評価がある程度信頼できるデータであることを示した貴重な例とみなせるかもしれない。

なお、日本語能力の自己評価を得点化するに当たっては、日本語使用状況調査の回答を図表3-11にしたがって点数化し、聞く、話す、読む、書くという4要素の合計点数を算出した。

図表3-11 日本語能力の自己評価と点数

要素	能力レベル	点数
聞く	テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる	4
	相手の言うことを聞いて、大体理解できる	3
	相手がゆっくり話せば、聞いて理解できる	2
	単語だけ聞き取れる	1
	ほとんど聞き取れない	0
話す	自分の言いたいことが問題なく話せる	4
	自分の言いたいことが大体話せる	3
	簡単な日常会話ができる	2
	自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	1
	ほとんど話せない	0
読む	役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、理解できる	4
	役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	3
	新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる	2
	絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)がわかる	1
	ほとんど読めない	0
書く	仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる	4
	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	3
	職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	2
	名前や国名、住所などが書ける	1
	ほとんど書けない	0

10 日本人の友人の有無

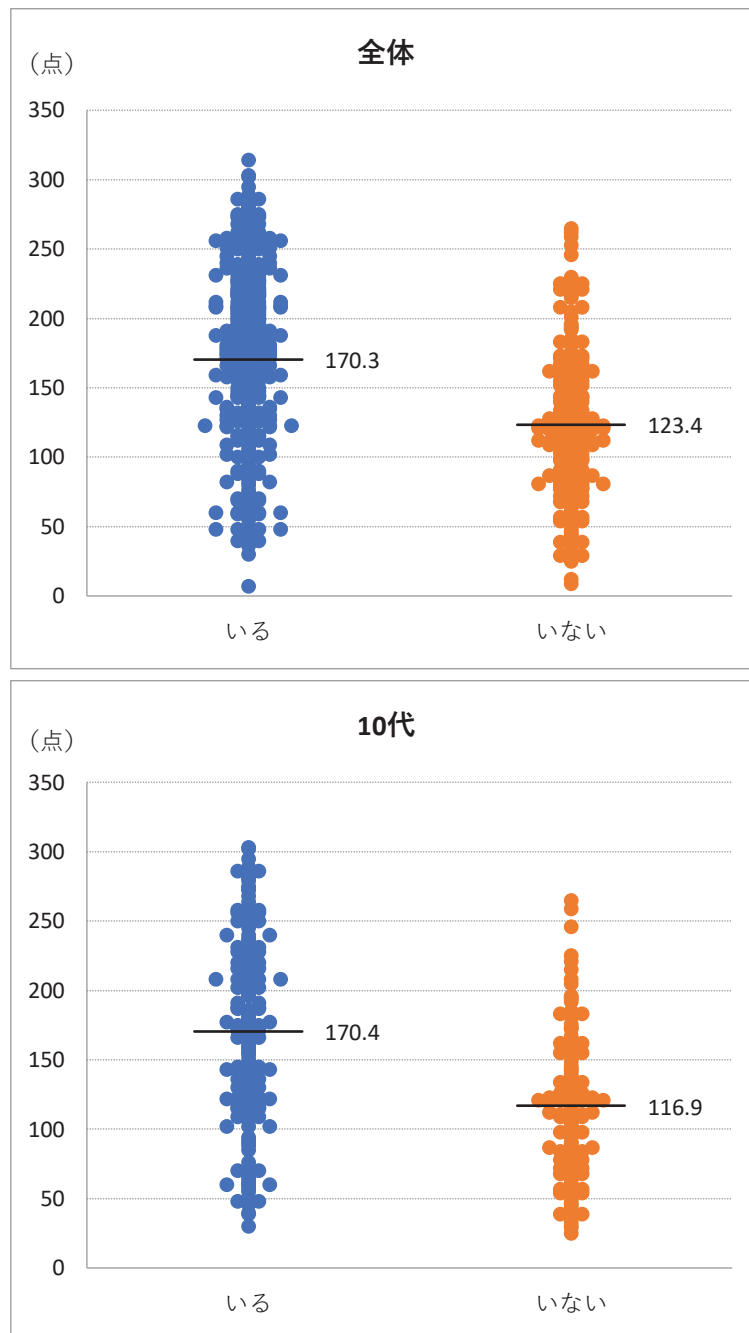
図表3-12は、日本語能力調査の得点を日本人の友人の有無別に示したドットプロットである。全体・10代ともに、日本人の友人がいる回答者の平均は、いない回答者の平均を大きく上回っている。また、T検定の結果、全体・10代ともに平均点の差は統計的に有意だった¹⁷。したがって、全体・10代ともに、日本人の友人がいる外国人は、日本人の友人がいない外国人より日本語能力が高いと言える。

このような差が生じる理由としては、日本人の友人との交流により日本語能力が向上しやすいこと

¹⁷ 全体: $t(444) = 8.518, p < 0.001$ 、10代: $t(290) = 7.648, p < 0.001$ 。全体・10代ともに、日本人の友人がいる回答者が日本語能力は高いとの仮説のもと、片側検定を行った。

や、日本語能力が高いために日本人の友人がしやすいことといった要因が考えられる。今回の調査ではどのような要因がより当てはまるかを解明することはできないが、上記の分析結果を踏まえれば、外国人と日本人が交流する機会を増やして友人関係の構築を後押しするという施策は、外国人の日本語能力向上を支援するために有効であると考えられる。

図表3-12 日本人の友人の有無別に見た日本語能力(全体、10代)



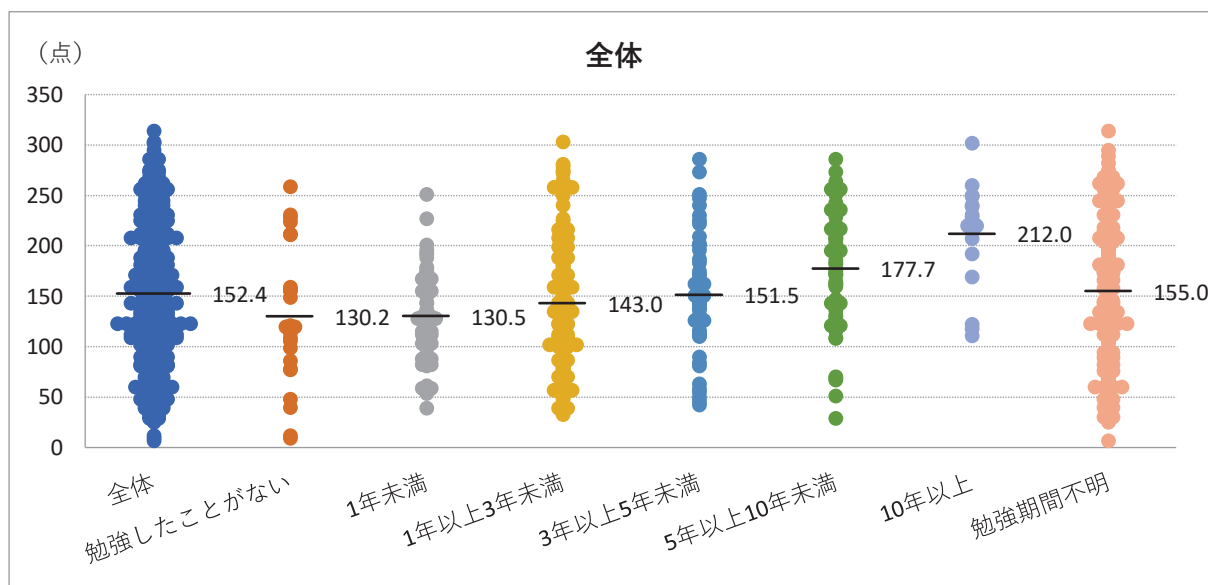
11 日本語の勉強期間

図表3-13は、日本語能力調査の得点を日本語の勉強期間別に示したドットプロットである。分散分析を行うと、日本語の勉強期間という要因の効果は有意であるという結果が得られた¹⁸。したがって、日本語の勉強期間により平均点の差が生じたと認められる。

¹⁸ $F(6, 482) = 6.643, p < 0.001$ 。

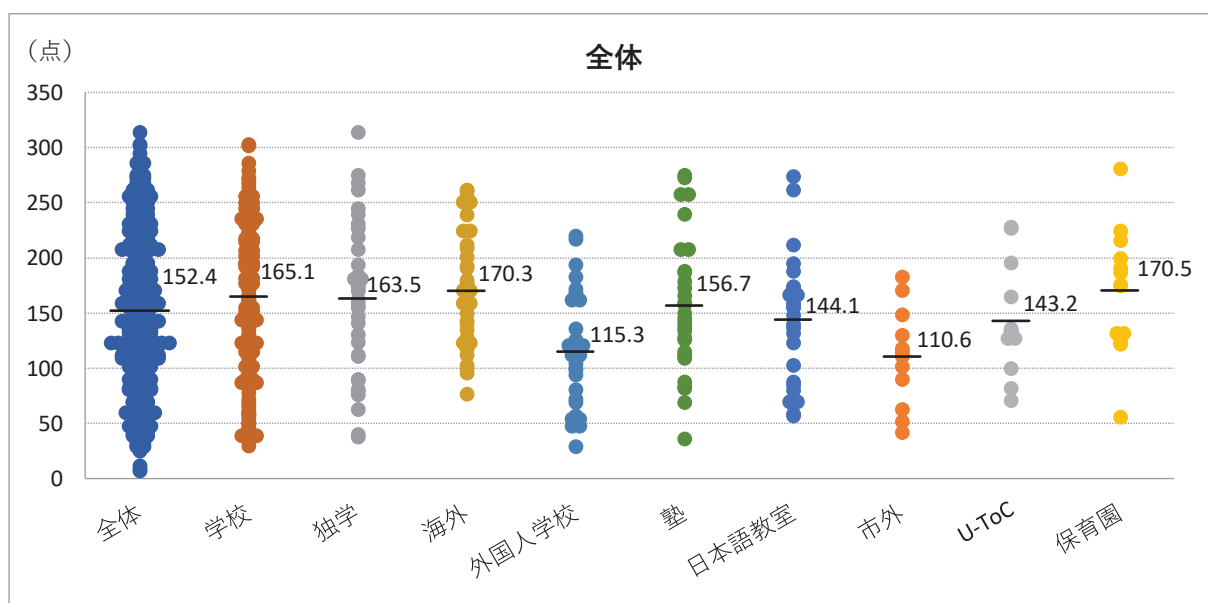
多重比較を行うと、「勉強したことがない」と「5年以上10年未満」、「勉強したことがない」と「10年以上」、「1年未満」と「5年以上10年未満」、「1年未満」と「10年以上」、「1年以上3年未満」と「5年以上10年未満」、「1年以上3年未満」と「10年以上」、「3年以上5年未満」と「10年以上」、「10年以上」と「勉強期間不明」という8組の差が有意という結果になった。有意と判定された組み合わせが多いことから、日本語の勉強期間が長い人ほど日本語能力も高い傾向があると言ってよさそうである。外国人の日本語能力向上を支援するために、長続きする学習方法を考案・提案することは依然として重要である。

図表3-13 日本語の勉強期間別に見た日本語能力(全体)



12 日本語を勉強した場所

図表3-14 日本語を勉強した場所別に見た日本語能力(全体)



注: 回答者数が10人以上の場所のみ分析対象とした。

図表3-14は、日本語能力調査の得点について日本語を勉強した場所別を示したドットプロットで

ある。分散分析を行うと、日本語を勉強した場所という要因の効果は有意であるという結果が得られた¹⁹。したがって、日本語を勉強した場所により平均点の差が生じたと認められる。

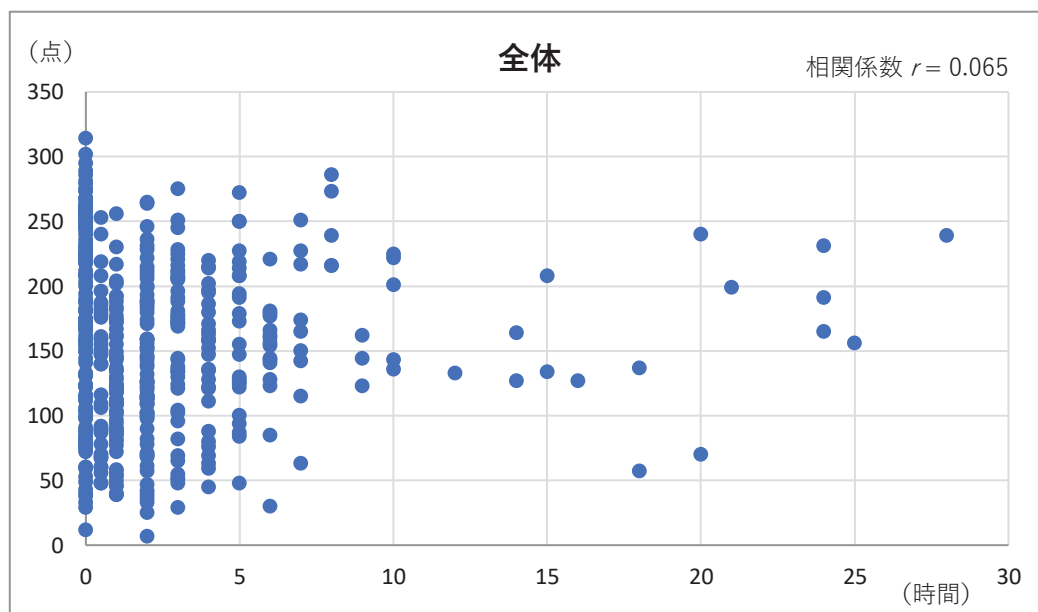
多重比較を行うと、学校と外国人学校、独学と外国人学校、海外と外国人学校という3組の差が有意という結果になった。このことから、外国人学校で日本語を学んだ外国人は他のいくつかの場所で学んだ人より日本語能力が低い傾向があると言える。ただし有意と判定された組み合わせが少ないため、日本語を勉強した場所による差の詳細については分からないことが多いというのが妥当な結論になりそうである。

13 1週間の日本語勉強時間

図表3-15は、日本語能力調査の得点と1週間の日本語勉強時間の分布を示す散布図である²⁰。相関係数は0.065であり、無相関の検定も統計的に有意でないという結果になった($p > 0.05$)。したがって、日本語能力と1週間の日本語勉強時間に相関はないことが確認された。

このような意外な結果になった理由を特定するのは困難だが、1週間の日本語勉強時間が0時間である回答者が非常に多いことや、日本語の勉強時間を正確に計測することが難しいといったことが関係しているかもしれない。

図表3-15 日本語能力と1週間の日本語勉強時間の分布(全体)



14 第一言語

図表3-16は、日本語能力調査の得点を第一言語別に示したドットプロットである。分散分析を行うと、第一言語という要因の効果は有意であるという結果が得られた²¹。したがって、第一言語により平均点の差が生じたと認められる。

多重比較を行うと、ポルトガル語と日本語、ポルトガル語とベトナム語、ポルトガル語と中国語、日

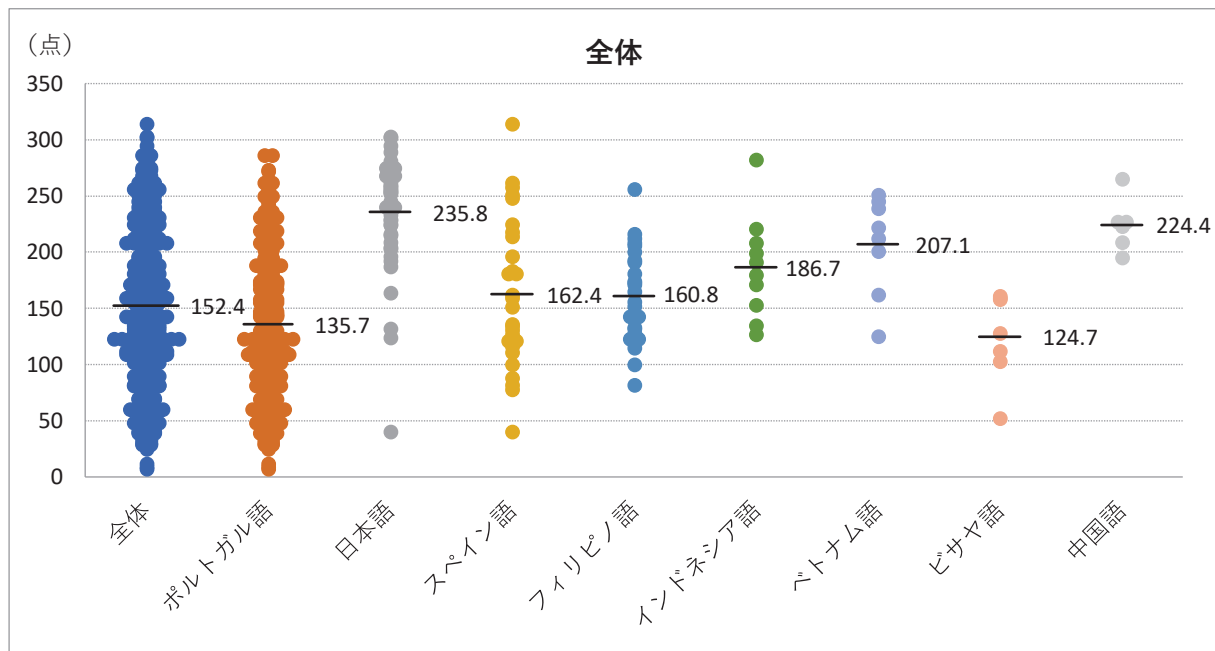
¹⁹ $F(8, 346) = 3.715, p < 0.001$ 。

²⁰ 週に30時間以上日本語を勉強していると回答した3人を外れ値として除外した。学校・仕事の時間を勉強時間とみなしている可能性が高いため。

²¹ $F(7, 453) = 20.121, p < 0.001$ 。

本語とスペイン語、日本語とフィリピン語、日本語とビサヤ語、ビサヤ語と中国語という7組の差が有意という結果になった。このことから、ポルトガル語を第一言語とする外国人は他のいくつかの母語グループより日本語能力が低い傾向があり、日本語と中国語を第一言語とする外国人は他のいくつかの母語グループより日本語能力が高い傾向があると言える。日本語を第一言語とする人々の日本語能力が高いのは不思議なことではないが、中国語を第一言語とする人々の日本語能力がなぜ高く、ポルトガル語を第一言語とする人々の日本語能力がなぜ低いのかといった点については検討が必要であろう。

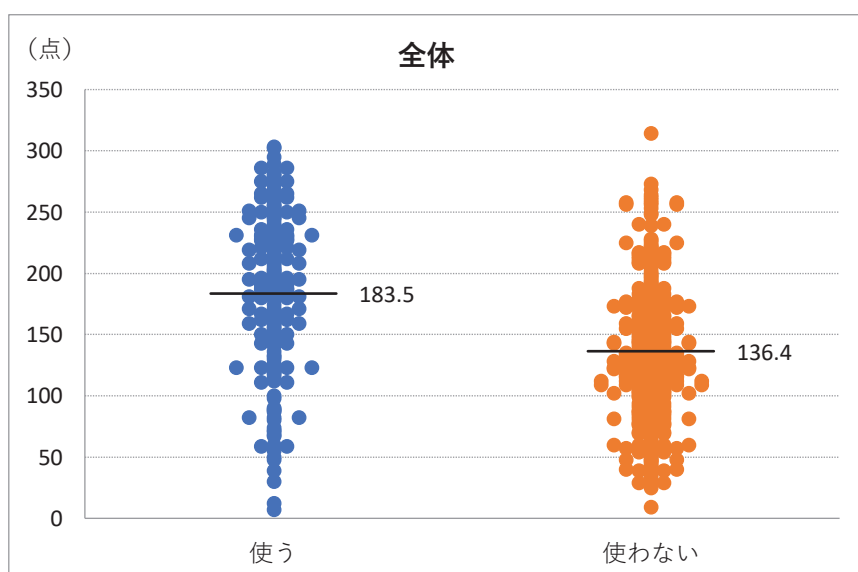
図表3-16 第一言語別に見た日本語能力(全体)



注:回答者数が5人以上の言語のみ分析対象とした。

15 家庭内で日本語を使うかどうか

図表3-17 家庭内での日本語使用状況別に見た日本語能力(全体)

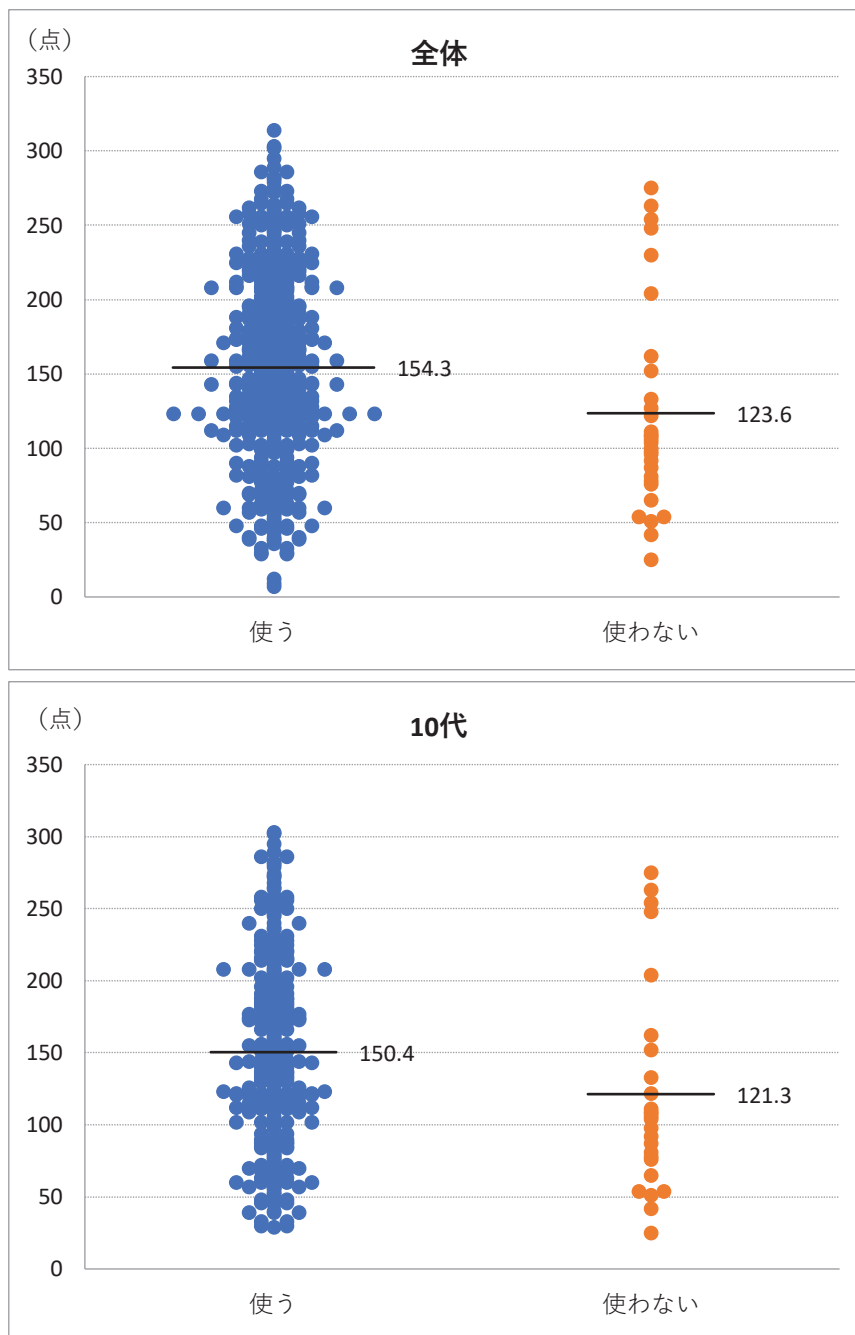


図表3-17は、日本語能力調査の得点を家庭内での日本語使用状況別を示したドットプロットで

ある。家庭内で日本語を使う回答者の平均(183.5点)は使わない回答者の平均(136.4点)を大きく上回っており、T検定の結果、平均点の差は統計的に有意だった²²。したがって、家庭内で日本語を使う外国人は、家庭内で日本語を使わない外国人より日本語能力が高いと言える。

16 生活のなかで日本語を使うかどうか

図表3-18 日本語使用状況別に見た日本語能力(全体、10代)



図表3-18は、日本語能力調査の得点を日本語使用状況別を示したドットプロットである。図表3-17では家庭内という限定を付けたが、図表3-18では限定を付けずに分析した。

図から明らかなように、全体・10代ともに、生活のなかで日本語を使う回答者の平均は、使わない

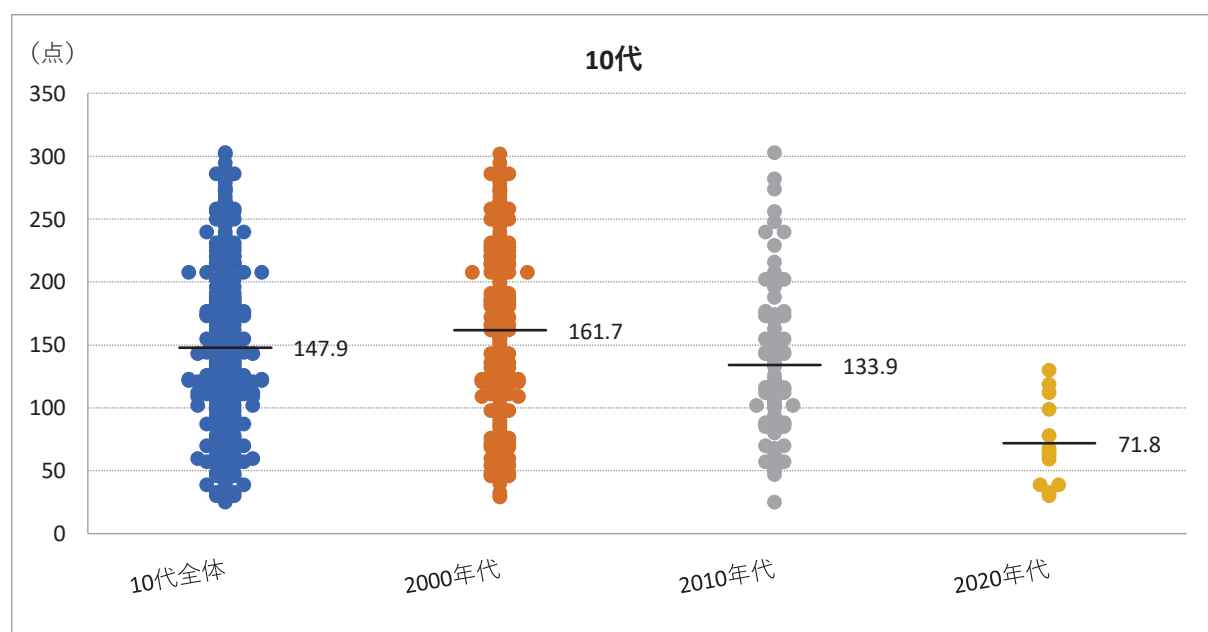
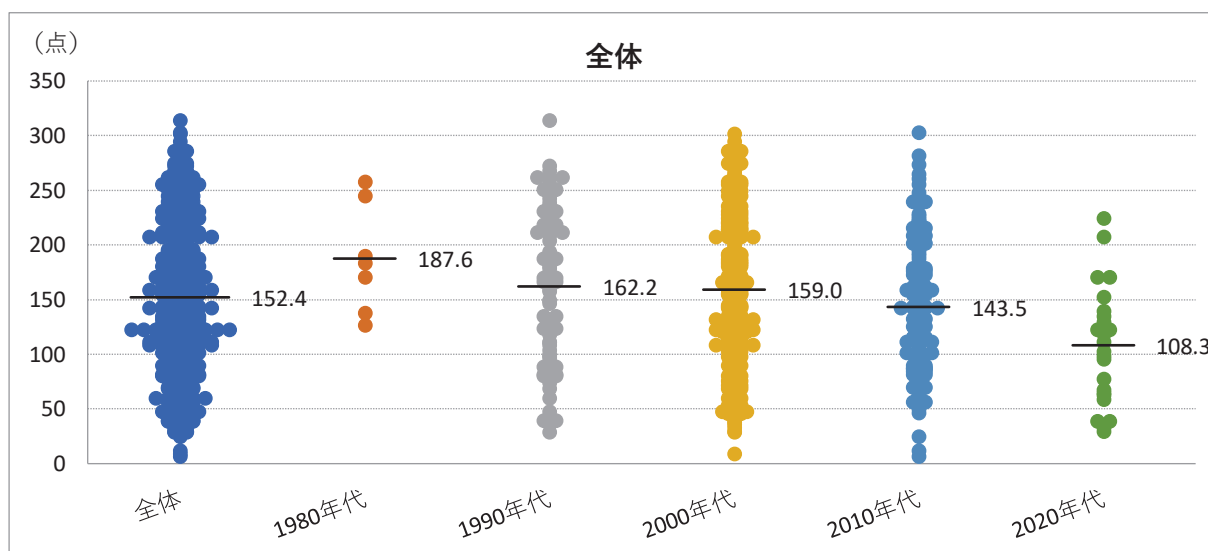
²² $t(308) = 7.534, p < 0.001$ 。家庭内で日本語を使う回答者が日本語能力は高いとの仮説のもと、片側検定を行った。

回答者の平均を大きく上回っている。また、T検定の結果、全体・10代ともに平均点の差は統計的に有意だった²³。したがって、全体・10代ともに、生活のなかで日本語を使う外国人は、生活のなかで日本語を使わない外国人より日本語能力が高いと言える。

このような差が生じる理由としては、生活のなかで日本語を使用することにより日本語能力が向上しやすいことや、日本語能力が高いために生活のなかで日本語を使用しやすいことといった要因が考えられる。今回の調査ではどのような要因がより当てはまるかを解明することはできないが、図表3-18の結果を踏まえれば、生活のなかでなるべく日本語を使用するよう後押しするという施策は、外国人の日本語能力向上を支援するために有効であると考えられる。

17 初来日年

図表3-19 初来日年別に見た日本語能力(全体、10代)



²³ 全体: $t(32) = 2.343, p < 0.05$, 10代: $t(29) = 1.989, p < 0.05$ 。全体・10代ともに、生活のなかで日本語を使う回答者が日本語能力は高いとの仮説のもと、片側検定を行った。

図表3-19は、日本語能力調査の得点を初来日年別に示したドットプロットである。分散分析を行うと、全体・10代ともに、初来日年という要因の効果は有意であるという結果が得られた²⁴。したがって、初来日年により平均点の差が生じたと認められる。

多重比較を行うと、全体では1980年代と2020年代、1990年代と2020年代、2000年代と2020年代という3組の差が有意という結果になった。このことから、2020年代に初来日した外国人は、それ以前に初来日したグループより日本語能力が低い傾向があると言える。また、上記以外の組み合わせが有意でないということは、初来日から一定期間が経過すると、時間の経過とともに日本語能力が向上する人とそうではない人に分かれていく傾向があることを示唆している（もし多くの人が時間の経過とともに日本語能力が向上するならもっと多くの組み合わせが有意になっているはずだがそうはなっていない）。

これに対して10代の多重比較では、2000年代と2010年代、2000年代と2020年代、2010年代と2020年代という3組全ての差が有意という結果になった。このことから、10代の外国人は、初来日年が最近であるほど日本語能力が低く、初来日から時間が経過するほど日本語能力が高いという傾向があると言える。先に見た外国人全体と比較すると、10代の外国人は初来日からの時間の経過とともに日本語能力が向上する人の割合が高いということである。

以上の分析結果から、全体・10代ともに、初来日直後の外国人は日本語能力が低いという傾向が浮かび上がる。したがって、初来日直後の外国人に日本語学習の機会を確実に提供することが、外国人本人にとっても外国人を受け入れる地域にとっても重要となるだろう。また、10代の外国人は外国人全体と比べて、時間の経過とともに日本語能力が向上する人の割合が高いという傾向があることから、外国人の日本語能力向上を実現するためには、10代（をはじめとする若い層）に日本語学習のための機会や資源をより多く提供するという戦略が最適と言えるかもしれない（これは滞在年数の分析から得られた結論と同じである）。

18 今後の滞在予定

図表3-20は、日本語能力調査の得点を今後の滞在予定別に示したドットプロットである。分散分析を行うと、全体・10代ともに、今後の滞在予定という要因の効果は有意であるという結果が得られた²⁵。したがって、今後の滞在予定により平均点の差が生じたと認められる。

多重比較を行うと、全体では「日本に永住」と「できるだけ長く日本に滞在」、「日本に永住」と「10年以内に母国に帰国」、「日本に永住」と「3年以内に母国に帰国」、「日本に永住」と「母国と日本以外の国」、「10年以内に母国に帰国」と「分からない」という5組の差が有意という結果になった。10代の多重比較も傾向は似ており、「日本に永住」と「できるだけ長く日本に滞在」、「日本に永住」と「10年以内に母国に帰国」、「日本に永住」と「3年以内に母国に帰国」、「日本に永住」と「母国と日本以外の国」という4組の差が有意という結果になった。

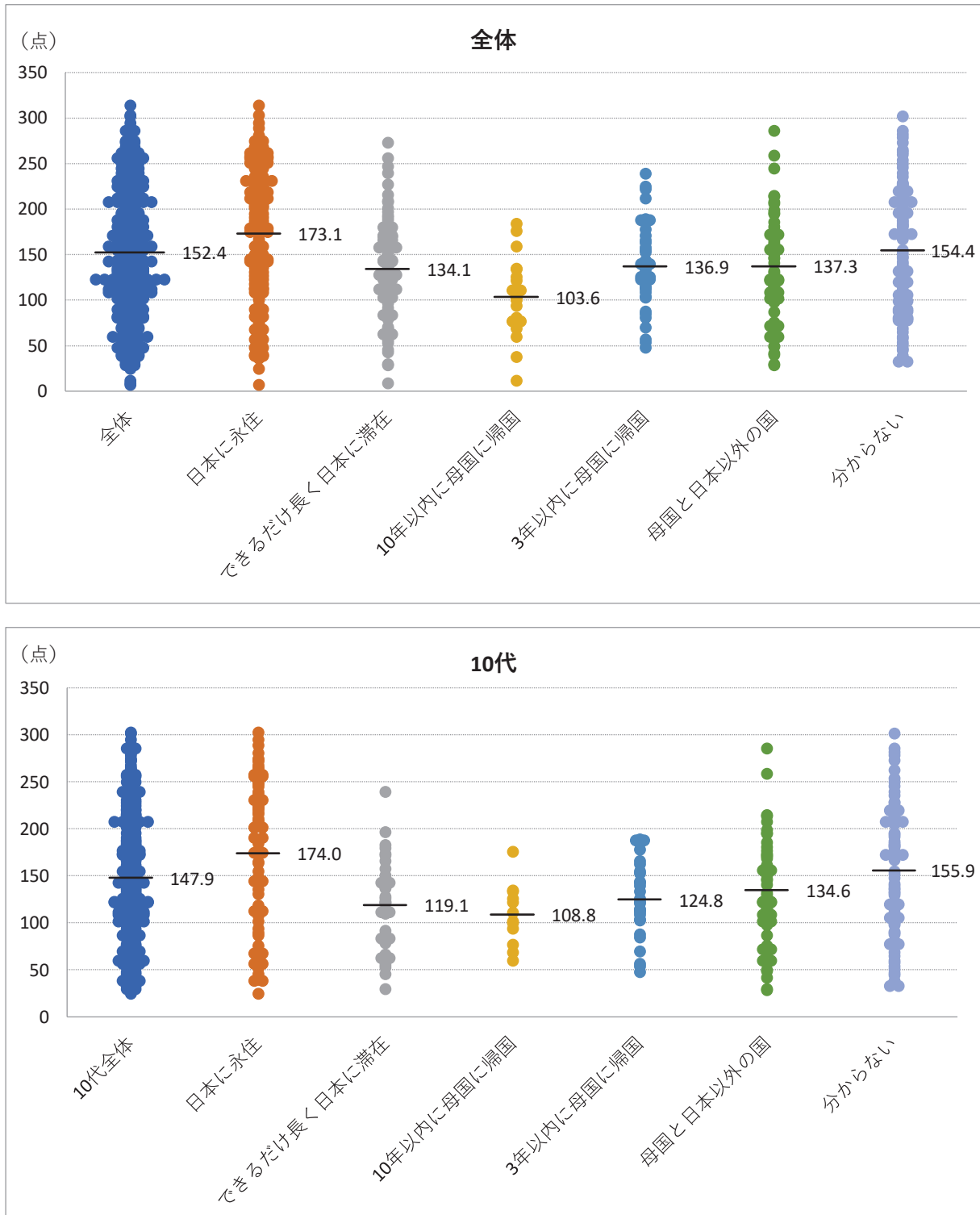
以上の分析結果より、全体・10代ともに、日本に永住する予定の外国人は、他のグループと比べて日本語能力が高い傾向があると言える。このような差が生じる理由としては、永住という目的があるために日本語能力が向上するパターンや、日本語能力が高いために永住を志すパターンなどが考えられる。今回の調査ではどのようなパターンがより当てはまるかを解明することはできないが、上記の分析結果を踏まえれば、外国人が長く暮らしたいと思うような魅力ある地域社会をつくることは、外国

²⁴ 全体： $F(4, 461) = 4.974, p < 0.001$ 、10代： $F(2, 280) = 15.149, p < 0.001$ 。

²⁵ 全体： $F(5, 474) = 8.717, p < 0.001$ 、10代： $F(5, 284) = 6.469, p < 0.001$ 。

人の日本語能力向上を支援するために有効であると考えられる。

図表3-20 今後の滞在予定別に見た日本語能力(全体、10代)



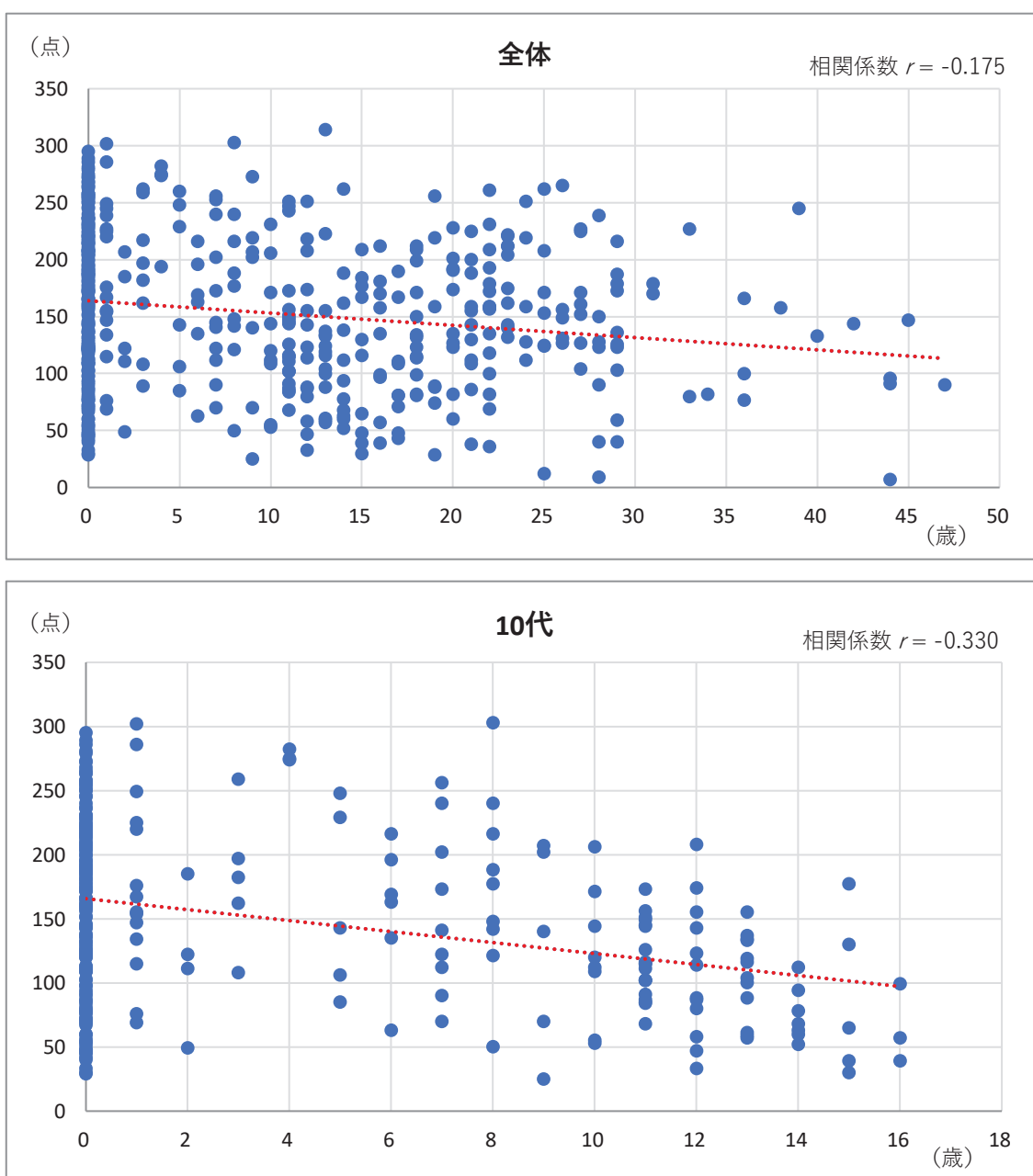
19 来日時の年齢

図表3-21は、日本語能力調査の得点と来日時の年齢の分布を示す散布図である。相関係数を求めると、全体の相関係数は-0.175、10代の相関係数は-0.330であった。無相関の検定は、全体・10代ともに統計的に有意という結果が得られた($p < 0.001$)。全体の相関係数は-0.175であり相関なしの範囲だが、無相関の検定で統計的に有意という結果が得られたため、全体は得点と

来日時の年齢にきわめて弱い負の相関があると言える。他方、10代は得点と来日時の年齢に弱い負の相関があると言える。

得点と来日時の年齢に負の相関があるということは、来日時の年齢が高いほど現在の日本語能力が低い、あるいは来日時の年齢が低いほど現在の日本語能力が高いといった傾向があることを意味する。ただし、全体・10代ともに相関は弱いため、良くも悪くも来日時の年齢で全てが決まるわけではない。事実、図表3-21（全体）の左端を見ると、来日時の年齢が非常に低い（日本で生まれた、あるいは幼少期に来日した）グループであっても、得点が低い人から高い人までまんべんなく分布している。このことは、単に日本生まれあるいは幼少期に来日しただけでは日本語能力が向上するとは限らないことを意味する。日本生まれあるいは幼少期に来日した外国人であれば放っておいても日本語能力が向上するだろうなどと安易に前提せず、地域社会の側から日本語学習の機会を提供するよう働きかけていくことが必要である。

図表3-21 日本語能力と来日時の年齢の分布（全体、10代）

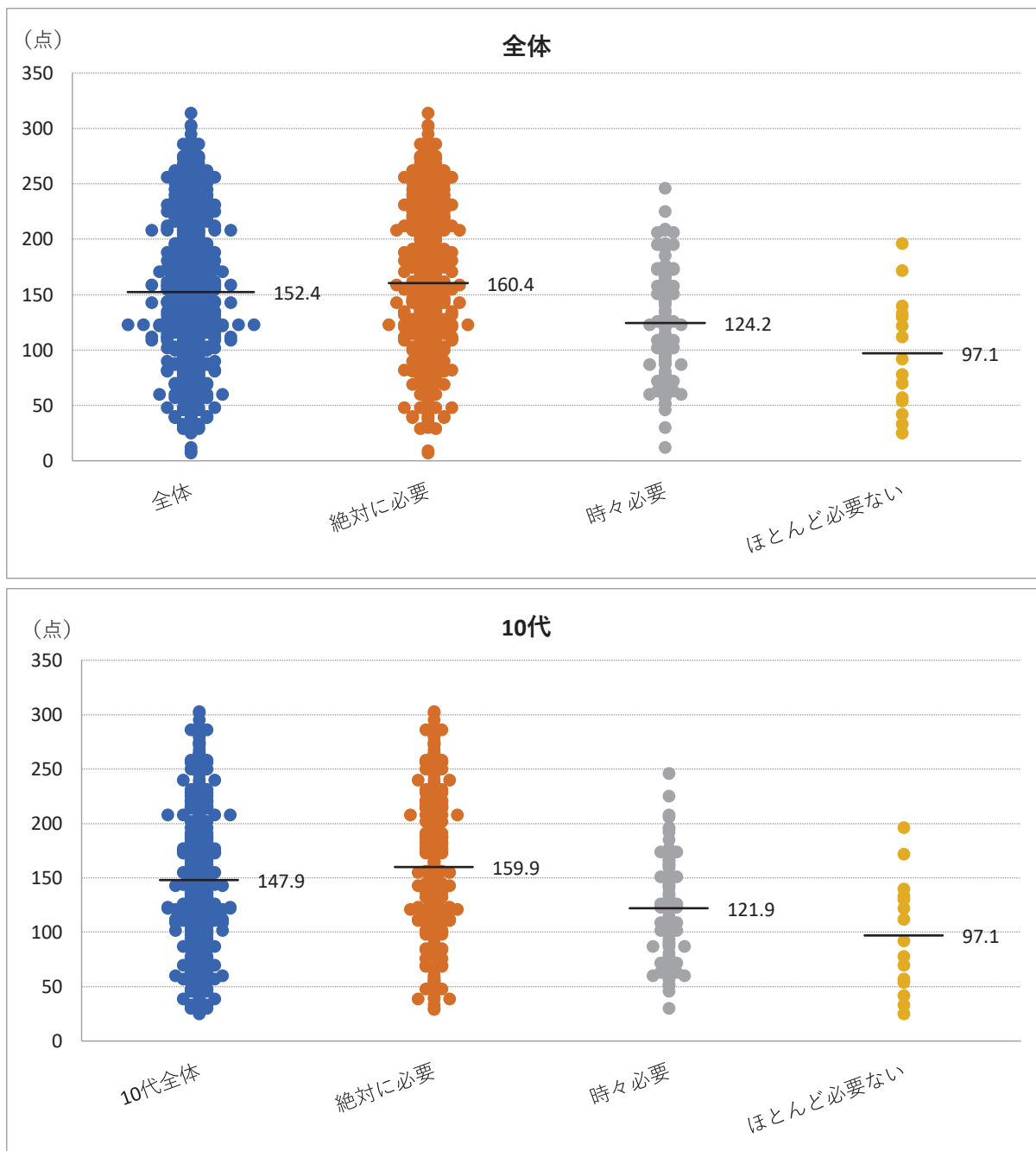


20 日本語の位置づけ

図表3-22は、日本語能力調査の得点を日本語の位置づけ別に示したドットプロットである。日本語の位置づけとは、回答者が日本語を「日常生活に絶対に必要な言葉」「日常生活で時々必要となる言葉」「日常生活でほとんど必要ない言葉」「その他」のなかから選んだ選択肢である。ここでは「その他」と回答した者を除外して分析する。

分散分析を行うと、全体・10代ともに、日本語の位置づけという要因の効果は有意であるという結果が得られた²⁶。したがって、日本語の位置づけにより平均点の差が生じたと認められる。

図表3-22 日本語の位置づけ別に見た日本語能力(全体、10代)



注:「その他」と回答した者を除外して分析した。

²⁶ 全体: $F(2, 483) = 16.857, p < 0.001$ 、10代: $F(2, 290) = 13.997, p < 0.001$ 。

多重比較を行うと、全体・10代ともに、「絶対に必要」と「時々必要」、「絶対に必要」と「ほとんど必要ない」という2組の差が有意という結果になった。このことから、日本語を日常生活に絶対に必要な言葉と考えている外国人は、日本語の必要性を相対的に低く見積もっている外国人より日本語能力が高いという傾向があると言える。このような差が生じる理由としては、日本語の必要性が高いと考えているために日本語能力が向上するパターンや、日本語能力が高いために日本語の必要性を認識するようになるパターンなどがありうる。今回の調査ではどのようなパターンがより当てはまるかを解明することはできないが、上記の分析結果を踏まえれば、外国人が日本語の必要性に気づきやすくなるような環境や仕組みをつくることは、外国人の日本語能力向上を支援するために有効であると考えられる。

21 日本語が上手になったらしたいこと

図表3-23は、日本語能力調査の得点を、日本語が上手になったらしたいことという設問への回答別に示したドットプロットである。日本語が上手になったらしたいこと(得たいもの)は、「仕事」「(日本との)つながり」「進学」「自己実現」「自立した生活」「他者のサポート」「教養の拡大」「日本に定住すること」「分からない」といった回答に分けられる²⁷。

分散分析を行うと、全体・10代ともに、日本語が上手になったらしたいことという要因の効果は有意であるという結果が得られた²⁸。したがって、日本語が上手になったらしたいことの違いにより平均点の差が生じたと認められる。

多重比較を行うと、全体では「分からない」と「仕事」、「分からない」と「(日本との)つながり」、「分からない」と「進学」という3組の差が有意という結果になった。10代の多重比較では、「分からない」と「仕事」という1組の差のみ有意という結果になった。

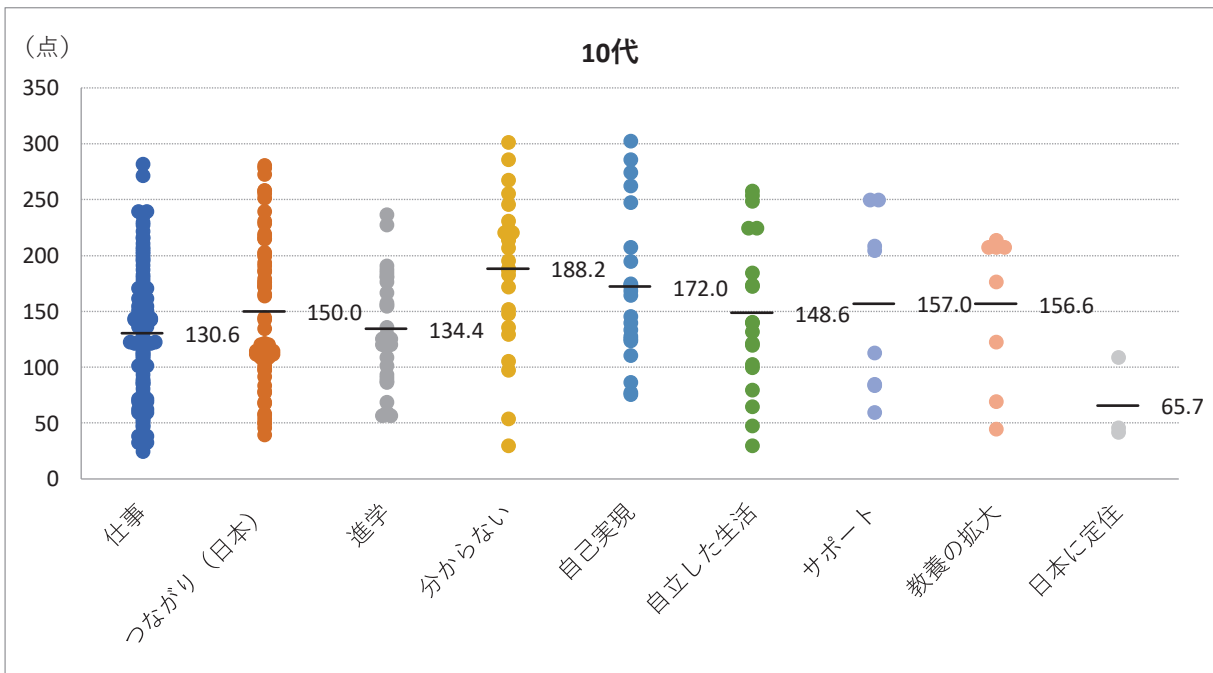
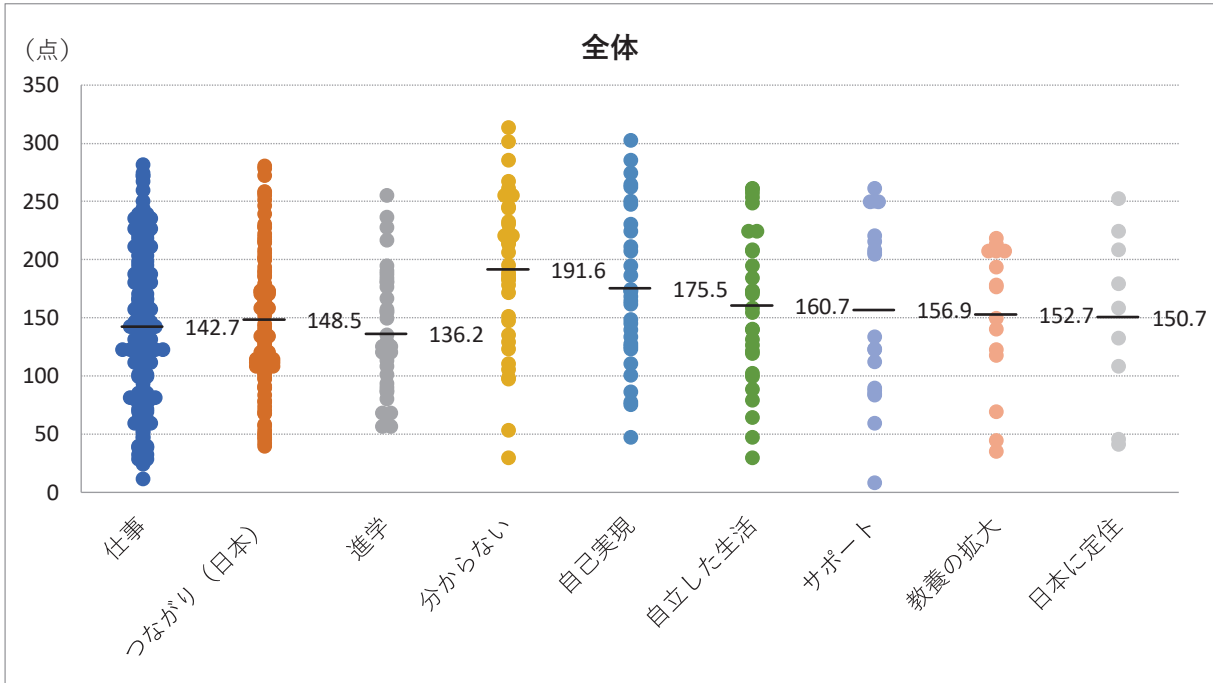
全体・10代ともに有意と判定された組み合わせが少ないため、日本語が上手になったらしたいことの違いが日本語能力とどのように関係しているかを説明することは難しい。また、数少ない有意と判定された組み合わせに「分からない」が含まれており、しかも「分からない」と回答した人々の日本語能力が相対的に高い点も解釈を難しくしている。1つの仮説としては、すでに日本語能力が高い人は日本語が上手になったらしたいことを聞かれても答えられないという状況がありうる。たとえば日本語を使いこなせる日本人は、「日本語が上手になったらしたいこと」を聞かれてもどう答えればよいか分からずに困惑すると思われる。このたとえに近い状況に陥った人が「分からない」と回答したのかもしれない。

とはいえこれは1つの仮説に過ぎず、今回の調査結果から、日本語が上手になったらしたいことの違いが日本語能力とどのように関係しているかという問いに答えることは困難である。日本語を学習する動機や目的が日本語能力に及ぼす影響については、さらなる調査や分析が必要である。

²⁷ 日本語使用状況調査では、日本語が上手になったらしたいことを自由記述形式で回答してもらった(問25)。そうして収集した回答をアフターコーディングにより「仕事」「(日本との)つながり」……などに整理・集約した。

²⁸ 全体: $F(8, 461) = 3.250, p < 0.01$ 、10代: $F(8, 276) = 3.559, p < 0.00$ 。

図表3-23 日本語が上手になったらほしいことと日本語能力(全体、10代)



終章 浜松市における地域日本語教育の課題と今後の展望

終章 浜松市における地域日本語教育の課題と今後の展望

1 日本語能力調査の結果から (P.14~23)

J-CAT は聴解、文字・語彙、文法、読解の4つのセクションから構成されており、それぞれ100点満点で、計400満点である。インターネット上で試験を受け、試験終了時点で各セクションの得点が見える。さらに、合計得点から、受験時のレベルが「初級前半、初級、初級後半、中級前半、中級、中級後半、上級前半、上級、超級(母語相当)」のどれに当たるのかも示されている【図表1-3】。

図表1-3 J-CATスコアと運用能力の互換表 (P.14 再掲)

J-CAT	Proficiency Level	
0-	Beginner	初級前半
100-	Basic	初級
150-	Basic-High	初級後半
200-	Pre-Intermediate	中級前半
250-	Intermediate	中級
275-	Intermediate-High	中級後半
300-	Pre-Advanced	上級前半
325-	Advanced	上級
350-	Near Native	超級(母語相当)

※図表1-3はJ-CAT
(<https://www.j-cat2.org/html/ja/pages/interpret.html>)
から転載

また、J-CATのウェブページには、日本語能力試験(JLPT)とのスコア互換表が掲載されているため、現在の日本語能力が日本語能力試験のどのレベル相当かもわかるようになっている【図表1-4】。

図表1-4 スコア互換表(JLPT日本語能力試験) (P.14 再掲)

J-CAT	JLPT 日本語能力試験
150-	N4
200-	N3
250-	N2
300-	N1

※図表1-4はJ-CAT
(<https://www.j-cat2.org/html/ja/pages/interpret.html>)
から転載

調査に協力してくれた被験者は500人であった。所属は、建設業、製造業、介護業、派遣会社、高等学校定時制の課程、公立中学校、外国人学校、一般市民と多岐にわたった。被験者の年齢区分【図表2-4】(P.28)を見てもわかる通り、10代が半数以上であった。次世代の若

者は地域の財産であり、彼らが自分らしさを十分発揮できる人物に育てることは地域としての役割・責任でもある。本調査により、浜松市で育つ次世代の日本語能力に係る一部が明らかになったことは、今後の施策を充実させるうえで大きな意義があると考ええる。

【図表 1-5】(P.14)の通り、500 人の平均点は 154 点であった。平均点と JLPT 日本語能力試験互換表を見比べてみると、今回の被験者のうち平均点の取得者は N4 程度のレベルにあることがわかる。J-CATには産出(書く、話す)の試験が含まれていないため、実際には生活者としての外国人が日常のコミュニケーションで駆使しているはずのコミュニケーションストラテジー²⁹や社会言語能力³⁰等を測ることはできない。そのため生活者としての外国人の日本語能力を全て客観的に測定できたとは言い難いが、言語能力の一側面は測定できたと考ええる。

全体では、初級(100~149 点)が最も多く 135 人で、全体の 27%であった。次に多いのが、初級後半(N4)(150~199 点)で 116 人(全体の 23.2%)、その次に多いのが初級前半(0~99 点)であり、112 人(全体の 22.4%)であった【図表 1-5】(P.14)。

初級前半と初級は、日本語でのコミュニケーションがまだ難しい段階のため、日常生活を不自由なく過ごすことは困難だといえるレベルである。もちろん、当人の人柄やコミュニケーションストラテジーで、日本語を使わなくてもタスクを一定程度こなすことは不可能ではないかもしれないが、日本社会において、自らの力で思う通りに事柄を進めることは難しいだろう。

浜松市では、2010 年 1 月に浜松市日本語学習支援センター(U-ToC)を開設し、市主催の日本語教室を実施してきた。その設定レベルは、日常生活に最低限必要な日本語学習機会を常時提供するという目的から、入門(全くのゼロレベル)から初級が終わるまで(N4 程度)である。2022 年度からはもう一段階上のレベルを目指して中級クラス(N3 程度)が新設されているが、まだ試行錯誤の状態である。

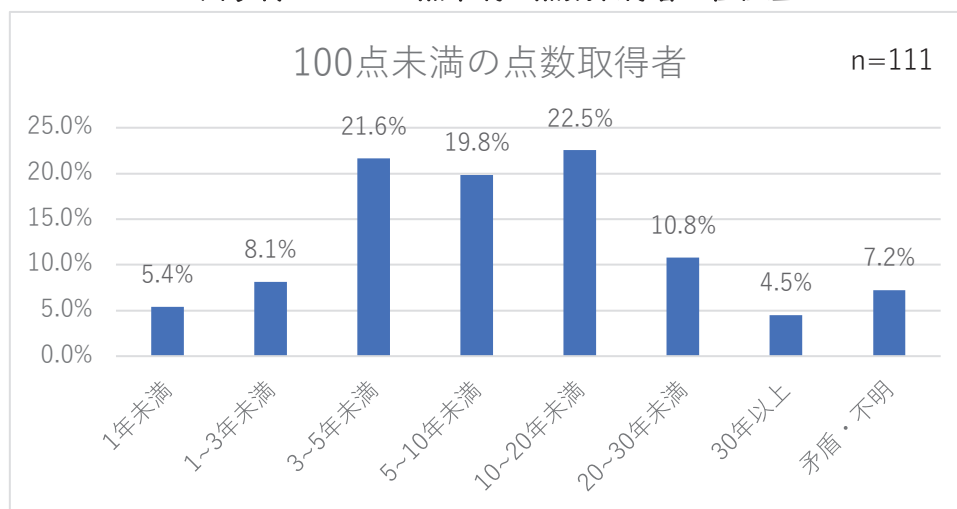
被験者のうち、253 人(50.6%)が、初級後半以上のレベルであり、浜松市が目的としていた日常生活に最低限必要なコミュニケーションが可能な方々であった。しかし、残りの約半数の 247 人(49.4%)は日本語でのコミュニケーションは困難な状況である【図表 1-5】(P.14)。

初級前半(0~99 点)の点数取得者(112人)のうち、アンケートに協力してくれたのは 111 人であった。その 111 人の日本在住歴を調べたのが、【図表終-1】である。これにより、20~30 年未満の在住歴がある人は 10.8%(12 人)、30 年以上在住している人は 4.5%(5 人)であることがわかった。

²⁹ コミュニケーションに困難が生じた時に取る方略。例えば、言い換え、聞き返し、回避、ジェスチャーなど。

³⁰ CEFR では、社会言語能力を「言語使用の社会的な次元に対処するために必要な知識と技能である。」としている。例えば、挨拶やいとまごい、相手や場に応じた言葉遣いなど。

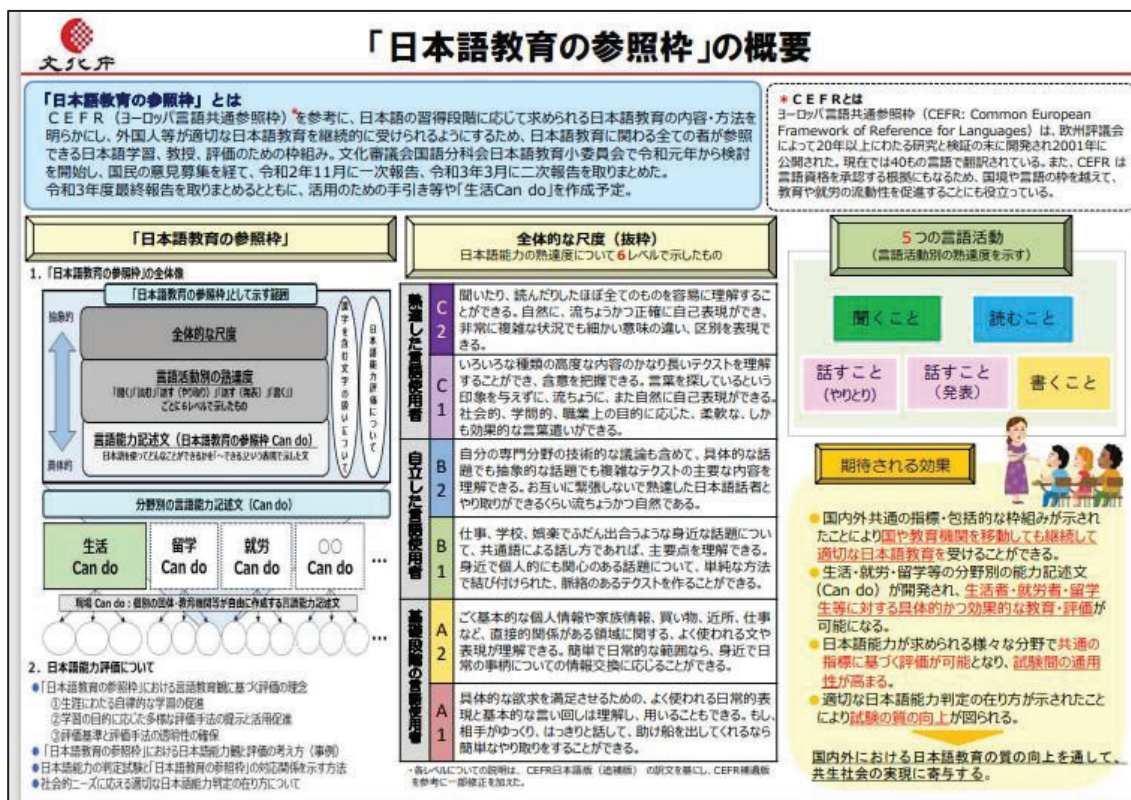
図表終-1 100点未満の点数取得者の在住歴



30年以上の在住歴がある被験者の得点を詳しく見たところ、ある一名は、聴解の48点以外、文字・語彙、文法、読解において0点であることがわかった。おそらく、来日直後から仕事をし始め日本語を学習する機会がなかったこと、これまで日常会話での日本語を介したやりとりは多少あったものの、文字での伝達をほとんどしてこなかったことが伺える。こうした在住歴は長いが日本語を習得する機会がなかった、もしくは習得する必要がなく暮らして来られた環境は、社会の側に要因があることを真摯に受け止める必要があるだろう。そして今後、彼らのような日本語を習得する機会がなかった人々と共にどう多文化共生社会を構築していくのか、地域でともに暮らす全ての人が当事者意識をもって向き合わなければならないのではないだろうか。

2019年6月に「日本語教育の推進に関する法律」が公布・施行され、「生活者としての外国人」のための日本語教育を進めてきた文化庁は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会で審議された「日本語教育の参照枠」を取りまとめている。「日本語教育の参照枠」の概要を【図表終-2】に示す。「日本語教育の参照枠」とは、CEFR(ヨーロッパ共通言語参照枠)を参考にし、日本語教育の内容・方法を明らかにし、学習、教授、評価など、日本語教育に関する共通の指標となる枠組みのことであり、A1~C2までの6レベルが示されている。文化庁は、また、「地域における日本語教育の在り方について 報告(2022年11月29日)」(P.60)の中で、地域における日本語教育において目指すべき日本語レベルは、自立した言語使用者であるB1とすると示している。

図表終-2 「日本語教育の参照枠」の概



※図は文化庁(https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93736901_01.pdf)から転載

J-CAT は、先述した【図表 1-4】スコア互換表(JLPT 日本語能力試験)だけでなく、CEFRとの互換表も提示している【図表 1-14】。

図表 1-14 スコア互換表(CEFR)(P.19 再掲)

J-CAT	CEFR
175-	A2
225-	B1
275-	B2
325-	C1

(当社の試験の専門家グループによるベンチマーク方式により判定)

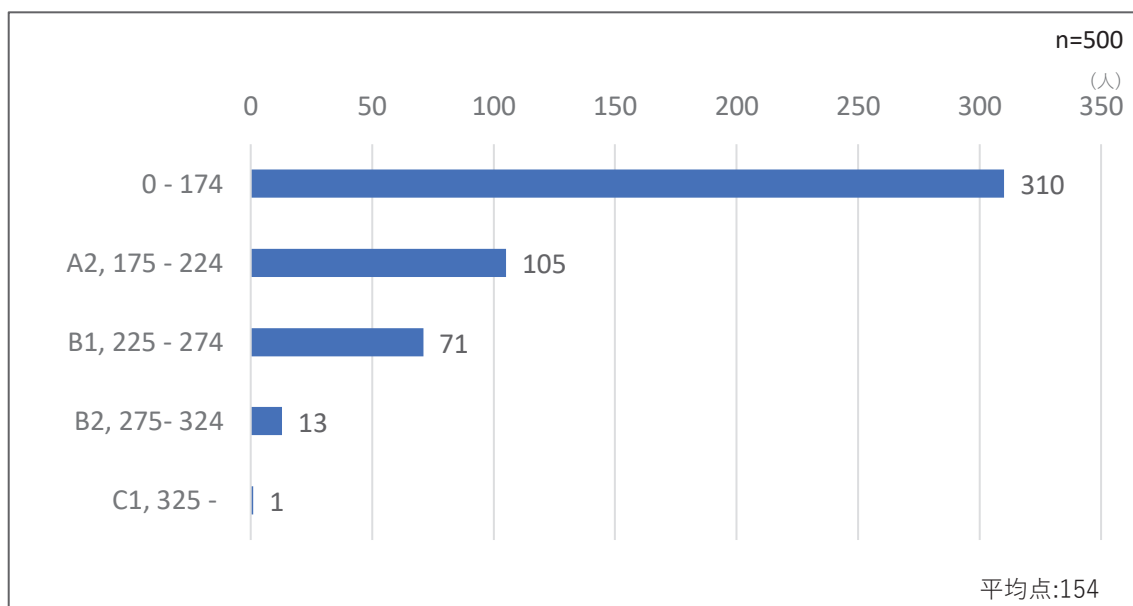
J-CAT175点以上取得者はCEFRのA2以上に相当する。

※図表 1-14 と注釈は、J-CAT (<https://www.j-cat2.org/html/ja/pages/interpret.html>) から転載

日本語教育の参照枠の熟達度レベルとCEFRの示すレベルがニアリーイコールだと仮定し、互換表に当てはめると、平均点(154点)は、A2レベルに達していないことがわかる。調査を行った段階で、文化庁が示した基準であるB1レベル以上に達している人は85人で、全体の

2割に満たない【図表 1-15】(P.19)。

図表 1-15 J-CAT 合計(400 点満点)と CEFR との互換グラフスコア互換表(CEFR)
(P.19 再掲)



本調査の得点分布を CEFR とのスコア互換表に照らし合わせ、所属別のグラフとしたものは P.20~23 で示されている。今回の調査結果を見る限り、現段階で在住外国人が日本語能力を B1 レベルに到達させるには、相当な時間を日本語学習に費やさなければならないことがわかる。この時間の確保が最も難しいのは、これまで既に長い期間定住している外国人である。先述の「地域における日本語教育の在り方について(報告)」(P.41)によると、地域における日本語教育の内容は、B1 レベル以上を到達目標とした 320~520 時間程度の 1 年から 2 年のカリキュラムが設計されることが望ましいとある。計 520 時間の学習プログラムは、初めて来日した人や初めて日本語を学ぶ人にとっては、集中して学習できることから学習効果が表れやすいだろう。一方で、既に定住している「生活者としての外国人」には、仕事や子育て等の日常をこなしながらこの学習時間を確保するのは困難である。新規来日する外国人と定住外国人に分け隔てなく学習機会を提供することは今後の大きな課題と言える。

次に、被験者の内訳から、3つに区分して考察する。

(1) 派遣社員

初級前半(0~99 点)が 30 人と最も多く、全体の 28%である。初級後半までの 199 点以下の人を合わせると 78 人であり、72.9%を占める【図表 1-9】(P.16)。

CEFRのレベルで分類すると、B1以上が 21 人(約20%)、B1 未満が 86 人(約 80%)である【図表 1-19】(P.21)。

来日して日が浅い人も含まれていることを鑑みても、文化庁が目指す自立した言語使用者の B1 レベルに現時点で到達している人は少ない。必ずしも日本語が必要とされない仕事が存在し、既にその仕事に就いており日常生活を不自由なく営んでいる彼らにとって日本語学習の動機づけをどのようにしたらよいのだろうか。

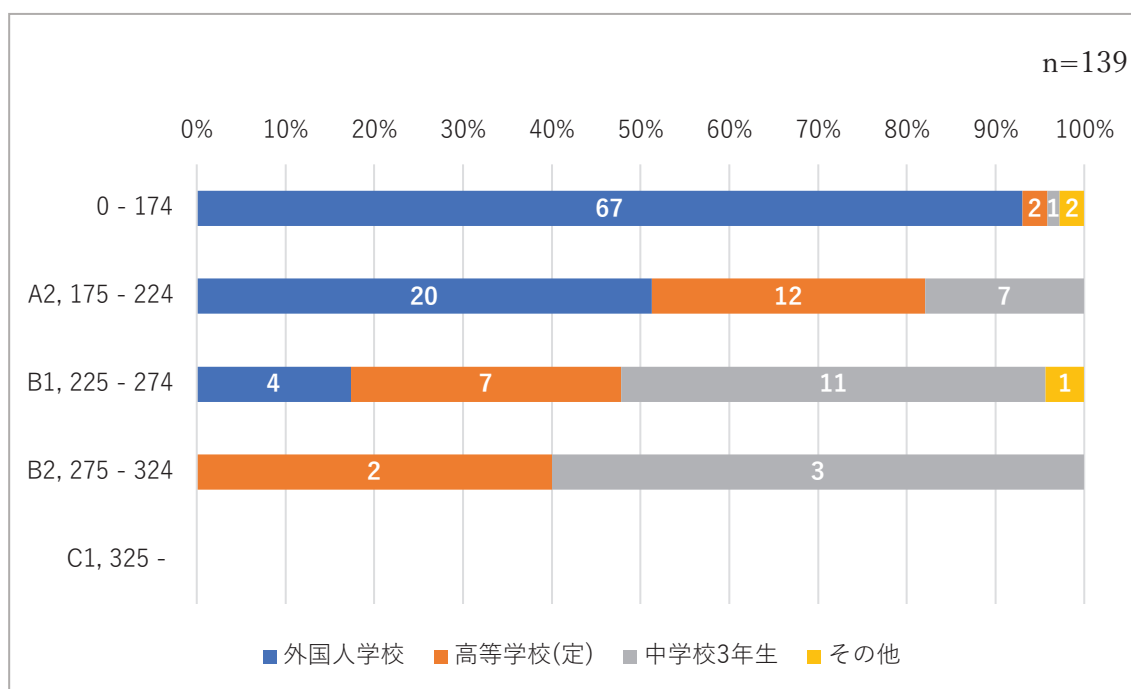
調査に協力してくれた派遣会社によれば、日本語ができる人を希望する派遣先からのリクエストは多く、また、日本語が必要な仕事の方が時給は高い。こうしたことが、日本語学習の動機づけの一因となれば良いのだが、日々の労働や生活、子育て等で時間に追われる派遣社員には日本語の学習時間を確保することが最も難しいようだ。調査に協力してくれた派遣会社は、派遣社員のスキルアップのために日本語教室を開催していた。HICE では同開催業務を請け負ったが、就業時間後の教室実施ということもあり、継続して学べた人は少なかった。日本語学習の動機づけがあり、会社が社員のために日本語を学べる環境を用意していても、生活環境により学習意欲が阻害されるのだとすると、今後どのような方策を取ればよいのだろうか。私たちは、日本語習得を個人の意欲のみに依存するだけではなく、これまでの社会構造を今一度見直し、地域日本語教育の体制づくりを改めて検討する必要があると考える。

(2) 県立高等学校の定時制課程在籍生徒(高1~4)、公立中学校在籍生徒(中3)

県立高等学校の定時制課程在籍生徒(高1~4)(以下、高校生)も公立中学校在籍生徒(中3)(以下、中学生)も中級前半の得点者が最も多かった。高校生の結果を見ると、初級後半の得点範囲だった人が次に多い。一方、中学生では中級に属した人数が次に多かった【図表 1-10、1-11】(P.17)。

CEFR のレベル分けで見ると、高校生は、自立した言語使用者として求められる B1 以上のレベルは 19 人(35.8%)であり、中学生も、19 人(51.3%)であった。逆に言えば、テストに協力してくれた高校生の 64.2%、中学生 48.7%は、自立した言語使用者とは言えない状況であることがわかる【図表 1-20、1-21】(P.22)。来日したばかりの生徒も含まれていることも鑑みて、10 代の被験者のうち、日本生まれの生徒を抽出したところ、高校生は 14 人(10.1%)、中学生は 8 人(5.8%)が B1 未満であった【図表終-3】。

図表終-3 「日本生まれの10代」のJ-CAT 合計(400点満点)得点とCEFRの互換グラフ



日本で生まれ、日本の公立学校に在籍し、学校教育を受けてきた外国につながる子供たちが、義務教育を終える、もしくは終えた段階で自立した言語使用者レベル(B1)に到達していないことをどのように評価するのは難しい。『「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き』の中でも、「子供に対する日本語教育」についてのコラム(P.4)が掲載されている。そのコラムでは、言語形成期(0から15歳)を日本で過ごす外国につながる子供たちに日本語を外国語として扱うことは望ましくないとあり、また、そのためにも年齢に伴う認知的な発達段階を保障する複数言語教育の参照枠を別に作成するのが望ましいともある。

一方で、現実では日本の教育システムの中で学ぶ以上、外国につながる子供たちは大多数を占める日本語母語話者の生徒らとそれぞれの進路に向かって学び合い、さらには競い合わざるを得ない環境にある。その上、言語形成期は現在進行形で進んでおり、子供に対する複数言語教育の参照枠の完成を悠長に待つ時間はない。マイノリティ言語児童・生徒にとって、第二言語の「会話の流暢度」と「教科学習言語能力」の習得に必要な年数はそれぞれ、1~2年と5~7年³¹⁾と言われている。学校現場では、日本語指導と教科指導を統合し、学習活動に参加するための力の育成を目指したJSL(Japanese as a second language)カリキュラムを用いるなど、様々な取組がなされている。J-CATは外国につながる子供の言語能力測定に特化したテストではないが、今回の結果から「日本生まれの外国につながる10代」のうち、CEFRのB1レベルに達していない者が少なからず存在することがわかった。生後すぐ母国へ帰国したなど、

³¹⁾ ジム・カミンズ著 中島和子著訳、2021、『言語マイノリティを支える教育【新装版】』、明石書店。著書の中では、外国につながる子供は、マイノリティ言語児童・生徒と記されている。

様々な可能性を鑑みる必要はあるが、しかし、おそらく彼らは、少なくとも調査時において、日本語を使った教科学習に困難を抱えていることが推察される。

今回の調査結果が日本語能力に関する僅かばかりであっても、その一部を反映しているとすれば、今後は日本生まれ日本育ちの生徒の学習歴や生活環境などの背景をさらに調査し、点数の差がどこから生まれるのか明らかにしていくことも必要なのではないか。日本で生まれ、日本で育つ子供に対し、社会は彼らの言語能力をどのように保障していくべきであるのか。生まれ育つ地域の環境により子供たちの日本語の習得度が変わることのないよう、取り組めることに速やかに着手する必要性を感じる。今後、外国人の子供たちの地域社会への定着化が一層見込まれる中、もはや先送り出来ない喫緊の課題である。

(3) 外国人学校

初級前半と初級レベルがそれぞれ72人(約40%)ずつであった【図表1-12】(P.18)。CEFRのレベルで見ると、B1未満が197人で95.6%を占めている【図表1-22】(P.23)。高校生定時制の課程と中学校3年生の結果が、初級前半と初級レベルは11人(12.2%)、B1未満は52人(57.8%)であったことから【図表1-10、1-11】(P.17)、差は歴然である。また、外国人学校に在籍する生徒のうち、「日本生まれ」でB1未満は87人であった【図表終-3】(P.107)。

ここでいう外国人学校では、それぞれブラジルやペルーなど本国の認可を受け、本国のカリキュラムに基づいて授業を行っている。そのため、科目としての日本語はカリキュラムの中に組み込まれておらず、各学校の裁量で課外授業の扱いとして行われていることは前提として留意する必要がある。浜松市では10年以上前から外国人学校に対し日本語教師派遣事業を行っており、日本語の学習機会提供に努めている。

日本人が学校教育で英語を学んでいるのにも関わらず、全員が英語を自由に操れるとは言い難い状況からも、外国語の習得が容易ではないことは想像できる。したがって、テストの結果はある意味妥当であろう。しかし、日本人の英語学習とは異なるのは、外国人学校に通う生徒は現在日本に住んでおり、日常生活の中で日本語と触れる機会は、少なくとも日本人が英語に触れる機会よりは多いはずであることだ。外国人学校に通う生徒たちが日本語に触れる頻度については、日本語使用状況調査結果の「問16:日本人の友人の有無」【図表2-21】(P.63)や、「問21:日本語の位置づけ」【図表2-25】(P.70)からさほど多くないことが推察できる。また、統計分析による「日本語の位置づけ別に見た日本語能力」【図表3-22】(P.98)の結果からは、日本語の必要性の有無が日本語能力と関係があることが明らかになった。

日本で育つ外国につながる子供たちが、日本語を習得する機会がないまま帰国せず、地域社会へ出ていくケースをどのように受け止めるべきだろうか。これまでも外国人学校を卒業し、その後、浜松市外国人学習支援センターに日本語を学びたいとやってくる若者を見てきた。彼らのほとんどは、帰国の可能性を常に保護者から示唆されてきたものの、結果的に帰国するこ

とはなく、日本社会で生計を立てなければならない環境に置かれている。この状況は保護者の将来設計や教育に関する意識の低さにあるのか、または公立学校と外国人学校の選択の難しさにあるのか、あるいはその他に要因があるのかははっきりわからない。

当然ながら、この結果のみを受けて、公立学校で学ぶことが是であり、外国人学校で学ぶことは非であると考えるのは極めて短絡的である。外国人学校は本国政府の認可を受けてはいるものの日本では民間学校の位置づけであり、学校経営を維持するために生徒から決して安いとは言えない学費を徴収している。それにも関わらず、子供たちの保護者の一定数は最終的に公立学校との選択肢において外国人学校を選択し、子供たちを通わせている。それは「ブラジルへ帰国した時に子供が困らないため」や、「ブラジル人としてのアイデンティティを高めるため」などの理由からかもしれない。あるいは、「日本の公立学校よりは良いのではないか」という消去法で選択した可能性もあるのかもしれない。結果的に、保護者が自らの子供の学校選択肢を天秤にかけた時、すべての保護者からは日本の公立学校が選ばれてこなかったという現実がある。まずはこうした現実にも真摯に向き合い、社会包摂を進める観点から、外国につながる子供たちの学びの場について、改めて早急に根本的な検討を要すべきである。

2 日本語使用状況調査(アンケート)の結果から

アンケートは 489 人の協力者から回答が集まった。J-CAT テスト終了後、テストで利用した iPad をそのまま用いて、英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、ベトナム語、インドネシア語、やさしい日本語、日本語の中から回答言語を選択した上で、QR コードで読み込み、Google フォームのアンケートに回答してもらった。

アンケートを 10 代と 20 歳以上の年齢との 2 グループに分けて考察する。

まず、今回のアンケート調査に協力してくれた方々の多くがブラジル国籍を有していた。10 代では 78.4%、20 歳以上は 60.6% と過半数以上を占めている【図表 2-5】(P.30-31、問3)。

在留資格を見ると、20 歳以上では永住者が 51.8%、10 代は 32.1% であった【図表 2-6】(P.32-33、問4)。浜松市全体の在住外国人を在留資格別で見ると、永住者を持つものが 45% であり【図表序-4】(P.8)、20 歳以上の協力者の割合とほぼ一致している。また、20 歳以上の協力者のうち、身分又は地位に基づく在留資格保持者(永住者、定住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等)は全体の 75.6% であり【図表 2-6】、浜松市在住外国人の身分又は地位に基づく在留資格者の割合とほぼ同じである【図表序-4】。なお、10 代では、在留資格に関して、矛盾・不明という回答が 22.0% と多かった【図表 2-6】。10 代のほとんどは中学 3 年生もしくは高校生であり、普段、自分の在留資格を特段意識していないことが推察される。

問7【図表 2-9】(P.38-39) で初めて来日した年を調査した。これを見ると、全体では 30.5% が、10 代では 47.0% が日本生まれであると回答した。来日した年と、学年相当の年齢を換算して、来日時の推定年齢を問 7-1 参考資料として、【図表 2-10】(P.40-41) で掲載した。それによると、10 代では、0 歳で初来日した人が 50.7% と過半数を超えていた。問7 で日本生まれと答えた人が 47.0% であることから、その差である 3.7% は 1 歳未満で来日したことが推察される。

また、問8【図表 2-11】(P.42-43) では、日本での通算滞在期間を聞いているが、10 代のうち、通算滞在期間が 12 年未満の割合は、50.3% であった。問7、問 7-1、問 8 の結果から、今回の 10 代の協力者の多くが、これまで日本とそれ以外の国の間で「移動」を少なくとも 1 回は経験していることが推察される。この移動は、発達過程にある子供たちにとっては負担が大きいだろう。友人関係や学習の積み上げが自分の意志とは異なる力で遮断され、全く新しい環境で自分の居場所を再構築しなければならない。外国につながる子供たちを育成・支援する際には、多くの子供たちがこうした経験を経ていることを踏まえる必要があるだろう。

問 9 は、これから日本にどれくらい住む予定があるかの定住志向を聞いたものである【図表

2-12】(P.44-45)。10代と20歳以上では、永住する予定の割合に大きな差がみられる(10代:28.7%、20歳以上:51.3%)。また、10代ではわからないと答えた人の割合も26.4%と高い。学生という立場であり、将来の可能性に満ちている状態であるがゆえに、現段階では「決めていない」というのは妥当であろう。

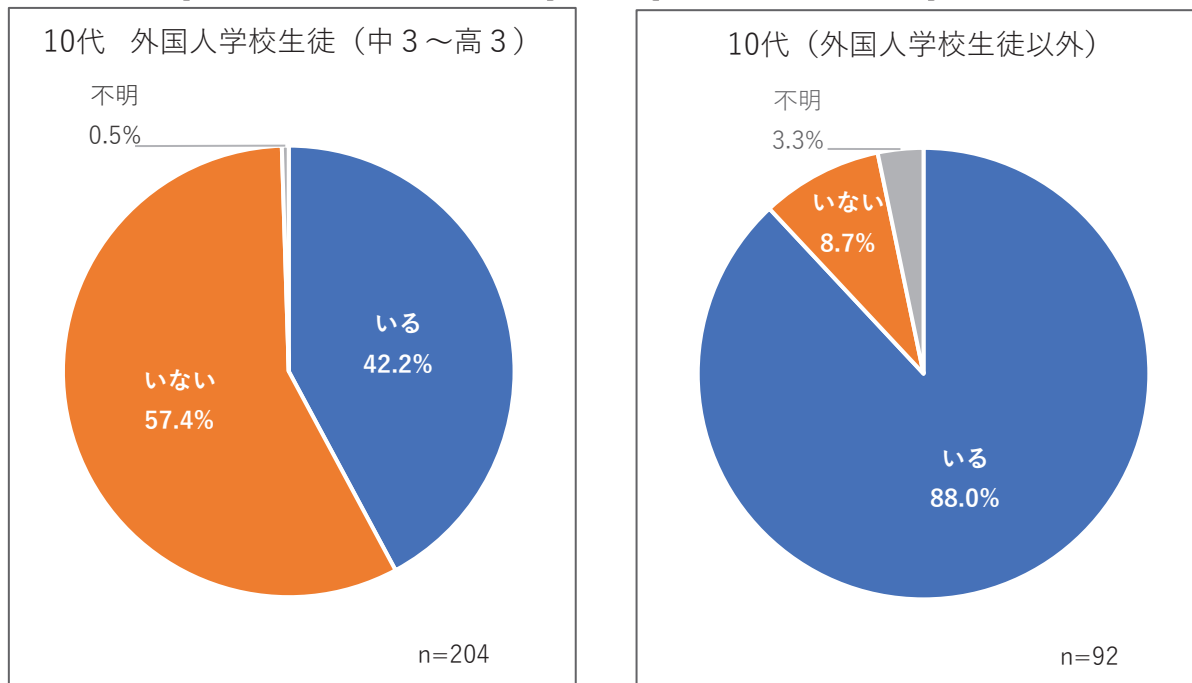
一方、日本には残らないと将来を描いている人(「母国と日本以外の国に行く予定」、「できるだけ日本に長く住むが、いつかは母国に帰る予定」、「3年以内に母国に帰る予定」、「10年以内に母国に帰る予定を選んだ人」の合計)の割合が10代では42.9%、20歳以上では38.3%であった。10代においては「永住する予定」(28.7%)より高い割合である。個人の幸せを考えれば、自分らしく輝ける場所で生き生きと生活できることが最も良い。そのための場所が日本以外の国にあると言われれば応援したい。将来の架け橋としても期待できる。

しかし、日本には残らないと将来を描いている理由が、「日本に愛着がない」としたらどうだろうか。今、現在住んでいる地域を自分自身の人生の仮の場として過ごす若者に対して、地域共生をどのようにデザインしていけばよいのだろうか。大きな課題提起を受けたように感じる。

問16では、日本人の友達がいるかどうかを尋ねている【図表2-21】(P.62-63)。「いる」と答えた人の割合は、10代が56.4%、20歳以上では67.9%であった。下記は、10代の協力者(n=296)を外国人学校、公立学校、その他と分けて、友人の有無を再掲したものである。

図表 2-21 日本人の友人の有無

10代[外国人学校生徒(中3~高3)、10代[外国人学校生徒以外](再掲 P.63)



外国人学校の生徒のうち、57.4%が日本人の友人はいないという回答であった。一日のうち、家族以外と過ごす時間を学校で送っている学生にとって、友人の存在は貴重である。人間形成の時期には、様々な友人とのやり取りから学ぶことも多い。外国人学校の生徒にとって、自分の母語で意思疎通が可能である上、共通の文化や背景を持つ同胞の友人とやりとりすることはかけがえのない時間であろう。一方で、彼らが帰国せず、学校を終えて社会に出た際に、日本の文化や習慣についてわからないことを気軽に聞くことや、社会生活で困った時に助けを求めることのできる相手はいるのだろうか。今や、日本での行政情報や制度などについては多言語で情報を得られるようになってきているが、文化や習慣については仮に多言語翻訳されたものがあっても、自ら体験の機会がないとイメージがわきにくいだろう。

文化庁の「地域における日本語教育の在り方について」(P.88)では、今後、日本語教育の参照枠に基づいた「生活 Can do」を用いたカリキュラムを策定する際には、日本の制度、社会、文化についても扱うようにすることが望ましいとされている。特に、文化や習慣については、人とのやりとりの中で学ぶことも多い。公立学校に在籍する外国につながる子供たちは学校生活の中で無意識に経験することも多いだろうが、外国人学校に在籍する子供たちにそうした機会はあるのだろうか。

日本人の友人の存在がそれらすべての経験を保障するものではないとしても、外国人学校に在籍する子供にとって同年代の日本人と知り合うことは、日本の文化や習慣を知る絶好の機会になると考えられる。また、日本人側の理解者がいることも、将来社会の中で孤立せず安心して過ごすことのできる助けにもなるだろう。外国人学校在籍者のうち、42.2%が日本人の友人がいると答えている。外国人学校の中には学校間交流を積極的に試みている学校も存在する。日本人の友人を持つ割合が増えるよう、そうした関係機関が有機的につながる体制を検討する必要もあるのではないか。

問 21 では、日本語に対する必要性を尋ねている【図表 2-25】(P.70-71)。20 歳以上では「日常生活に絶対に必要な言葉」と答えた割合が 93.3%であったが、10 代では 69.9%と下がっている。10 代は次いで「日常生活で時々必要となる言葉」が 24.0%、「日常生活でほとんど必要ない言葉」が 5.1%であった。日本に住んでいながら、日常生活で日本語をほとんど必要ないと答えた若者はいったいどのような生活を送っているのだろうか。10 代のほとんどが学生のため、学校と家では日本語を使うこともなく、また友人との会話にも日本語は使わない、買い物等でも日本人と接触することがない生活を送っているのだろうか。学校生活を終え母国に帰る予定がなくなった、もしくは帰国が先に延びた時、日本でどのように自立した生活を送っていくことができるのかどうか不安を覚える。こうした若者をどう社会として包摂していくのか、大きな課題であることを認識すべきだと考える。

問 24 では、理想の日本語教室について聞いている【図表 2-27】(P.74-75)。10 代、20 歳以上ともに、日本人とおしゃべりしながら学べる日本語教室が一番多かった。学校や勤務先

など学ぶ場の利便性を追求した選択肢よりも、日本人とのおしゃべりといった交流(内容)を重視した選択肢が上位に来たのは意外な結果であった。今回の多くの協力者のように、在住歴が長い人であっても日本人とのコミュニケーションを欲することは、逆に捉えれば、その機会が社会に提供されていないことの表れであるとも考えられる。今回の結果を好意的に受け止め、積極的に学習支援を通じた交流の場を作っていくことが必要である。

また、オンラインで学べる日本語教室のニーズも高かった。時間や場所の選択肢が増え、学べる場が複数から選べると良いのだろう。浜松市は市域も広く、全ての日本語教室を対面で行わなくてもよいはずだ。多様な学習ニーズやレベルに対応できる教室を開催していきたい。

問 25 は日本語が上手になったら何をしたいかという問いである【図表 2-28】(P.76-77)。これは、自由記述による回答であったため、HICE 事務局でグループ分けを行い、各グループに名称を付けた。10代、20歳以上ともに仕事が一番多かったが、次がつながり(日本)であった(10代:21.3%、20歳以上:15.5%)。これも、問 24 の回答と同様に、意外であった。問9では、10代の42.9%、20歳以上の38.3%が日本への定住志向があまりないことが明らかになっているからだ。日本へのつながりを求める気持ちが冷めないうちに、社会は包摂という観点で彼らと共生していく手立てを見直すことが必要だろう。

また、仕事で活かしたいという気持ちがある点もこの結果からは読み取れる。OECD(経済協力開発機構)の成人移民に対する言語教育についての報告書からも、現地語学習のカリキュラムがキャリア目標に基づいて構築され、参加者が実際の状況に言語能力を適用できるようになると、より早く進歩し、習得の意欲が高まると書かれている³²。日本語についても、日本語を習得することがどのように自身のキャリアに活かせるのか、具体的な指標が示せるようになると良いだろう。

アンケートの結果から、10代に関しては、日本で育ってはいるものの、将来日本に定住するかどうか決めていない者が約4割おり、一部には、日本人の友人がいない、日本語を必要としていない者もいることが明らかになった。しかしその一方で、日本人とコミュニケーションを取ったり、つながりをもったりするような思いも捨て難いという輪郭像が確認された。

最後に注目したいのは、10代に家族滞在の在留資格保持者が9.5%いることだ【図表 2-6】(P.32)。家族滞在とは、活動に基づく在留資格保持者に帯同する家族が付与される在留資格である。この在留資格は、ある活動をするために在留が許可された者の帯同者という位置付けであるため、単身で自立した生活を送ることはそもそも想定されていない。そのため、この在留資格を持つ若者は身分又は地位に基づく在留資格を持つ若者と異なり、進学や就職を目指す上で留意点がある。例えば、ほとんどの奨学金は貸与対象外であることや、仮に資格外

32 Language Training for Adult Migrants(OECD 2021)P.40より HICE 訳。

<https://www.oecd.org/migration/language-training-for-adult-migrants-02199d7f-en.htm>

活動の許可を申請・受理されたとしてもアルバイト等の就労は1週間28時間以内しか認められていないことがあげられる。また、家族滞在から他の在留資格に切り替える際にも、学校の卒業資格や親の身元保証が必要など、様々な条件があり、本人の能力や意向だけでは対応し難いこともネックといえる。来年4月には特定技能が制度創設から5年を迎え、1号の在留期間が上限に達する人が出てくる。今後、1号からの移行のために2号の業種拡大の議論が活発化されることはある意味必然であり、家族滞在の在留資格で来日する若者が増加する可能性もある。浜松市でもそうした将来を見越して教育委員会を通じて教職員への情報提供を積極的に行い、外国人を含めた全ての子どもたちが自身の希望に沿った進路選択ができるようになるとういだろう。

日本は経済成長を維持していくため、近年外国人材の新たな受入れを急速に進めており、これからもその流れは拡大する兆しが見えている。しかしながら、産業の担い手を海外に求める前に、既に日本には多くの外国人の若者が在住していることに注目してほしい。まずは彼らを地域の活力維持の担い手、宝として捉え直すことで、価値ある社会的存在として育成することに取り組むべきではないか。日本人と外国人を問わず、日本に住む一人一人が自分らしく輝くことができる地域が本当の意味での多文化共生社会と言えるのではないか。本調査結果を踏まえて早急に対応していくことが望まれる。

3 日本語能力調査及び日本語使用状況調査の統計分析の結果から

第3章は、日本語能力調査と日本語使用状況調査の結果から、どんな要因が日本語能力と関係があるのか統計分析を用いて明らかにすることを試みたものである。なお、第3章は、静岡大学情報学部藤岡伸明准教授が主となって執筆している。

以下、日本語教育の観点から、5つの分析結果について考察する。

4 滞在年数と日本語能力【図表 3-5】(P.82)

結果から、滞在年数と得点には弱い相関があることがわかった。滞在年数が長くても、必ずしも日本語能力が高いとはいえないということである。このことは、地域で日本語教室を行う者にとっては、何の疑いもない。実際、先述した通り、滞在が20年以上であっても、J-CATの得点(400点満点)が100点未満の人は15.3%いた【図表終-1】(P.103)。また、この結果は先行研究とも一致している。2010年に浜松で行われた「生活のための日本語:浜松調査」(国立国語研究所「生活のための日本語」研究グループ)でも、弱い相関が示されている。

一方、今回の結果から、10代においては中程度の相関がみられた。子供のうちから長期的に滞在することが、日本語を習得する機会になっていることは言えるようだ。複言語環境で育つ子供にとって、J-CATで測れるものが日本語能力の全てを表してはいないとしても、今回の調査から一定の目安は見えたと感じる。今後は、同じ学年や滞在年数のグループの中でJ-CATの得点のばらつきの要因を調査し、日本語習得の分かれ道を探ることができればよいだろう。

9 日本語能力の自己評価と実際の日本語能力【図表 3-10】(P.87)

日本語能力と自己評価に強い相関があることが示されたことは、意外な結果であった。3章の中でも述べられている通り、自己評価はあくまでも個人の主観であるため、客観的な評価とは離れているのではないかと、地域日本語教育に携わる者の間では少なからず認識されてきた。実際に、日本語教室受付時の日本語レベルチェックにおいても、高めに自己評価する人もいれば低めに自己評価する人もいて、実に様々である。

J-CATで測定した日本語の聴解、文字・語彙、文法、読解に関する得点が、本人が判断する4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」のできることに関係があるというのはどういうことであろう。できる感を高めるためには、日本語知識を得ることに効果がある可能性が示唆された。確かに、言葉を使ってある行為を達成するためには、語彙知識が少なからず必要であり、それを速やかに、かつ適切に、引き出したりつなげたりすることも必要である。今後策定する「生活Can do」を用いた学習プログラムでは、行動中心アプローチを用いたカリキュラムを作成する予定であるが、今回の結果も参考にし、言語活動を伴った課題遂行のためにはどんな能力が必要なのか、併せて検討したい。

10 日本人の友人の有無と日本語能力【図表 3-12】(P.89)

日本人の友人の有無が日本語能力に強い相関があることがわかった。ただ、日本語能力が高いから日本人の友人がいるとも言え、因果関係までは明らかになっていない。しかし、日本人の友人の存在と日本語能力に関係があることが明らかになったことは、今後の事業に活かしていく価値があるだろう。

浜松市が外国人集住地域となって、30年以上が経過する。その間、市は多言語での情報提供サービスを充実させてきた。市の機関以外にも、生命に直接係わる病院には通訳の常駐があり、外国人住民が顧客として訪れる店舗には外国語での案内表記が見られる。さらに、最近では ICT 技術も急速に進み、スマートフォンのアプリで容易に翻訳が可能であり、音声を外国語に変換することもできる。今後、外国語を習得する必要性が実感できない社会が広がるのかもしれない。

そのような中ではあるが、地域日本語教育を推進する立場にある者としては、人と人がつながるためには言葉を使ったコミュニケーションが必要であることを改めて強調したい。行為の達成だけであれば既に言葉は必要ないのかもしれないが、互いに心を触れ合わせるためには、直接やり取りするための共通言語が必ず必要だろう。

以前、求職中の間に日本語を学びたいと、日本語教室初級クラスに参加した学習者がいた。彼は来日して 20 年は経過していたが、これまで日本人の家を一度も訪れたことがないと言っていた。その時、外国人住民の定住化が進んでいるとはいえ、住民同士の交流は必ずしも進んでいないのだと改めて感じた。同じ地域に住んでいながら、互いに無関心な関係性を私たちは無意識に望んでいるのだろうか。今回の結果の中で友人の存在が日本語習得にプラスに働く影響があるとわかった以上、今後はどのようにして日本人住民を巻き込み自然な関わりを持つ機会を作れるのか、地域日本語教育の中で出来る方法を検討していきたい。

18 今後の滞在予定と日本語能力【図表 3-20】(P.96)

日本への定住志向が日本語能力と相関があることがわかった。特に、日本に永住する予定がある人と、それ以外の差が統計的に有意だと出ている。将来を、どこで過ごすのか、そのためには何が必要かを明確にし、覚悟を持つことが日本語習得に影響することが考えられる。将来についてあらゆる選択肢を持つ 10 代であっても、永住予定とそれ以外の差が統計的に有意だと出た。一方で、永住意向のある人の点数が広く分布していることもわかった【図表 3-20】。今後、地域に住む外国人には、自立した言語使用者(日本語教育の参照枠:BIレベル)を目指すことが求められるとすると、永住意向がある人達の日本語習得に注力していく必要があるだろう。

また、10 代の日本語習得意欲をどのように刺激していくのかは大きな課題である。将来帰国すると聞かされている子供たちは、日本語を習得する必要がないと思っている可能性がある。しかし、本当に帰国するとしても、今、日本語を習得することは現在進行形で進む日本での生活の質を高めることに必ずつながるはずである。また、仮に帰国の可能性が先に延びることに

なった時には、日本語の習得次第で、将来自分が望むキャリアにつながりやすくなるだろう。母国に帰国したりそれ以外の国に行ったりする場合でも、自由に操れる外国語が多いことは間違いなくアドバンテージになる。日本語習得が生活の質を高めるということを効果的に伝える方法を検討したい。

20 日本語の位置づけと日本語能力【図表3-22】(P. 98)

日本語の必要性が日本語能力と相関があることがわかった。因果関係までは明らかにはなっていないが、少なくとも日本語の必要性が日本語習得の動機づけとなっていることは言えるだろう。日本語の必要性に関しては、本人の生活環境や社会的な多言語資源によって異なることが推察される。例えば、同胞の人数が多く、さらに長く定住している人が多いコミュニティ内には、母語を使用した店舗やサービスが充実しており、日本語の必要性は低いだろう。また、コミュニティの外であっても、通訳者の常駐や翻訳された情報提供などにより、日本語の必要性を感じる機会は少ないかもしれない。

同胞コミュニティの存在は、外国人が海外で生活する上でのセーフティネットでもあり、そこへのアクセスは安心した生活を送るために必要な手立てだということは十分理解できる。しかしながら、コミュニティの中だけでは、本当の意味で自立した生活を送ることは困難であろう。日本において生活の質を高めるためには、自立した言語使用者として自分の力で自由に社会とつながることが必要だと実感できるよう、例えば、キャリアアップと日本語習得レベルの相関が示せると良いのではないだろうか。さらに、日本語習得の必要性を自らのインセンティブとして捉えられる制度等があると、より大きな動機づけにもなるだろう。一方で、多言語による情報提供と日本語習得のバランスについては今一度見直す必要もあるだろう。今回の分析結果を踏まえ、改めて関係機関を交えた議論の場を設けていきたい。

4 まとめ

日本語能力調査及び日本語使用状況調査の結果から、また、両調査を統計分析した結果から、地域における日本語教育の実態と課題を考察してきた。今回の結果から、今後5年間で取り組むべき課題が大きく二つ見えてきたように思う。

一つは、「次世代の言語習得に対する包括的な支援の必要性」である。政府は日本の経済成長の維持のため、海外から外国人材を招くことで労働力を補うという選択をとっている。その一方で、既に国内に定住している外国人の若者に対して言語習得を保障するための具体的な方策はまだ多く存在しない。

今回の調査結果からも、10代のうち日本生まれの若者が半数近くいることが明らかになった。文化的多様性を持つ彼らは、日本で複数の言語を習得できる環境に恵まれている。また、彼らと共に学ぶ機会のある日本の若者にとっても、日本にいながら複数の言語や文化に触れる機会となり、教育次第では、相乗効果の可能性が見込まれる。

また、地域全体で言語習得を支援することで、この地域に愛着を持つ若者が増える可能性もある。日本で育つ全ての子供たちは、将来の地域社会における構成員の一人となる。今後、文化的多様性を持つ若者らにバトンを渡し、地域を託していくためにも、コミュニケーションの根幹となる言語習得への包括的な支援が必要である。

もう一つは、「心の壁を取り払う」ことである。在留外国人には受入れ国において直面する「3つの壁」があり、それは、制度の壁、言葉の壁、心の壁だと言われている³³。

制度の壁は、1990年の改正入管法施行以降、少しずつ取り払われてきた。2012年の改正住民基本台帳法の施行により、外国人登録制度が廃止され、市町村において外国人住民の居住実態が今まで以上に正確に把握できるようになった。また、外国人児童生徒の教育に対する支援事業は、外国人集住都市会議の大きな成果だと言われている。

言葉の壁も、2019年の「日本語教育の推進に関する法律」の公布・施行以降、国の方針が定められ、同方針に基づいた施策が展開されている。多言語による情報提供についても、必要な行政サービスだと位置づけられ、役所の窓口や公共施設の看板等で多言語による案内を容易に見ることができるようになった。

しかし、心の壁はどうだろう。目に見える明らかな差別や偏見は減っているようにも感じるが、目に見えない差別や偏見はどうだろうか。また、そうした際立った差別や偏見の代わりに、無関心さが広がっていないだろうか。積極的に排除はしないものの関心も持たない雰囲気はないだろうか。

「日本語教育の参照枠」に示されている「言語教育観」の柱の一つに、「日本語学習者を社

³³ 鈴木江理子、2009、変わる移民政策：「新たな住民」の到来と地域社会：共に生きる社会に向けて、国立民族学博物館調査報告 83、P.229-244

会的存在として捉える」とある。言語の習得は、それ自体が目的ではなく、より深く社会に参加し、より多くの場面で自分らしさを発揮できるようになるための手段である。外国人住民は共に地域を作る構成員であると、受入れのホスト側である私たち日本人が十分認識しなければならない。そのためには、互いが接触できる機会を増やすための「交流の場」があるとよいだろう。新しく住民となる外国人への日本語教育の取り組みと同時に、定住する外国人の日本語学習支援を通じて住民同士が交流できる場を創出することが効果的であると考ええる。

全ての壁が取り払われたとき、誰もが住みやすい地域社会がそこにあるのではないだろうか。地域日本語教育の体制づくり事業がその一助となるよう引き続き努めていきたい。

參考資料

I 「日本語使用状況調査」調査票

【調査票の言語】

- 日本語
- やさしい日本語
- ポルトガル語
- フィリピン語
- ベトナム語
- 中国語
- スペイン語
- インドネシア語
- 英語

【調査票の形式】

調査票は、全て Google フォームで作成した。

一つだけ選択する問は、ラジオボタン(○)で選択するように設定した。

問に(複数回答可)とあるものは、チェックボックス(□)で選択できるように設定した。

【日本語】日本語に関するアンケート(公益財団法人浜松国際交流協会実施)

このアンケートでは、日本語を勉強している皆さんが、普段どんな生活をしているかお聞きし、日本語との接触量、言語観(言語に関するポリシー)、日本語学習時間や方法、情報入手方法について調べます。それにより、浜松市の日本語教育をさらに改善できるよう努めますので、ご協力よろしくお願いたします。

テストID

1. 性別

- 男
- 女

2. 年齢

3. 国籍

4. 在留資格

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 永住者 | <input type="radio"/> 特定技能 |
| <input type="radio"/> 特別永住者 | <input type="radio"/> 介護 |
| <input type="radio"/> 日本人の配偶者等 | <input type="radio"/> 技術・人文知識・国際業務 |
| <input type="radio"/> 永住者の配偶者等 | <input type="radio"/> 家族滞在 |
| <input type="radio"/> 定住者 | <input type="radio"/> 技能 |
| <input type="radio"/> 技能実習 | <input type="radio"/> 日本国籍 |
| <input type="radio"/> 留学 | <input type="radio"/> その他: |

5. 職業

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 中学生 | <input type="radio"/> 自営業主 |
| <input type="radio"/> 高校生 | <input type="radio"/> 家族従業者 |
| <input type="radio"/> 大学生 | <input type="radio"/> 技能実習 |
| <input type="radio"/> 正社員 | <input type="radio"/> 無職 |
| <input type="radio"/> アルバイト(臨時雇用) | <input type="radio"/> その他: |
| <input type="radio"/> 派遣社員・請負社員・契約社員 | |

6. 働いている会社の種類は、次のどれにあたりますか。

- | | |
|---|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 学校 | <input type="radio"/> 卸売・小売業・飲食店 |
| <input type="radio"/> 建設業 | <input type="radio"/> 金融・保険業 |
| <input type="radio"/> 製造業(自動車・オートバイなどの輸送機器) | <input type="radio"/> サービス業 |
| <input type="radio"/> 製造業(電子機器) | <input type="radio"/> 農林水産業 |
| <input type="radio"/> 製造業(食料品) | <input type="radio"/> 介護・福祉 |
| <input type="radio"/> 製造業(その他) | <input type="radio"/> その他: |
| <input type="radio"/> 輸送・通信 | |

7. あなたが初めて日本に来たのは何年ですか。

日本生まれの人は、日本生まれと書いてください。

8. 日本での通算滞在期間を教えてください。

9. これからの日本での滞在をどのように考えていますか。

- 日本に永住する予定
- 3年以内に母国に帰国する予定
- 10年以内に母国に帰国する予定
- できるだけ日本に長く滞在し、いずれは母国に帰国する予定
- 母国と日本以外の国に行く予定
- わからない
- その他:

10. 浜松市に住んでいる理由を教えてください。

- 家族・親戚・友人がいるから
- 支援が充実しているなど、住みやすいから
- 今の仕事を続けたいから
- 生まれた時から生活しているから
- 家を買ったなど、生活の基盤ができているから
- その他

11. 初めて来日した時の、あなたの日本語レベルを選んでください。

- 11-1. 聞く
- テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる
 - 相手の言ういことを聞いて、大体理解できる
 - 相手がゆっくり話せば、聞いて理解できる
 - 単語だけ聞き取れる
 - ほとんど聞き取れない
 - 日本生まれ
- 11-2. 話す
- 自分の言いたいことが 問題なく話せる
 - 自分の言いたいことが 大体話せる
 - 簡単な 日常会話 ができる
 - 自己紹介、決まった挨拶、単語 なら言うことができる
 - ほとんど話せない
 - 日本生まれ
- 11-3. 読む
- 役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、理解できる
 - 役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、少し理解 できる
 - 新聞や雑誌 の広告 やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる
 - 絵の付いた簡単な支持(ごみの捨て方、料理の作り方)がわかる
 - ほとんど読めない
 - 日本生まれ
- 11-4. 書く
- 仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明 する文章を書くことができる
 - 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章 を書くことができる
 - 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
 - 名前や国名、住所などが書ける
 - ほとんど書けない
 - 日本生まれ

12. 日本語の学習歴を教えてください。

例:【いつ】(2010年)、【どこ】:(くもん)で、【どれくらい】:(1年)

13. 今現在のあなたの日本語レベルを選んでください。

- 13-1. 聞く
- テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる
 - 相手の言ういことを聞いて、大体理解できる
 - 相手がゆっくり話せば、聞いて理解できる
 - 単語だけ聞き取れる
 - ほとんど聞き取れない
- 13-2. 話す
- 自分の言いたいことが 問題なく話せる
 - 自分の言いたいことが 大体話せる
 - 簡単な 日常会話 ができる
 - 自己紹介、決まった挨拶、単語 なら言うことができる
 - ほとんど話せない
- 13-3. 読む
- 役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、理解できる
 - 役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、少し理解 できる
 - 新聞や雑誌 の広告 やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が 取れる
 - 絵の付いた簡単な支持(ごみの捨て方、料理の作り方)がわかる
 - ほとんど読めない
- 13-4. 書く
- 仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明 する文章を書くことができる
 - 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章 を書くことができる
 - 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
 - 名前や国名、住所などが書ける
 - ほとんど書けない

14. 日本語がどれくらいできるようになりたいですか。

- 14-1. 聞く
- テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる
 - 相手の言ういことを聞いて、大体理解できる
 - 相手がゆっくり話せば、聞いて理解できる
 - 単語だけ聞き取れる
 - ほとんど聞き取れない
- 14-2. 話す
- 自分の言いたいことが 問題なく話せる
 - 自分の言いたいことが 大体話せる
 - 簡単な 日常会話 ができる
 - 自己紹介、決まった挨拶、単語 なら言うことができる
 - ほとんど話せない
- 14-3. 読む
- 役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、理解できる
 - 役所や学校、職場からのお手紙やお知らせを読んで、少し理解 できる
 - 新聞や雑誌 の広告 やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる
 - 絵の付いた簡単な支持(ごみの捨て方、料理の作り方)がわかる
 - ほとんど読めない
- 14-4. 書く
- 仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明 する文章を書くことができる
 - 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章 を書くことができる
 - 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
 - 名前や国名、住所などが書ける
 - ほとんど書けない

15. 一週間にどれくらい、日本語を勉強していますか？時間数(0～)で教えてください。

16. 日本人の友人は何人いますか？いないときは0としてください。

17. 友人の中で日本人の割合は何%ですか？

18. 日常の中で、どんな時に(誰と)日本語を使いますか?(複数回答可)

- 仕事の時に職場の人にあいさつをする
- 仕事の時に職場の人に相談する
- 仕事の時にお客さんと話す
- 保育園・幼稚園・学校で先生と話す
- 保育園・幼稚園・学校で保護者と話す
- 近所の人とあいさつをする
- 近所の人と話す
- 家族と話す
- 日本人の友達と話す
- 外国人の友達と話す
- レストランで店員と話す
- 買い物の時店員と話す
- 病院で話す
- 市役所で話す
- 教会で話す
- 日本語を話さない
- その他:

19. あなたの家庭内ではどんな言語を使っていますか?割合も教えてください。

例)夫とはベトナム語(100%)、子供とはベトナム語(70%)と日本語(30%)

20. あなたの第一言語は何ですか?

21. あなたにとって、日本語はどのような位置づけですか?

一つ選んでください

- 日常生活に絶対に必要な言葉
- 日常生活で時々必要となる言葉
- 日常生活でほとんど必要ない言葉
- その他:

22. 上記の理由を教えてください。

23. 日本語学習に関する悩みや不安がありますか。(複数回答可)

- 授業料・教材が高い
- 通学や通級のためのお金が高い
- 都合のいい場所に日本語学校・教室がない
- 都合のいい時間に日本語学校・教室がない
- 勉強する時間がない
- 母語で学べる学校や教室がない
- 年齢的に外国語の学習が負担だ
- 満足できる授業をする日本語学校・教室がない
- 情報を得る方法を知らない
- 特にない
- その他:

24. どのような日本語教室ある良いと思いますか。(複数回答可)

- 仕事の時間外に会社で学べる日本語教室
- 仕事の時間内に会社で学べる日本語教室
- 放課後、学校で学べる日本語教室
- 授業中、学校で学べる日本語教室
- 休日、会社や学校で学べる日本語教室
- 休日、近くの協働センターで学べる日本語教室
- オンラインで学べる日本語教室
- 母語で学べる日本語教室
- 自宅に日本語教室が来てくれて日本語を学ぶ
- 日本人とおしゃべりしながら学べる日本語教室
- わからない
- 特にない
- その他:

25. 日本語が上手になったら何をしたいですか？

コメント(なんでも)

【やさしい日本語】日本語に関(かん)するアンケート

(公益財団法人浜松国際交流協会実施)

このアンケートでは、浜松市(はまつし)に 住(す)んでいる 外国人(がいこくじん)の みなさんが、いつも どんな生活(せいかつ)をしているか、日本語(にほんご)を どれくらい 使(つか)っているか、日本語(にほんご)の 勉強時間(べんきょうじかん)や 方法(ほうほう)について 調(しら)べます。結果(けっか)を 集(あつ)めて、浜松市(はまつし)の 日本語(にほんご)支援(しえん)を さらに 良(よ)くするようにしますので、ご協力(きょうりょく) よろしくお願(ねが)いします。

テストID

1. 性別(せいべつ)

- 男(おとこ)
- 女(おんな)

2. 何歳(なんさい)ですか

3. 国籍(こくせき)

4. 在留資格(ざいりゅうしかく)

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 永住者(えいじゅうしゃ) | <input type="radio"/> 特定技能(とくていぎのう) |
| <input type="radio"/> 特別永住者(とくべつえいじゅうしゃ) | <input type="radio"/> 介護(かいご) |
| <input type="radio"/> 日本人(にほんじん)の配偶者等(はいぐうしゃとう) | <input type="radio"/> 技術(ぎじゆつ)・人文知識(じんぶんちしき)・国際業務(こくさいぎょうむ) |
| <input type="radio"/> 永住者(はいぐうしゃとう)の配偶者等(はいぐうしゃとう) | <input type="radio"/> 家族滞在(かぞくたいざい) |
| <input type="radio"/> 定住者(ていじゅうしゃ) | <input type="radio"/> 技能(ぎのう) |
| <input type="radio"/> 技能実習(ぎのうじっしゅう) | <input type="radio"/> 日本国籍(にほんこくせき) |
| <input type="radio"/> 留学(りゅうがく) | <input type="radio"/> その他: |

5. あなたの 仕事(しごと)は どれですか。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 中学生(ちゅうがくせい) | <input type="radio"/> 自営業(じえいぎょう) |
| <input type="radio"/> 高校生(こうこうせい) | <input type="radio"/> 主婦・主夫(しゆふ) |
| <input type="radio"/> 大学生(だいがくせい) | <input type="radio"/> 技能実習(ぎのうじっしゅう) |
| <input type="radio"/> 正社員(せいしゃいん) | <input type="radio"/> 仕事(しごと)を していません |
| <input type="radio"/> アルバイト・臨時(りんじ) | <input type="radio"/> その他: |
| <input type="radio"/> 派遣(はけん)・請負(うけおい)・契約(けいやく)社員(しゃいん) | |

6. 会社(かいしゃ)の種類(しゅるい)は、どれですか。

- 学校(がっこう)
- 建設業(けんせつぎょう)
- 製造業-輸送機器(車や オートバイを つくっている)
- 製造業-電子機器(ディスプレイや スマートフォンを つくっている)
- 製造業-食料品(べんとうや パンを つくっている)
- 製造業(その他)
- 輸送・通信(トラックで ものを 運ぶ、インターネットなど)
- 卸売・小売業・飲食店(お店や レストランなど)
- 金融・保険業(ぎんこうや しんようきんこ、ほけんなど)
- サービス業
- 農林水産業(やさいや こめを つくる、さかなをかこうする)
- 介護・福祉(かいご)
- その他:

7. あなたが 初(はじめて)日本(にほん)に 来(き)たのは 何年(なんねん)ですか? 日本(にほん)生(う)まれた人(ひと)は、「日本生まれ」と書(か)いてください。

8. 日本(にほん)に 全部(ぜんぶ)で どれくらい 住(す)んでいますか。

9. これから 日本(にほん)に どれくらい 住(す)みますか?

- 永住(えいじゅう)する 予定(よてい)
- 3年(ねん)以内(いない)に 母国(ぼこく)に 帰(かえ)る 予定(よてい)
- 10年(ねん)以内(いない)に 母国(ぼこく)に 帰(かえ)る 予定(よてい)
- できるだけ 日本(にほん)に 長(なが)く 住(す)むが、いつかは 母国(ぼこく)に 帰(かえ)る 予定(よてい)
- 母国(ぼこく)と 日本(にほん)以外(いがい)の 国(くに)に 行(い)く 予定(よてい)
- わからない
- その他:

10. どうして 浜松市(はまつし)に 住(す)んで いますか?

- 家族(かぞく)や 親戚(しんせき)や 友達(ともだち)が いるから
- サポートがたくさん あって、住(す)みやすいから
- 今(いま)の 仕事(しごと)を 続(つづ)けたいから
- 生(う)まれた時(とき)から 生活(せいかつ)しているから
- 家(いえ)を 買(か)って、生活(せいかつ)しているから
- その他

11. 初(はじめて)日本(にほん)に 来(き)た時(とき)の、あなたの 日本語(にほんご)レベルを 選(えら)んでください。

- 11-1. 聞きく ○ テレビのニュース、ドラマを 聞(き)いて、理解(りかい)できる
○ 相手(あいて)の言(い)うことを 聞(き)いて、大体(だいたい)理解(りかい)できる
○ 相手(あいて)が ゆっくり 話(はな)せば、聞(き)いて 理解(りかい)できる
○ 単語(たんご)だけ 聞(き)き取(と)れる
○ ほとんど 聞(き)き取(と)れない
○ 日本(日本)で 生(う)まれた
- 11-2. 話(はな)す ○ 自分(じぶん)の 言(い)いたいことが 問題(もんだい)なく 話(はな)せる
○ 自分(じぶん)の 言(い)いたいことが 大体(だいたい) 話(はな)せる
○ 簡単(かんたん)な 日常(にちじょう)会話(かいわ)が できる
○ 自己紹介(じこしょうかい)、決(き)まった挨拶(あいさつ)、単語(たんご)なら 言(い)うことができる
○ ほとんど 話(はな)せない
○ 日本(日本)で 生(う)まれた
- 11-3. 読(よ)む ○ 役所(やくしょ)や 学校(がっこう)、職場(しょくば)からの 手紙(てがみ)や 知(し)らせを 読(よ)んで、理解(りかい)できる
○ 役所(やくしょ)や 学校(がっこう)、職場(しょくば)からの 手紙(てがみ)や 知(し)らせを 読(よ)んで、少(すこ)し 理解(りかい)できる
○ 新聞(しんぶん)や 雑誌(ざっし)の 広告(こうこく)や チラシ、駅(えき)の 時刻表(じこくひょう)や 案内(あんない)を 見(み)て、欲(ほ)しい 情報(じょうほう)が 取(と)れる
○ 絵(え)の ついた 簡単(かんたん)な 指示(しじ)(ごみの 捨(す)て方(かた))、料理(りょうり)の 作(つ)くり方(かた)が わかる
○ ほとんど 読(よ)めない
○ 日本(日本)で 生(う)まれた
- 11-4. 書(か)く ○ 仕事(しごと)の 報告書(ほうこくしょ)や 学校(がっこう)の 先生(せんせい)への 連絡(れんらく)、料理(りょうり)の 作(つ)くり方(かた)など、状況(じょうきょう)や 方法(ほうほう)を 説明(せつめい)する 文章(ぶんしょう)を 書(か)くことができる
○ 日常(にちじょう)生活(せいかつ)や 自分(じぶん)の ふるさと、自分(じぶん)の 経験(けいけん)について 紹介(しょうかい)する 文章(ぶんしょう) を 書(か)くことができる
○ 職場(しょくば)の 人(ひと)や 学校(がっこう)の 先生(せんせい)、家族(かぞく)に 要件(よけん)を 伝(つた)える 簡単(かんたん)な メモを 書(か)くことができる
○ 名前(なまえ)や 国(くに)、住所(じゅうしょ)などが 書(か)ける
○ ほとんど 書(か)けない
○ 日本(日本)で 生(う)まれた

12. 日本語(にほんご)を勉強(べんきょう)した経験(けいけん)を全部(ぜんぶ)教(おし)えてください。

例:【いつ】(2008年)、【どこ】:(くもん)で、【どれくらい】:(1年)

13. 今(いま)のあなたの日本語(にほんご)レベルを 選(えら)んでください。

- 13-1. 聞(き)く ○ テレビのニュース、ドラマを 聞(き)いて、理(り)解(かい)できる
○ 相手(あいて)の言(い)うことを 聞(き)いて、大(だい)体(たい)理(り)解(かい)できる
○ 相手(あいて)が ゆっくり 話(はな)せば、聞(き)いて 理(り)解(かい)できる
○ 単(たん)語(ご)だけ 聞(き)き取(と)れる
○ ほとんども 聞(き)き取(と)れない
- 13-2. 話(はな)す ○ 自分(じぶん)の 言(い)いたいことが 問(もん)題(だい)なく 話(はな)せる
○ 自分(じぶん)の 言(い)いたいことが 大(だい)体(たい)話(はな)せる
○ 簡(かん)単(たん)な 日(に)常(じょう)会(かい)話(わ)が できる
○ 自己(じこ)紹(しょう)介(かい)、決(き)まっただけ 挨拶(あいさつ)、単(たん)語(ご)なら 言(い)うことが できる
○ ほとんども 話(はな)せない
- 13-3. 読(よ)む ○ 役(やく)所(しょ)や 学(が)校(こう)、職(し)場(ば)からの 手(て)紙(がみ)や 知(し)らせを 読(よ)んで、理(り)解(かい)できる
○ 役(やく)所(しょ)や 学(が)校(こう)、職(し)場(ば)からの 手(て)紙(がみ)や 知(し)らせを 読(よ)んで、少(すこ)し 理(り)解(かい)できる
○ 新(しん)聞(ぶん)や 雑(ざつ)誌(し)の 広(こう)告(こく)や チラシ、駅(えき)の 時(じ)刻(こく)表(ひょう)や 案(あん)内(ない)を 見(み)て、欲(ほ)しい 情(じょう)報(ほう)が 取(と)れる
○ 絵(え)の ついた 簡(かん)単(たん)な 指(し)示(じ)(ごみ)の 捨(す)て方(かた)、料(りょう)理(り)の 作(つく)り方(かた)が わかる
○ ほとんども 読(よ)めない
- 13-4. 書(か)く ○ 仕(し)事(ごと)の 報(ほう)告(こく)書(しょ)や 学(が)校(こう)の 先(せん)生(せい)へ の 連(れん)絡(らく)、料(りょう)理(り)の 作(つく)り方(かた)など、状(じょう)況(きょう)や 方(ほう)法(ほう)を 説(せつ)明(めい)する 文(ぶん)章(しょう)を 書(か)くことができる
○ 日(に)常(じょう)生(せい)活(かつ)や 自(じ)分(ぶん)の ふるさと、自(じ)分(ぶん)の 経(けい)験(けん)について 紹(しょう)介(かい)する 文(ぶん)章(しょう)を 書(か)くことができる
○ 職(し)場(ば)の 人(ひと)や 学(が)校(こう)の 先(せん)生(せい)、家(か)族(ぞく)に 要(よう)件(けん)を 伝(つた)える 簡(かん)単(たん)な メモを 書(か)くことができる
○ 名(な)前(まえ)や 国(くに)、住(じゅう)所(しょ)などが 書(か)ける
○ ほとんども 書(か)けない

14. 日本語(にほんご)がどれくらいできるように なりたいですか。

- 14-1. 聞きく ○ テレビのニュース、ドラマを 聞(き)いて、理解(りかい)できる
○ 相手(あいて)の言(い)うことを 聞(き)いて、大体(だいたい)理解(りかい)できる
○ 相手(あいて)が ゆっくり 話(はな)せば、聞(き)いて 理解(りかい)できる
○ 単語(たんご)だけ 聞(き)き取(と)れる
○ ほとんど 聞(き)き取(と)れない
- 14-2. 話(はな)す ○ 自分(じぶん)の 言(い)いたいことが 問題(もんだい)なく 話(はな)せる
○ 自分(じぶん)の 言(い)いたいことが 大体(だいたい) 話(はな)せる
○ 簡単(かんたん)な 日常(にちじょう)会話(かいわ)が できる
○ 自己紹介(じこしょうかい)、決(き)まった挨拶(あいさつ)、単語(たんご)なら 言(い)うことが できる
○ ほとんど 話(はな)せない
- 14-3. 読(よ)む ○ 役所(やくしょ)や 学校(がっこう)、職場(しょくば)からの 手紙(てがみ)や 知(し)らせを 読(よ)んで、理解(りかい)できる
○ 役所(やくしょ)や 学校(がっこう)、職場(しょくば)からの 手紙(てがみ)や 知(し)らせを 読(よ)んで、少(すこ)し 理解(りかい)できる
○ 新聞(しんぶん)や 雑誌(ざっし)の 広告(こうこく)や チラシ、駅(えき)の 時刻表(じこくひょう)や 案内(あんない)を 見(み)て、欲(ほ)しい 情報(じょうほう)が 取(と)れる
○ 絵(え)の ついた 簡単(かんたん)な 指示(しじ)(ごみの 捨(す)て方(かた)、料理(りょうり)の 作(つく)り方(かた))が わかる
○ ほとんど 読(よ)めない
- 14-4. 書(か)く ○ 仕事(しごと)の 報告書(ほうこくしょ)や 学校(がっこう)の 先生(せんせい)への 連絡(れんらく)、料理(りょうり)の 作(つく)り方(かた)など、状況(じょうきょう)や 方法(ほうほう)を 説明(せつめい)する 文章(ぶんしょう)を 書(か)くことができる
○ 日常(にちじょう)生活(せいかつ)や 自分(じぶん)の ふるさと、自分(じぶん)の 経験(けいけん)について 紹介(しょうかい)する 文章(ぶんしょう) を 書(か)くことができる
○ 職場(しょくば)の 人(ひと)や 学校(がっこう)の 先生(せんせい)、家族(かぞく)に 要件(ようけん)を 伝(つた)える 簡単(かんたん)な メモを 書(か)くことができる
○ 名前(なまえ)や 国(くに)、住所(じゅうしょ)などが 書(か)ける
○ ほとんど 書(か)けない

15. 一週間(いっしゅうかん)で 何時間(なんじかん)、日本語(にほんご)を 勉強(べんきょう)していますか?時間(じかん)(0~)で 答(こた)えてください。

16. 日本人(にほんじん)の 友達(ともだち)が 何人(なんにん)いますか?
いないときは 0としてください。

17. 友達(ともだち)の中(なか)で日本人(にほんじん)の割合(わりあい)は何%ですか。数字(すうじ)(0～)で答(こた)えてください。

18. 生活(せいかつ)の中(なか)で、どんな時(とき)に日本語(にほんご)を使(つか)いますか?複数回答可

- 仕事(しごと)の時(とき)に あいさつする
- 仕事(しごと)の時(とき)に 相談(そうだん)する
- 仕事(しごと)の時(とき)に お客(きやく)さんと 話(はな)す
- 保育園(ほいくえん)・幼稚園(ようちえん)・学校(がっこう)で 先生(せんせい)と 話(はな)す
- 保育園(ほいくえん)・幼稚園(ようちえん)・学校(がっこう)で 他(ほか)の 親(おや)と 話(はな)す
- 近所(きんじょ)の 人(ひと)と あいさつする
- 近所(きんじょ)の 人(ひと)と 話(はな)す
- 家族(かぞく)と 話(はな)す
- 日本人(にほんじん)の 友達(ともだち)と 話(はな)す
- 外国人(がいこくじん)の 友達(ともだち)と 話(はな)す
- レストランで店員(てんいん)と 話(はな)す 買(か)い物(もの)と話(はな)す
- 買い物(かいもの)で 店員(てんいん)と 話(はな)す
- 病院(びょういん)で 話(はな)す
- 市役所(しやくしよ)で 話(はな)す
- 教会(きょうかい)で 話(はな)す
- 日本語(にほんご)は 話(はな)さない
- その他:

19. あなたの 家(いえ)では どんな言葉(ことば)を使(つか)っていますか?割合(わりあい)も教(おし)えてください。

例(れい)夫(おと)と ベトナム語(ご)(100%)、子供(こども)と ベトナム語(ご)(70%)と 日本語(にほんご)(30%)

20. あなたの 第一言語(だいいちげんご)は 何(なん)ですか?

第一言語(だいいちげんご)は、一番(いちばん) 簡単(かんたん)に 使(つか)える 言葉(ことば)のことで

21. あなたにとって、日本語(にほんご)は どれくらい 大切(たいせつ)ですか?

一つ選(えら)んでください

- 生活(せいかつ)に 絶対(ぜったい)に 必要(ひつよう)な 言葉(ことば)
- 生活(せいかつ)で 時々(ときどき) 必要(ひつよう)な 言葉(ことば)
- 生活(せいかつ)で ほとんど 必要(ひつよう)ない 言葉(ことば)
- その他:

22. 理由(りゆう)を 教(おし)えてください。

23. 日本語(にほんご)の勉強(べんきょう)で 困(こま)っていることや 不安(ふあん)なことはありますか。複数回答可

- 学校(がっこう)や クラスの お金(かね)、テキストの お金(かね)が 高(たか)い
- 学校(がっこう)や クラスに 行くための お金(かね)が 高(たか)い
- ちょうどいい 場所(ばしょ)に 日本語(にほんご)を 勉強(べんきょう)できる ところがない
- ちょうどいい 時間(じかん)に 日本語(にほんご)を 勉強(べんきょう)できる ところがない
- 勉強(べんきょう)する 時間(じかん)が ない
- 自分(じぶん)の 国(くに)の 言葉(ことば)で 勉強(べんきょう)できる ところがない
- 年齢(ねんれい)の 問題(もんだい)で 日本語(にほんご)を 勉強(べんきょう)するのが たいへん
- 自分(じぶん)の やりたい 日本語(にほんご)を 勉強(べんきょう)できる ところがない
- どこで 日本語(にほんご)を 勉強(べんきょう)できるか わからない
- 特(とく)にない
- その他:

24. どのような日本語(にほんご)教室(きょうしつ)が あると 良(よ)いと思(おも)いますか。

複数回答可

- 仕事(しごと)の 後(あと)、会社(かいしゃ)で 勉強(べんきょう)できる
- 仕事(しごと)の 時(とき)に、会社(かいしゃ)で 勉強(べんきょう)できる
- 放課後(ほうかご)、学校(がっこう)で 勉強(べんきょう)できる
- 授業(じゅぎょう)の時(とき)に、学校(がっこう)で 勉強(べんきょう)できる
- 休(やす)みの日(ひ)に、会社(かいしゃ)や 学校(がっこう)で 勉強(べんきょう)できる
- 休(やす)みの日(ひ)に、近(ちか)くの 協働(きょうどう)センターで 勉強(べんきょう)できる
- オンラインで 勉強(べんきょう)できる
- 自分(じぶん)の 国(くに)の 言葉(ことば)で 勉強(べんきょう)できる
- 自分(じぶん)の 家(いえ)に 先生(せんせい)が 来(き)て 勉強(べんきょう)できる
- 日本人(にほんじん)と おしゃべり しながら 勉強(べんきょう)できる
- わからない
- 特(とく)にない
- その他:

25. 日本語(にほんご)が 上手(じょうず)になったら 何(なに)を したいですか？

コメント(なんでも)

【ポルトガル語】日本語に関するアンケート (HICE) Enquete sobre a língua japonesa (HICE)

Com o objetivo de conhecer o cotidiano, o nível de contato com o idioma japonês, a visão sobre a língua (política linguística), o tempo e método de aprendizagem do idioma, assim como os meios que utilizam para obter informações, solicitamos a todos que respondam a esta enquete. Baseado nesta, pretendemos aperfeiçoar o ensino da língua japonesa em Hamamatsu. Agradecemos a sua colaboração.

ID do Teste

1. Sexo

Masculino

Feminino

2. Idade

3. Nacionalidade

4. Qualificação de permanência

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> Residente permanente | <input type="radio"/> Habilidade específica |
| <input type="radio"/> Residente permanente especial | <input type="radio"/> Enfermagem |
| <input type="radio"/> Cônjuge ou filho de japonês | <input type="radio"/> Tecnologia · Conhecimento da área de humanas · Atividades internacionais |
| <input type="radio"/> Cônjuge e/ou filho de residente permanente | <input type="radio"/> Estadia de familiar |
| <input type="radio"/> Residente de longo prazo | <input type="radio"/> Técnico |
| <input type="radio"/> Estágio técnico | <input type="radio"/> Nacionalidade japonesa |
| <input type="radio"/> Estudante | <input type="radio"/> Outros |

5. Em qual tipo de trabalhador que você se enquadra? [Qualificação profissional]

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> Estudante do Ensino fundamental II | <input type="radio"/> Trabalhador autônomo (jiei gyosha) |
| <input type="radio"/> Estudante do Ensino médio | <input type="radio"/> Trabalhador familiar (kazoku jugyosha) |
| <input type="radio"/> Universitário | <input type="radio"/> Estágio técnico |
| <input type="radio"/> Funcionário efetivo (seishain) | <input type="radio"/> Desempregado |
| <input type="radio"/> Eventual (arubaito) · Trabalho temporário (rinji koyou) | <input type="radio"/> Outros |
| <input type="radio"/> Funcionário terceirizado (haken shain) · trabalhador por empreitada (ukeoi shain) · Funcionário contratado (keiyaku shain) | |

6. Em que ramo você trabalha? [Área de atuação profissional]

- Escola
- Construção Civil
- Indústria (automotivo, equipamento de transporte)
- Indústria (equipamentos eletrônicos)
- Indústria (alimentícia)
- Indústria (outros)
- Transporte · comunicação
- Comércio atacadista · comércio varejista · restaurante
- Mercado financeiro · setor de seguro
- Prestação de serviço
- Agricultura e pesca
- Assistência ao idoso · assistência social
- Outros

7. Em que ano você veio pela primeira vez ao Japão?

Se nasceu no Japão, preencha "Nasci no Japão"

8. No total, quanto tempo de permanência você tem no Japão?

9. Quais são as suas intenções sobre a permanência no Japão?

- Pretendo permanecer no Japão
- Pretendo retornar ao meu país de origem dentro de 3 anos
- Pretendo retornar ao meu país de origem dentro de 10 anos
- Pretendo permanecer por longo tempo no Japão, mas um dia pretendo retornar ao meu país de origem.
- Pretendo ir para outro país, excluindo meu país de origem e o Japão
- Não sei
- Outros

10. Assinale o motivo de residir em Hamamatsu.

[Razões para continuar residindo em Hamamatsu]

- Tenho parentes e amigos
- evido à ampla assistência, etc..., é uma cidade agradável para morar
- Desejo continuar no trabalho atual
- Moro nesta cidade desde que nasci
- Construí a base da subsistência aqui, adquirindo casa própria, etc...
- Outros

11. Selecione o seu nível do idioma japonês quando veio pela primeira vez ao Japão.

- 11-1 Compreendo o que falam no noticiário e novela da TV
Escutar Compreendo mais ou menos o que o outro está falando
 Se o outro falar devagar, consigo compreender
 Consigo captar somente palavras
 Não consigo captar quase nada
 Nascido no Japão
- 11-2 Consigo falar o que quero sem problema
Falar Consigo falar mais ou menos o que quero
 Consigo ter uma conversa simples sobre o cotidi.
 Consigo me apresentar, saudações e algumas palavras
 Não consigo falar quase nada
 Nascido no Japão
- 11-3 Consigo ler e compreender os avisos da prefeitura, escola e trabalho
Ler Consigo ler e compreender um pouco os avisos da prefeitura, escola e
 trabalho
 Consigo captar as informações que quero vendo os anúncios no jornal,
 revista, tabela de horários da estação e placas
 Compreendo ordens simples por meio de desenho (forma de jogar o lixo,
 como cozinhar)
 Não consigo ler quase nada
 Nascido no Japão
- 11-4 Consigo escrever textos explicando sobre a situação em forma de
Escrever relatórios para o trabalho e para meus filhos à escola, explicar como
 cozinhar, etc...
 Consigo escrever textos sobre minha vida cotidiana, minha terra natal e
 sobre minhas experiências
 Consigo escrever lembretes simples explicando algum assunto, voltados
 aos colegas de trabalho, professores da escola e para a família
 Consigo escrever meu nome, país e endereço
 Não consigo escrever quase nada
 Nascido no Japão

12. Qual é seu histórico de aprendizagem do idioma japonês?

Ex: [Quando começou] (Em 2008), [Local] (no Kumon), [Quanto tempo] (estudei 1 ano).

13. Escolha seu nível de japonês atual.

- 13-1
Escutar
- Compreendo o que falam no noticiário e novela da TV
 - Compreendo mais ou menos o que o outro está falando
 - Se o outro falar devagar, consigo compreender
 - Consigo captar somente palavras
 - Não consigo captar quase nada
- 13-2
Falar
- Consigo falar o que quero sem problema
 - Consigo falar mais ou menos o que quero
 - Consigo ter uma conversa simples sobre o cotidi
 - Consigo me apresentar, saudações e algumas palavras
 - Não consigo falar quase nada
- 13-3
Ler
- Consigo ler e compreender os avisos da prefeitura, escola e trabalho
 - Consigo ler e compreender um pouco os avisos da prefeitura, escola e trabalho
 - Consigo captar as informações que quero vendo os anúncios no jornal, revista, tabela de horários da estação e placas
 - Compreendo ordens simples por meio de desenho (forma de jogar o lixo, como cozinhar)
 - Não consigo ler quase nada
- 13-4
Escrever
- Consigo escrever textos explicando sobre a situação em forma de relatórios para o trabalho e para meus filhos à escola, explicar como cozinhar, etc...
 - Consigo escrever textos sobre minha vida cotidiana, minha terra natal e sobre minhas experiências
 - Consigo escrever lembretes simples explicando algum assunto, voltados aos colegas de trabalho, professores da escola e para a família
 - Consigo escrever meu nome, país e endereço
 - Não consigo escrever quase nada

14. Qual a sua meta com relação ao idioma japonês?

- 14-1 Compreendo o que falam no noticiário e novela da TV
Escutar Compreendo mais ou menos o que o outro está falando
 Se o outro falar devagar, consigo compreender
 Consigo captar somente palavras
 Não consigo captar quase nada
- 14-2 Consigo falar o que quero sem problema
Falar Consigo falar mais ou menos o que quero
 Consigo ter uma conversa simples sobre o cotidi
 Consigo me apresentar, saudações e algumas palavras
 Não consigo falar quase nada
- 14-3 Consigo ler e compreender os avisos da prefeitura, escola e trabalho
Ler Consigo ler e compreender um pouco os avisos da prefeitura, escola e
 trabalho
 Consigo captar as informações que quero vendo os anúncios no jornal,
 revista, tabela de horários da estação e placas
 Compreendo ordens simples por meio de desenho (forma de jogar o lixo,
 como cozinhar)
 Não consigo ler quase nada
- 14-4 Consigo escrever textos explicando sobre a situação em forma de
Escrever relatórios para o trabalho e para meus filhos à escola, explicar como
 cozinhar, etc...
 Consigo escrever textos sobre minha vida cotidiana, minha terra natal e
 sobre minhas experiências
 Consigo escrever lembretes simples explicando algum assunto, voltados
 aos colegas de trabalho, professores da escola e para a família
 Consigo escrever meu nome, país e endereço
 Não consigo escrever quase nada

15. Com que frequência você estuda o idioma japonês durante a
semana? Responder em horas (0 h~).

16. Quantos amigos japoneses você tem? Caso não tenha preencha 0.

17. Qual a porcentagem de amigos japoneses?

18. Em que situação você utiliza o idioma japonês no seu dia a dia? (múltipla escolha)

- Para cumprimentar companheiros de trabalho
- Para consultar algo ao companheiro de trabalho
- Para conversar com o cliente no trabalho
- Para conversar com o professor da creche, jardim e/ou escola
- Para conversar com os outros pais da creche, jardim e/ou escola
- Para cumprimentar vizinhos
- Para conversar com vizinhos
- Para conversar com familiares
- Para conversar com amigos japoneses
- Para conversar com amigos estrangeiros
- Para conversar com o funcionário do restaurante
- Para conversar com o funcionário da loja para comprar algo
- Para conversar no hospital
- Para conversar na prefeitura
- Para conversar na igreja
- Não utilizo o idioma japonês
- Outros

19. Qual idioma você usa em sua casa? Especifique em porcentagem. / Exemplo)

Com o marido em português (100%), com o filho em português (70%) e japonês (30%)

20. Qual é sua língua materna?

21. Qual a importância da língua japonesa para você? Escolha somente uma opção.

- Idioma absolutamente necessário para a vida cotidiana
- Idioma que às vezes é necessário na vida cotidiana
- Idioma que raramente é necessário na vida cotidiana
- Outros

22. Explique o motivo de sua resposta acima.

23. Você tem alguma preocupação ou receio com a aprendizagem do idioma japonês? (múltipla escolha)

- Custo alto das aulas e materiais didáticos
- Custo alto do transporte até o local de estudo
- Não há escola ou cursos do idioma japonês em local que me convém
- Não há escola ou curso do idioma japonês em horário que me convém
- Não tenho tempo para estudar
- Não há escola ou curso que possa aprender no meu idioma materno
- Por causa da idade, é um fardo aprender um idioma estrangeiro
- Não há escola ou curso do idioma japonês que ofereça aulas satisfatórias
- Não sei como obter informações
- Nada particularmente
- Outros

24. Que tipo de curso do idioma japonês você gostaria que tivesse? (múltipla escolha)

- Curso do idioma japonês na empresa depois do horário de trabalho
- Curso do idioma japonês na empresa dentro do horário de trabalho
- Curso do idioma japonês na escola depois do horário das aulas
- Curso do idioma japonês na escola dentro do horário das aulas
- Curso do idioma japonês na empresa e/ou escola no dia de descanso
- Curso do idioma japonês no Centro de Serviço Comunitário (Kyoudou Center) perto de casa, no dia de descanso
- Curso do idioma japonês online
- Curso do idioma japonês no idioma materno
- Que o professor de japonês venha ensinar em minha casa
- Curso de conversação do idioma japonês, com japoneses
- Não sei
- Nada particularmente
- Outros

25. O que você gostaria de fazer caso dominasse o idioma japonês?

Comentário (Fique a vontade)

【フィリピン語】日本語に関するアンケート (HICE) Palatanungan tungkol sa wikang Hapon (HICE)

Sa palatanungan na ito, tinanong namin ang lahat ng nag-aaral ng wikang hapon kung anong uri ng pamumuhay ang karaniwan nilang ginagalawan, ang dami ng pakikipag-ugnayan sa wikang Hapon, ang pananaw sa wika (patakaran sa wika), ang oras at paraan ng pag-aaral ng wikang Hapon, at kung paano makakuha ng impormasyon. Sa gayon makapagsumikap kaming mapabuti ang edukasyon ng wikang hapon sa Hamamatsu City, Nakiki-usap kami sa iyong kooperasyon at nagpapasalamat.

Test ID

1. Kasarian

- Lalaki
- Babae

2. Age

3. Nationality

4. Visa (Isulat ang residence card status)

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> Permanente | <input type="radio"/> Specific skill |
| <input type="radio"/> Espesyal na permanenteng residente | <input type="radio"/> Care giver / taga pag-alaga |
| <input type="radio"/> May asawang hapon atbp. | <input type="radio"/> Technology · Humanities · International Business |
| <input type="radio"/> Asawa ng may permanenteng visa | <input type="radio"/> Family stay visa |
| <input type="radio"/> Settlement visa | <input type="radio"/> Skill / kasanayan |
| <input type="radio"/> Pagsasanay sa teknikal na intern | <input type="radio"/> Japanese nationality |
| <input type="radio"/> Mag-aral sa ibang bansa | <input type="radio"/> Atbp. |

5. Alin sa mga sumusunod ang iyong trabaho? [Katayuan ng trabaho]

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> Mga estudyante sa middle school | <input type="radio"/> Self-employed worker |
| <input type="radio"/> Estudyante ng High School | <input type="radio"/> Family Worker |
| <input type="radio"/> Estudyante sa unibersidad | <input type="radio"/> Teknikal na intern trainee |
| <input type="radio"/> Regular na Empleyado | <input type="radio"/> Walang trabaho |
| <input type="radio"/> Temporary Employment (Part-time job) | <input type="radio"/> Atbp. |
| <input type="radio"/> Temporary Staff (Contract Employee) · Empleyado pang | |

6. Ang uri ng kumpanyang pinagtatrabahuan mo, Alin sa mga sumusunod (Industriya)
Paaralan.

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> School | <input type="radio"/> Wholesale·Retail Trade·Restaurant |
| <input type="radio"/> Construction Industry | <input type="radio"/> Finance·Insurance Industry |
| <input type="radio"/> Manufacturing Industry (Automobile·Transport Equipment, tulad ng mga Motorsiklo) | <input type="radio"/> Service |
| <input type="radio"/> Manufacturing Industry (Electronics) | <input type="radio"/> Agriculture, Forestry, Fishery |
| <input type="radio"/> Manufacturing Industry (Mga Pamilihan) | <input type="radio"/> DayCare & Welfare |
| <input type="radio"/> Manufacturing Industry (Iba pa) | <input type="radio"/> Atbp. |
| <input type="radio"/> Transportation·Communication | |

7. Kailan ka unang dumating sa Japan? Kung ikaw ay ipinanganak sa Japan, mangyaring isulat na ikaw ay ipinanganak sa Japan.

8. Ilang taon ka nang naninirahan sa Japan?

9. Paano ang iyong balak sa iyong paninirahan sa Japan sa mga darating na panahon?

- Maninirahan ako ng permanente sa Japan
- Balak kong umuwi sa aking bansa sa loob ng 3 taon
- Balak kong umuwi sa aking bansa sa loob ng 10 taon
- Gusto kong magtagal sa Japan hangga't maaari, pero balak ko ring umuwi sa aking bansa pag dating ng panahon
- Balak kong pumunta sa ibang bansa bukod sa aking bansa at Japan.
- Hindi ko alam
- Atbp.

10. Paki-sabihin ang dahilan ng patuloy na pamumuhay sa Hamamatsu City?

- Kamag-anak·Mayroon kasi ng Kaibigan
- Suporta ay malaki , Dahil madaling mamuhay
- Ipagpatuloy ang kasalukuyang trabaho
- Dito ako pinanganak at nakatira
- Sapagkat mayroong pundasyon sa pamumuhay at bumili ng bahay
- Atbp.

11. Mangyaring piliin ang iyong Japanese level sa unang pagdating mo sa Japan.

- 11-1. Naiintindihan ko ang mga palabas na drama at balita sa telibisyon.
Pakikinig Medyo naiintindihan ko ang sinasabing Nihongo nang aking kausap.
 Maiintindihan ko ang Nihongo na sinasabi nang aking kausap kung ito aydahan-
dahan.
 Mga maikling salita lamang ang aking naiintindihan.
 Mas marami ang hindi ko maintindihan.
 Ipinanganak sa Japan
- 11-2. Nasasabi ko sa Nihongo ang mga bagay na gusto kong sabihin.
Pagsasalita Medyo nasasabi ko sa Nihongo ang mga bagay na gusto kong sabihin.
 Mga madadaling salita lamang sa pang araw-araw na pamumuhay ang
akingnasasabi.
 Pagpapakilala sa sarili at mga salitang pagbati sa araw-araw ang akingnasasabi.
 Halos wala akong masabi.
 Ipinanganak sa Japan
- 11-3. Nababasa at naiintindihan ko ang mga sulat at notice na galing sa opisina ng
Pagbasa gobyerno, paaralan at lugar na pinagta-trabahuhan.
 Kaunti lang ang aking nababasa at naiintindihan sa mga sulat at notice nagaling sa
opisina ng gobyerno, paaralan at lugar na pinagta-trabahuhan.
 Nababasa ko ang mga leaflets, advertisement sa diyaryo, mga oras nang biyahe ng
sasakyan at iba pang impormasyon na nais kong malaman.
 Naiintindihan ko ang mga instruksiyon kung may litrato na nakalagay.
(Hal. Paraan nang pagtapon ng basura at paraan nang pagluluto)
 Halos hindi ako makabasa.
 Ipinanganak sa Japan
- 11-4. Naisusulat ko ang mga report information sa trabaho, ang kondisyon nang aking
Pagsulat anak upang malaman ng guro nang paaralan. Naisusulat ko rin ang iba't ibang
impormasyon, katulad nang paraan sa pagluluto atbp.
 Naisusulat ko ang mga kailangan sa pamumuhay sa pang araw-araw, ang aking
lugar na pinanggalingan at mga karanasan sa buhay.
 Naisusulat ko ang madadaling mensahe para sa mga kasamahan ko sa trabaho, sa
guro ng paaralan at mahahalagang bagay tungkol sa aking pamilya.
 Naisusulat ko ang aking pangalan, sariling bansa at tirahan.
 Halos wala akong maisulat.
 Ipinanganak sa Japan

12. Mangyaring sabihin sa akin ang iyong kasaysayan ng pag-aaral ng Hapon. [kalian] Taon 2008, [Saan] sa Kumon [Gaano katagal] 1 taon!

13. Mangyaring piliin ang iyong kasalukuyang antas ng Japanese.

- 13-1. Naiintindihan ko ang mga palabas na drama at balita sa telibisyon.
- Pakikinig Medyo naiintindihan ko ang sinasabing Nihongo nang aking kausap.
- Maiintindihan ko ang Nihongo na sinasabi nang aking kausap kung ito aydahan-dahan.
- Mga maikling salita lamang ang aking naiintindihan.
- Mas marami ang hindi ko maintindihan.
-
- 13-2. Nasasabi ko sa Nihongo ang mga bagay na gusto kong sabihin.
- Pagsasalita Medyo nasasabi ko sa Nihongo ang mga bagay na gusto kong sabihin.
- Mga madadaling salita lamang sa pang araw-araw na pamumuhay ang akingnasasabi.
- Pagpapakilala sa sarili at mga salitang pagbati sa araw-araw ang akingnasasabi.
- Halos wala akong masabi.
-
- 13-3. Nababasa at naiintindihan ko ang mga sulat at notice na galing sa opisina ng gobyerno, paaralan at lugar na pinagta-trabahuhan.
- Pagbasa Kaunti lang ang aking nababasa at naiintindihan sa mga sulat at notice nagaling sa opisina ng gobyerno, paaralan at lugar na pinagta-trabahuhan.
- Nababasa ko ang mga leaflets, advertisement sa diyaryo, mga oras nang biyahe ng sasakyan at iba pang impormasyon na nais kong malaman.
- Naiintindihan ko ang mga instruksiyon kung may litrato na nakalagay. (Hal. Paraan nang pagtapon ng basura at paraan nang pagluluto)
- Halos hindi ako makabasa.
-
- 13-4. Naisusulat ko ang mga report information sa trabaho, ang kondisyon nang aking anak upang malaman ng guro nang paaralan. Naisusulat ko rin ang iba`t ibang impormasyon, katulad nang paraan sa pagluluto atbp.
- Pagsulat Naisusulat ko ang mga kailangan sa pamumuhay sa pang araw-araw, ang aking lugar na pinanggalingan at mga karanasan sa buhay.
- Naisusulat ko ang madadaling mensahe para sa mga kasamahan ko sa trabaho, sa guro ng paaralan at mahahalagang bagay tungkol sa aking pamilya.
- Naisusulat ko ang aking pangalan, sariling bansa at tirahan.
- Halos wala akong maisulat.

14. Gaano karami ang gusto mong matutunan na makapagsalita ng Hapon?

- 14-1. Naiintindihan ko ang mga palabas na drama at balita sa telibisyon.
Pakikinig Medyo naiintindihan ko ang sinasabing Nihongo nang aking kausap.
 Maiintindihan ko ang Nihongo na sinasabi nang aking kausap kung ito aydahan-dahan.
 Mga maikling salita lamang ang aking naiintindihan.
 Mas marami ang hindi ko maintindihan.
- 14-2. Nasasabi ko sa Nihongo ang mga bagay na gusto kong sabihin.
Pagsasalita Medyo nasasabi ko sa Nihongo ang mga bagay na gusto kong sabihin.
 Mga madadaling salita lamang sa pang araw-araw na pamumuhay ang akingnasasabi.
 Pagpapakilala sa sarili at mga salitang pagbati sa araw-araw ang akingnasasabi.
 Halos wala akong masabi.
- 14-3. Nababasa at naiintindihan ko ang mga sulat at notice na galing sa opisina ng
Pagbasa gobyerno, paaralan at lugar na pinagta-trabahuhan.
 Kaunti lang ang aking nababasa at naiintindihan sa mga sulat at notice nagaling sa opisina ng gobyerno, paaralan at lugar na pinagta-trabahuhan.
 Nababasa ko ang mga leaflets, advertisement sa diyaryo, mga oras nang biyahe ng sasakyan at iba pang impormasyon na nais kong malaman.
 Naiintindihan ko ang mga instruksiyon kung may litrato na nakalagay. (Hal. Paraan nang pagtapon ng basura at paraan nang pagluluto)
 Halos hindi ako makabasa.
- 14-4. Naisusulat ko ang mga report information sa trabaho, ang kondisyon nang aking
Pagsulat anak upang malaman ng guro nang paaralan. Naisusulat ko rin ang iba't ibang impormasyon, katulad nang paraan sa pagluluto atbp.
 Naisusulat ko ang mga kailangan sa pamumuhay sa pang araw-araw, ang aking lugar na pinanggalingan at mga karanasan sa buhay.
 Naisusulat ko ang madadaling mensahe para sa mga kasamahan ko sa trabaho, sa guro ng paaralan at mahahalagang bagay tungkol sa aking pamilya.
 Naisusulat ko ang aking pangalan, sariling bansa at tirahan.
 Halos wala akong maisulat.

15. Gaano ka katagal nag-aaral ng Japanese sa isang linggo?Mangyaring sagutin sa mga oras (0 ~).

16. Ilang kaibigang Hapon ang mayroon ka? Kung wala isulat ang 0.

17. Ilang porsyento ng mga kaibigan mo ang Japanese?

18. ailan mo ginagamit ang Japanese sa iyong pang-araw-araw na buhay?(Kahit ang maraming sagot)

- Sa trabaho mga pagbati sa kasamahan sa trabaho
- Sa trabaho kung gusto mong kumunsulta sa iyong kasamahan
- Sa oras ng trabaho pakikipag usap sa mga kostumer
- Makipag-usap sa isang guro sa isang nursery school / kindergarten / paaralan
- Makipag-usap sa mga magulang sa nursery school / kindergarten / paarala
- Pakikipag kamustahan sa iyong mga kapitbahay
- Makipag-usap sa iyong mga kapitbahay
- Makipag-usap sa pamilya
- Pkiakipag-usap sa mga kaibigang Hapon
- Pakikipag-usap sa mga dayuhang kaibigan
- Pakikipag-usap sa isang klerk sa isang restaurant
- Kausapin ang klerk kapag namimili
- Pakikipag-usap sa mga Ospital
- Pakikipag-usap sa City Hall
- Pakikipag-usap sa mga Simbahan
- Hindi nagsalita ng Hapon
- Atbp.

19. Sa loob ng iyong tahanan ang wika ang ginagamit sap ag-uusap? Sabihin kung ilang porsyento. / (Halimbawa; Vietnamese (100%), sa anak Vietnamese (70%) at salitang Hapon (30%))

20. Ano ang pangunahin mong Linguwahe?

21. Para s aiyo ano ang posisyon ng wikang hapon? Mamili ng isa

- Mga salitang kinakailangan sa iyong pang araw-araw na pamumuhay
- Mga salitang minsan kailang sa iyong pamumuhay
- Mga salitang halos hindi kailangan sa iyong pamumuhay
- Atbp.

22. Sabihin sa akin ang dahilan sa itaas

23. Mayroon ka bang anumang mga alalahanin o pagkabalisa tungkol sa pag-aaral ng Japanese? (Kahit ang maraming sagot)

- Mataas na matrikula at kagamitan sa pagtuturo
- Malaking gasta para sa pag-commute sa paaralan o klase
- Walang paaralan / silid-aralan ng wikang Hapon sa isang maginhawang lugar
- Walang paaralan / silid-aralan sa wikang Hapon sa isang mga libreng oras
- Wala akong oras para mag-aral
- Walang mga paaralan o silid-aralan kung saan maaari kang matuto sa iyong sariling wika
- Ang pag-aaral ng wikang banyaga ay mahirap para sa iyong edad
- Walang paaralan / silid-aralan sa wikang Hapon na magbibigay sa aiyo ng satisfaksyong klase
- Hindi ko alam kung paano kumuha ng impormasyon
- Hindi partikular
- Atbp.

24. Anong uri ng klase sa wikang Hapon ang gusto mong magkaroon? (Kahit ang maraming sagot)

- Japanese language class na maaari mong matutunan sa trabaho sa labas ng oras ng trabaho
- Japanese language class na maaari mong matutunan sa trabaho sa oras ng trabaho
- Japanese language class na maaari mong matutunan sa paaralan pagkatapos ng klase
- Japanese language class na maaari mong matutunan sa paaralan sa oras ng klase
- Mga klase sa wikang Hapon na maaari mong pag-aralan sa trabaho o paaralan kapag pista opisyal
- Mga klase sa wikang Hapon na maaari mong matutunan sa mga Collaboration Center kapag pista opisyal
- Japanese language class na maaari mong matutunan online
- Japanese language class kung saan maaari kang matuto sa iyong sariling wika
- Isang Japanese teacher ang pumupunta sa iyong tahanan para magturo ng Japanese
- Japanese language class kung saan maaari kang matuto habang nakikipag-usap sa mga Japanese
- Hindi alam
- Walang Partikular
- Atbp.

25. Kapag gumaling ka nang mag salita ng wikang hapon ano ang gusto mong gawin?

Comment (Kahit ano man)

【ベトナム語】日本語に関するアンケート(HICE) Bảng câu hỏi về tiếng Nhật (HICE)

Trong bảng câu hỏi này, chúng tôi hỏi tất cả những người đang học tiếng Nhật, cuộc sống sinh hoạt thường ngày của các bạn như thế nào, mức độ tiếp xúc với tiếng Nhật, quan điểm về ngôn ngữ (suy nghĩ về ngôn ngữ), thời gian và phương pháp học tiếng Nhật, và tìm hiểu về cách lấy thông tin. Từ đó, chúng tôi sẽ cố gắng cải thiện hơn nữa việc giáo dục tiếng Nhật ở Thành phố Hamamatsu. Rất mong nhận được sự hợp tác của các bạn.

ID bài kiểm tra

1. Giới tính

Nam

Nữ

2. Tuổi

3. Quốc tịch

4. Vui lòng chọn tư cách lưu trú của bạn

Vĩnh trú

Kỹ năng đặc định

Vĩnh trú đặc biệt

Điều dưỡng

Vợ/Chồng người Nhật

Kỹ thuật · Tri thức nhân văn · Nghiệp vụ quốc tế

Vợ/Chồng người vĩnh trú

Đoàn tụ gia đình

Người định cư

Kỹ năng lao động có tay nghề

Thực tập sinh kỹ năng

Quốc tịch Nhật Bản

Du học

Khác

5. Công việc của bạn là công việc nào sau đây?

Học sinh cấp 2

Tự kinh doanh

Học sinh cấp 3

Làm cho doanh nghiệp của gia đình

Sinh viên đại học

Thực tập sinh kỹ năng

Nhân viên chính thức

Không có nghề nghiệp

Nhân viên bán thời gian, nhân viên thời vụ

Khác

Nhân viên phái khiển/ Nhân viên hợp đồng

6. Công ty bạn đang làm việc là loại công ty nào sau đây? (Khoanh tròn chỉ một lựa chọn) Trường hợp là nhân viên phái khiển hoặc hợp đồng, thì hãy trả lời loại công ty mà bạn đang được phái khiển đến.

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> Trường học | <input type="radio"/> Bán xĩ/ Bán lẻ/Cửa hàng ăn uống |
| <input type="radio"/> Xây dựng | <input type="radio"/> Tài chính/ Bảo hiểm |
| <input type="radio"/> Sản xuất(Ô tô, xe máy, phương tiện vận chuyển) | <input type="radio"/> Dịch vụ |
| <input type="radio"/> Sản xuất (máy móc điện tử) | <input type="radio"/> Nông lâm thủy sản |
| <input type="radio"/> Sản xuất (thực phẩm) | <input type="radio"/> Điều dưỡng/ Phúc lợi |
| <input type="radio"/> Sản xuất (khác) | <input type="radio"/> Khác |
| <input type="radio"/> Thông tin/ vận tải | |

7. Lần đầu tiên bạn đến Nhật là năm nào? / Năm (). Đối với người sinh tại Nhật thì hãy ghi là: sinh tại Nhật.

8. Vui lòng cho biết tổng thời gian bạn đã ở Nhật?

9. Dự định của bạn về việc ở Nhật trong thời gian tới là gì?

- Dự định vĩnh trú ở Nhật.
- Dự định về nước trong vòng 3 năm tới.
- Dự định về nước trong 10 năm tới.
- Dự định ở Nhật lâu đến mức có thể, sau đó dự định sẽ về nước.
- Dự định đến một nước khác ngoài Nhật bản và đất nước của mình.
- Không biết
- Khác

10. Hãy cho biết lý do bạn sống ở thành phố Hamamatsu.

- Bởi vì có người thân và bạn bè.
- Bởi vì dễ sống chẳng hạn như có chính sách hỗ trợ đầy đủ
- Bởi vì muốn tiếp tục công việc hiện tại.
- Bởi vì sống ở đây từ lúc được sinh ra.
- Bởi vì đã mua nhà và có cuộc sống cơ bản ổn định
- Khác

11. Xin hãy cho biết trình độ tiếng Nhật của bạn khi bạn đến Nhật lần đầu tiên.

- 11-1. Nghe hiểu được tin tức trên tivi, phim truyền hình
Nghe Nghe hiểu được đại khái những gì đối phương nói
 Nếu đối phương nói chậm thì nghe hiểu được
 Có thể nghe được các từ vựng
 Đa phần không nghe được
 Sinh tại Nhật.
- 11-2. Có thể nói được những điều muốn nói không có vấn đề gì
Nói Có thể nói được đại khái những điều muốn nói
 Có thể nói chuyện đơn giản thông thường
 Có thể nói được những câu chào hỏi, các từ vựng và giới thiệu bản thân
 Đa phần không nói được
 Sinh tại Nhật.
- 11-3. Đọc hiểu được thư từ, giấy thông báo từ sở hành chính, trường học, nơi làm việc
Đọc Đọc hiểu được chút ít thư từ, giấy thông báo từ sở hành chính, trường học, nơi làm việc
 Có thể nhìn hiểu được các thông tin cần thiết như các quảng cáo trên báo chí, tạp chí, tờ rơi, bảng giờ tàu điện ở nhà ga, bảng hướng dẫn.
 Hiểu được các từ đơn giản có hình vẽ (cách đổ rác, cách nấu ăn)
 Đa phần không đọc được
 Sinh tại Nhật.
- 11-4. Viết được báo cáo công việc, các liên lạc nói về tình trạng con mình cho giáo viên biết, cách nấu ăn, các câu văn giải thích tình trạng, cách làm
Viết Viết được các câu văn về sinh hoạt hàng ngày, nói về quê hương mình, giới thiệu về những kinh nghiệm của mình
 Ghi chép được những cần thiết đơn giản để truyền đạt lại với đồng nghiệp, giáo viên nhà trường, gia đình
 Viết được họ tên, quốc gia và địa chỉ
 Đa phần không viết được
 Sinh tại Nhật.

12. Xin hãy cho biết về quá trình học tiếng Nhật của bạn. 【khi nào】 (năm 2008)、【ở đâu】 (ở kumon)、【khoảng bao lâu】 (1 năm)

13. Xin hãy chọn trình độ tiếng Nhật hiện tại của bạn.

- 13-1. Nghe
- Nghe hiểu được tin tức trên tivi, phim truyền hình
 - Nghe hiểu được đại khái những gì đối phương nói
 - Nếu đối phương nói chậm thì nghe hiểu được
 - Có thể nghe được các từ vựng
 - Đa phần không nghe được
- 13-2. Nói
- Có thể nói được những điều muốn nói không có vấn đề gì
 - Có thể nói được đại khái những điều muốn nói
 - Có thể nói chuyện đơn giản thông thường
 - Có thể nói được những câu chào hỏi, các từ vựng và giới thiệu bản thân
 - Đa phần không nói được
- 13-3. Đọc
- Đọc hiểu được thư từ, giấy thông báo từ sở hành chính, trường học, nơi làm việc
 - Đọc hiểu được chút ít thư từ, giấy thông báo từ sở hành chính, trường học, nơi làm việc
 - Có thể nhìn hiểu được các thông tin cần thiết như các quảng cáo trên báo chí, tạp chí, tờ rơi, bảng giờ tàu điện ở nhà ga, bảng hướng dẫn.
 - Hiểu được các từ đơn giản có hình vẽ (cách đổ rác, cách nấu ăn)
 - Đa phần không đọc được
- 13-4. Viết
- Viết được báo cáo công việc, các liên lạc nói về tình trạng con mình cho giáo viên biết, cách nấu ăn, các câu văn giải thích tình trạng, cách làm
 - Viết được các câu văn về sinh hoạt hàng ngày, nói về quê hương mình, giới thiệu về những kinh nghiệm của mình
 - Ghi chép được những cần thiết đơn giản để truyền đạt lại với đồng nghiệp, giáo viên nhà trường, gia đình
 - Viết được họ tên, quốc gia và địa chỉ
 - Đa phần không viết được

14. Bạn muốn biết tiếng Nhật đến mức độ nào?

- 14-1. Nghe hiểu được tin tức trên tivi, phim truyền hình
Nghe
- Nghe hiểu được đại khái những gì đối phương nói
 - Nếu đối phương nói chậm thì nghe hiểu được
 - Có thể nghe được các từ vựng
 - Đa phần không nghe được
- 14-2. Nói
- Có thể nói được những điều muốn nói không có vấn đề gì
 - Có thể nói được đại khái những điều muốn nói
 - Có thể nói chuyện đơn giản thông thường
 - Có thể nói được những câu chào hỏi, các từ vựng và giới thiệu bản thân
 - Đa phần không nói được
- 14-3. Đọc
- Đọc hiểu được thư từ, giấy thông báo từ sở hành chính, trường học, nơi làm việc
 - Đọc hiểu được chút ít thư từ, giấy thông báo từ sở hành chính, trường học, nơi làm việc
 - Có thể nhìn hiểu được các thông tin cần thiết như các quảng cáo trên báo chí, tạp chí, tờ rơi, bảng giờ tàu điện ở nhà ga, bảng hướng dẫn.
 - Hiểu được các từ đơn giản có hình vẽ (cách đổ rác, cách nấu ăn)
 - Đa phần không đọc được
- 14-4. Viết
- Viết được báo cáo công việc, các liên lạc nói về tình trạng con mình cho giáo viên biết, cách nấu ăn, các câu văn giải thích tình trạng, cách làm
 - Viết được các câu văn về sinh hoạt hàng ngày, nói về quê hương mình, giới thiệu về những kinh nghiệm của mình
 - Ghi chép được những cần thiết đơn giản để truyền đạt lại với đồng nghiệp, giáo viên nhà trường, gia đình
 - Viết được họ tên, quốc gia và địa chỉ
 - Đa phần không viết được

15. Bạn học tiếng Nhật mấy tiếng một tuần? Hãy trả lời số giờ (0~)

16. Có bao nhiêu người bạn Nhật? Nếu không có thì hãy ghi 0

17. Tỷ lệ phần trăm là bạn người Nhật trong bạn bè của bạn là bao nhiêu?

18. Trong cuộc sống thường ngày, bạn sử dụng tiếng Nhật khi nào (với ai)
(có thể chọn nhiều câu trả lời)

- Trong công việc, chào hỏi người ở nơi làm việc.
- Trong công việc, trao đổi với người ở nơi làm việc
- Nói chuyện với khách hàng trong công việc.
- Nói chuyện với giáo viên ở nhà trẻ/mẫu giáo/trường học
- Nói chuyện với phụ huynh ở nhà trẻ/mẫu giáo/trường học
- Chào hỏi hàng xóm
- Nói chuyện với hàng xóm
- Nói chuyện với gia đình
- Nói chuyện với bạn người Nhật
- Nói chuyện với bạn người nước ngoài
- Nói chuyện với nhân viên ở nhà hàng
- Nói chuyện với nhân viên khi đi mua sắm
- Nói chuyện ở bệnh viện
- Nói chuyện ở tòa thị chính
- Nói chuyện ở nhà thờ
- Không nói tiếng Nhật
- Khác

19. Bạn sử dụng ngôn ngữ nào trong nhà của bạn? Hãy cho chúng tôi biết tỷ lệ. / Ví dụ) Nói chuyện với chồng thì tiếng Việt (100%), với con cái thì tiếng Việt (70%) và tiếng Nhật (30%)

20. Ngôn ngữ chính của bạn là gì?

21. Đối với bạn tiếng Nhật quan trọng như thế nào ? / Hãy chọn một.

- Tiếng Nhật cần thiết trong cuộc sống hàng ngày
- Tiếng Nhật ít cần thiết trong cuộc sống hàng ngày
- Tiếng Nhật hầu như không cần thiết trong cuộc sống hàng ngày
- Khác

22. Xin hãy cho biết lý do ghi ở trên

23. Bạn có lo lắng hay bất an gì về việc học tiếng Nhật không?

(có thể chọn nhiều câu trả lời)

- Tiền học phí/ giáo trình là đắt
- Chi phí để đi học và lên lớp là cao
- Không có lớp hay trường học tiếng Nhật ở địa điểm phù hợp với bản thân
- Không có lớp hay trường học tiếng Nhật vào thời gian phù hợp với bản thân
- Không có thời gian dành cho việc học
- Không có lớp hay trường học để học tiếng mẹ đẻ
- Lớn tuổi nên khó khăn trong việc học tiếng nước ngoài
- Không có lớp hay trường học tiếng Nhật cảm thấy thỏa mãn để học
- Không biết cách thức để nhận thông tin
- Không có gì đặc biệt
- Khác

24. Bạn nghĩ là có lớp tiếng Nhật như thế nào thì sẽ tốt?

(có thể chọn nhiều câu trả lời)

- Lớp học tiếng Nhật có thể học tại công ty và ngoài thời gian làm việc
- Lớp học tiếng Nhật có thể học tại công ty và trong thời gian làm việc
- Lớp học tiếng Nhật có thể học tại trường, sau giờ học
- Lớp học tiếng Nhật có thể học tại trường, trong giờ học
- Lớp học tiếng Nhật có thể học tại công ty và trường học vào ngày nghỉ
- Lớp học tiếng Nhật có thể học ở Kyoudou center gần nhà vào ngày nghỉ
- Lớp học tiếng Nhật có thể học online
- Lớp học tiếng Nhật học bằng tiếng mẹ đẻ
- Giáo viên tiếng Nhật đến nhà và học tiếng Nhật
- Lớp học tiếng Nhật vừa nói chuyện với người Nhật vừa học
- Không biết
- Không có gì đặc biệt
- Khác

25. Bạn muốn làm gì nếu bạn giỏi tiếng Nhật?

Bình luận (bất cứ điều gì)

【中国語】日本語に関するアンケート（公益財団法人浜松国際交流協会）
关于日语的问卷调查（公益財団法人浜松国際交流協会）

本问卷是对正在学习日语各位的日常生活进行调查，包括生活中与日语的接触程度，语言观（语言上的态度）、学习日语的时间和方法、以及获取信息的方法等。我们将由此进一步改善滨松市的日语教育，因此希望各位能予合作。

Test ID

1. 性別

男

女

2. 年齢

3. 国籍

4. 请选择在留资格

永住者

特別永住者

日本人的配偶者等

永住者の配偶者

定住者

技能实习

留学

特定技能

护理

科技・人文・国际商务

家族滞在

技能

日本国籍

其他

5. 您的工作属于下面哪种？

中学生

高校生

大学生

正式员工

临时雇用、小时工、打工

派遣、承包、签约社员

个体经营

家族企业的员工

技能实习

无业

其他

6. 您供职的公司属于下面哪种类型？因派遣或承包而派赴到公司者请回答被派赴到的公司的类型。

- | | |
|--|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 学校 | <input type="radio"/> 批发、零售业、餐饮店 |
| <input type="radio"/> 建筑业 | <input type="radio"/> 金融、保险业 |
| <input type="radio"/> 制造业(汽车、摩托车等运输设备) | <input type="radio"/> 服务业 |
| <input type="radio"/> 制造业(电子设备) | <input type="radio"/> 农林水产业 |
| <input type="radio"/> 制造业(食品) | <input type="radio"/> 看护、福祉 |
| <input type="radio"/> 制造业(其他) | <input type="radio"/> 其他 |
| <input type="radio"/> 运输、通信 | |

7. 您第一次来日本是哪年？（如在日本出生请写日本出生）

8. 请告知您在日本居住的总时间

9. 您对今后在日本的生活是如何考虑的？

- 计划在日本定居
- 计划3年以内回国
- 计划3年以内回国
- 计划尽量在日本长住，但早晚会回国
- 计划去母国和日本以外的其他国家
- 不清楚
- 其他

10. 您考虑继续在浜松居住的理由是

- 有亲戚、朋友
- 对外国人的职员比较全面、适合居住。
- 希望继续目前的工作。
- 出生地
- 已经买房、生活根基已经形成。
- 其他

11. 你来日本的日语水平是多少？

- 11-1. 听 听电视新闻、电视剧时，可以理解
 大概可以理解对方所说的话
 对方慢慢说的话，可以理解
 只能听取单词
 几乎不能听取
 日本出生
- 11-2. 说 完全可以说出自己想说的话
 大概可以说出自己想说的话
 可以简单的进行日常会话
 可以说出自我介绍，固定的打招呼，单词等 自己紹介，
 几乎不能说
 日本出生
- 11-3. 读 读政府、学校、公司等邮寄的信件以及通知，可以理解
 读政府、学校、公司等邮寄的信件以及通知，稍微可以理解
 看报纸以及杂志中的广告、宣传单，车站的时间表以及引导牌，可以得到所需的信息。
 可以看得懂有图片的简单的指示。（丢垃圾的方法，料理的制作方法）
 几乎读不了
 日本出生
- 11-4. 写 可以书写工作报告、向学校老师说明孩子的情况时的联络、料理的制作方法等说明状况以及方法的文章
 可以书写介绍日常生活、自己的故乡、自己的经验的文章
 可以写向公司同事、学校老师、家人传达事项的简单记录
 可以书写姓名、国名、地址等
 几乎不能写
 日本出生

12. 请告知您的日语学习履历 什么时间（*2008 年） 地点（公文） 时间（多长时间）（1 年）

13. 现在您的日语水平是？

- 13-1. 听
- 听电视新闻、电视剧时，可以理解
 - 大概可以理解对方所说的话
 - 对方慢慢说的话，可以理解
 - 只能听取单词
 - 几乎不能听取
- 13-2. 说
- 完全可以说出自己想说的话
 - 大概可以说出自己想说的话
 - 可以简单的进行日常会话
 - 可以说出自我介绍，固定的打招呼，单词等 自己紹介，
 - 几乎不能说
- 13-3. 读
- 读政府、学校、公司等邮寄的信件以及通知，可以理解
 - 读政府、学校、公司等邮寄的信件以及通知，稍微可以理解
 - 看报纸以及杂志中的广告、宣传单，车站的时间表以及引导牌，可以得到所需的信息。
 - 可以看得懂有图片的简单的指示。（丢垃圾的方法，料理的制作方法）
 - 几乎读不了
- 13-4. 写
- 可以书写工作报告、向学校老师说明孩子的情况时的联络、料理的制作方法等说明状况以及方法的文章
 - 可以书写介绍日常生活、自己的故乡、自己的经验的文章
 - 可以写向公司同事、学校老师、家人传达事项的简单记录
 - 可以书写姓名、国名、地址等
 - 几乎不能写

14. 未来想达到多少日语水平？

- 14-1. 听 听电视新闻、电视剧时，可以理解
 大概可以理解对方所说的话
 对方慢慢说的话，可以理解
 只能听取单词
 几乎不能听取
- 14-2. 说 完全可以说出自己想说的话
 大概可以说出自己想说的话
 可以简单的进行日常会话
 可以说出自我介绍，固定的打招呼，单词等 自己紹介，
 几乎不能说
- 14-3. 读 读政府、学校、公司等邮寄的信件以及通知，可以理解
 读政府、学校、公司等邮寄的信件以及通知，稍微可以理解
 看报纸以及杂志中的广告、宣传单，车站的时间表以及引导牌，可以得到所需的信息。
 可以看得懂有图片的简单的指示。（丢垃圾的方法，料理的制作方法）
 几乎读不了
- 14-4. 写 可以书写工作报告、向学校老师说明孩子的情况时的联络、料理的制作方法等说明状况以及方法的文章
 可以书写介绍日常生活、自己的故乡、自己的经验的文章
 可以写向公司同事、学校老师、家人传达事项的简单记录
 可以书写姓名、国名、地址等
 几乎不能写

15. 每周学习多长时间日语？小时数（0～）

16. 您有几位日本朋友？没有时请回答 0

17. 朋友中日本人占几成(百分之几)？

18. 日常生活中什么时间（与谁）使用日语？（可复数回答）

- 工作时与单位同事打招呼
- 工作时与单位同事咨询
- 工作时与客人会话
- 在保育园、幼稚园、学校与老师会话
- 在保育园、幼稚园、学校与家长会话
- 与邻居打招呼
- 与邻居打会话
- 与家人会话
- 与日本朋友会话
- 与外国朋友会话
- 在饭店与店员会话
- 买东西时与店员会话
- 在医院
- 市役所
- 教会
- 不说日语
- 其他

19. 您在家使用哪种语言？并请告知其使用的比例。/ 例）和丈夫使用越南语（100%）、和孩子用越南语（70%）和日语（30%）

20. 您的母语是什么？

21. 对于您来说，日语是怎样一个定位？请由下面选择一项

- 日常生活中必不可少的语言
- 日常生活中有时需要的语言
- 日常生活中很少用的语言
- 其他

22. 请告知上述选择的理由。

23. 日语学习中的烦恼和不安。(可复数回答)

- 授课、教材太难
- 上学、升学价格太高
- 没有地点合适的日语学校、教室
- 没有合适的时间的日语学校、教室
- 没有时间学习
- 没有用母语学习的日语学校、教室
- 因年龄的原因，学外语有困难
- 没有合适的日语学校、教室
- 不知道从哪里获取信息
- 没有特殊原因
- 其他

24. 你觉得什么样的日语教室比较好(可复数回答)

- 工作时间以外在公司可以学习的日语教室
- 工作时间以内在公司可以学习的日语教室
- 放学后可以在学校学习的日语教室
- 授课中可以在学校学习的日语教室
- 休息日可以在公司或学校学习的日语教室
- 休息日，附近的协同中心可以学习的日语教室
- 网课
- 用母语授课的日语教室
- 日语教师来家里授课
- 与日本人边聊天边学习日语
- 不知道
- 没有特殊要求
- 其他

25. 日语水平提高后，您想做什么？

其他意见(自由)

【スペイン語】日本語に関するアンケート(HICE) Encuesta sobre el idioma japonés (HICE)

En esta encuesta preguntaremos a las personas que estudian japonés cómo es su ritmo de vida cotidiana, frecuencia de uso del idioma japonés, valoración del idioma japonés, cantidad de contacto con el idioma japonés cantidad de tiempo y método de estudio del japonés. Como resultado nos esforzaremos aún mas para mejorar la enseñanza del japonés en Hamamatsu, agradecemos de antemano su cooperación.

Test ID

1. Sexo

M

F

2. Edad

3. Nacionalidad

4. Estado de Residencia

residencia permanente

Residencia permanente especial

Cónyugue de japonés

Cónyugue de residente permanente

residencia de término prolongado

Practicante técnico

Estudio en el extranjero

Habilidades específicas

Asistencia

Técnica-Especialista en Humanidades- Servicios internacionales

Estancia familiar

Habilidad,(técnica)

nacionalidad japonesa

Otros

5. ¿Cuál de los siguientes es su empleo?

Estudiante de Secundaria

Estudiante de Preparatoria

Universitario

Empleado regular (seishain)

Empleo temporal, part time, arubaito.

Personal temporario, empleado por contrato.

【estado de empleo】

Negocio propio.

Trabajo en negocios de la familia.

Pasante técnico

Desempleado

Otros

6. ¿Cuál es el ramo de la empresa en la que usted trabaja? A los que trabajan por contratista, responder el ramo de la empresa donde presta servicio. Señalar sólo una alternativa.

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> Colegio | <input type="radio"/> Ventas (al por mayor, al por menor, restaurantes) |
| <input type="radio"/> Construcción. | <input type="radio"/> Finanzas, seguro. |
| <input type="radio"/> Producción (automóviles, motos etc.) | <input type="radio"/> Prestación de servicios. |
| <input type="radio"/> Producción (productos electrónicos) | <input type="radio"/> Agricultura y pesca. |
| <input type="radio"/> Producción (productos alimenticios) | <input type="radio"/> Cuidado y bienestar. |
| <input type="radio"/> Producción (otros) | <input type="radio"/> Otros |
| <input type="radio"/> Transporte y comunicación. | |

7. ¿Cuándo fué la primera vez que vino a Japón?. Si usted nació en Japón, escriba que nació en Japón.

8. Cuánto tiempo vive en Japón

9. ¿Cuáles son sus planes en relación a su estadía en el Japón? Señalar sólo una alternativa.

- Pretendo fijar residencia en Japón.
- Pretendo regresar a mi país dentro de 3 años.
- Pretendo regresar a mi país dentro de 10 años.
- Pretendo regresar algún día a mi país, pero estaré lo máximo que pueda en Japón.
- Pretendo ir a otro país, diferente al mío y Japón
- No sé.
- Otros

10. Por favor díganos el motivo por el cual piensa continuar viviendo en Hamamatsu. (marque sólo una opción con un círculo).

- Porque están mis familiares y amigos.
- Porque el apoyo es sustancia, etc., es fácil de vivir.
- Porque deseo continuar en este mismo trabajo.
- Porque vivo aquí desde que nací.
- Porque adquirí una casa, etc., porque ya tengo una base de mi vida.
- Otros

11. ¿Cuál era su nivel de japonés cuando llegó por primera vez a Japón?

- 11-1. Escuchar
- Comprendo al escuchar el noticiero y drama de la televisión.
 - Comprendo más o menos las cosas que me hablan.
 - Comprendo si me hablan despacio.
 - Puedo entender palabras sueltas.
 - No puedo entender casi nada.
 - nacido en Japón
- 11-2. Hablar
- Puedo decir sin ningún problema lo que quiero expresar.
 - Puedo decir más o menos lo que quiero expresar.
 - Puedo mantener una conversación simple.
 - Puedo hacer la autopresentación, saludos diarios y/o decir palabras sueltas.
 - No puedo hablar casi nada.
 - nacido en Japón
- 11-3. Leer
- Puedo leer y comprender los avisos y cartas que llegan del municipio, escuela o lugar de trabajo.
 - Leo y comprendo un poco los avisos y cartas que llegan del municipio, escuela o lugar de trabajo.
 - Puedo obtener las informaciones necesarias al leer los avisos del periódico y revistas, los prospectos, el horario de los trenes y carteles de la estación.
 - Comprendo las indicaciones simples con ilustración (cómo botar las basuras, cómo preparar una comida).
 - No puedo leer casi nada.
 - nacido en Japón
- 11-4. Escribir
- Puedo redactar frases para explicar la situación o método, tales como informes de trabajo, aviso del estado de mi hijo al profesor de la escuela, cómo preparar una comida, etc.
 - Puedo redactar frases para presentar mi vida cotidiana, mi tierra natal, o mis experiencias.
 - Puedo escribir breves mensajes para transmitir asuntos de importancia a mi compañero de trabajo, profesor de la escuela o familiar.
 - Puedo escribir mi nombre, país, dirección, etc.
 - No puedo escribir casi nada.
 - nacido en Japón

12. ¿Cuál es su historial de conocimiento del japonés? 【¿Cuándo?】 (año 2008)、
【dónde】 (KUMON) 【¿Por cuánto tiempo?】 (1 año)

13. ¿Cuál es tu nivel actual de japonés?

- 13-1. Escuchar
- Comprendo al escuchar el noticiero y drama de la televisión.
 - Comprendo más o menos las cosas que me hablan.
 - Comprendo si me hablan despacio.
 - Puedo entender palabras sueltas.
 - No puedo entender casi nada.
- 13-2. Hablar
- Puedo decir sin ningún problema lo que quiero expresar.
 - Puedo decir más o menos lo que quiero expresar.
 - Puedo mantener una conversación simple.
 - Puedo hacer la autopresentación, saludos diarios y/o decir palabras sueltas.
 - No puedo hablar casi nada.
- 13-3. Leer
- Puedo leer y comprender los avisos y cartas que llegan del municipio, escuela o lugar de trabajo.
 - Leo y comprendo un poco los avisos y cartas que llegan del municipio, escuela o lugar de trabajo.
 - Puedo obtener las informaciones necesarias al leer los avisos del periódico y revistas, los prospectos, el horario de los trenes y carteles de la estación.
 - Comprendo las indicaciones simples con ilustración (cómo botar las basuras, cómo preparar una comida).
 - No puedo leer casi nada.
- 13-4. Escribir

14. ¿Cuánto japonés quieres ser capaz de entender?

- 14-1. Comprendo al escuchar el noticiero y drama de la televisión.
Escuchar Comprendo más o menos las cosas que me hablan.
 Comprendo si me hablan despacio.
 Puedo entender palabras sueltas.
 No puedo entender casi nada.
- 14-2. Puedo decir sin ningún problema lo que quiero expresar.
Hablar Puedo decir más o menos lo que quiero expresar.
 Puedo mantener una conversación simple.
 Puedo hacer la autopresentación, saludos diarios y/o decir palabras sueltas.
 No puedo hablar casi nada.
- 14-3. Puedo leer y comprender los avisos y cartas que llegan del municipio, escuela o lugar de trabajo.
Leer Leo y comprendo un poco los avisos y cartas que llegan del municipio, escuela o lugar de trabajo.
 Puedo obtener las informaciones necesarias al leer los avisos del periódico y revistas, los prospectos, el horario de los trenes y carteles de la estación.
 Comprendo las indicaciones simples con ilustración (cómo botar las basuras, cómo preparar una comida).
 No puedo leer casi nada.
- 14-4. Puedo redactar frases para explicar la situación o método, tales como informes de trabajo, aviso del estado de mi hijo al profesor de la escuela, cómo preparar una comida, etc.
Escribir Puedo redactar frases para presentar mi vida cotidiana, mi tierra natal, o mis experiencias.
 Puedo escribir breves mensajes para transmitir asuntos de importancia a mi compañero de trabajo, profesor de la escuela o familiar.
 Puedo escribir mi nombre, país, dirección, etc.
 No puedo escribir casi nada.

15. ¿Cuánto tiempo estudia japonés a la semana ?

Escriba la cantidad de horas (0 ~) .

16. Cuántos amigos japoneses tiene Ud. ? Si no tiene escriba 0.

17. ¿Qué porcentaje de sus amigos son japones ?

18. ¿En qué momento usas el japonés en tu vida diaria?

(Puede señalar varias respuestas)

- En el trabajo al saludar a mis compañeros de trabajo
- En el trabajo al hacer una consulta a mis compañeros de trabajo
- En el trabajo al conversar con los clientes
- Al conversar con el professor de la guarderia · jardín de infancia · colegio
- Al conversar con los padres de los niños de la guarderia · jardín de infancia · colegio
- Al saludar a los vecinos
- Al conversar con los vecinos
- Al conversar con la familia
- Al conversar con un amigo japonés
- Al conversar con amigos extranjeros
- Al hablar con el empleado de algún restaurante
- Al hablar con el empleado de alguna tienda
- En el hospital
- En la municipalidad
- En la iglesia
- No hablo en japonés
- Otros

19. Qué idioma utiliza en casa ? Por favor díganos el porcentaje.Ejemplo : Con esposo vietnamita(100%), con mis hijos vietnamita(70%) y japonés(30%)

20.Cuál es su lengua materna ?

21. Para usted, el idioma japonés en que situación lo enmarca

- Es absolutamente necesario para la vida diaria
- Es a veces necesario para la vida diaria
- Es casi innecesario en la vida diaria
- Otros

22. Escriba la razón de su respuesta de arriba

23. ¿Usted tiene alguna duda o problema en el aprendizaje del idioma japonés?

(Puede señalar varias respuestas)

- Matrícula · Material didáctico es caro
- Transporte para ir a la escuela o clase es caro
- No hay escuelas o aulas de idioma japonés en un lugar conveniente
- No hay escuelas o aulas de idioma japonés en un horario conveniente
- No tengo una hora ideal para estudiar
- En el colegio de enseñanza de mi idioma materno no hay clases de japonés
- Es pesado aprender un idioma extranjero en una edad avanzada.
- No hay escuelas de idioma japonés o aulas que den una enseñanza satisfactoria
- No sé cómo obtener información sobre las clases de japonés
- No tengo
- Otros

24. Qué tipo de clases de japonés cree Ud. que sería conveniente?

(Puede señalar varias respuestas)

- Clases de japonés en el centro de trabajo fuera del horario laboral.
- Clases de japonés en el centro de trabajo dentro del horario laboral.
- Clases de japonés en la escuela fuera del horario escolar.
- Clases de japonés en la escuela dentro del horario escolar
- Clases de japonés en el centro de trabajo y escuela en los días de descanso (Sab. Dom, Feriados)
- Clases de japonés en un centro comunitario (kyoudou centa) cercano, los días de descanso (Sab. Dom, Feriados)
- Clases de japonés vía ON LINE
- Clases de japonés que se pueda aprender en tu idioma materno
- Clases de japonés a domicilio
- Clases de japonés donde puedas aprender conversando con japoneses
- No sé
- Ninguno
- Otros

25. Qué deseas realizar cuando te perfecciones en el idioma japonés ?

Comentario

【インドネシア語】日本語に関するアンケート(HICE) Angket mengenai Bahasa Jepang(HICE)

Angket ini bertujuan untuk mengulas bagaimana keadaan kehidupan sehari-hari, jumlah Bahasa Jepang yang digunakan per hari, sudut pandang Bahasa, total waktu dan cara belajar Bahasa Jepang, serta cara para pelajar Bahasa Jepang mendapatkan informasi. Kami akan berusaha untuk meningkatkan kualitas pembelajaran Bahasa Jepang di Kota Hamamatsu melalui hasil angket ini. Mohon kerjasamanya.

ID tes:

1. Jenis Kelamin

- Pria
- Wanita

2. Usia

3. Kewarganegaraan

4. Status Tinggal

- Penduduk Tetap
- Menetap Permanen
- Pasangan warga negara Jepang
- Pasangan penduduk tetap
- Tinggal tetap
- Pelatihan Khusus
- Pelajar
- Pekerja Berkecenderungan Fisik
- Perawatan
- Teknik · Pengetahuan Humaniora · Bisnis
- Tinggal bersama Keluarga
- Pelatihan
- Warga Negara Jepang
- Lainnya

5. Jenis Pekerjaan (Kontrak Kerja) Anda

- Murid SMP
- Murid SMA
- Mahasiswa Universitas
- Pekerja Tetap
- Kerja Paruh Waktu (Sementara)
- Pekerja Sementara, Pekerja Perjanjian Kerja Waktu Tertentu
- Wirausaha
- Karyawan Keluarga
- Pekerja Pelatihan
- Tidak memiliki Pekerjaan
- Lainnya

6. Bidang Pekerjaan /Perusahaan anda

- Sekolah
- Infrastruktur
- Industri Manufaktur (Kendaraan Otomotif dan lainnya)
- Industri Manufaktur (Komponen / alat Listrik)
- Industri Manufaktur (Bahan Makanan)
- Industri Manufaktur (Lainnya)
- Pengiriman dan Komunikasi
- Produk Grosir · Toko Retail · Restoran
- Keuangan · Asuransi
- Produk Servis
- Pertanian Kehutanan dan Perikanan
- Perawatan dan kesejahteraan
- Lainnya

7. Tahun pertama tiba di Jepang / Tahun() Bila anda lahir di Jepang silahkan isi "lahiran Jepang".

8. Total Masa tinggal di Jepang

9. Apa yang anda ingin lakukan selanjutnya?

- Tinggal tetap di Jepang
- Kembali ke negara asal dalam jangka waktu 3 tahun
- Kembali ke negara asal dalam jangka waktu 10 tahun
- Tinggal selama mungkin di Jepang, lalu pulang ke negara asal suatu saat
- Pergi ke negara lain selain Jepang dan negara asal
- Tidak tahu
- Lainnya

10. Alasan anda tinggal di Kota Hamamatsu

- Memiliki keluarga, teman, atau relasi yang tinggal di Hamamatsu
- Kota Hamamatsu merupakan kota yang nyaman dan memiliki bantuan yang cukup
- Ingin melanjutkan pekerjaan saat ini
- Tinggal sejak lahir
- Memiliki/sudah membeli tempat tinggal di Hamamatsu
- Lainnya

11. Apa level bahasa Jepang Anda saat pertama kali datang ke Jepang?

- 11-1. Mendengar
- Dapat memahami saat mendengarkan berita atau drama di televisi
 - Kurang lebih dapat memahami apa yang dikatakan oleh orang lain
 - Dapat memahami apabila orang lain berbicara dengan perlahan-lahan
 - Hanya dapat menangkap kosakatanya saja
 - Hampir tidak dapat mendengar dan memahami sama sekali
 - lahiran Jepang
- 11-2. Berbicara
- Dapat mengutarakan apa yang ingin disampaikan tanpa kesulitan
 - Kurang lebih dapat mengutarakan apa yang ingin disampaikan
 - Dapat melakukan percakapan sederhana sehari-hari
 - Dapat memperkenalkan diri, mengucapkan salam, mengucapkan kosakata
 - Hampir tidak dapat berbicara sama sekali
 - lahiran Jepang
- 11-3. Membaca
- Dapat membaca dan memahami surat atau pemberitahuan dari kantor pemerintah daerah, sekolah dan tempat kerja
 - Sedikit dapat membaca dan memahami surat atau pemberitahuan dari kantor pemerintah daerah, sekolah dan tempat kerja
 - Dapat memperoleh informasi yang diperlukan dengan melihat iklan koran dan majalah, selebaran, jadwal dan petunjuk di stasiun
 - Dapat memahami gambar yang disertai petunjuk sederhana (cara membuang sampah, cara memasak dan sebagainya)
 - Hampir tidak dapat membaca sama sekali
 - lahiran Jepang
- 11-4. Menulis
- Dapat menulis kalimat yang menjelaskan cara dan kondisi, misalnya laporan pekerjaan, pemberitahuan yang menyampaikan kondisi anak kepada guru, cara memasak dan sebagainya
 - Dapat menulis kalimat yang menjelaskan tentang mengenai kehidupan sehari-hari, atau tempat kelahiran, serta pengalaman pribadi
 - Dapat menulis memo sederhana mengenai keperluan tertentu yang ditujukan kepada teman sekerja, guru di sekolah dan keluarga
 - Dapat menulis nama, negara asal, alamat dan sebagainya
 - Hampir tidak dapat menulis sama sekali
 - lahiran Jepang

12. Riwayat pembelajaran Bahasa Jepang anda 【Tahun】 (2008)、【Tempat】 (Kumon)、【Jangka Waktu】 (1 tahun)

13. Bagaimana kemampuan Bahasa Jepang Anda?

- 13-1. Mendengar
- Dapat memahami saat mendengarkan berita atau drama di televisi
 - Kurang lebih dapat memahami apa yang dikatakan oleh orang lain
 - Dapat memahami apabila orang lain berbicara dengan perlahan-lahan
 - Hanya dapat menangkap kosakatanya saja
 - Hampir tidak dapat mendengar dan memahami sama sekali
- 13-2. Berbicara
- Dapat mengutarakan apa yang ingin disampaikan tanpa kesulitan
 - Kurang lebih dapat mengutarakan apa yang ingin disampaikan
 - Dapat melakukan percakapan sederhana sehari-hari
 - Dapat memperkenalkan diri, mengucapkan salam, mengucapkan kosakata
 - Hampir tidak dapat berbicara sama sekali
- 13-3. Membaca
- Dapat membaca dan memahami surat atau pemberitahuan dari kantor pemerintah daerah, sekolah dan tempat kerja
 - Sedikit dapat membaca dan memahami surat atau pemberitahuan dari kantor pemerintah daerah, sekolah dan tempat kerja
 - Dapat memperoleh informasi yang diperlukan dengan melihat iklan koran dan majalah, selebaran, jadwal dan petunjuk di stasiun
 - Dapat memahami gambar yang disertai petunjuk sederhana (cara membuang sampah, cara memasak dan sebagainya)
 - Hampir tidak dapat membaca sama sekali
- 13-4. Menulis
- Dapat menulis kalimat yang menjelaskan cara dan kondisi, misalnya laporan pekerjaan, pemberitahuan yang menyampaikan kondisi anak kepada guru, cara memasak dan sebagainya
 - Dapat menulis kalimat yang menjelaskan tentang mengenai kehidupan sehari-hari, atau tempat kelahiran, serta pengalaman pribadi
 - Dapat menulis memo sederhana mengenai keperluan tertentu yang ditujukan kepada teman sekerja, guru di sekolah dan keluarga
 - Dapat menulis nama, negara asal, alamat dan sebagainya
 - Hampir tidak dapat menulis sama sekali

14. Berapa level bahasa Jepang yang ingin Anda capai di masa depan?

- 14-1. Mendengar
- Dapat memahami saat mendengarkan berita atau drama di televisi
 - Kurang lebih dapat memahami apa yang dikatakan oleh orang lain
 - Dapat memahami apabila orang lain berbicara dengan perlahan-lahan
 - Hanya dapat menangkap kosakatanya saja
 - Hampir tidak dapat mendengar dan memahami sama sekali
- 14-2. Berbicara
- Dapat mengutarakan apa yang ingin disampaikan tanpa kesulitan
 - Kurang lebih dapat mengutarakan apa yang ingin disampaikan
 - Dapat melakukan percakapan sederhana sehari-hari
 - Dapat memperkenalkan diri, mengucapkan salam, mengucapkan kosakata
 - Hampir tidak dapat berbicara sama sekali
- 14-3. Membaca
- Dapat membaca dan memahami surat atau pemberitahuan dari kantor pemerintah daerah, sekolah dan tempat kerja
 - Sedikit dapat membaca dan memahami surat atau pemberitahuan dari kantor pemerintah daerah, sekolah dan tempat kerja
 - Dapat memperoleh informasi yang diperlukan dengan melihat iklan koran dan majalah, selebaran, jadwal dan petunjuk di stasiun
 - Dapat memahami gambar yang disertai petunjuk sederhana (cara membuang sampah, cara memasak dan sebagainya)
 - Hampir tidak dapat membaca sama sekali
- 14-4. Menulis
- Dapat menulis kalimat yang menjelaskan cara dan kondisi, misalnya laporan pekerjaan, pemberitahuan yang menyampaikan kondisi anak kepada guru, cara memasak dan sebagainya
 - Dapat menulis kalimat yang menjelaskan tentang mengenai kehidupan sehari-hari, atau tempat kelahiran, serta pengalaman pribadi
 - Dapat menulis memo sederhana mengenai keperluan tertentu yang ditujukan kepada teman sekerja, guru di sekolah dan keluarga
 - Dapat menulis nama, negara asal, alamat dan sebagainya
 - Hampir tidak dapat menulis sama sekali

15. Durasi belajar Bahasa Jepang anda dalam 1 Minggu. Mohon isi dengan satuan jam.

16. Berapa banyak kah teman warga negara Jepang anda? Bila tidak memiliki mohon untuk mengisi 0.

17. Berapa persen kah teman warga Jepang anda dari seluruh teman anda?

18. Dalam situasi apakah anda menggunakan Bahasa Jepang? (Puede señalar varias respuestas)

- Saat memberi salam teman kerja di tempat kerja
- Saat berkonsultasi dengan teman kerja
- Saat berkomunikasi dengan konsumen di tempat kerja
- Saat berbicara dengan guru di sekolah/TK
- Saat berbicara dengan orangtua di sekolah/TK
- Saat memberi salam kepada tetangga
- Saat berbicara dengan tetangga
- Saat berbicara dengan keluarga
- Saat berbicara dengan teman warga Jepang
- Saat berbicara dengan teman warga asing
- Saat berbicara dengan staff di restoran
- Saat berbicara dengan staff supermarket/toko
- Saat berada di rumah sakit
- Saat berada di ciry hall
- Saat berada di gereja
- Tidak bisa berbahasa Jepang
- Lainnya

19. Bahasa apakah yang anda gunakan di rumah tangga anda? Mohon untuk juga menulis persentase penggunaan Bahasa tersebut / (Ex. Bahasa Vietnam dengan suami (100%), Bahasa Jepang(30%) dan Vietnam(70%))

20. Apa bahasa utama anda?

21. Di posisi apakah Bahasa Jepang berada untuk anda? Pilihlah salah satu pilihan di bawah

- Bahasa yang sangat diperlukan di kehidupan sehari-hari
- Bahasa yang kadang-kadang diperlukan di kehidupan sehari-hari
- Bahasa yang tidak diperlukan di kehidupan sehari-hari
- Lainnya

22. Alasan anda memilih pilihan jawaban no.21

23. Kekhawatiran anda mengenai pembelajaran Bahasa Jepang

(Puede señalar varias respuestas)

- Biaya buku atau pelajaran yang tinggi
- Biaya transportasi yang tinggi
- Tidak ada tempat belajar yang cocok
- Tidak ada tempat belajar yang sesuai dengan waktu kosong
- Tidak ada waktu luang untuk belajar
- Tidak ada tempat belajar yang menggunakan bahasa negara asal
- Belajar bahasa asing merupakan beban akibat faktor umur
- Tidak ada tempat belajar yang memenuhi ekspektasi
- Tidak tahu cara mendapatkan informasi
- Tidak ada secara spesifik
- Lainnya

24. Menurut anda, apa yang membuat satu kelas Bahasa Jepang yang baik?

(Puede señalar varias respuestas)

- Kelas yang menyediakan pelajaran di perusahaan di luar jam kerja
- Kelas yang menyediakan pelajaran di perusahaan saat jam kerja berlangsung
- Kelas yang menyediakan pelajaran di sekolah setelah jam pelajaran sekolah berakhir
- Kelas yang menyediakan pelajaran di sekolah saat jam pelajaran sekolah berlangsung
- Kelas yang menyediakan pelajaran di sekolah saat hari libur
- Kelas yang menyediakan pelajaran di balai serbaguna terdekat saat hari libur
- Kelas yang menyediakan pelajaran secara online
- Kelas yang mengajari dengan bahasa negara asal
- Kelas yang menyediakan fasilitas guru tutor untuk datang ke rumah
- Kelas yang menyediakan kesempatan untuk berbicara dengan warga Jepang secara langsung
- Tidak tahu
- Tidak ada secara spesifik
- Lainnya

25. Bila anda sudah pandai berbahasa Jepang, apa yang ingin anda lakukan?

Komen;

【英語】日本語に関するアンケート（HICE）
Survey on Japanese Language Immersion （HICE）

In this survey, we will ask you about your daily life, the amount of contact you have with Japanese language, your views on language, time spent learning Japanese and the methods, and how you gather information. By doing so, we will improve the Japanese language education in Hamamatsu City. We would appreciate your cooperation.

Test ID

1. Sex

- Male
- Female

2. Age

3. Nationality

4. What is your status of residence?

- Permanent resident
- Special Permanent resident
- Spouse of Japanese
- Spouse of permanent resident
- Long-term resident
- Technical Intern Training
- Student
- Specified Skilled Worker
- Nursing Care
- Engineer ・ Specialist in humanities ・ International services
- Dependant
- Skilled Labor
- Japanese national
- Other

5. What kind of study or work do you do?

- Junior high school student
- High school student
- University student
- Full-time employee
- Temporary or part-time employee
- Agency or contract worker
- Self-employed
- Working in a family business
- Technical Intern Training
- unemployed
- Other

6. What type of company do you work for? (Circle only one.) If you are an agency or contract worker, what type of the company are you dispatched to?

- | | |
|---|---|
| <input type="radio"/> School | <input type="radio"/> Wholesale/Retail/Food service |
| <input type="radio"/> Construction | <input type="radio"/> Financial/ Insurance |
| <input type="radio"/> Manufacturing (cars, motorcycles, etc.) | <input type="radio"/> Service |
| <input type="radio"/> Manufacturing (electronics) | <input type="radio"/> Agriculture/Forestry/Fishery |
| <input type="radio"/> Manufacturing (food processing) | <input type="radio"/> Nursing care/Public welfare |
| <input type="radio"/> Manufacturing (other) | <input type="radio"/> Other |
| <input type="radio"/> Shipping/Communications | |

7. What year did you first come to Japan? If you were born in Japan, please write "Born in Japan".

8. What is the total length of your stay in Japan?

9. What are your plans for your stay in Japan?

- I'm planning to stay in Japan permanently
- I'm planning to return to my home country in the next three years
- I'm planning to return to my home country in the next ten years
- I'm planning to stay in Japan as long as possible, and return to my home country someday
- I'm planning to go to another country (neither Japan nor my home country)
- I don't know
- Other

10. Why do you choose to live in Hamamatsu?

- I have friends and family here
- It is easy to live here (e.g. I can get enough support)
- I want to continue my current job
- I have lived here since I was born
- I have established myself here (e.g. I have bought a home)
- Other

11. What was your level of Japanese when you first came to Japan?

- 11-1. I can understand all news and television programs.
Hearing I can mostly understand what others are saying.
 I can understand others if they speak slowly.
 I can only comprehend single words.
 I am mostly not able to understand Japanese.
 Born in Japan
- 11-2. I can convey my opinion with no problems.
Speaking I can mostly say what I want.
 I can have easy everyday conversations.
 I can give a simple self-introduction and use set phrases to greet people.
 I am mostly not able to speak Japanese.
 Born in Japan
- 11-3. I can read letters and notices from the government, school, and workplace.
Reading I can somewhat read letters and notices from the gov't, school, and workplace.
 I can take information I need from newspapers, magazines, advertisements and flyers, train station timetables and guide plates/ticker boards.
 Only easy-to-read indicator art i.e., instructions for cooking or garbage disposal.
 I am mostly not able to read Japanese.
 Born in Japan
- 11-4. I am able to write work reports, status of my child to teachers, cooking instructions as well as sentences explaining methods and situations.
Writing I am able to write sentences introducing my everyday life, my home town, and my own experiences.
 I am able to write simple notes that stating important matters to coworkers, teachers and family.
 I am able to write my name, name of my country, and address.
 I mostly am not able to write Japanese.
 Born in Japan

12. How long have you been studying Japanese?

When (In 2008) Where (At KUMON) For How long (for one year)

13. Now, how proficient is your Japanese?

- 13-1. I can understand all news and television programs.
- Hearing I can mostly understand what others are saying.
- I can understand others if they speak slowly.
- I can only comprehend single words.
- I am mostly not able to understand Japanese.
-
- 13-2. I can convey my opinion with no problems.
- Speaking I can mostly say what I want.
- I can have easy everyday conversations.
- I can give a simple self-introduction and use set phrases to greet people.
- I am mostly not able to speak Japanese.
-
- 13-3. I can read letters and notices from the government, school, and workplace.
- Reading I can somewhat read letters and notices from the gov't, school, and workplace.
- I can take information I need from newspapers, magazines, advertisements and flyers, train station timetables and guide plates/ticker boards.
- Only easy-to-read indicator art i.e. instructions for cooking or garbage disposal.
- I am mostly not able to read Japanese.
-
- 13-4. I am able to write work reports, status of my child to teachers, cooking instructions as well as sentences explaining methods and situations.
- Writing I am able to write sentences introducing my everyday life, my home town, and my own experiences.
- I am able to write simple notes that stating important matters to coworkers, teachers and family.
- I am able to write my name, name of my country, and address.
- I mostly am not able to write Japanese.

14. How much do you want to be able to do Japanese?

- 14-1. I can understand all news and television programs.
Hearing I can mostly understand what others are saying.
 I can understand others if they speak slowly.
 I can only comprehend single words.
 I am mostly not able to understand Japanese.
- 14-2. I can convey my opinion with no problems.
Speaking I can mostly say what I want.
 I can have easy everyday conversations.
 I can give a simple self-introduction and use set phrases to greet people.
 I am mostly not able to speak Japanese.
- 14-3. I can read letters and notices from the government, school, and workplace.
Reading I can somewhat read letters and notices from the gov't, school, and
 workplace.
 I can take information I need from newspapers, magazines, advertisements
 and flyers, train station timetables and guide plates/ticker boards.
 Only easy-to-read indicator art i.e., instructions for cooking or garbage
 disposal.
 I am mostly not able to read Japanese.
- 14-4. I am able to write work reports, status of my child to teachers, cooking
Writing instructions as well as sentences explaining methods and situations.
 I am able to write sentences introducing my everyday life, my home town,
 and my own experiences.
 I am able to write simple notes that stating important matters to coworkers,
 teachers and family.
 I am able to write my name, name of my country, and address.
 I mostly am not able to write Japanese.

15. Please tell us how often you study Japanese in a week. Please tell us the time in hours (0~)

16. Do you have any Japanese friends? If you don't have any, please write 0.

17. What is the percent (%) of Japanese friends that you have?

18. In your daily life, how often do you use Japanese?

(Multiple Choice)

- Say hello to people at work.
- Talk to people at work.
- Talk to a customer at work.
- Talk to nursery / kindergarten / school teachers.
- Talk to parents at nursery school / kindergarten / school.
- Say hello to your neighbors.
- Talk to your neighbor.
- Talk to family.
- Talk to Japanese friends.
- Talk to foreign friends.
- Talk to the restaurant waiter.
- Talk to the clerk when shopping.
- Speak at the hospital.
- Speak at the city hall.
- Talk to believers in church.
- I don't speak Japanese.
- Other

19. What languages do you use in your house? Please tell us the percentage. / E.g. Vietnamese with husband (100%), Vietnamese with children (70%) and Japanese (30%).

20. What is your first language (mother tongue)?

21. How necessary is the Japanese language for you? Please choose one

- Absolutely necessary in everyday life
- Sometimes necessary in everyday life
- Almost unnecessary in everyday life
- Other

22. Please tell us the reason for the answer above.

23. Do you have any worries or concerns about learning Japanese?

(Multiple Choice)

- High tuition and teaching materials.
- The money for going to school or class is high.
- There is no Japanese language school / classroom in a convenient place.
- There is no Japanese language school / classroom at a convenient time.
- I don't have time to study.
- There are no schools or classrooms where you can learn in your native language.
- Learning a foreign language is a burden in terms of age.
- There is no Japanese language school / classroom that offers satisfactory classes.
- I don't know how to get information.
- Not particularly
- Other

24. What kind of Japanese class do you think would be good?

(Multiple Choice)

- Japanese language class that you can learn at work outside of work hours.
- Japanese language class that you can learn at work during work hours.
- Japanese language class that you can learn at school after school.
- Japanese language class that you can learn at school during class.
- Japanese language classes that you can study at work or school on holidays.
- Japanese language classes that you can learn at a nearby collaboration center on holidays.
- Japanese language class that you can learn online.
- Japanese language class where you can learn in your native language.
- A Japanese teacher comes to my house to teach Japanese.
- Japanese language class where you can learn while chatting with Japanese people.
- Not sure
- Not particularly
- Other

25. What do you want to do when you are fluent and skilled at Japanese language?

Comments (About anything)

2 関係者名簿

令和4年度 浜松市地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

総合調整会議委員名簿

氏名	所属及び役職
金子 和裕	浜松経済同友会 事務局長
神吉 宇一	武蔵野大学グローバル学部 准教授
坂本 勝信	常葉大学経営学部 教授
澤田 直子	浜松市教育委員会 指導課教育総合支援センター 外国人支援グループ長
嶋田 和子(委員長)	一般社団法人アクラス日本語教育研究所 代表理事
丹野 清人	東京都立大学人文社会学部 教授
柳澤 照美 クリスチーナ	セメンチーニャ 代表
リビ - ジョーセフ マテュー	株式会社フォーシーズンズ外語学院 理事長
鈴木 三男	浜松市企画調整部 国際課 課長
安間 浩	公益財団法人浜松国際交流協会 業務執行理事

日本語能力調査及び日本語使用状況調査 集計・分析協力者名簿

氏名	所属及び役職
藤岡 申明	静岡大学情報学部 情報社会学科 准教授
李 皓	静岡大学情報学部 行動情報学科 准教授

所管課名簿

氏名	所属及び役職
加藤 智春	浜松市企画調整部 国際課 副参事(課長補佐)
古橋 広樹	浜松市企画調整部 国際課 主幹
内山 晋吾	浜松市企画調整部 国際課 主任

事務局名簿

氏名	所属及び役職
山本 久之	公益財団法人浜松国際交流協会 事務局長
内山 夕輝	公益財団法人浜松国際交流協会 主幹・総括コーディネーター
染葉 麻愛美	公益財団法人浜松国際交流協会 地域日本語教育コーディネーター
シム キュマン	公益財団法人浜松国際交流協会

3 検討経過

4月26日	J-CAT テスト&アンケート調査 開始
5月19日	第1回総合調整会議
8月23日	第2回総合調整会議
9月22日	第1回日本語能力調査及び日本語使用状況調査分析会議
10月27日	第2回日本語能力調査及び日本語使用状況調査分析会議
11月24日	第3回日本語能力調査及び日本語使用状況調査分析会議
1月6日	第4回日本語能力調査及び日本語使用状況調査分析会議
2月3日	第5回日本語能力調査及び日本語使用状況調査分析会議
2月6日	J-CAT テスト&アンケート調査 終了
2月14日	第3回総合調整会議
2月24日	第6回日本語能力調査及び日本語使用状況調査分析会議
3月20日	第7回日本語能力調査及び日本語使用状況調査分析会議

2022年度(令和4年度)文化庁 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

浜松市地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

日本語能力調査及び日本語使用状況調査
【調査結果報告書】

浜松市

発行日 2023年(令和5年)3月

事業受託者 公益財団法人浜松国際交流協会(HICE)
〒430-0916 静岡県浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階
TEL. 053-458-2170 FAX. 053-458-2197